

授業評価 2018

—学生による授業評価報告書—

【2018年度新規開設科目】

2019年3月



授業評価 2018
— 学生による授業評価報告書 —
【2018 年度新規開設科目】

<u>I. 「学生による授業評価 2018」の概要</u> -----	1
I-1. 目的	
I-2. 構成と内容	
I-3. 方法と期間	
I-4. 時系列分析	
I-5. 回答者の特性	
I-6. 評価結果の提供と公表	
I-6-1. 評価結果の提供	
I-6-2. 評価結果の公表	
I-7. その他	
<u>II. 評定尺度調査の分析結果</u> -----	21
II-1. 学部の分析結果	
II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-1-2. 学習への取組み姿勢	
II-1-3. 学部の授業評価	
II-1-4. 学部の重回帰分析	
II-2. 大学院の分析結果	
II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-2-2. 学習への取組み姿勢	
II-2-3. 大学院の授業評価	
II-2-4. 大学院の重回帰分析	
<u>III. 自由記述のまとめ</u> -----	105
III-1. 学部	
III-2. 大学院	
<u>付録</u> -----	163

2018 度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2018」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。今年度は、第14回目となり、例年の通り2018年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コースまたは領域、プログラム(群)における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する(つまり、評価の次年度に改訂版を収録する)ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第3に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第4に、放送大学は教員の5年任期制を採っており、再任のためには5年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第3の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査(放送授業)は、大きく分けて3つの部分からなっている。

第1は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について4段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の2つに分かれる。

第2は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第3は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については167、168頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2018年度第1学期に本学で開講していた放送授業のうち、今年度開設した科目及び前年度第2学期に開設した科目(開講1年目の科目)、学部71科目、大学院21科目、計92科目である(表1-1参照)。このような選定システムにすることで、開設後4年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず1回授業評価の対象とされることになる。

表 1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数

【学部】

コース	科目数		有効回答	
	2018年度		2018年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目	3	3	231	11%
基盤科目(外国語)	5	5	163	8%
生活と福祉	10	10	367	17%
心理と教育	6	6	411	19%
社会と産業	14	14	284	13%
人間と文化	13	13	359	17%
情報	9	9	183	9%
自然と環境	5	5	127	6%
夏季集中科目(看護)	1	1	11	1%
全体	66	66	2,136	100%

【大学院】

プログラム	科目数		有効回答	
	2018年度		2018年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比
生活健康科学	2	2	7	9%
人間発達科学	2	2	25	33%
臨床心理学	1	1	4	5%
社会経営科学	2	2	27	36%
情報学	1	1	13	17%
全体	8	8	76	100%

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

今年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部 38,586 名、大学院 830 名、計 39,416 名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。調査期間は第 1 学期単位認定試験終了後の 8 月 6 日から 9 月 30 日までの 56 日間とし、有効回答数は学部 2,136 票、大学院 76 票、計 2,212 票であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 5.5%、大学院 9.2%、全体で 5.6%と、2017 年度の有効回答率（2017 年度新規開設科目 学部 39.3%、大学院 46.6%、全体 40.1%）と比較すると学部、大学院共に有効回答率は大きく下がっている。

表 1 - 2 調査対象者数および有効回答率

	2018年新規開設科目			2017年新規開設科目			2016年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	38,586	2,136	5.5%	11,515	4,524	39.3%	12,580	5,108	40.6%
大学院	830	76	9.2%	1,512	705	46.6%	939	453	48.2%
計	39,416	2,212	5.6%	13,027	5,229	40.1%	13,519	5,561	41.1%

I - 4. 時系列分析

報告書の一部に過去 2 年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講 1 年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

(次頁表 1-3) は、回答者の属性分布と母集団 (全受講登録者) の属性分布を比較したものである。両者を比較して、属性分布が回答者と母集団で乖離していないかを検証する。

学部では、男性は+5.8 ポイント、女性は-5.8 ポイントで母集団との差は男性でプラス、女性でマイナスであった。

年齢階層別では 19 歳以下~30 歳代及び 70 歳以上がマイナスしており、20 歳代(-5.3 ポイント) と 70 歳以上 (-7.5 ポイント) が母集団との差が大きかった。

反対に母集団より高かったのは 40 歳代~60 歳代までで、50 歳代 (+8.0 ポイント) と 60 歳代 (+5.5 ポイント) が特に高かった。

学生種別では全科履修生が+15.9 ポイントと母集団から最も大きく乖離しており、反対に選科履修生は-11.3 ポイントで、科目履修生も-4.6 ポイントと、母集団より低かった。

一方、大学院の性別では男性 (+17.0 ポイント) が極端に多く、その分女性は少なかった。

年齢階層では母集団より比率が高かったのは、30 歳代 (+15.4 ポイント) で、反対に低かったのは 40 歳代と 60 歳代で、特に 60 歳代は-13.3 ポイントであった。その他の年代は母集団とあまり変わらなかった。

学生種別では修士全科生が母集団から大きく乖離していて、+36.3 ポイントであった。修士選科生は-28.1 ポイント、修士科目生は-8.3 ポイントであった。

表 1 - 3 回答者の属性分布

【学部】

		2018年新規開設科目			2017年新規開設科目			2016年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	51.3%	45.5%	5.8ポイント	48.2%	42.0%	6.2ポイント	47.4%	42.2%	5.3ポイント
	女性	48.7%	54.5%	▲5.8ポイント	50.2%	58.0%	▲7.8ポイント	51.2%	57.8%	▲6.6ポイント
年齢階層別	19歳以下	0.3%	1.9%	▲1.6ポイント	0.4%	1.0%	▲0.6ポイント	0.2%	0.9%	▲0.8ポイント
	20～29歳	5.9%	11.2%	▲5.3ポイント	6.8%	12.7%	▲5.9ポイント	7.3%	13.1%	▲5.8ポイント
	30～39歳	12.1%	14.8%	▲2.7ポイント	11.1%	17.1%	▲6.0ポイント	13.7%	20.1%	▲6.4ポイント
	40～49歳	25.8%	22.3%	3.5ポイント	20.5%	24.9%	▲4.4ポイント	20.7%	25.8%	▲5.1ポイント
	50～59歳	27.6%	19.6%	8.0ポイント	19.1%	19.6%	▲0.5ポイント	18.5%	18.9%	▲0.4ポイント
	60～69歳	23.3%	17.8%	5.5ポイント	27.0%	17.0%	10.0ポイント	26.1%	15.3%	10.9ポイント
	70歳以上	5.0%	12.5%	▲7.5ポイント	14.7%	7.7%	7.0ポイント	13.0%	5.8%	7.2ポイント
学生種別	全科履修生	83.0%	67.1%	15.9ポイント	75.3%	72.5%	2.8ポイント	66.3%	66.4%	▲0.1ポイント
	選科履修生	13.2%	24.5%	▲11.3ポイント	17.7%	21.2%	▲3.5ポイント	21.0%	26.5%	▲5.6ポイント
	科目履修生	3.8%	8.4%	▲4.6ポイント	6.1%	6.2%	▲0.1ポイント	8.4%	7.1%	1.3ポイント
	人数(N)	2,136	-	-	4,524	-	-	5,108	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

【大学院】

		2018年新規開設科目			2017年新規開設科目			2016年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	73.7%	56.7%	17.0ポイント	51.1%	54.3%	▲3.2ポイント	65.1%	64.8%	0.3ポイント
	女性	26.3%	43.3%	▲17.0ポイント	46.4%	45.7%	0.7ポイント	33.1%	35.2%	▲2.1ポイント
年齢階層別	20～29歳	5.3%	3.3%	2.0ポイント	1.6%	4.8%	▲3.2ポイント	1.8%	3.7%	▲1.9ポイント
	30～39歳	28.9%	13.5%	15.4ポイント	9.2%	12.0%	▲2.8ポイント	7.5%	11.4%	▲3.9ポイント
	40～49歳	19.7%	25.5%	▲5.8ポイント	17.2%	21.5%	▲4.3ポイント	18.5%	23.4%	▲4.9ポイント
	50～59歳	32.9%	30.3%	2.6ポイント	30.1%	28.6%	1.5ポイント	27.4%	29.8%	▲2.4ポイント
	60～69歳	6.6%	19.9%	▲13.3ポイント	30.8%	25.7%	5.1ポイント	30.7%	24.0%	6.7ポイント
	70歳以上	6.6%	7.5%	▲0.9ポイント	10.6%	7.4%	3.2ポイント	13.5%	7.8%	5.7ポイント
学生種別	修士全科生	53.9%	17.6%	36.3ポイント	28.6%	20.5%	8.1ポイント	23.4%	17.6%	5.8ポイント
	修士選科生	42.1%	70.2%	▲28.1ポイント	62.6%	71.1%	▲8.5ポイント	63.1%	70.5%	▲7.3ポイント
	修士科目生	3.9%	12.2%	▲8.3ポイント	7.7%	8.4%	▲0.7ポイント	10.4%	12.0%	▲1.6ポイント
	人数(N)	76	-	-	705	-	-	453	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にはならない。

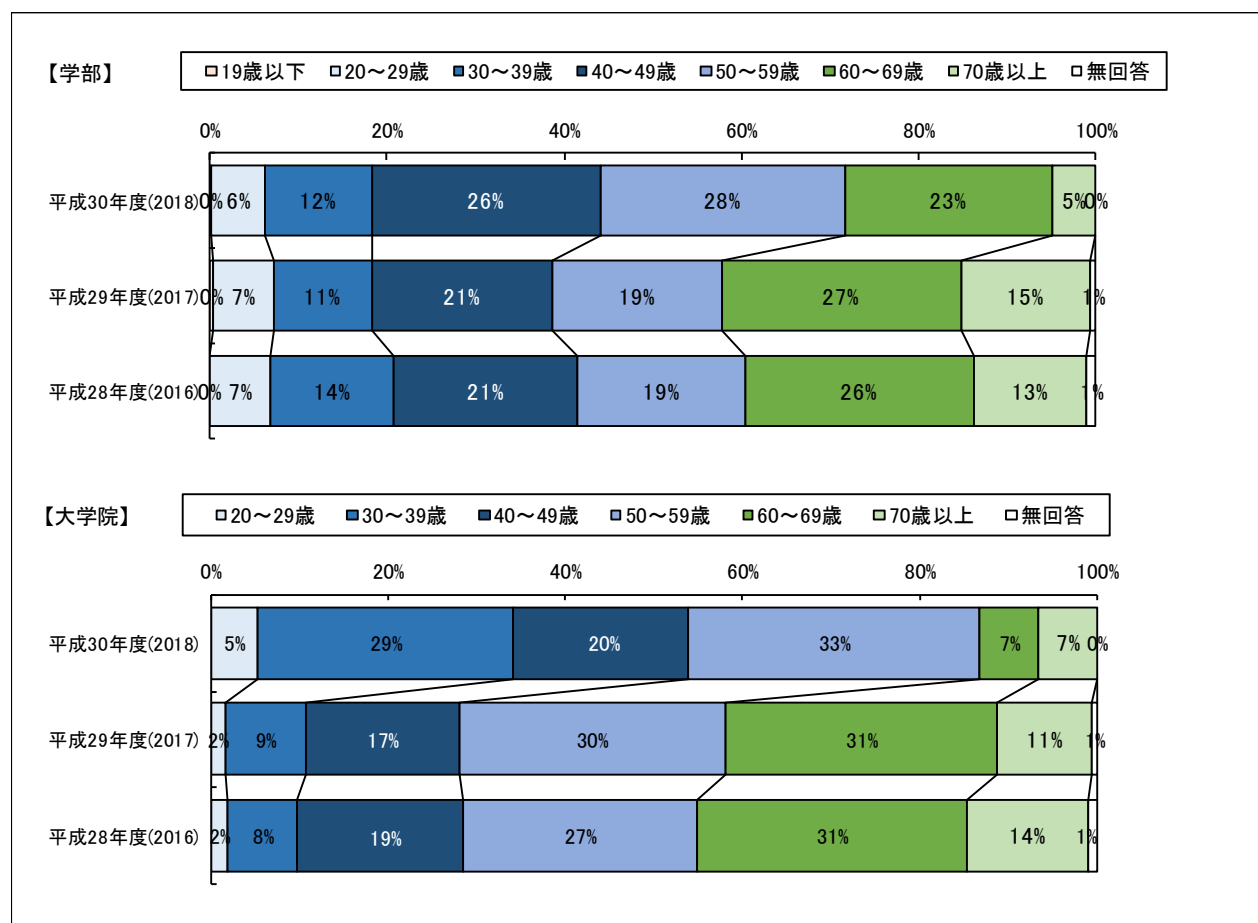
以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらにみていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布 (2018 年新規開設科目)

年齢階層別に今年度 (2018 年新規開設科目) の回答者の分布をみると (図 1-1)、学部では 50 歳代が最も多く 28%、次いで 40 歳代が 26%、60 歳代が 23% を占めた。昨年度までの調査と比べると、3 番目に多かった 50 歳代の増加が +9 ポイント目立っている。

大学院では同様に 30 歳代の増加が +20 ポイントと大きく、反対に 60 歳代の減少が顕著であった。

図 1-1 年齢階層別回答者



(3) 性別の傾向（2018年新規開設科目）

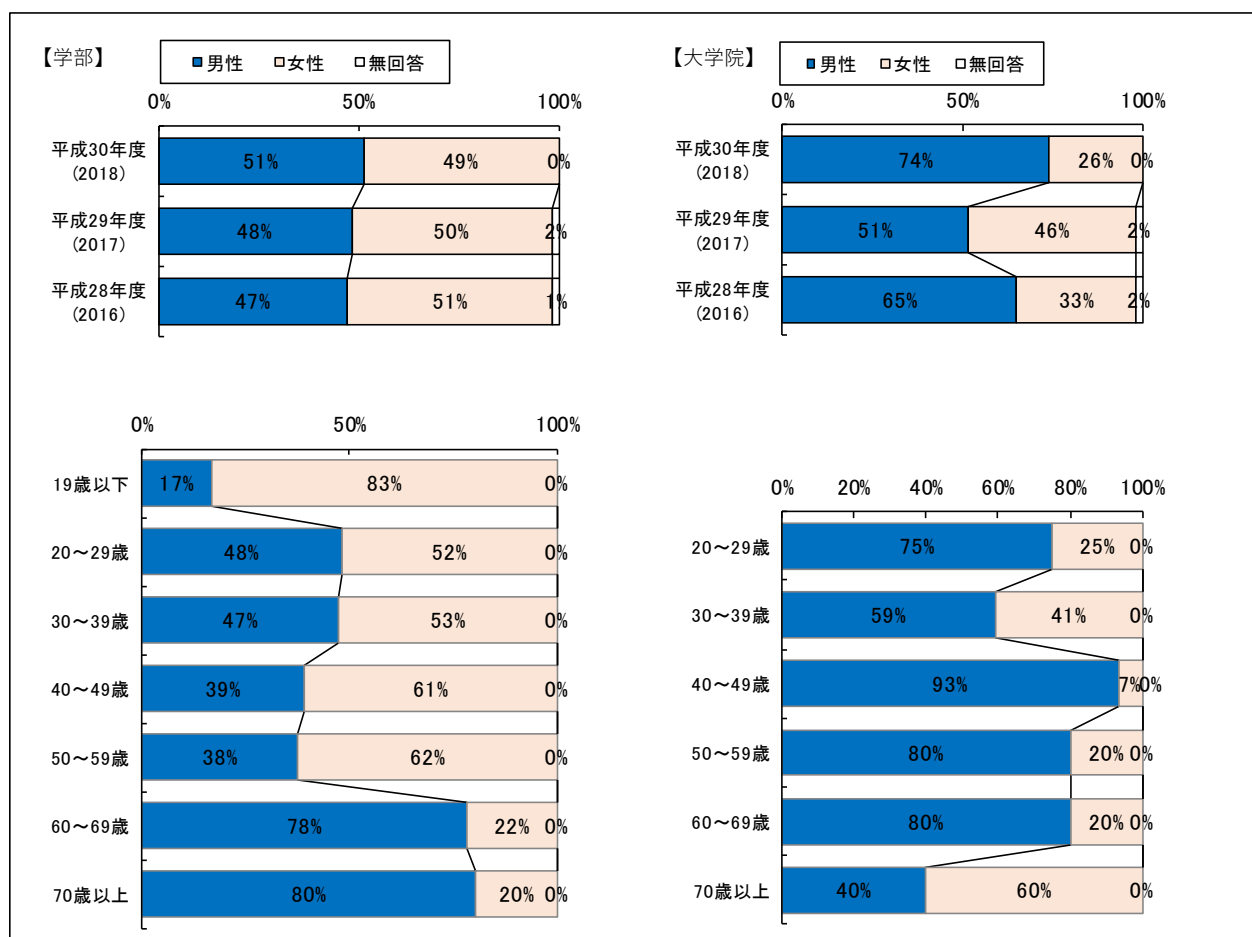
性別で見ると（図1-2）、学部では「男性」51%、「女性」49%で、昨年度までと比べると「男性」の割合がやや増えている。

年代別では19歳以下から50歳代までは女性の割合が多かったが、男性は60歳代（78%）と70歳以上（80%）が極端に多く、60歳代以上が、男性の割合を高める牽引役となっていた。

大学院は、「男性」74%、「女性」26%と「男性」は「女性」に比べ3倍近く多かった。昨年度と比べると「男性」が+23ポイントと大きな増加がみられた。

年齢階層別で最も男女間に差があったのは40歳代で、男性が9割を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布 (2018年新規開設科目)

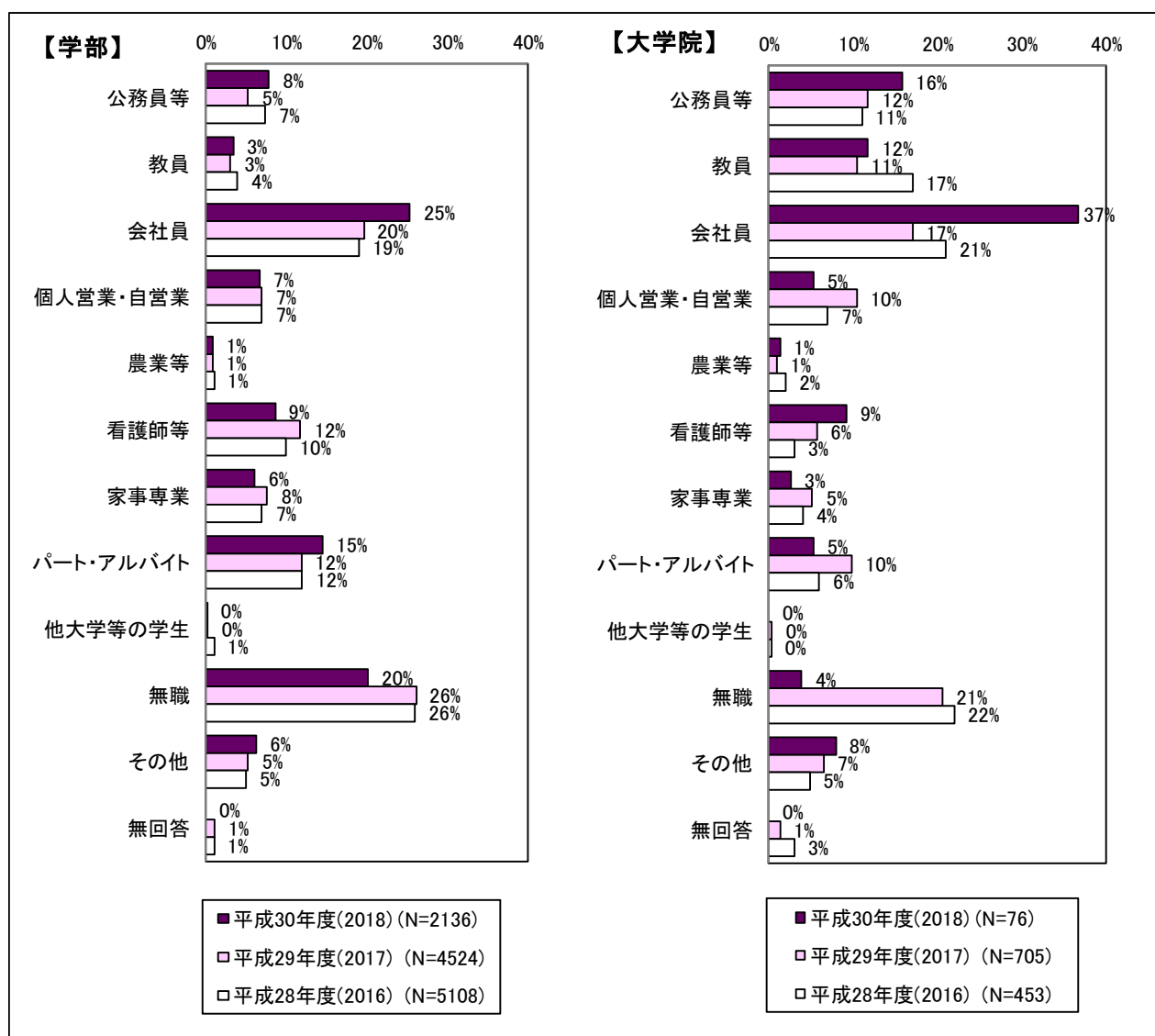
職業別では(図1-3)、学部は「会社員」が25%と最も多く、次いで「無職」20%、「パート・アルバイト」が15%で上位。

時系列でみると、昨年度よりも「会社員」と「パート・アルバイト」の割合が増加している。

大学院では「会社員」が37%と最多で、次に「公務員等」16%、「教員」12%と続いた。昨年度までの比較では「会社員」の増加が目立っていた。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているため、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図1-3 職業別回答者

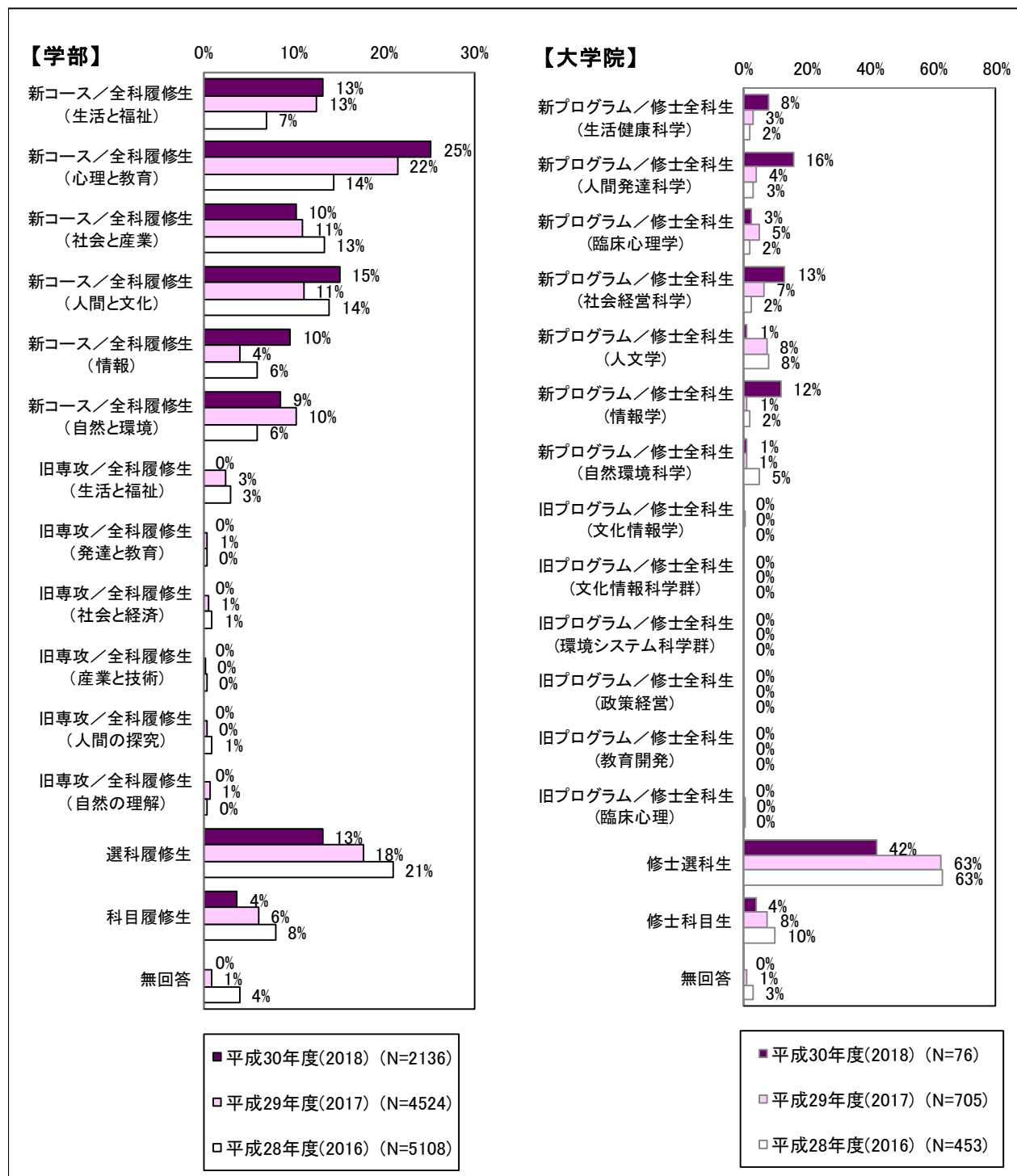


(5) 所属コース（プログラム）別分布（2018年新規開設科目）

次に学生の所属コース（プログラム）別の分布をみると（図1-4）、学部では全科履修生が83%を占め、そのうち新コース所属が大半で、旧専攻所属が1%となっている。全科履修生の中では、新コースの「心理と教育」（25%）、「人間と文化」（15%）、「生活と福祉」（13%）が上位を占めた。

大学院では修士選科生が42%を占めており、修士全科生が54%、修士科目生が4%であった。修士全科生の所属プログラムでは「人間発達科学」（16%）、「社会経営科学」（13%）、「情報学」（12%）が上位を占めていた。

図1-4 学生の所属コース（プログラム）別回答者



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。

実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、13頁～18頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3)公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ及び広報誌「On Air」紙上等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期（4～8月中）や方法（オンライン上での調査・集計）が異なること
- ・放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・対象科目が少ない（学部5科目、大学院13科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部 1

2018年度学生による授業評価の調査結果【2018年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

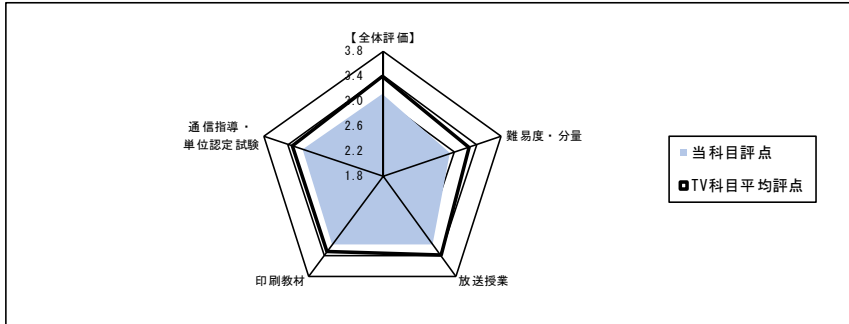
教員氏名 ○○○○

(注)平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	66	44%	33%	18%	5%	3.17	3.44	3.46	-0.29
	A-2 放送授業を十分に視聴した	66	46%	33%	17%	5%	3.20	3.25	3.32	-0.12
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	66	30%	46%	21%	3%	3.03	3.39	3.39	-0.36

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	66	23%	52%	18%	8%	2.89	3.25	3.23	-0.34
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	66	29%	44%	21%	6%	2.95	3.31	3.29	-0.34
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	66	21%	52%	23%	5%	2.89	3.25	3.23	-0.34
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	66	30%	50%	15%	5%	3.06	3.32	3.30	-0.24
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	66	33%	36%	24%	6%	2.97	3.31	3.35	-0.38
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	66	53%	36%	6%	5%	3.38	3.50	3.54	-0.16
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	66	35%	44%	14%	8%	3.06	3.34	3.37	-0.31
	B-8 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	66	50%	32%	9%	9%	3.23	3.23	3.32	-0.09
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	66	36%	47%	14%	3%	3.17	3.34	3.35	-0.18
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	66	29%	46%	21%	5%	2.98	3.25	3.25	-0.27
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	66	46%	47%	6%	2%	3.36	3.18	3.31	0.05
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	66	33%	50%	14%	3%	3.14	3.32	3.34	-0.20
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	66	30%	52%	11%	8%	3.05	3.32	3.32	-0.27
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	66	47%	42%	8%	3%	3.33	3.42	3.42	-0.09
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	66	38%	35%	20%	8%	3.03	3.25	3.22	-0.19
全体評価	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	66	39%	46%	11%	5%	3.20	3.34	3.34	-0.14
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	66	39%	41%	15%	5%	3.15	3.42	3.42	-0.27
	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	66	56%	35%	5%	5%	3.42	3.52	3.51	-0.09
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	66	20%	47%	24%	9%	2.77	3.21	3.20	-0.43
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	66	33%	42%	20%	5%	3.05	3.39	3.40	-0.35

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属）						全科履修生（旧コース所属）	全科履修生【小計】	選科履修生	科目履修生	無回答	計
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報コース	自然と産業						
	5	23	7	4	11	5	1	56	8	2	0	66

性別	男性	女性	無回答	計
	40	26	0	66

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	0	9	7	19	17	13	1	0	66

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	2	3	21	2	1	4	3	13	0	14	3	0	66

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導未提出	無回答	計
	受験	未受験			
	61	3	0	2	66

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	9	18	39	0	66

学部 2018年度学生による授業評価の調査結果【2018年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

			A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ							A-2 放送授業を十分に視聴した							A-3 印刷教材を熱心に学習した									
			回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定評価	評点平均
				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答		
合計（全体）			2136	54%	37%	8%	1%	0%	91%	3.44	2136	48%	33%	15%	4%	0%	81%	3.25	2136	51%	38%	10%	1%	0%	89%	3.39
			1151	796	165	24	0				1028	699	315	94	0				1087	820	210	19	0			
学生種別	全科	生活と福祉	284	51%	38%	9%	2%	0%	89%	3.39	284	43%	33%	17%	6%	0%	76%	3.13	284	55%	34%	10%	1%	0%	89%	3.42
			146	108	24	6	0				123	94	49	18	0				155	97	29	3	0			
		心理と教育	541	53%	37%	8%	1%	0%	91%	3.43	541	46%	34%	17%	4%	0%	79%	3.20	541	49%	40%	11%	1%	0%	89%	3.37
			288	202	45	6	0				246	181	92	22	0				263	216	59	3	0			
		社会と産業	219	54%	38%	7%	0%	0%	93%	3.47	219	47%	33%	16%	5%	0%	80%	3.21	219	52%	40%	8%	1%	0%	91%	3.42
			119	84	16	0	0				102	72	34	11	0				113	87	18	1	0			
		人間と文化	322	63%	31%	6%	0%	0%	94%	3.57	322	62%	26%	10%	2%	0%	88%	3.47	322	62%	30%	8%	0%	0%	92%	3.53
			203	100	18	1	0				199	83	33	7	0				199	97	25	1	0			
		情報	208	47%	39%	11%	3%	0%	86%	3.29	208	47%	33%	15%	6%	0%	79%	3.20	208	42%	40%	14%	4%	0%	82%	3.20
			98	80	23	7	0				97	68	31	12	0				87	84	29	8	0			
	自然と産業	183	50%	43%	7%	1%	0%	93%	3.42	183	42%	39%	13%	6%	0%	81%	3.18	183	41%	45%	13%	1%	0%	86%	3.26	
		91	79	12	1	0				77	72	24	10	0				75	83	23	2	0				
	全科（旧専攻所属）	16	56%	38%	6%	0%	0%	94%	3.50	16	44%	44%	13%	0%	0%	88%	3.31	16	63%	31%	6%	0%	0%	94%	3.56	
		9	6	1	0	0				7	7	2	0	0				10	5	1	0	0				
	全科履修生【小計】	1773	54%	37%	8%	1%	0%	91%	3.44	1773	48%	33%	15%	5%	0%	81%	3.24	1773	51%	38%	10%	1%	0%	89%	3.38	
		954	659	139	21	0				851	577	265	80	0				902	669	184	18	0				
	選科履修生	282	54%	38%	7%	1%	0%	92%	3.44	282	49%	33%	14%	5%	0%	82%	3.26	282	50%	42%	7%	0%	0%	92%	3.42	
		151	108	20	3	0				138	92	39	13	0				142	118	21	1	0				
	科目履修生	81	57%	36%	7%	0%	0%	93%	3.49	81	48%	37%	14%	1%	0%	85%	3.32	81	53%	41%	6%	0%	0%	94%	3.47	
		46	29	6	0	0				39	30	11	1	0				43	33	5	0	0				
認定試験・通信指導	試験単位認定	受験	2008	55%	37%	7%	1%	0%	92%	3.46	2008	49%	33%	14%	4%	0%	82%	3.26	2008	52%	39%	9%	1%	0%	91%	3.42
			1105	747	140	16	0				983	660	279	86	0				1041	776	177	14	0			
	未受験	81	28%	37%	26%	9%	0%	65%	2.85	81	32%	35%	27%	6%	0%	67%	2.93	81	25%	37%	32%	6%	0%	62%	2.80	
		23	30	21	7	0				26	28	22	5	0				20	30	26	5	0				
	通信指導未提出	11	27%	46%	18%	9%	0%	73%	2.91	11	27%	18%	46%	9%	0%	46%	2.64	11	36%	36%	27%	0%	0%	73%	3.09	
		3	5	2	1	0				3	2	5	1	0				4	4	3	0	0				

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評点については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

提供資料サンプル【学部】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>[全科履修生 新コース所属の方]</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>[全科履修生 旧専攻所属の方]</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>[選科履修生・科目履修生]</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院51

2018年度学生による授業評価の調査結果【2018年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

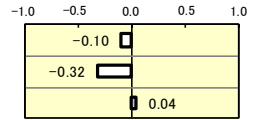
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

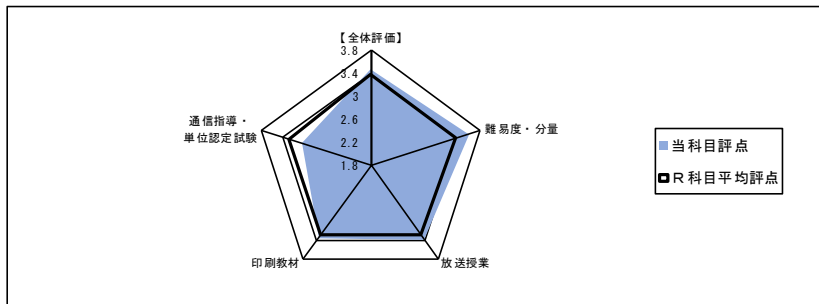
1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
取組み姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	7	43%	57%	0%	0%	3.43	3.53	3.53
	A-2 放送授業を十分に視聴した	7	29%	43%	29%	0%	3.00	3.32	3.32
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	7	57%	43%	0%	0%	3.57	3.53	3.53

【当科目評点と、R科目平均評点との差】

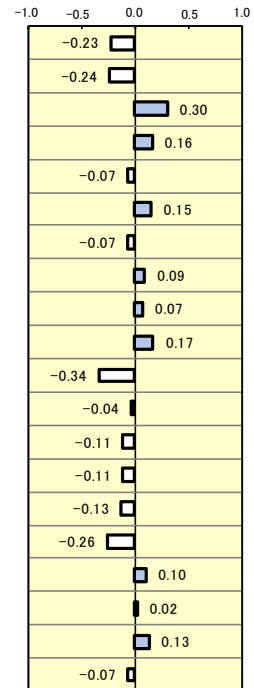


2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点		
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	7	14%	86%	0%	0%	3.14	3.37	3.37
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	7	14%	86%	0%	0%	3.14	3.38	3.38
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	7	71%	29%	0%	0%	3.71	3.41	3.41
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	7	57%	43%	0%	0%	3.57	3.41	3.41
放送授業	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	7	29%	57%	14%	0%	3.14	3.21	3.21
	B-6 講師の熱意が十分に伝わった	7	57%	43%	0%	0%	3.57	3.42	3.42
	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	7	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36
	B-8 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	7	29%	57%	14%	0%	3.14	3.05	3.05
印刷教材	B-9 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	7	29%	71%	0%	0%	3.29	3.22	3.22
	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	7	43%	57%	0%	0%	3.43	3.26	3.26
	B-11 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	7	0%	86%	14%	0%	2.86	3.20	3.20
	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	7	29%	71%	0%	0%	3.29	3.33	3.33
通信指導・単位認定試験	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	7	14%	71%	14%	0%	3.00	3.11	3.11
	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	7	14%	86%	0%	0%	3.14	3.25	3.25
	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	7	29%	43%	29%	0%	3.00	3.13	3.13
全体評価	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	7	14%	71%	14%	0%	3.00	3.26	3.26
	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	7	57%	43%	0%	0%	3.57	3.47	3.47
	B-18 新しい知識が身につく視点が広がった	7	71%	14%	14%	0%	3.57	3.55	3.55
	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた	7	43%	57%	0%	0%	3.43	3.30	3.30
	B-20 この科目の内容には全体として満足している	7	29%	71%	0%	0%	3.29	3.36	3.36

【当科目評点と、R科目平均評点との差】



3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科目生(新コース所属)										計		
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学	自然環境科学	修士全科目生(旧コース所属)	修士全科目生【小計】	修士選科生		修士科目生	無回答
	0	4	0	0	0	0	0	0	4	3	0	0	7

性別	男性	女性	無回答	計
	4	3	0	7

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	0	0	1	1	2	2	1	0	7

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	1	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	7

通信指導・単位認定試験	単位認定試験		通信指導		無回答	計
	受験	未受験	未提出	無回答		
	7	0	0	0	0	7

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	0	3	4	0	7

	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ									A-2 放送授業を十分に視聴した									A-3 印刷教材を熱心に学習した								
	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	評点 平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	評点 平均	回答数	選択肢別の回答割合・回答数					肯定 評価	評点 平均			
		4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答				4	3	2	1	無回答					
合計（全体）	76	57%	40%	4%	0%	0%	96%	3.53	76	47%	37%	16%	0%	0%	84%	3.32	76	58%	37%	5%	0%	0%	95%	3.53			
学生種別	修士全科	生活健康科学	6	17%	67%	17%	0%	0%	83%	3.00	6	33%	67%	0%	0%	0%	100%	3.33	6	33%	50%	17%	0%	0%	83%	3.17	
		人間発達科学	12	83%	17%	0%	0%	0%	100%	3.83	12	58%	33%	8%	0%	0%	92%	3.50	12	83%	17%	0%	0%	0%	100%	3.83	
		臨床心理学	2	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	2	50%	0%	50%	0%	0%	50%	3.00	2	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	
		社会経営科学	10	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	10	80%	0%	20%	0%	0%	80%	3.60	10	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	
		人文学	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	1	0%	100%	0%	0%	0%	100%	3.00	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	
		情報学	9	44%	56%	0%	0%	0%	100%	3.44	9	33%	56%	11%	0%	0%	89%	3.22	9	33%	44%	22%	0%	0%	78%	3.11	
		自然環境科学	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	1	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	
	修士全科目 【小計】	41	71%	27%	2%	0%	0%	98%	3.68	41	54%	34%	12%	0%	0%	88%	3.41	41	71%	22%	7%	0%	0%	93%	3.63		
	修士選科生	32	38%	56%	6%	0%	0%	94%	3.31	32	34%	44%	22%	0%	0%	78%	3.13	32	44%	53%	3%	0%	0%	97%	3.41		
	修士科目生	3	67%	33%	0%	0%	0%	100%	3.67	3	100%	0%	0%	0%	0%	100%	4.00	3	33%	67%	0%	0%	0%	100%	3.33		
認定試験・ 通信指導	単位認定 試験	受験	74	57%	41%	3%	0%	0%	97%	3.54	74	47%	37%	16%	0%	0%	84%	3.31	74	58%	37%	5%	0%	0%	95%	3.53	
		未受験	2	50%	0%	50%	0%	0%	50%	3.00	2	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50	2	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50	
	通信指導未提出	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00		

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評点については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

提供資料サンプル【大学院】

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(大学院)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[修士全科生 新プログラム所属の方] 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 [修士全科生 旧プログラム所属の方] 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 [修士選科生・修士科目生] 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取ることは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を同時に提示した。これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかほどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数を提示する。本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、データの構造上、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなる傾向で、注意が必要である。たとえば、学部の職業別の「農業等」（18人）と「他大学等の学生」（5人）や年齢階層別「19歳以下」（6人）、「夏季集中科目」（11人）などである。

大学院では、職業別の会社員以外の職業（「他大学等の学生」（0人）～「公務員等」（12人）、年齢階層別の「20～29歳」（4人）、「60～69歳」（5人）、「70歳以上」（5人）、プログラム別の「生活健康科学」（7人）、「臨床心理学」（4人）、「情報学」（13人）が挙げられる。

いずれも参考値としてグラフに記載しているが、殆どコメントを割愛した。

表 2 - 1 回答者数一覧

【学部】

全体	(単位:人)	
メディア	年齢階層	
テレビ科目(TV)	1,269	19歳以下 6
ラジオ科目(R)	867	20～29歳 127
職業		30～39歳 258
公務員等	168	40～49歳 551
教員	72	50～59歳 590
会社員	542	60～69歳 497
個人営業・自営業	144	70歳以上 107
農業等	18	コース
看護師等	183	一般科目 231
家事専業	130	外国語 163
パート・アルバイト	309	生活と福祉 367
他大学等の学生	5	心理と教育 411
無職	431	社会と産業 284
その他	134	人間と文化 359
		情報 183
		自然と環境 127
		夏季集中科目(看護) 11

【大学院】

全体	(単位:人)	
メディア	年齢階層	
テレビ科目(TV)	-	20～29歳 4
ラジオ科目(R)	76	30～39歳 22
職業		40～49歳 15
公務員等	12	50～59歳 25
教員	9	60～69歳 5
会社員	28	70歳以上 5
個人営業・自営業	4	プログラム
農業等	1	生活健康科学 7
看護師等	7	人間発達科学 25
家事専業	2	臨床心理学 4
パート・アルバイト	4	社会経営科学 27
他大学等の学生	0	情報学 13
無職	3	
その他	6	

※職業及び年齢には無回答があるため、職業及び年齢階層の回答者数をそれぞれ合計しても、全体の回答者数とは一致しない。

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、A-1～B-20 の評価項目ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。

平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80%と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、過去 2 年間との年度間の比較（22 頁、24 頁等）の箇所は、比率の差の検定結果から、回答者数（2136 人～5106 人）が多いため、概ね 2 ポイントで各比率の差が有意となり、2 ポイント以上で差があることにした。

テレビ科目とラジオ科目のメディア間の比較では、同検定結果から概ね 3 ポイントで有意差がみられるため、3 ポイント以上で差があることにした。

図 2－1 の肯定的評価では各項目とも 87%前後と 8 割後半からの支持率で、特に『全体評価（B-16～B-20）』は 88%の評価であった。

『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』と『全項目平均（A-1～B-20）』はそれぞれ 86%と 87%であった。

図 2－1 【学部】項目平均による全体的傾向

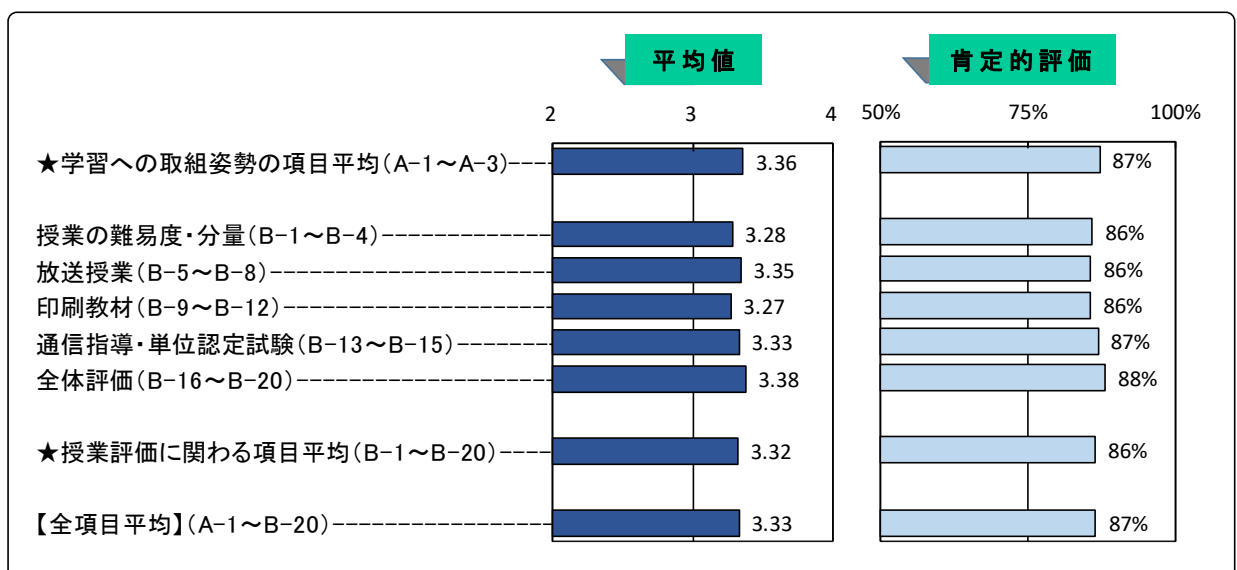
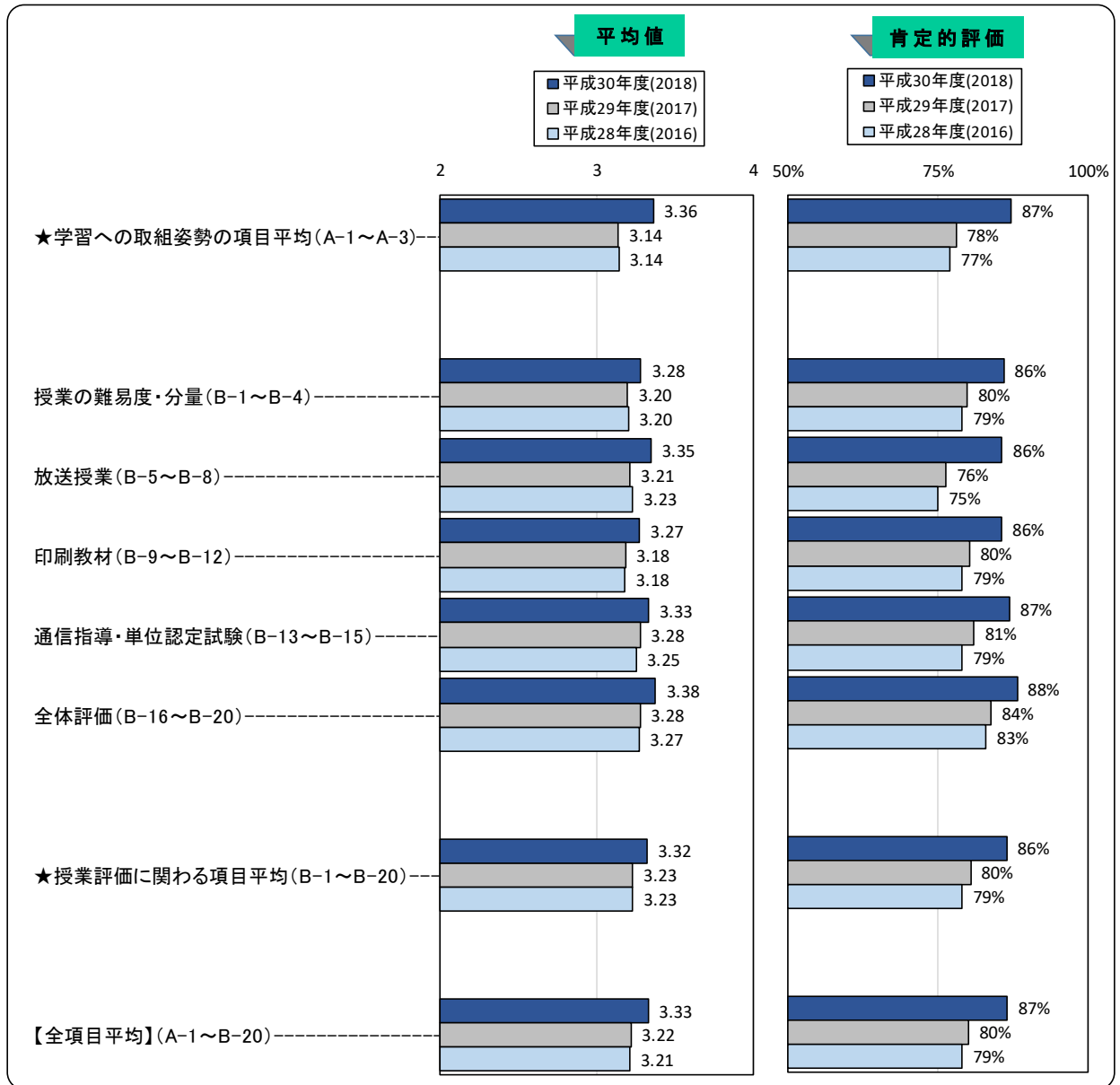


図2-2の項目平均による全体的傾向では過去2年度と本年度を比較すると、少なくとも本年度は+4ポイント以上の差をつけ、特に『学習への取組み姿勢』(87%)と『放送授業』(86%)は共に+10ポイントと大きく評価が上がっていた。

本年度の『全体評価』は昨年度から+4ポイントと上昇幅は最小だか、肯定的評価は88%とほぼ9割に達していた。

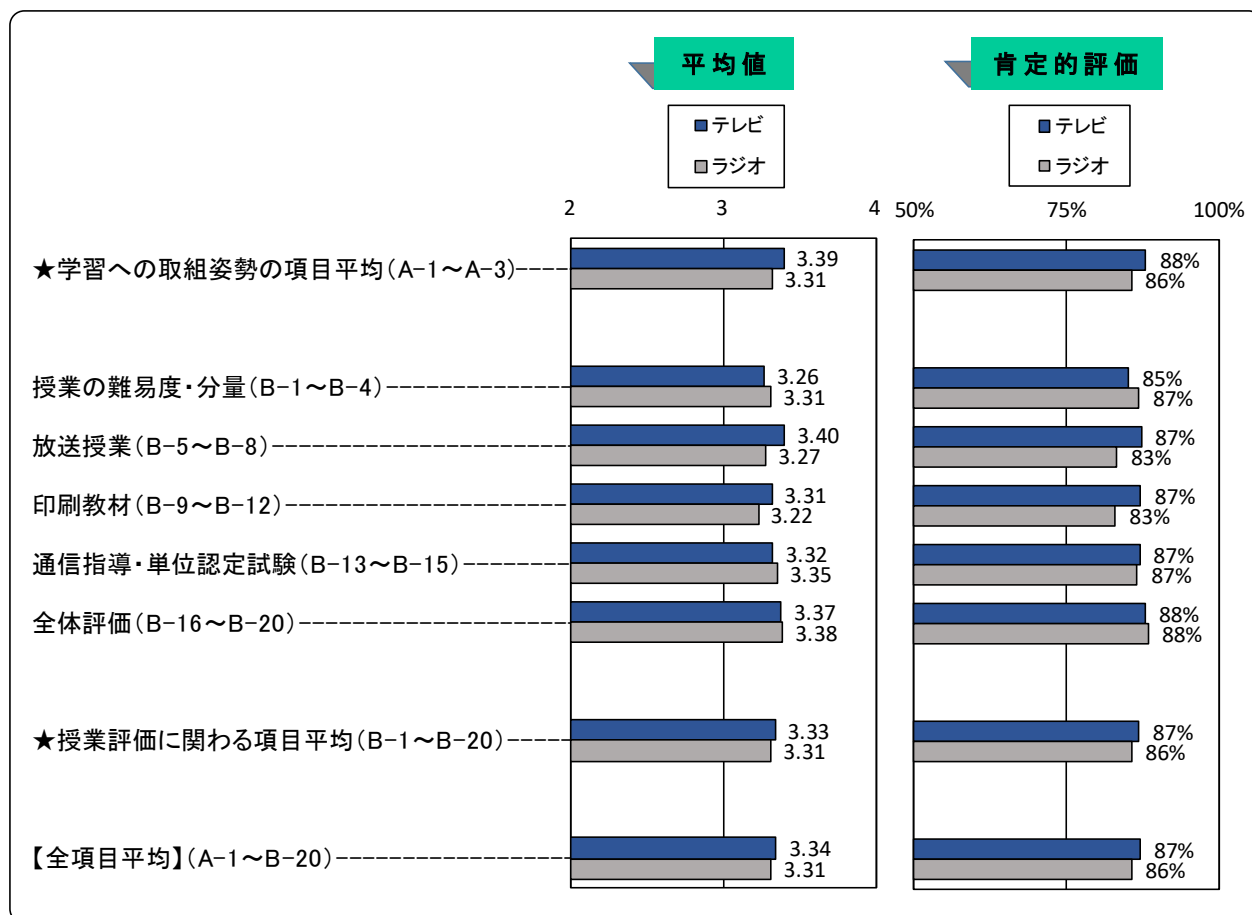
図2-2 【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



メディア別では（図2-3）、テレビ科目（n=1269）とラジオ科目（n=867）のメディア間で『放送授業』と『印刷教材』の差が大きく、4ポイントの差でテレビ科目（各87%）の方が高かった。

逆にラジオ科目が上回ったのは、唯一『授業の難易度・分量』で、+2ポイントの87%であった。

図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向

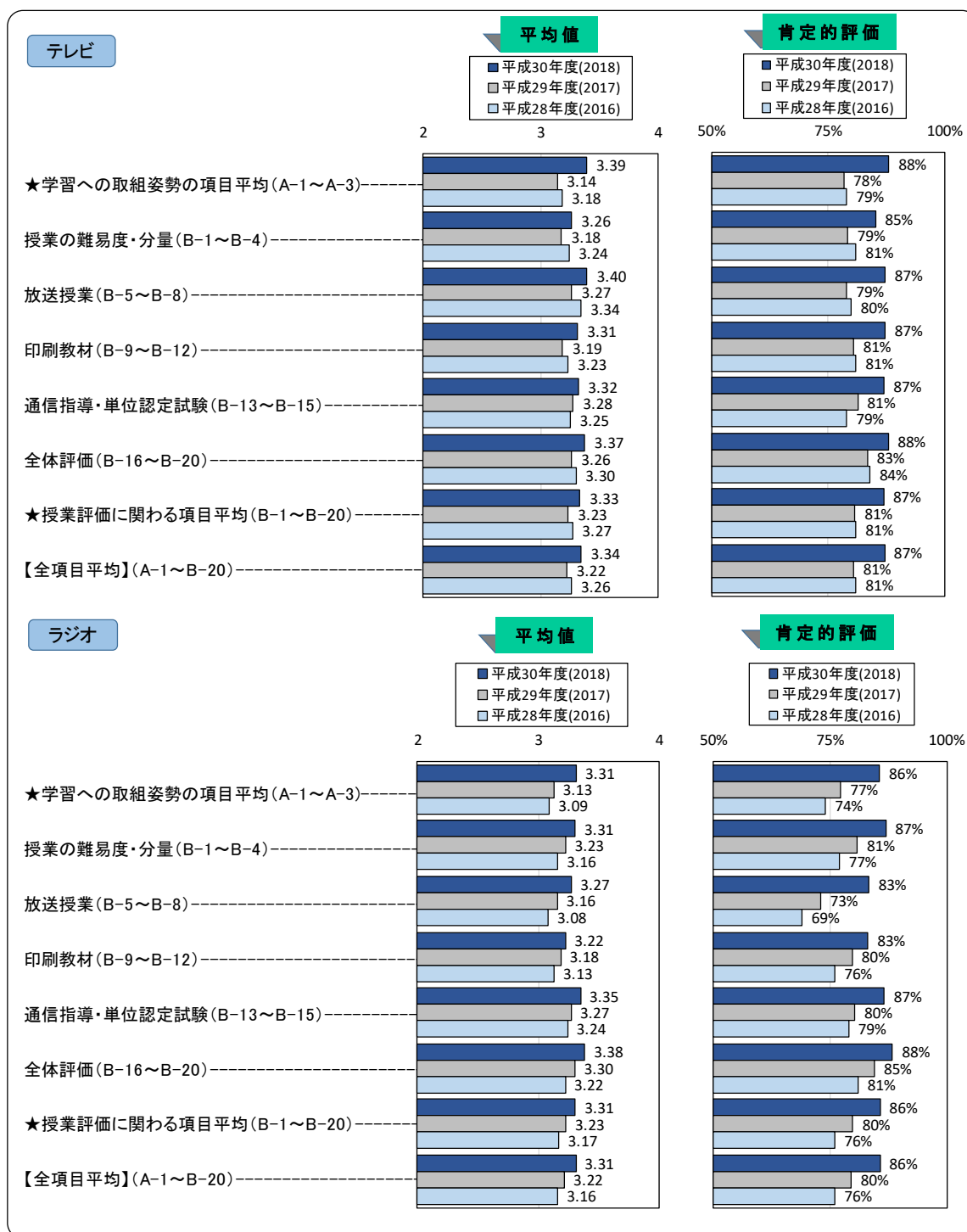


次にメディア別の項目平均を時系列で比較してみると（図2-4）、テレビ科目において、本年度は昨年度までの2年間より全ての項目で上昇が見られ、その差は4~9ポイントであった。特に上昇が大きかったのは『学習への取組み姿勢』（88%）の+9ポイント、次いで『放送授業』（87%）の+7ポイントであった。

ラジオ科目でも全ての項目で上昇があり、最も差が見られたのは『放送授業』（83%）の+10ポイント、次いで『学習への取組み姿勢』（86%）の+9ポイントであった。

反対に最も差が小さかったのは+3ポイントの『印刷教材』（83%）で、他の項目は4から7ポイントで推移していた。

図2-4 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



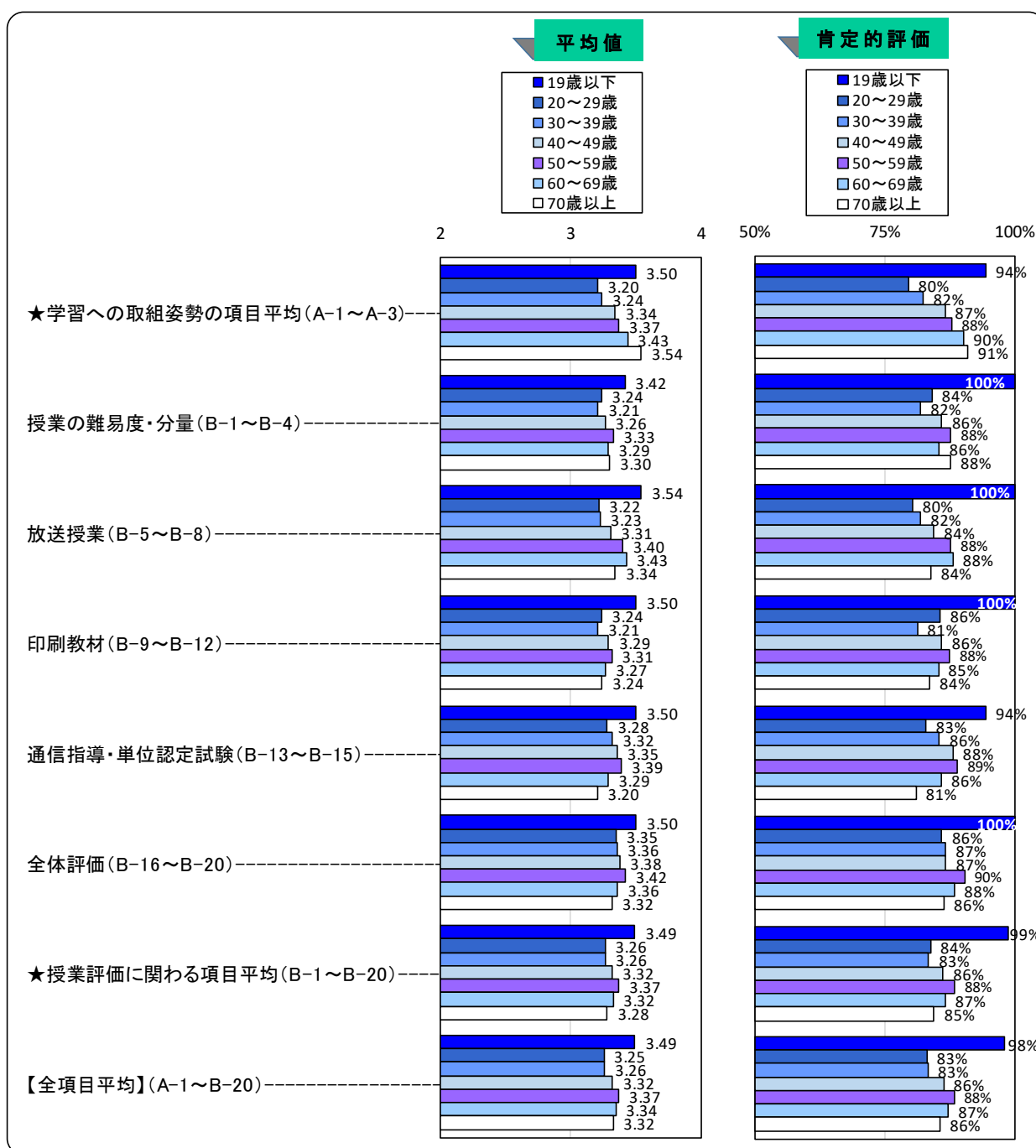
回答者の年齢階層別（図2-5）では、いずれの項目でも19歳以下の評価が突出しているが、19歳以下の回答者が6人と少なく、比率が極端となるため、19頁で述べたとおり、これ以降は言及しないことにする。

他の年代だけで見ると『学習への取組み姿勢』は年代が上がるにつれ、評価の上昇がみられ60歳代で90%、70歳以上で91%に達していた。

他に特徴的であったのは、『放送授業』から最下段の『全項目平均』において、50歳代の評価が最も高く、各項目で88%から90%と高い支持率を示していた。

反対に20歳代と30歳代の若い層は、各項目で評価が低い傾向であったが、それでも8割前半の評価であった。

図2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向

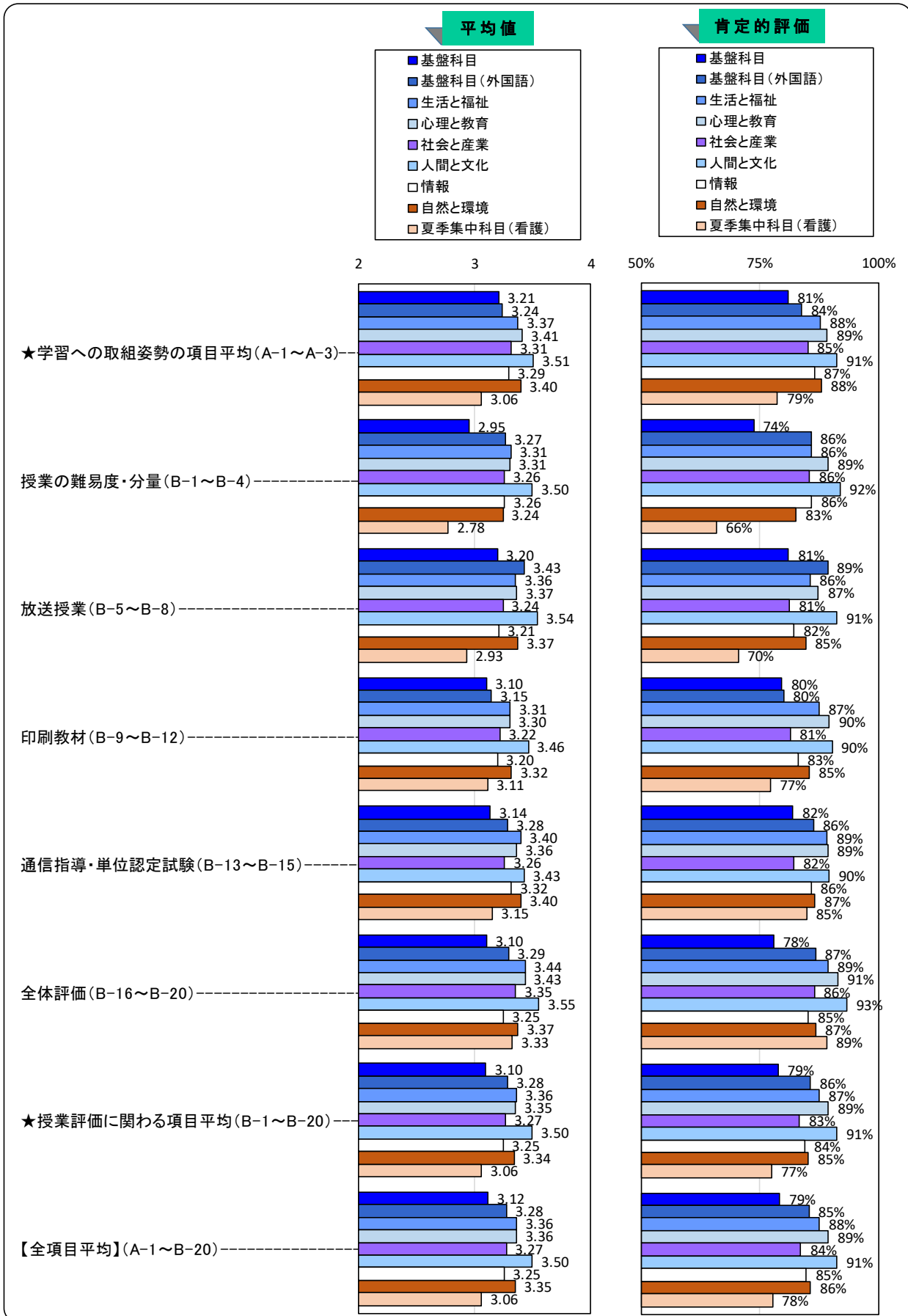


科目の所属コース別に項目平均をみると（次頁図 2 - 6）、「人間と文化」は全項目にわたって他の科目に比べ評価が最も高く、次いで「心理と教育」も全 8 項目中 7 項目で第二位の支持を集めていた。

反対に「夏季集中科目(看護)」は 6 項目で最下位と評価が低かった。ただ、この科目に所属する回答者が 11 人と少ないため比率が極端な値となり、19 頁で述べたとおりこれ以降は言及しないことにする。

それ以外、各評価項目で「基盤科目」は、他の科目に比べ評価が低く、『授業の難易度・分量』（74%）と『全体評価』（78%）が 7 割台、『全項目平均』では、79%と唯一 80%を下回っていた。

図 2 - 6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向

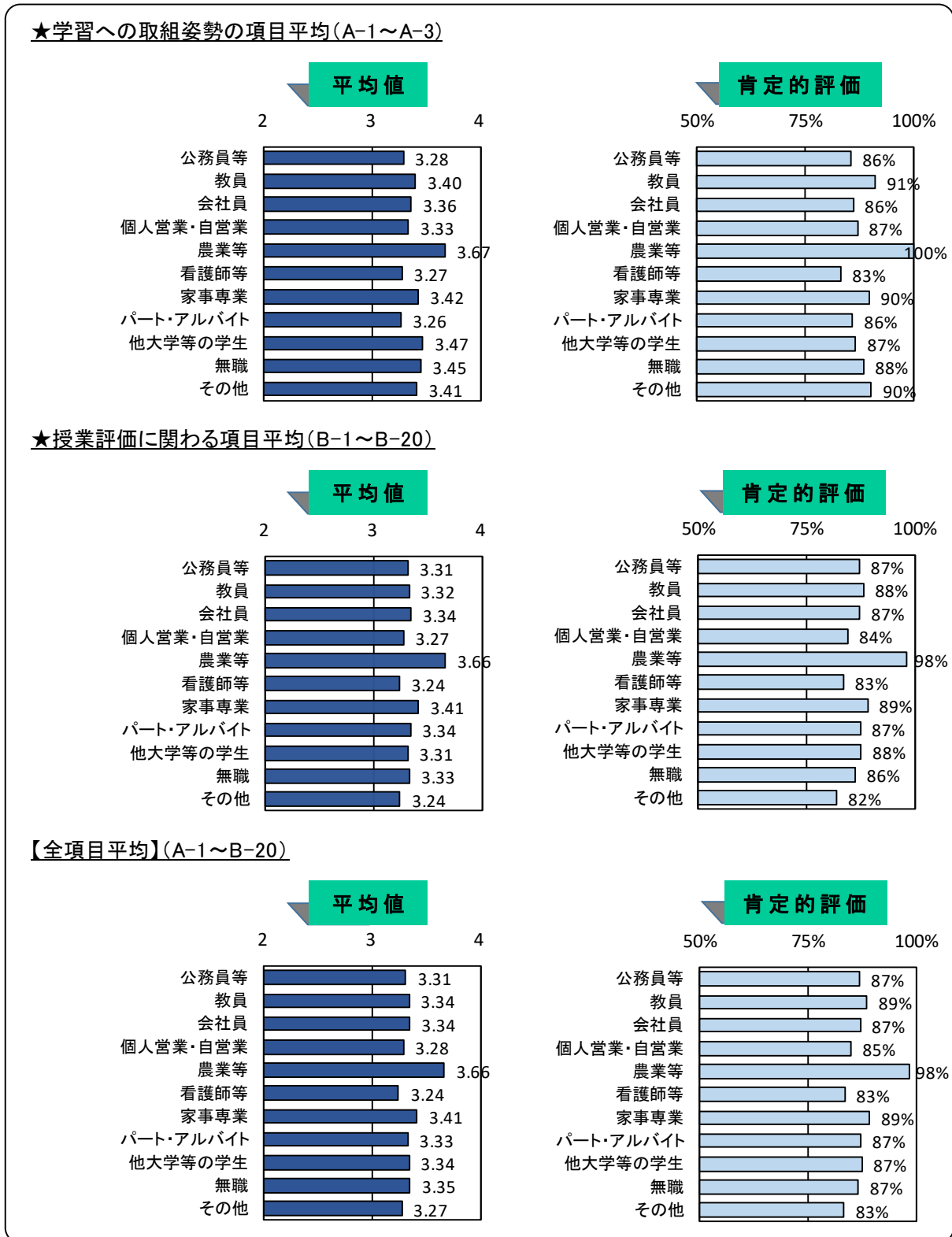


職業別では（頁図2-7）『学習への取組み姿勢』『授業の難易度・分量』において「農業等」の評価が最も高く、「教員」「家事専業」がこれに続く。

（「農業等」の回答者数は18人と小サンプルなため、今回の結果は参考値と考え、以後言及を割愛する。）

反対に最も評価が低かったのは「看護師等」で『全項目平均』で83%であった。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向

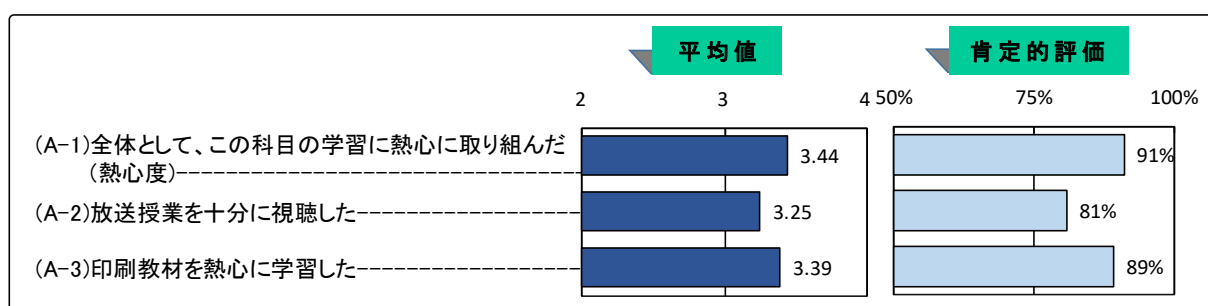


Ⅱ-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果をみていく。

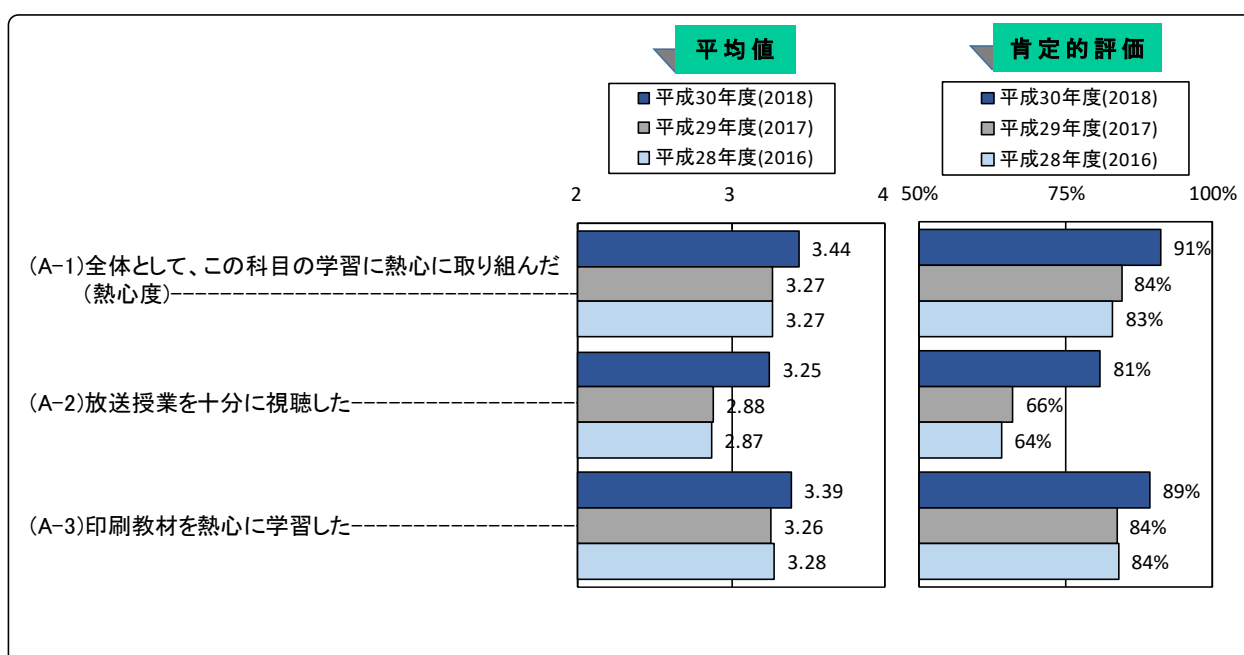
学習への取組み姿勢（図2-8）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」の肯定的評価は91%と、9割以上の履修生は熱心に学習していた。同様に(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も肯定的評価が89%であった。しかし、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は81%と前述の項目に比べ低く、学習は印刷教材のウエイトが高かった。

図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢



取組姿勢を時系列でみると（図2-9）、いずれの項目でも肯定的評価は過去2年度と上回っており、特に(A-2)「放送授業を十分に視聴した」（81%）は過去2年度より15ポイント以上、上昇していた。

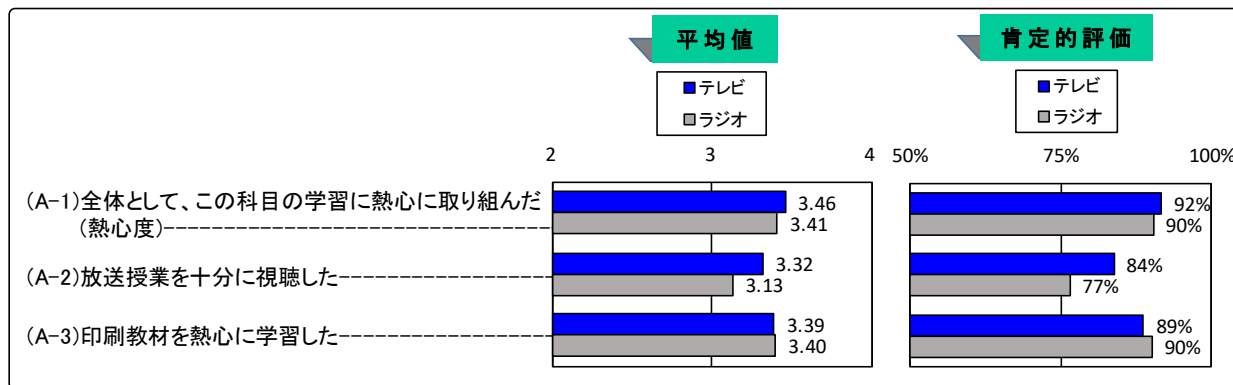
図2-9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」はメディア別には、ほとんど差はなく、いずれも9割に達していた。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」ではテレビが7ポイントアップと差が開いた。

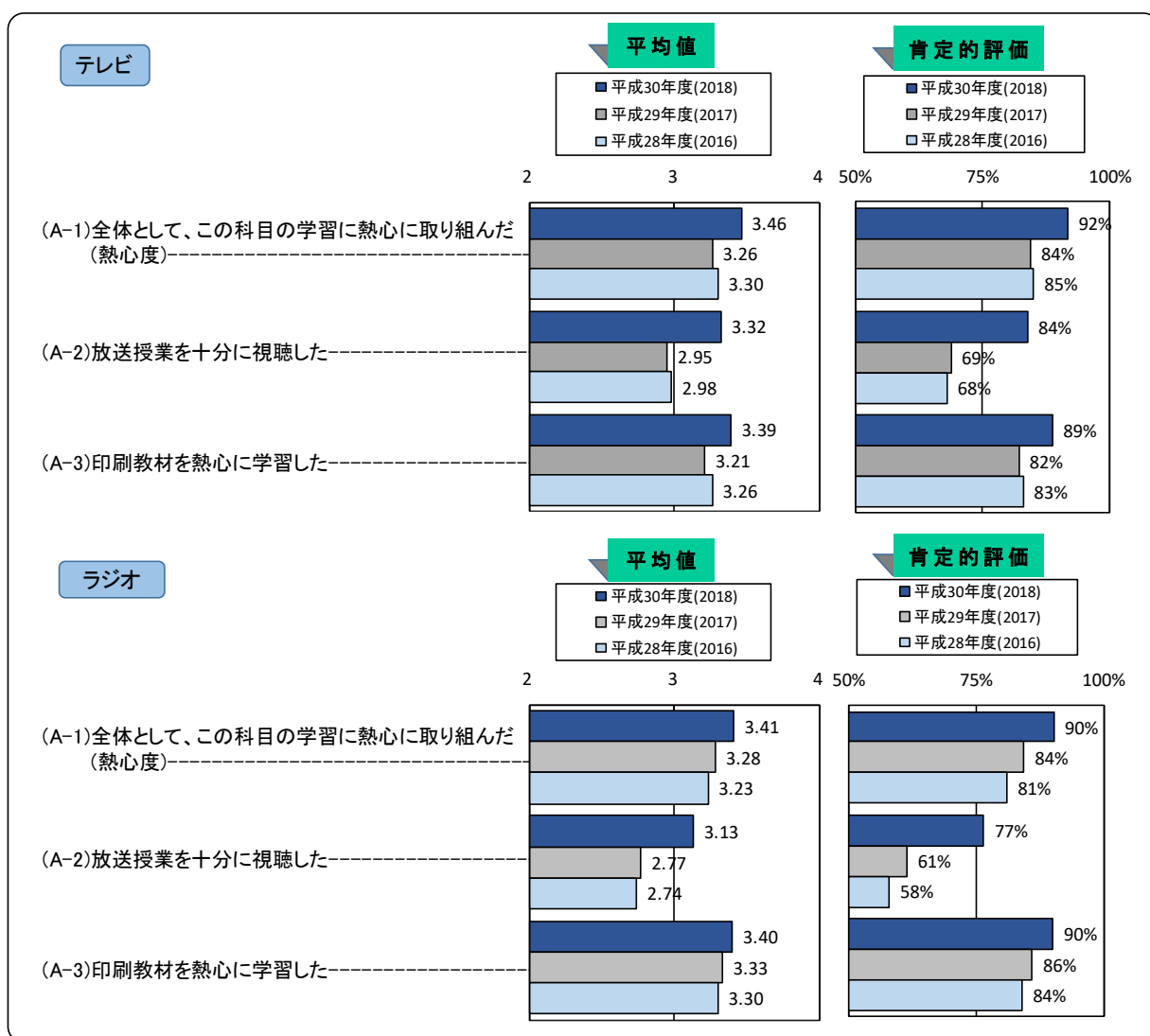
図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列でみると（図2-11）、テレビ科目は、過去2年度に比べ3項目とも評価が上がっており、特に（A-2）の「放送授業を十分に視聴した」では+15ポイントと際立っていた。

ラジオ科目はテレビ科目と同じ傾向で、過去2年度に比べ3項目とも評価の上昇がみられ、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は+16ポイントと大幅な上昇であった。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）

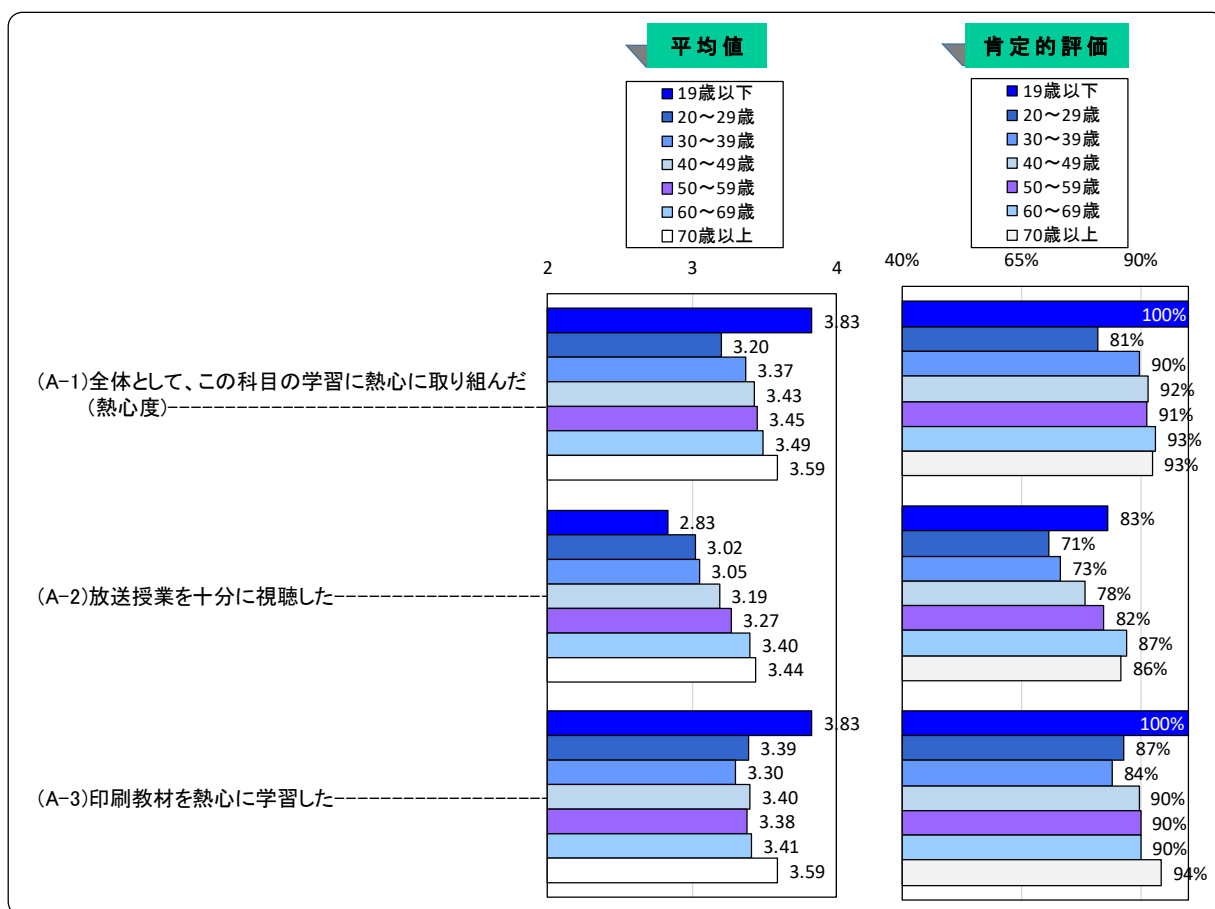


年齢階層別に取り組姿勢をみると（図2-12）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は20歳代(81%)より上の年代層は熱心度が高く、9割に達していた。

次の(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は20歳代から年代が上がるとともに取り組み姿勢も上昇し、60歳代で87%に達していた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では70歳以上が94%で最も高く、反対に30歳代が84%と9割を下回っていた。

図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢

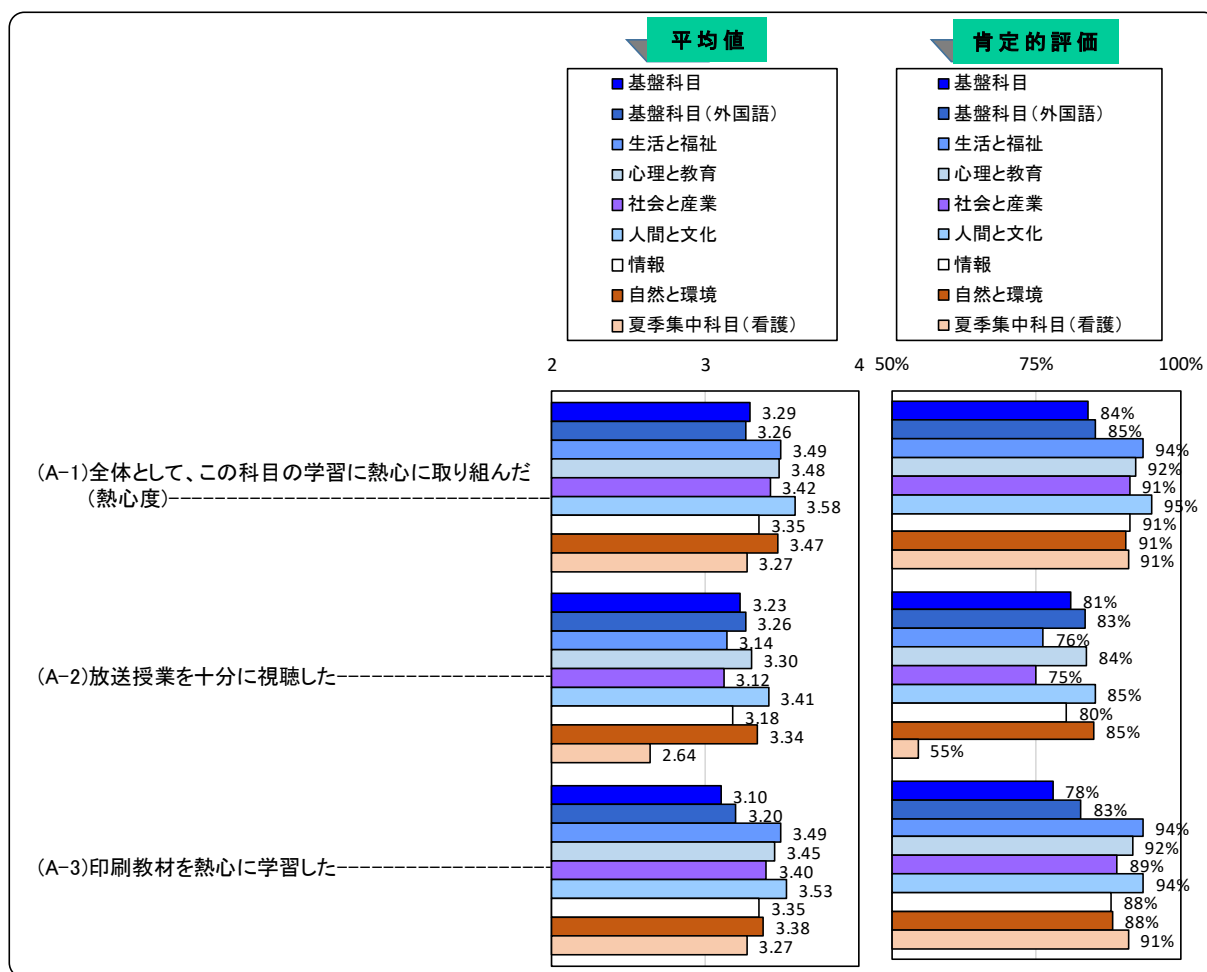


所属コース別に取り組姿勢をみると（図2-13）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「基盤科目」と「基盤科目（外国語）」が8割台で他の科目と比べ低く、それ以外の科目は90%以上と熱心度は高かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「生活と福祉」と「社会と産業」が7割台で低くかった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「基盤科目」（78%）と「基盤科目（外国語）」（83%）以外は、90%前後と熱心度は高かった。

図2-13 【学部】所属コース別の取組姿勢



職業別に取り組姿勢をみると（次頁図 2 - 1 4）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は、小サンプルの「農業等」と「他大学などの学生」を除けば「教員」(94%)が高く、反対に「看護師等」(88%)は低かった。

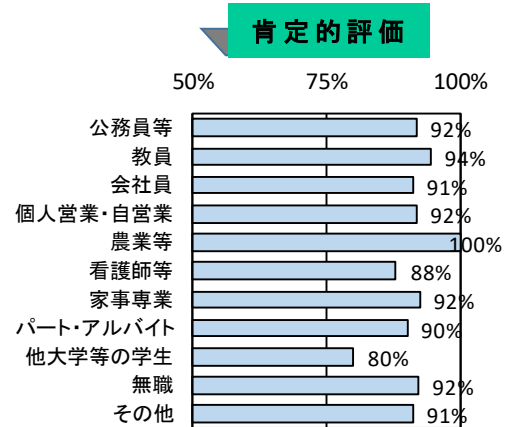
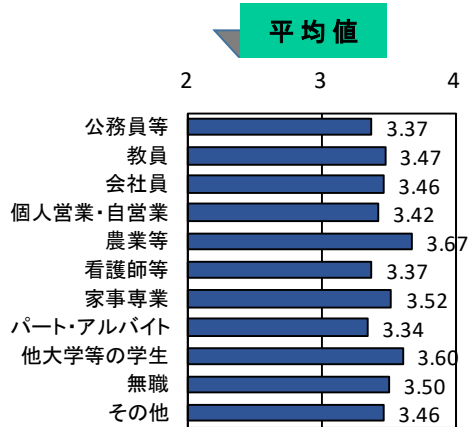
その他の職業は 90% 台前半であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は「その他」(88%)と「教員」(86%)が高く、反対に「看護師等」は 70% と他の職業に比べ極端に低かった。

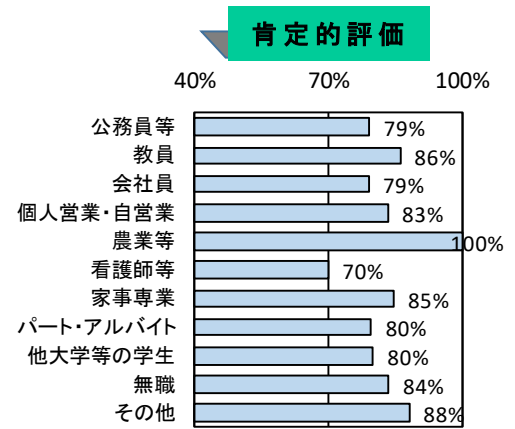
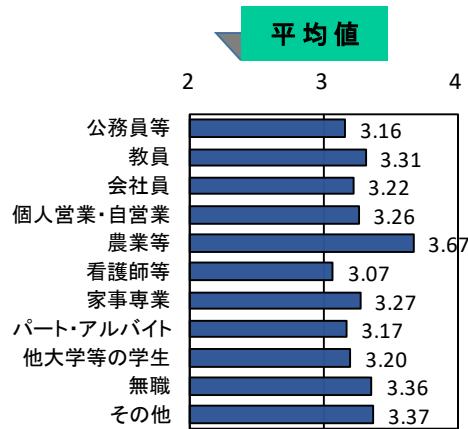
(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「教員」「看護師等」「家事専業」「無職」「その他」が特に高く 90% を越えていた。

図 2 - 1 4 【学部】職業別の取組姿勢

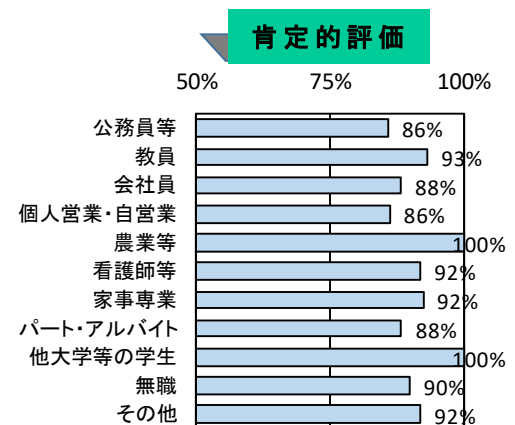
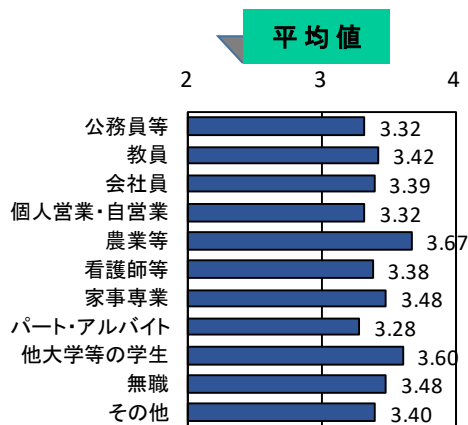
(A-1)全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ



(A-2)放送授業を十分に視聴した



(A-3)印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図 2 - 1 5）は、全体では『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が 71%と大半を占め、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が 21%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』はわずか 7%で、「印刷教材」の利用者が大半を占めていた。

メディア別では「テレビ科目」は全体と同じ傾向であったが、「ラジオ学科」は『両方の学習で臨んだ』が 68%と 7 割を下回り、『ほとんど印刷教材の学習だけ』が 27%とテレビ科目を 9 ポイント上回っていた。

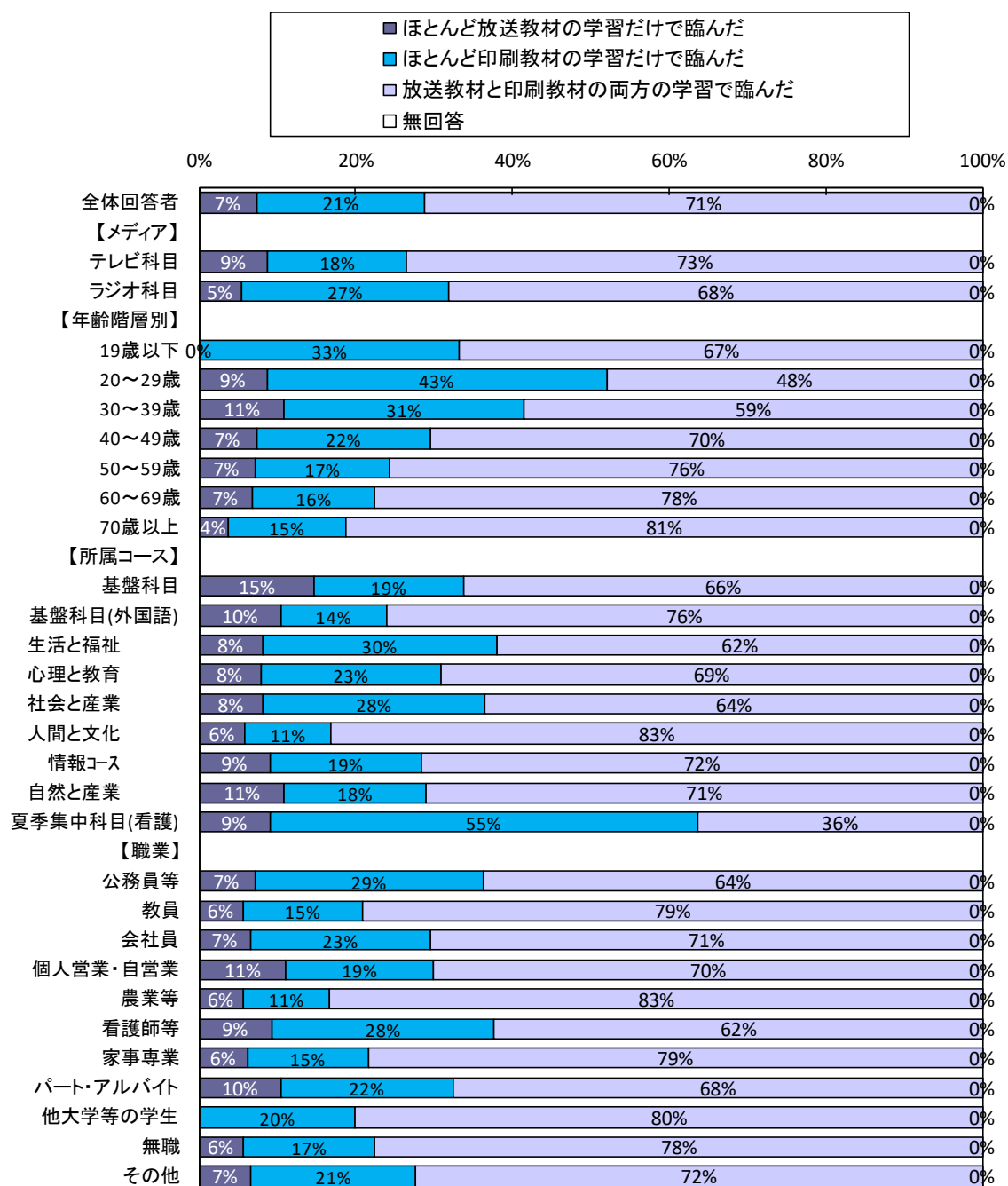
「年齢階層別」では 19 歳以下を除けば、年代の上昇と共に『両方の学習で臨んだ』が増加し、『ほとんど印刷教材の学習だけ』はその逆の傾向であった。

『ほとんど放送教材の学習だけ』は 30 歳代で高く、70 歳以上で低かった。

「所属コース別」では『両方の学習で臨んだ』が最も多かったのは「人間と文化」の 83%、最も少なかったのは「生活と福祉」の 62%であった。

「職業別」では、「教員」と「家事専業」の『両方の学習で臨んだ』が 79%と、8 割近くに達していた。

図 2 - 1 5 【学部】 単位認定のための学習方法



Ⅱ-1-3. 学部の授業評価

(1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

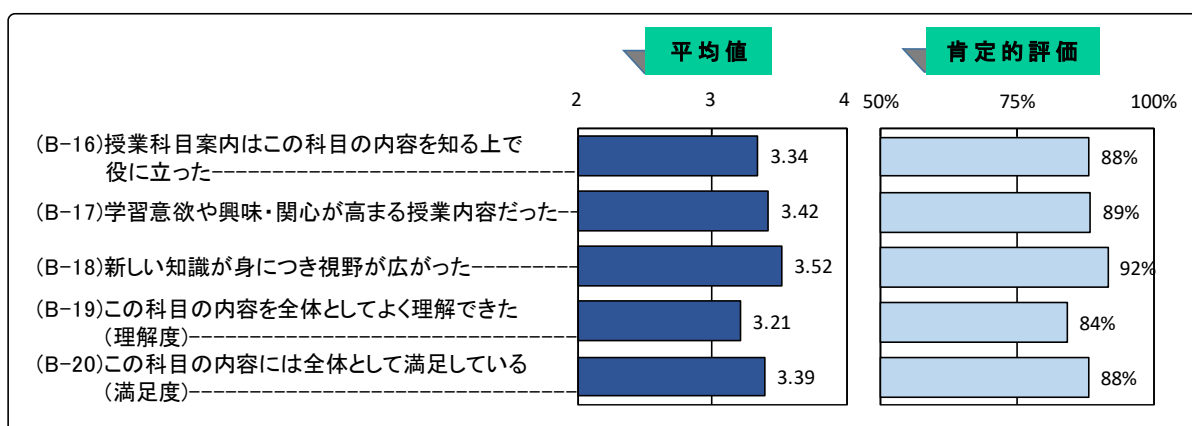
まず全体評価の各項目では(図2-16)、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は92%と高い評価を得ていた。

反対に(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」はこの5項目の中では最も低かったが、84%と8割以上であった。

他(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も9割弱と高率であった。

さらに(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」も88%と9割近くから支持を得ていた。

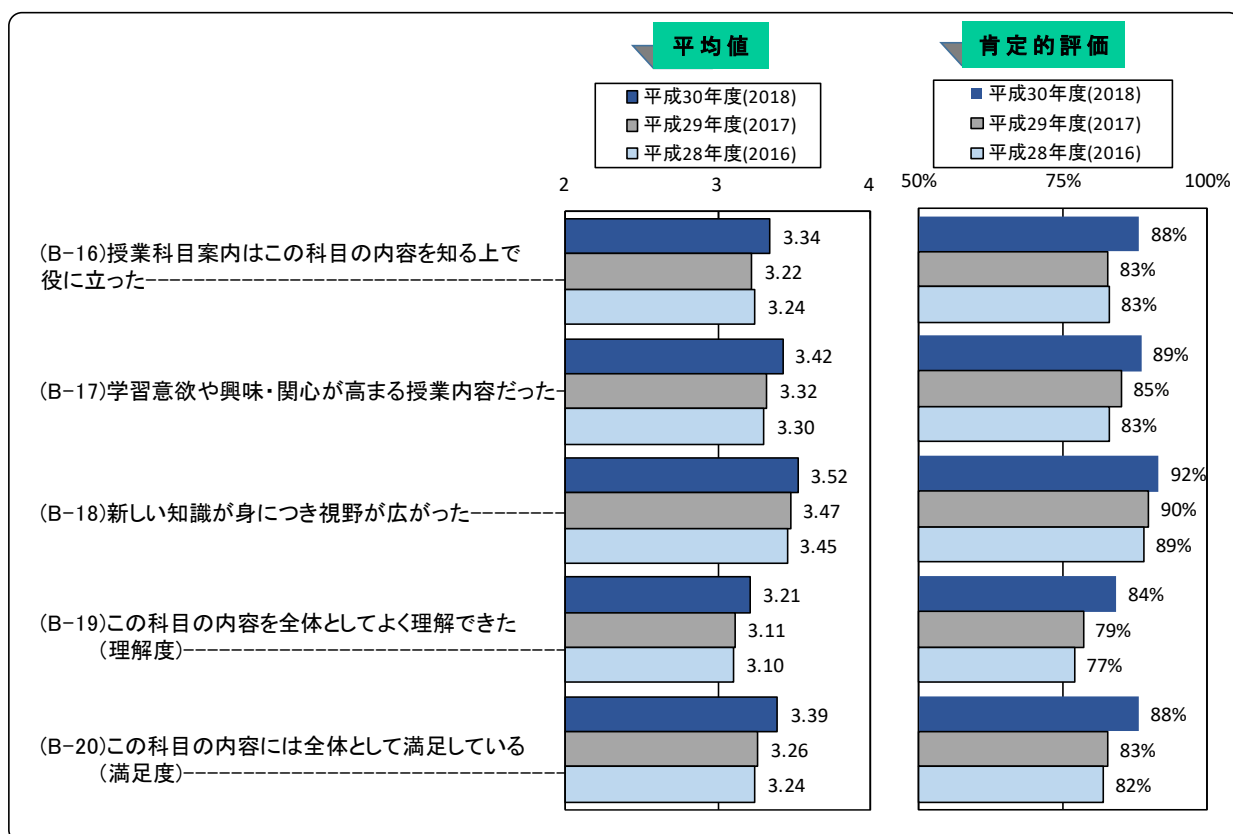
図2-16 【学部】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2-17）、本年度は、どの項目も過去2年度から上昇がみられ、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」、(B-19)「この科目の内容を全体として理解できた（理解度）」、(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」の3項目は+5ポイントとなっている。

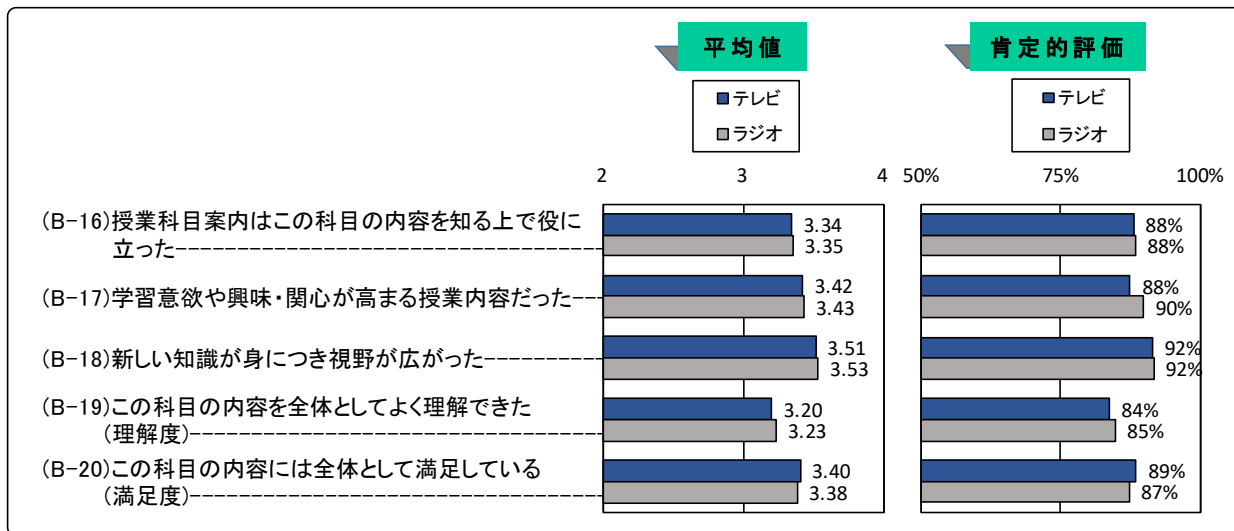
(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」も+4ポイントの89%、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、上昇幅が+2ポイントと小さいが92%に達していた。

図2-17【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価をみると（図2-18）、各項目共テレビ科目とラジオ科目に開きはなく、同水準であった。

図2-18 【学部】メディア別の全体評価



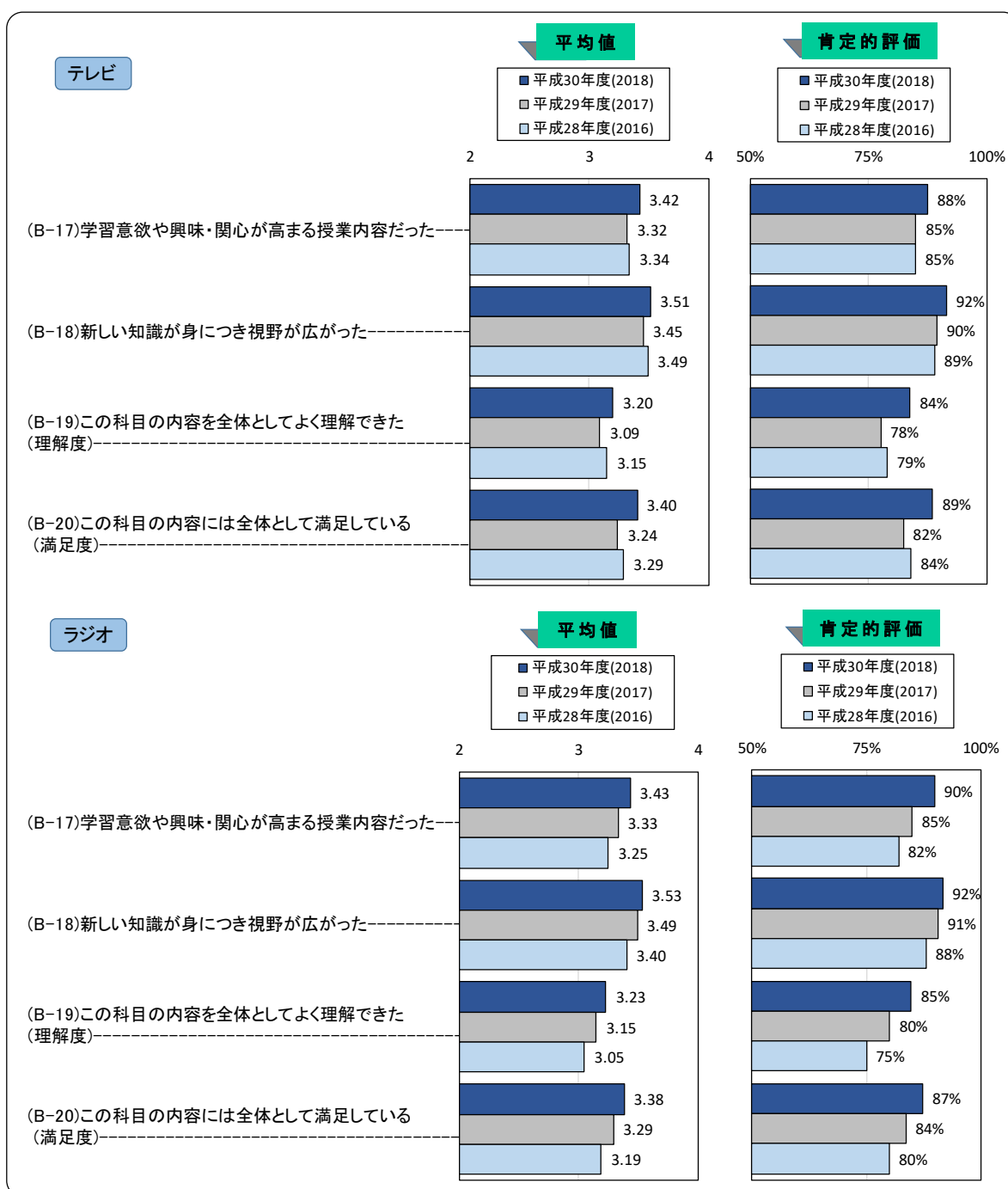
メディア別の全体評価を時系列でみると（図2-19）、テレビ科目では、本年度は昨年度までより、いずれの項目で支持率が上がっており、特に(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」で+5ポイントの上昇であった。

ラジオ科目の過去2年度との比較では、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」が昨年度と同水準で92%と9割を維持していた。

(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と(B-19)は過去2年度から5ポイントの上昇がみられ、(B-17)は90%に達していた。

(B-20)「(満足度)」も上昇傾向で87%の高評を得ていた。

図2-19 【学部】メディア別の全体評価

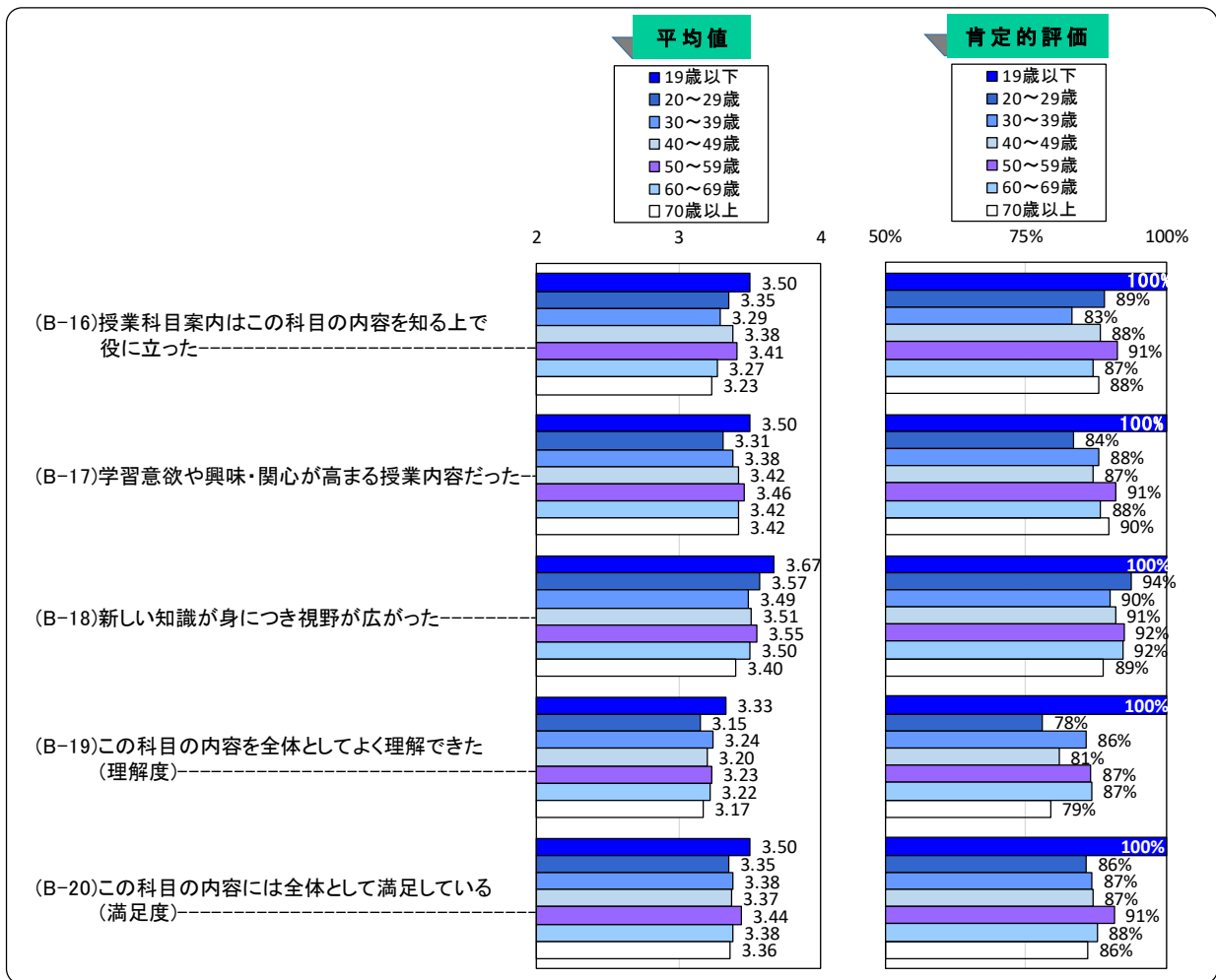


年齢階層別に全体評価（図2-20）をみると項目ごとでは（B-16）「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は50歳代がともに最も高く90%を超えていた。

（B-18）「新しい知識が身につく視野が広がった」は20歳代で94%と高く、70歳以上で89%と低かった。

（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」では50歳代と60歳代が上位2位までを占め、理解度と満足度の高さがうかがえた。

図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別の全体評価では（図 2 - 2 1）、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は「心理と教育」と「人間と文化」が、それぞれ 9 割越えで高い支持を得ていた。

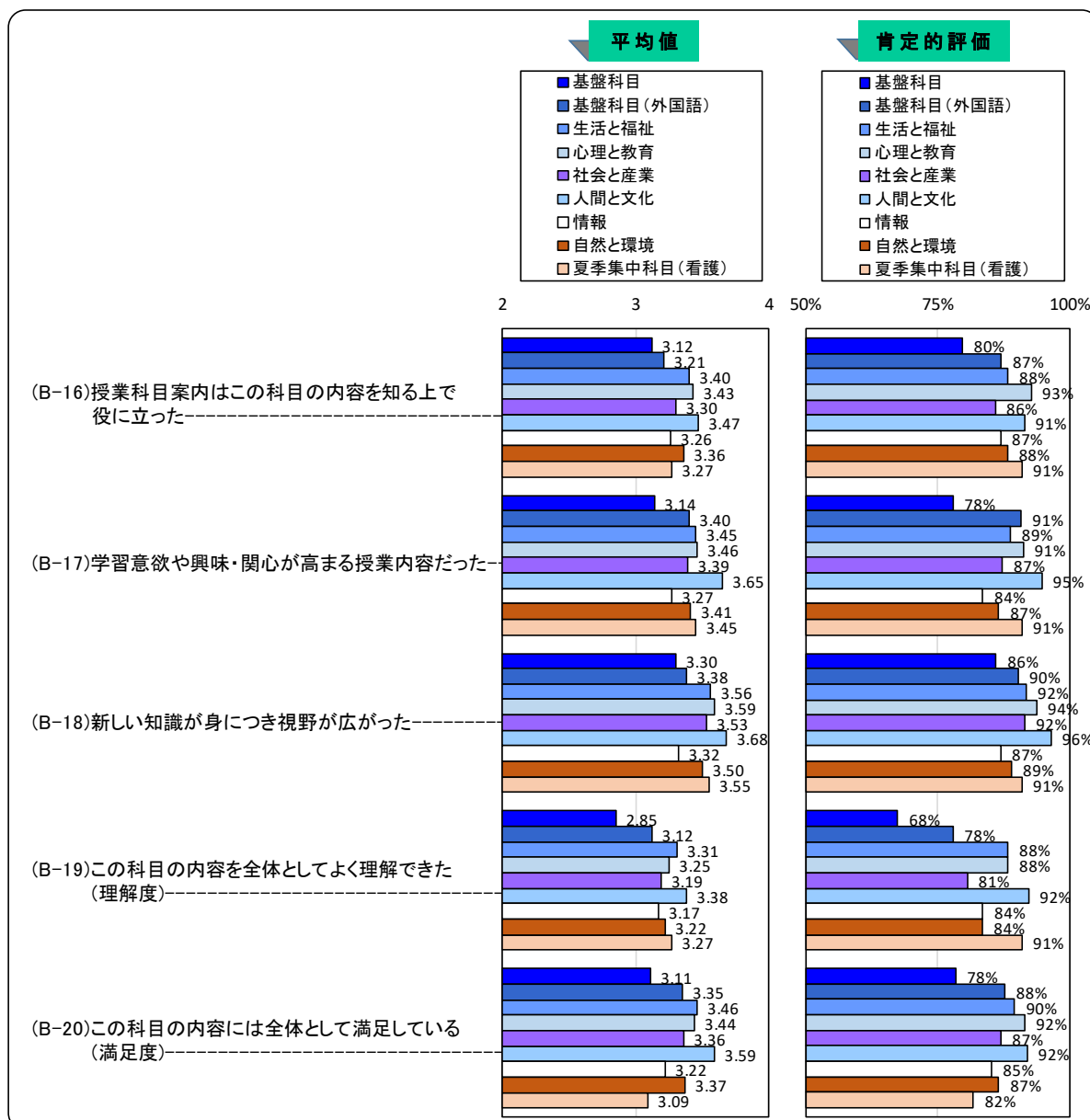
(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」では、「人間と文化」が 95%と突出しており、反対に「基盤科目」は 78%と大きく支持率を下げていた。

(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」については全ての所属コースの評価は高く、特に「人間と文化」が 96%と高率であった。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と (B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」では、「人間と文化」が 9 割越えで高く、「基盤科目」が最も低かった。

(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」については、「心理と教育」も前述の「人間と文化」と同率で、92%の満足度を得ていた。

図 2 - 2 1 【学部】所属コース別の全体評価



職業別に全体評価をみると（次頁図 2 - 2 2）（B-17）「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「看護師等」と「その他」以外の職業では 88～90%で高い評価であった。

（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」は「教員」が 9 割と最も高く、「その他」が 8 割に達せず最も低かった。

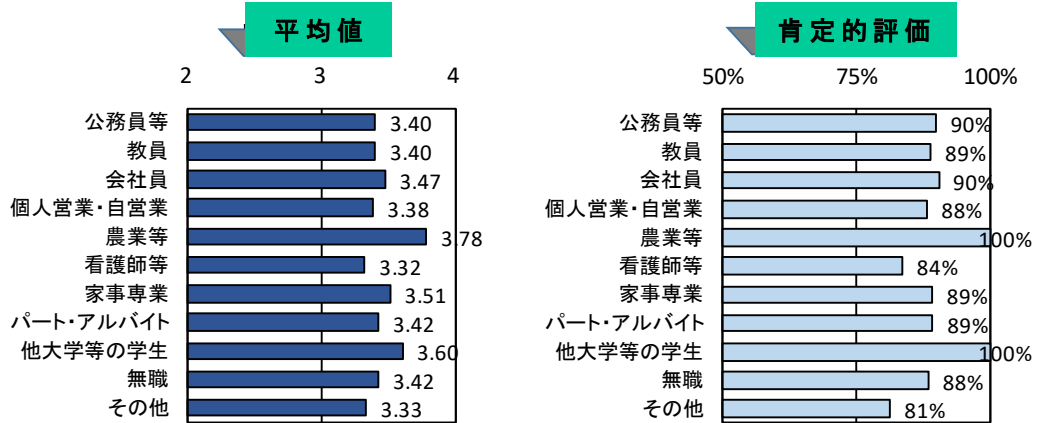
それ以外の職業の理解度は 8 割前半から中盤であった。

（B-20）「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」で 9 割を超えていたのは、「家事専業」（92%）と「教員」（90%）で、評価が低かったのは「看護師等」と「その他」（各 84%）であった。

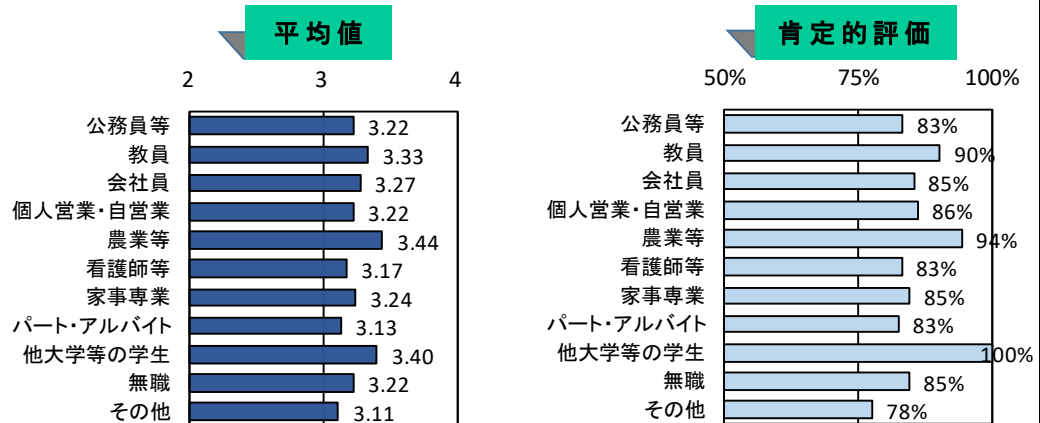
それ以外の職業も評価が高く 87%～89%であった。

図 2 - 2 2 【学部】職業別の全体評価

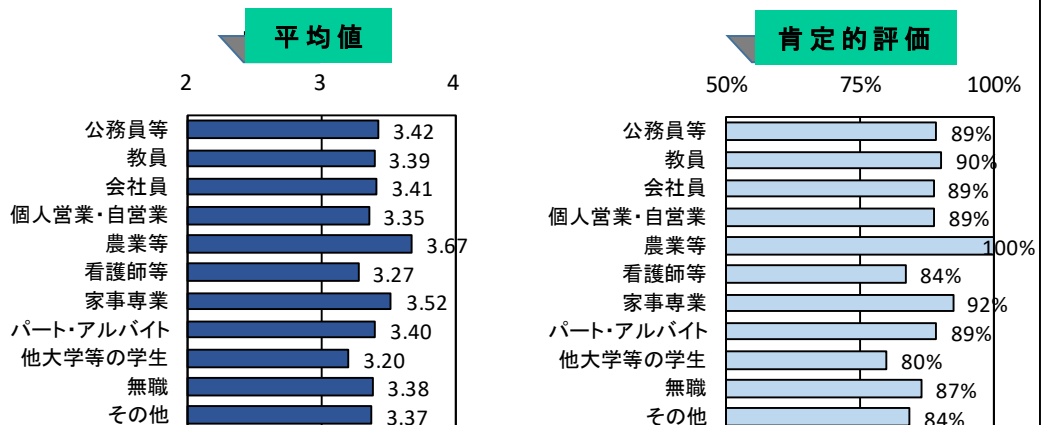
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-20)この科目の内容には全体として満足している(満足度)

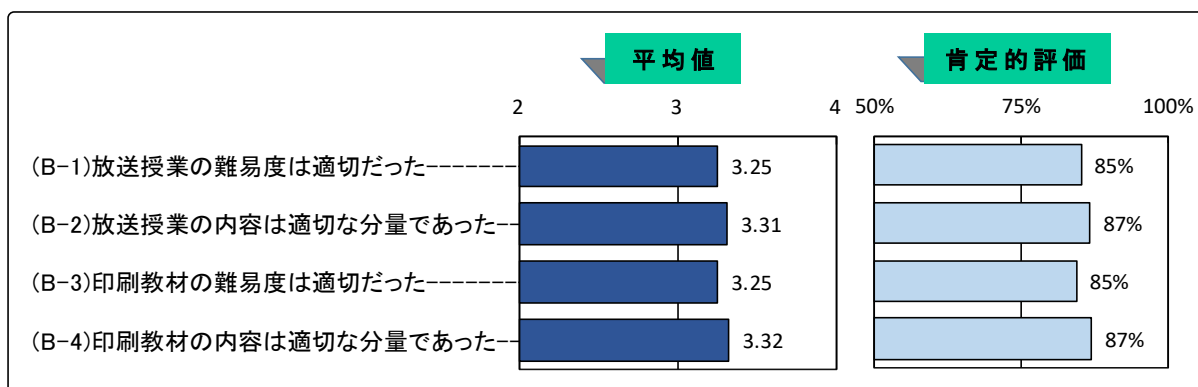


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとにみていくことにする。

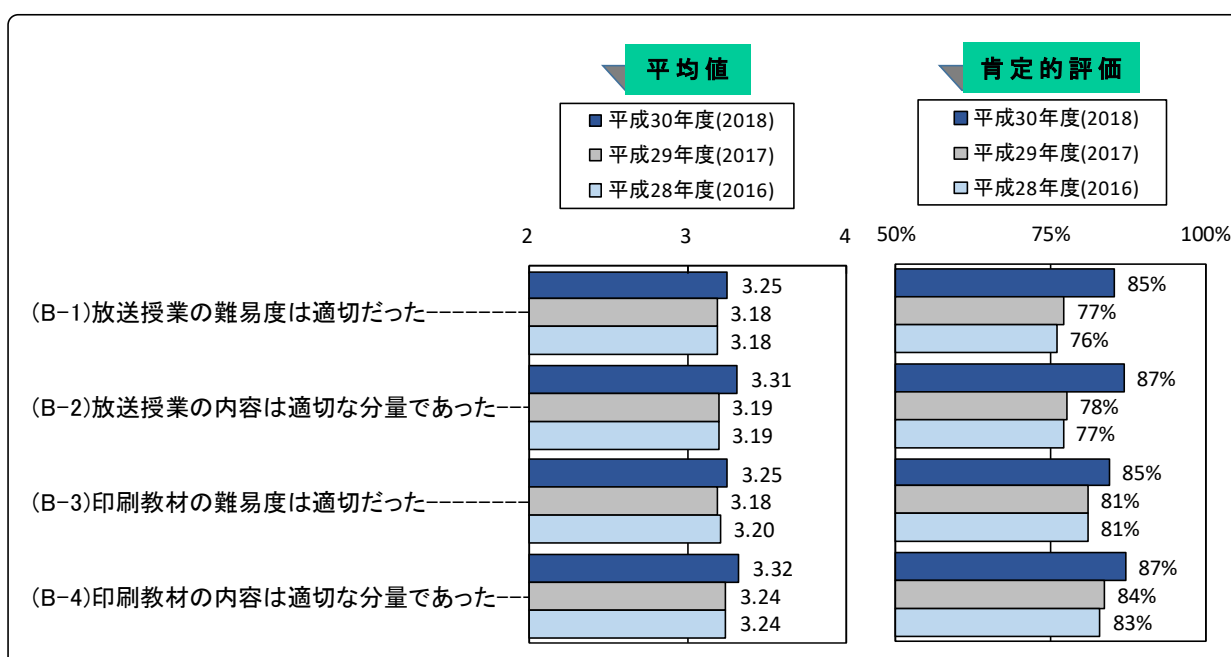
肯定的評価では全項目で85%～87%と8割半ばに達し、項目間に大きな差はみられなかった。

図2-23 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価



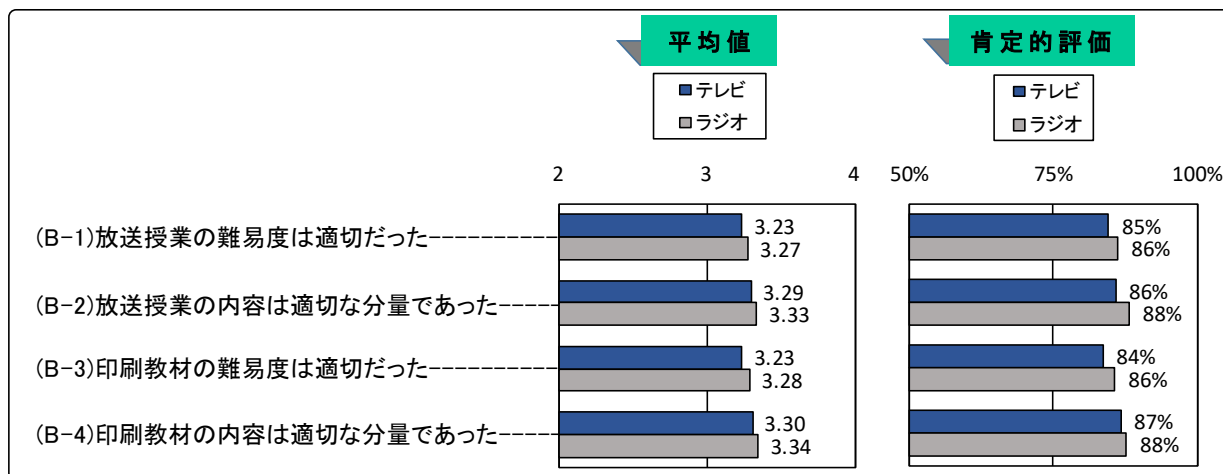
開設年度で比較すると（図2-24）、全項目で本年度の評価に上昇がみられ、特に(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は上昇率が高く、順にその差は8ポイントと9ポイントであった。

図2-24 【学部】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量をみると（図2-25）、いずれの項目でもテレビ科目とラジオ科目に有意な差はなかったが、傾向としてはラジオ科目の値が高くなっていた。

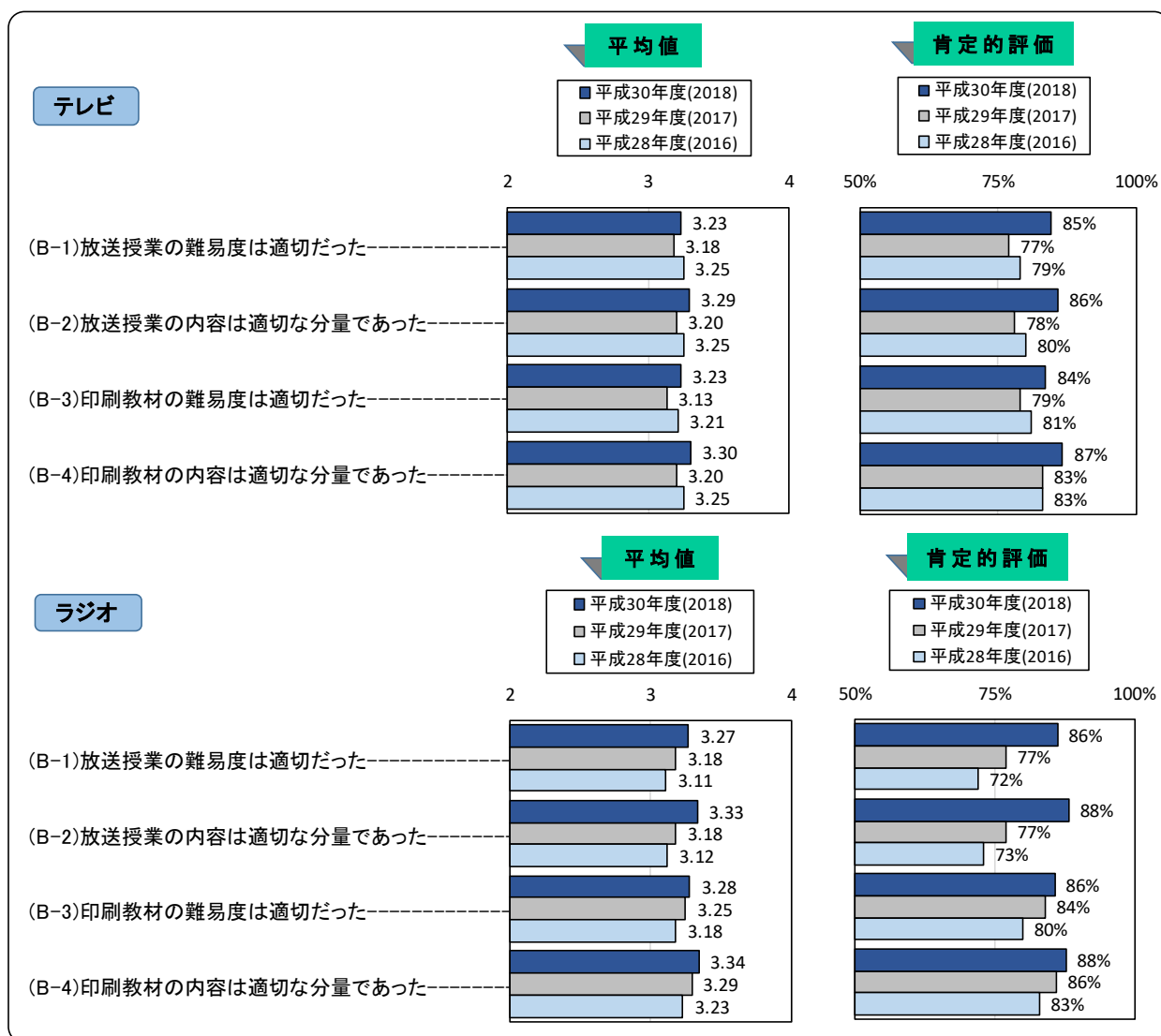
図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目では、全項目で本年度は上昇傾向となり、特に(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は共に6ポイントアップと大きな差がみられた。

ラジオ科目もテレビ科目と同じ傾向で、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」の上昇幅は、過去2年度から順に9ポイントと11ポイントで、テレビ科目よりも高かった。

図2-26 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



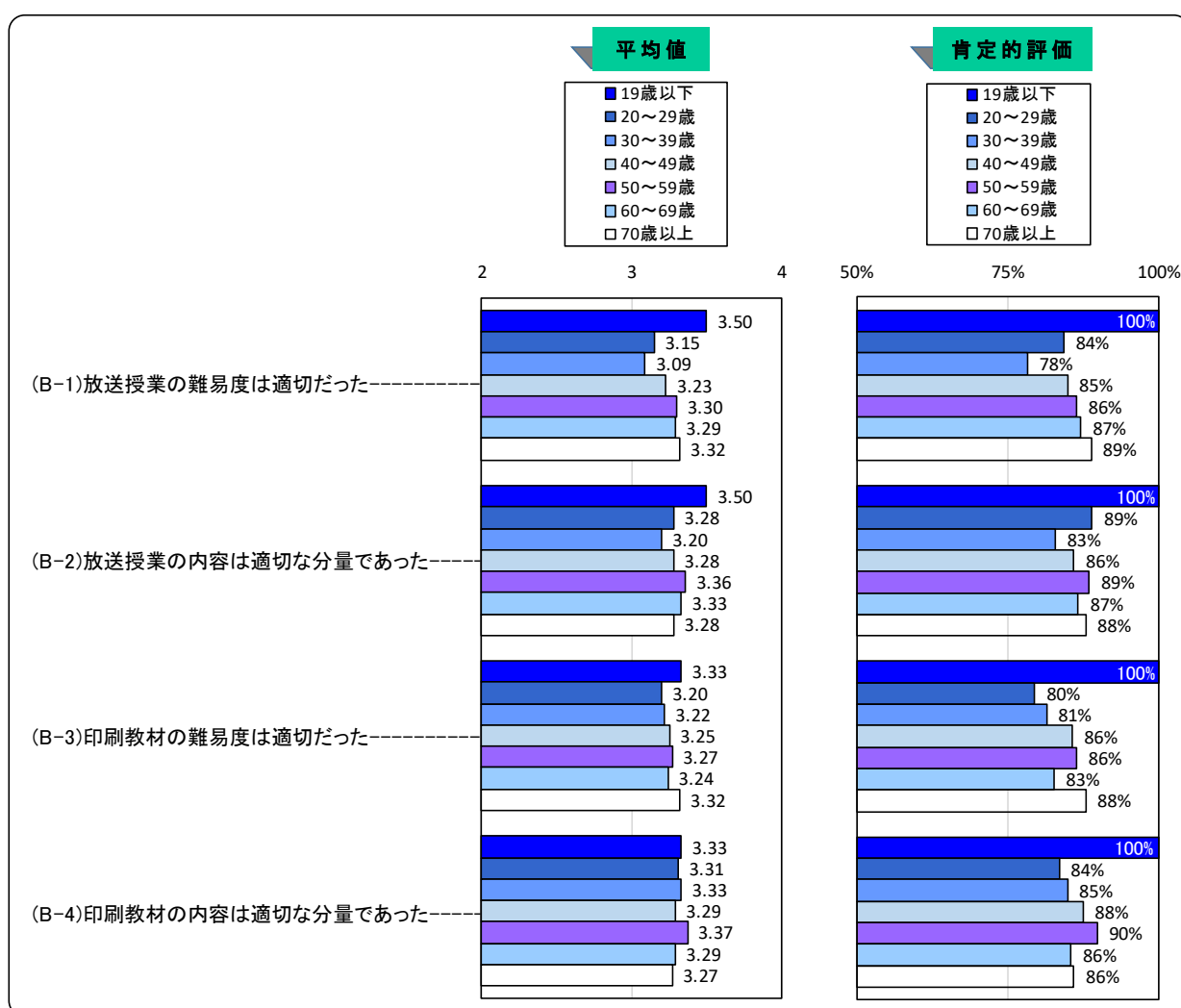
年齢階層別に授業の難易度・分量をみると（図2-27）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」に対する評価は30歳代(78%)から年齢の上昇と共に漸増傾向がみられ、70歳以上で89%に達していた。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」も30歳代(83%)の評価が低く、その他の年代からは86%～89%の評価を得ていた。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は70歳以上(88%)で最も評価が高く、20歳代(80%)で低かった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」については、50歳代(90%)が最も高く、他の年代でも86%前後と高評を得ていた。

図2-27 【学部】 年齢階層別の授業難易度・分量の評価

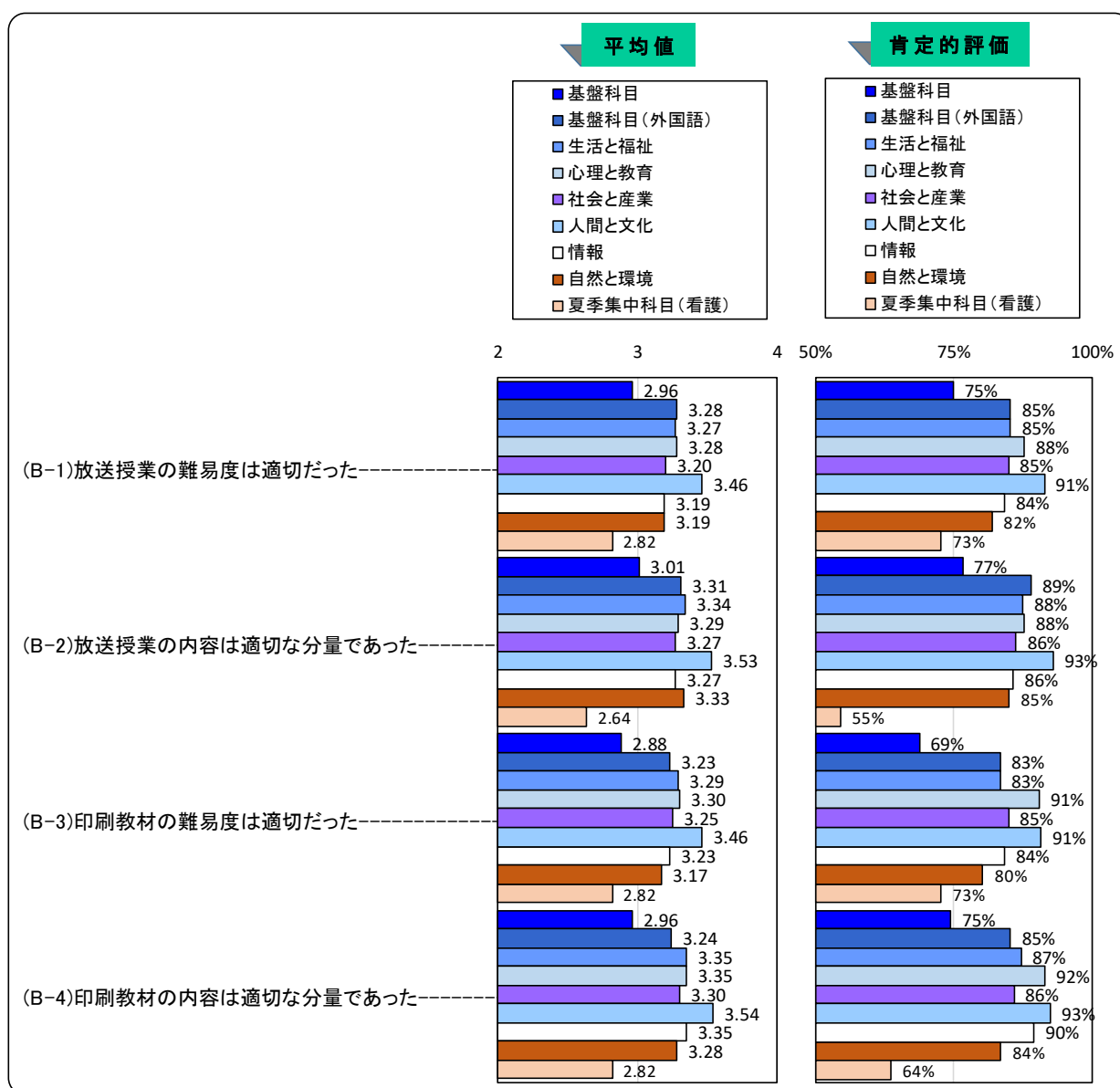


所属コース別に授業の難易度・分量をみると（図2-28）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」の放送授業は、両項目とも「人間と文化」の支持率が9割以上で最も高く、「基盤科目」が7割半ばでもっと低かった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の印刷教材では、両方とも「心理と教育」「人間と文化」が9割越えで最も高く、「基盤科目」の評価が低かった。

この4項目全てで「基盤科目」の評価が他の科目に比べ極端に低いという傾向がみられた。

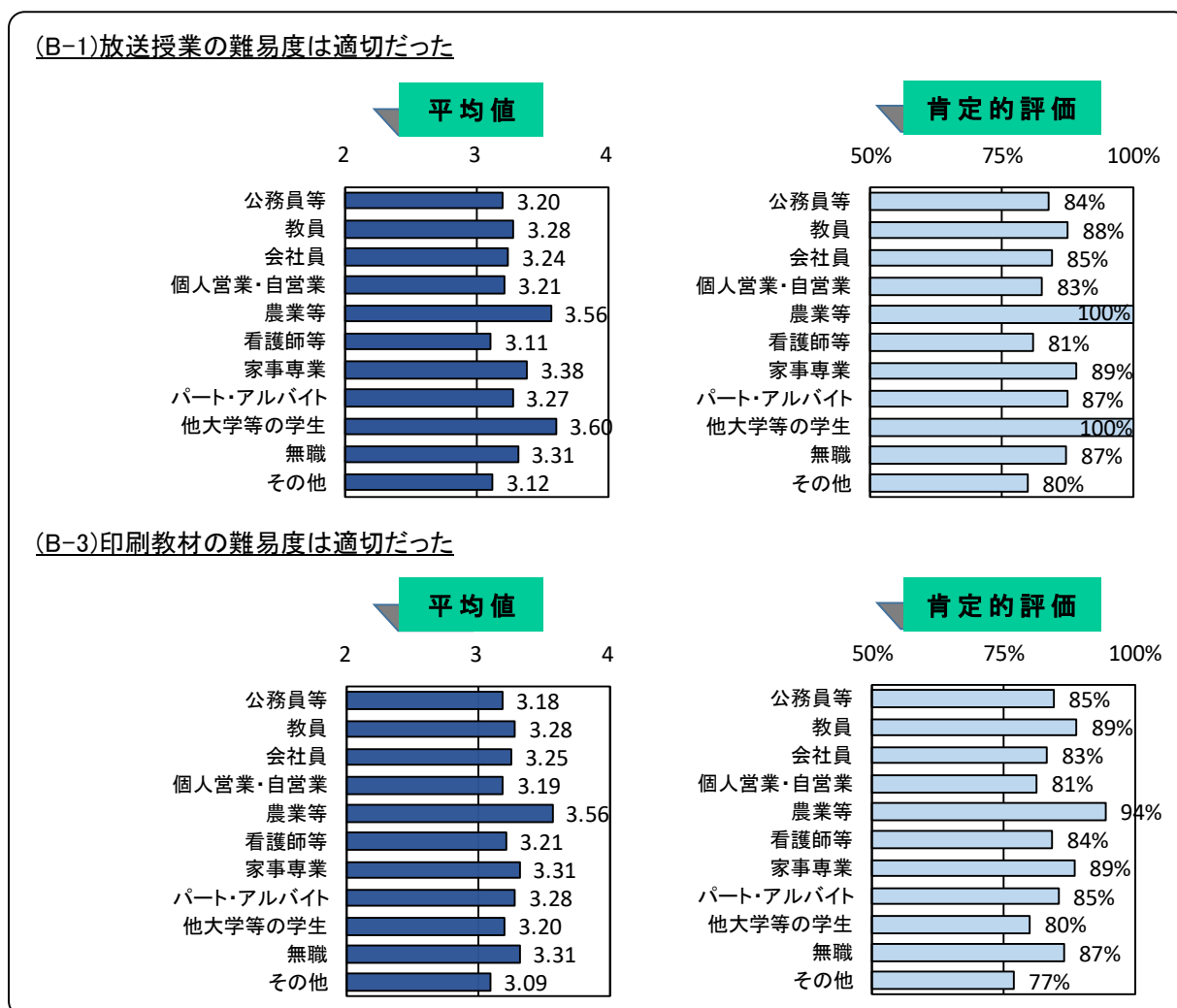
図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度をみると（図2-29）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は、いずれも8割台の支持率だが、「家事専業」と「教員」は9割近くで評価が高く、「看護師等」と「その他」は80%そこそこの評価であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」については「教員」「家事専業」（各89%）で高く、「個人営業・自営業」と「その他」で低かった。

図2-29【学部】職業別の授業難易度の評価

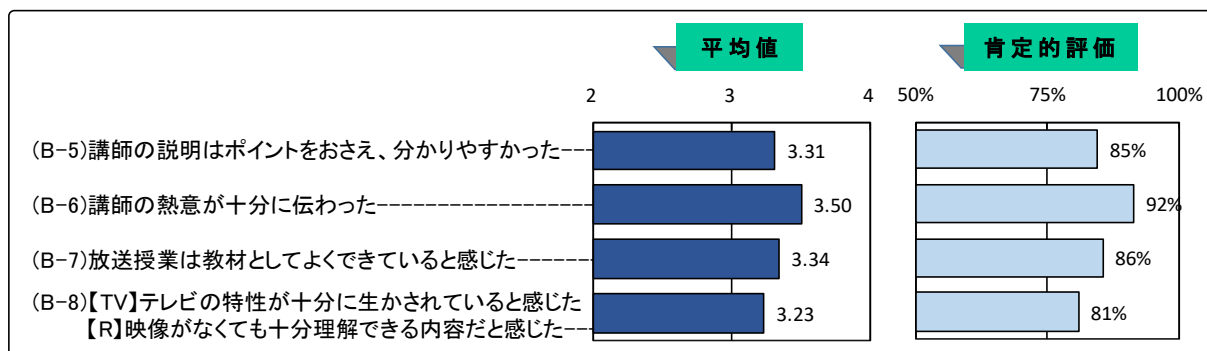


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとにみていくことにする。

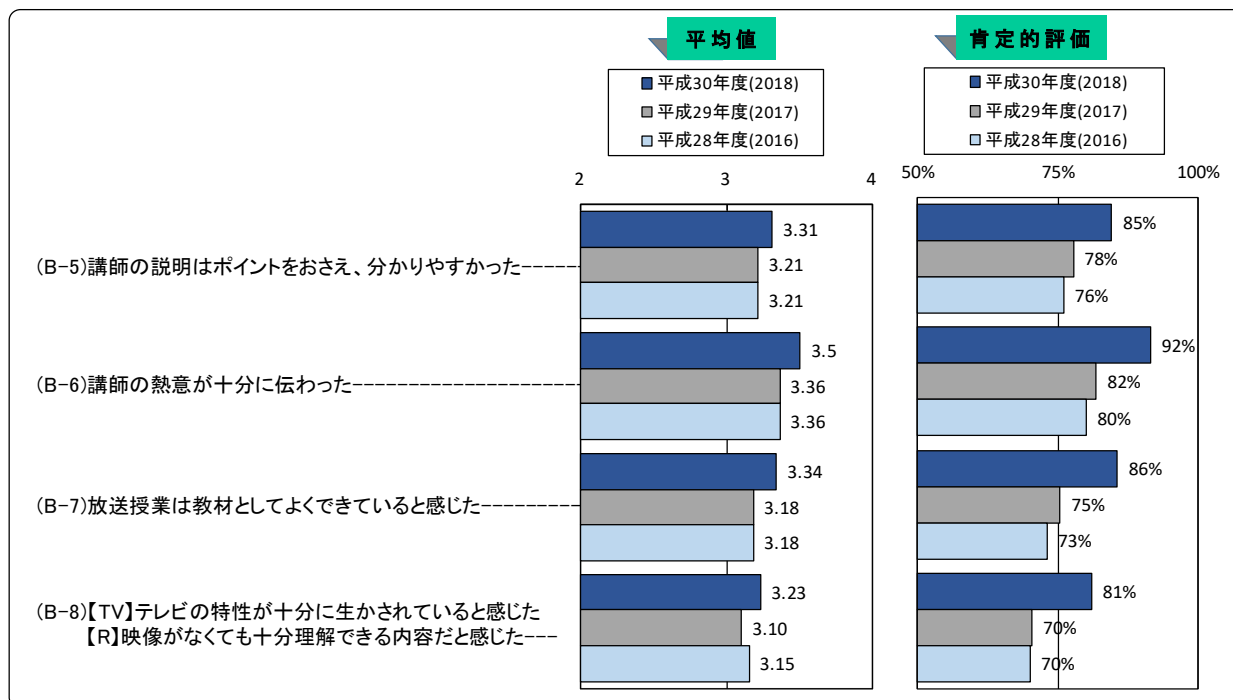
放送授業に関する評価項目（図2-30）は4項目とも8割以上の高い評価で、特に(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」が92%と最も高い支持を得ていた。

図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



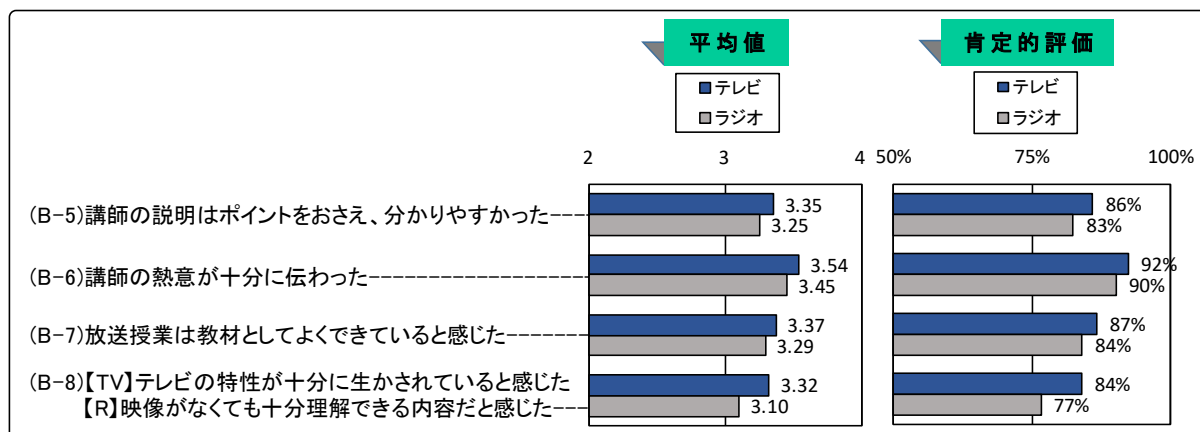
放送授業の評価を時系列でみると（図2-31）、4項目全てで昨年度より大きく支持率を伸ばしており、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」で+7ポイント、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」～(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」で10～11ポイントの大きな上昇幅がみられた。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価をみると（図 2 - 3 2）」、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では、メディア別に差はほとんどなかったが、それ以外の 3 項目では、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」がテレビ科目の方がわずかに高く、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、テレビ科目が+7 ポイントと大きな差がみられた。

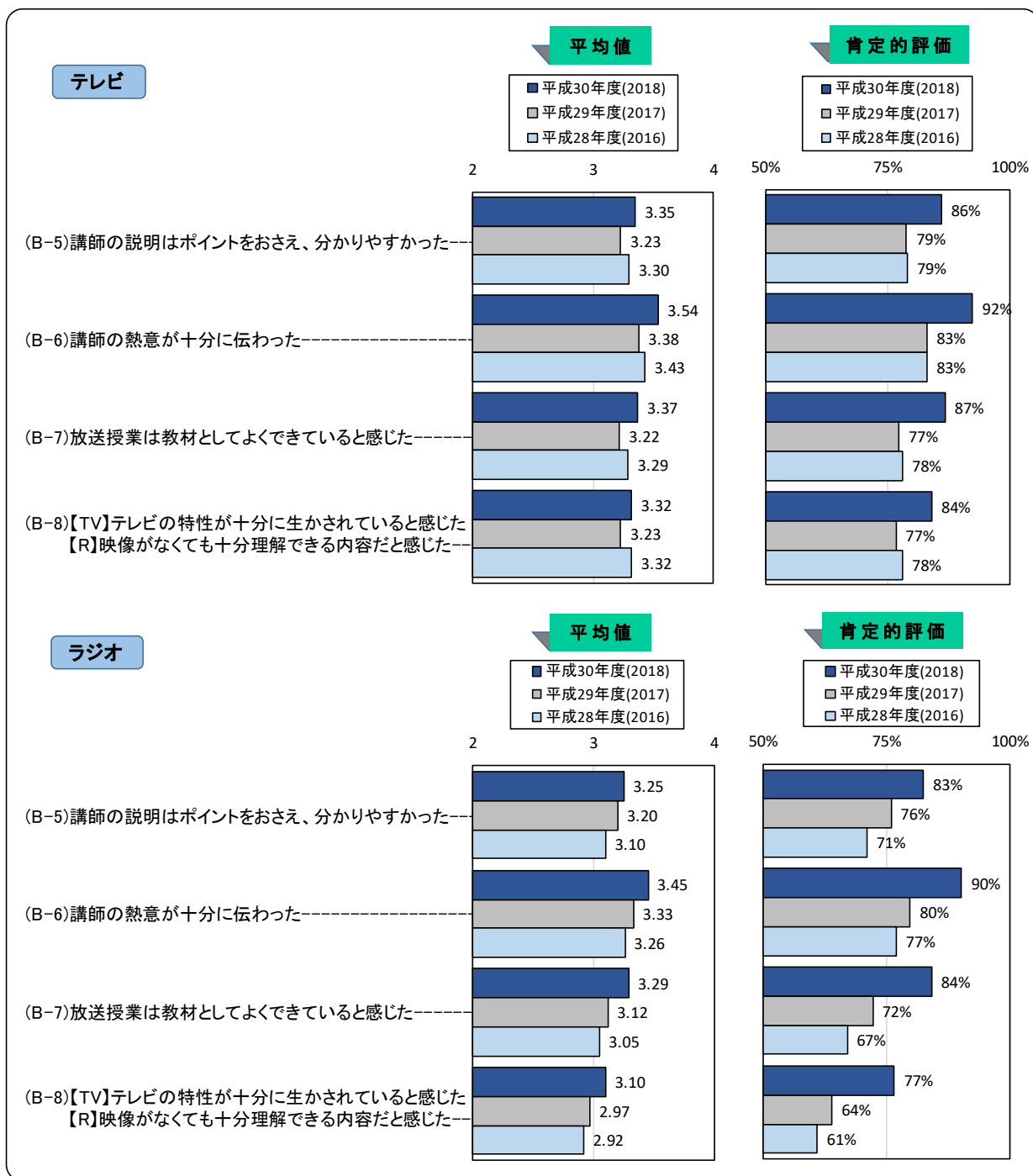
図 2 - 3 2 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別に放送授業の評価を時系列でみると(図2-33)、テレビ科目では、本年度は過去2年度から大きく支持率を伸ばし、中でも(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は9ポイントの上昇で、9割前後から支持を得ていた。

ラジオ科目では、テレビ科目より本年度の上昇の幅が大きく、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は+7ポイント、残りの3項目では、10ポイント以上の大差がみられた。

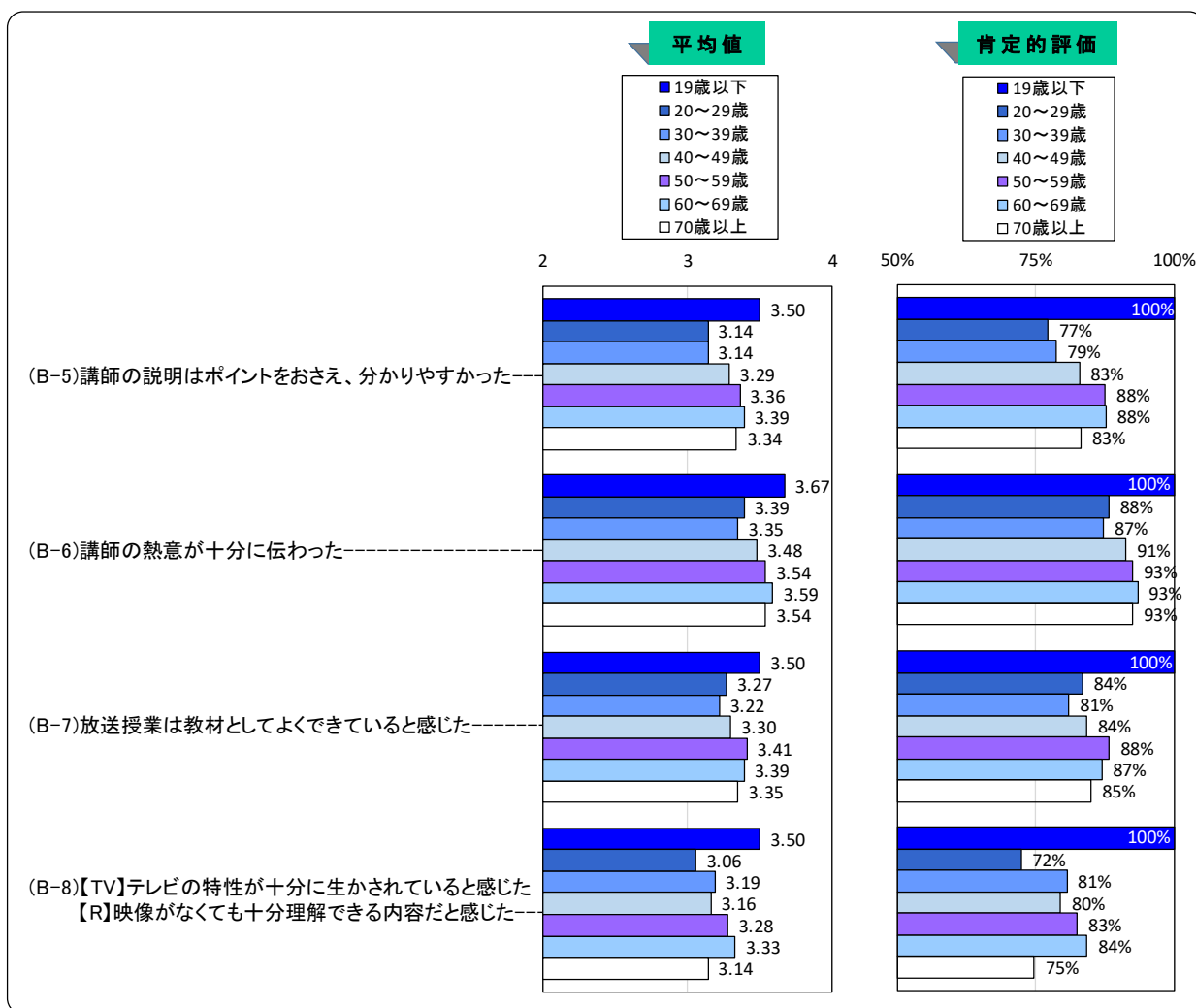
図2-33 【学部】メディア別の放送授業の評価(時系列)



年齢階層別に放送授業の評価をみると（図2-34）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」～(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」までは、20歳代、30歳代の若年層の評価がそれ以上の年代に比べ低く、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では、40歳代～70歳以上が9割に達していた。

(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は60歳代(84%)で最も高く、20歳代(72%)で低かった。

図2-34 【学部】年齢階層別の放送授業の評価

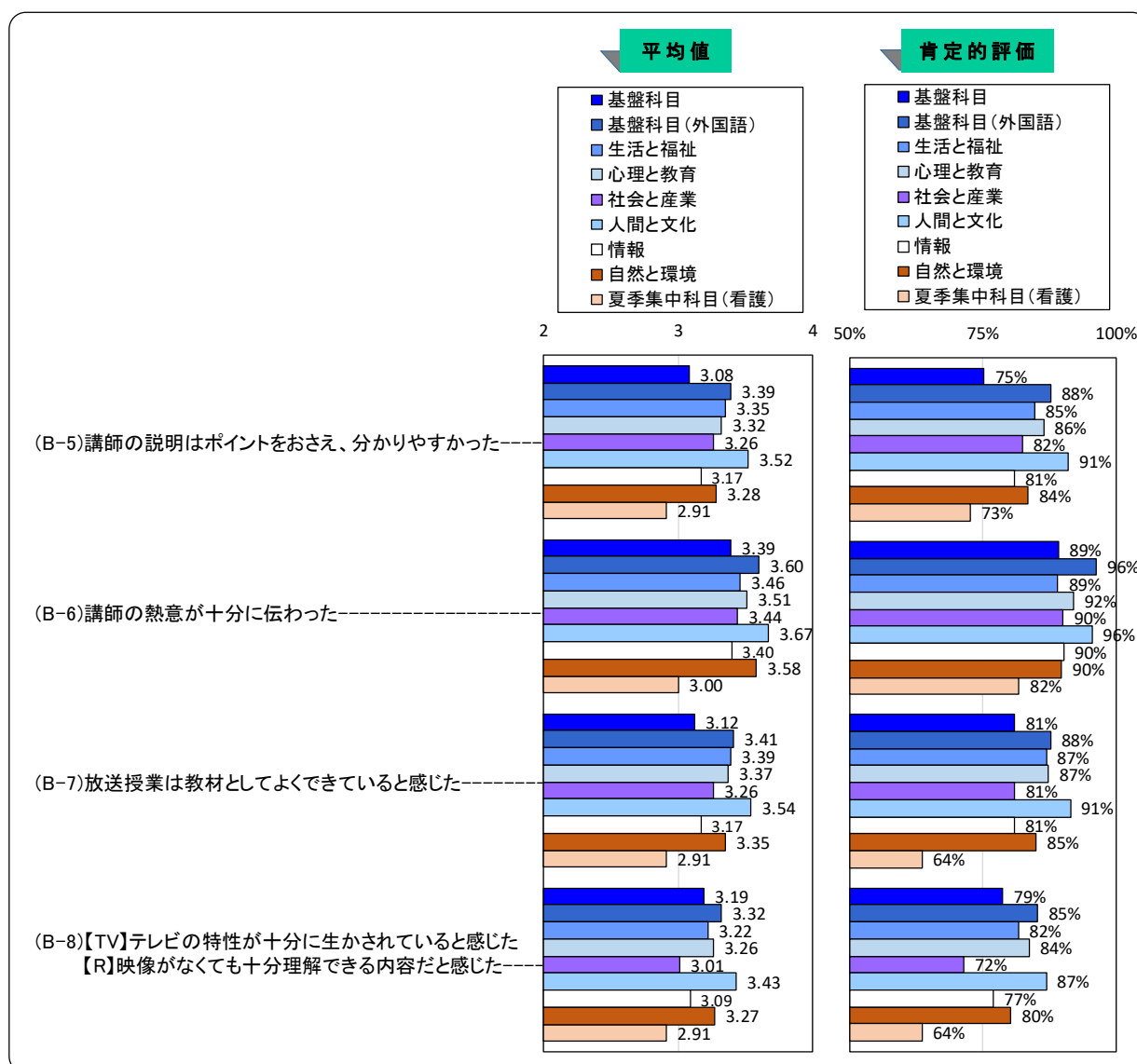


所属コース別に放送授業の評価をみると（図2-35）、4項目とも「人間と文化」と「基盤科目(外国語)」の評価が高かった。

反対に評価が低かったのは、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では「基盤科目」で、「B-7」については、他に「社会と産業」「情報」が低調であった。

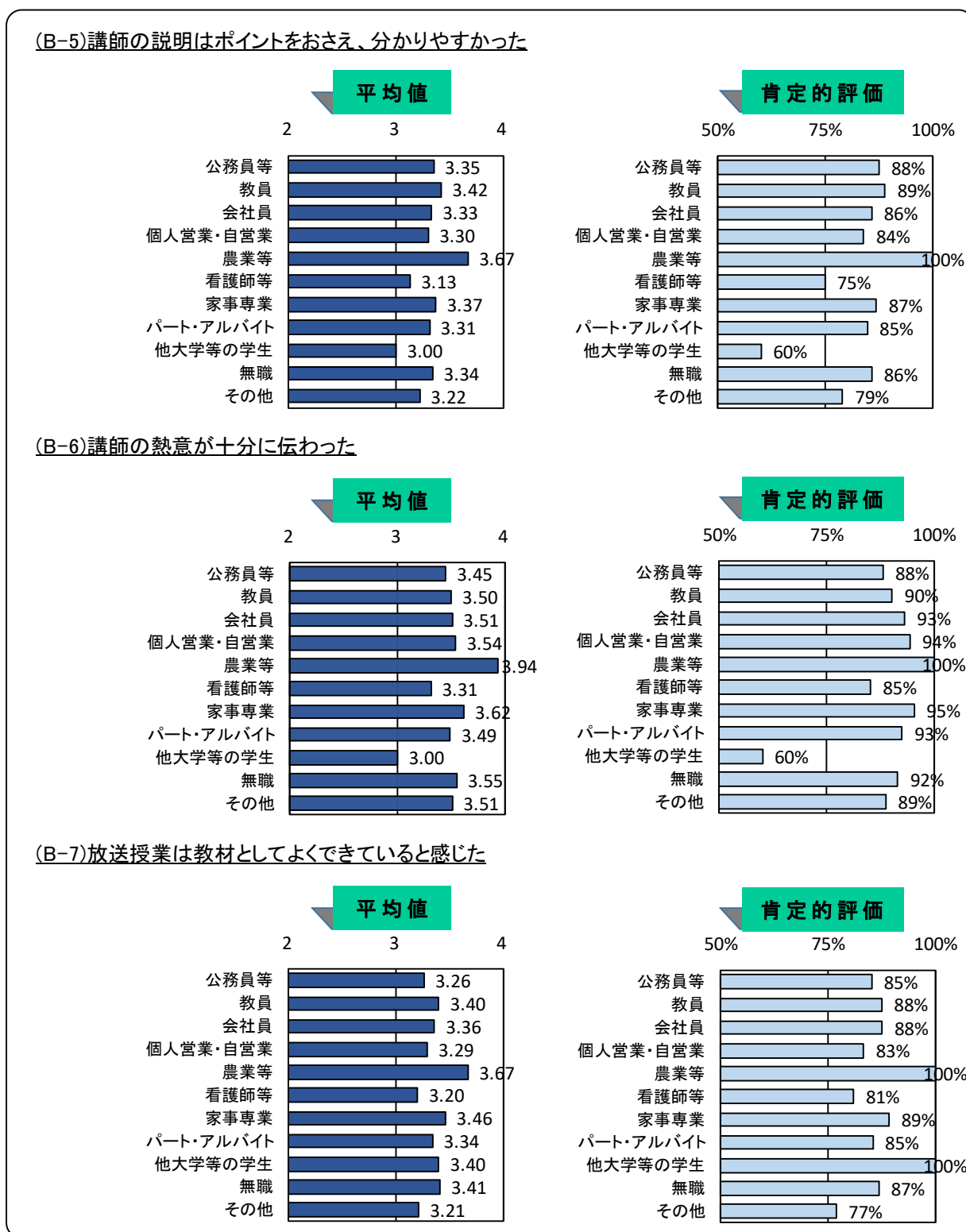
(B-8)「テレビの特性が十分に生かされていると感じた／(ラジオ)映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では「社会と産業」(72%)が低く、この4項目を通じて最も低くかった。

図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



職業別に放送授業の評価をみると（図2-36）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」で「看護師等」と「その他」の評価が低く、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では「看護師等」は85%の支持率であったが、他の職業に比べると3ポイント以上低かった。反対に前掲の「B-6」と「B-7」で高い評価をしていたのは「家事専業」であった。

図2-36 【学部】職業別の放送授業の評価



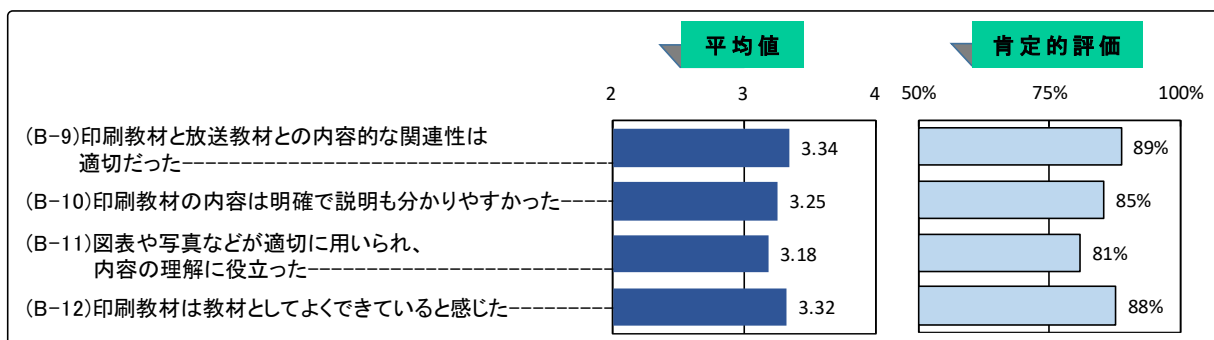
(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとにみていくことにする。

印刷教材の評価項目では（図 2 - 3 7）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と (B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は約 9 割で高い支持率であった。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は他の項目と比べると 81%と評価を下げていた。

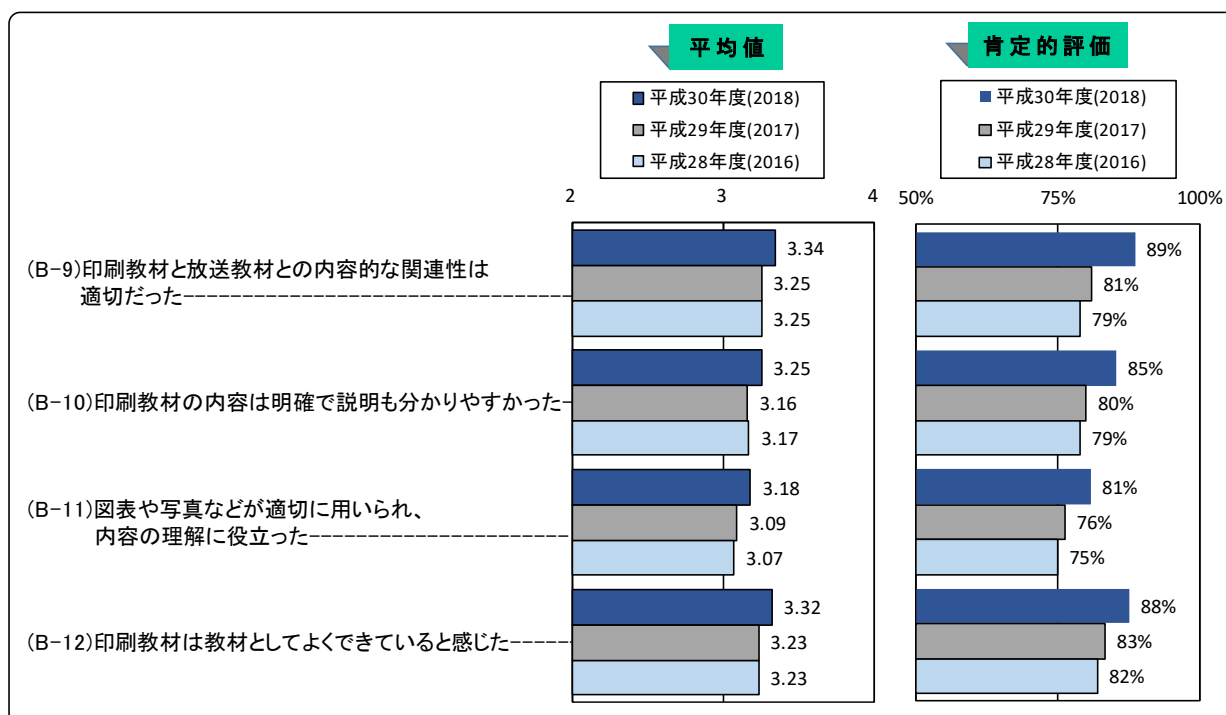
図 2 - 3 7 【学部】 回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列でみると（図 2 - 3 8）4 項目とも年度の経過とともに評価は上昇傾向で、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」で、本年度の上昇幅が一段と大きく、8ポイント増の 89%に達していた。

それ以降の 3 項目でも本年度は、5ポイントの上昇であった。

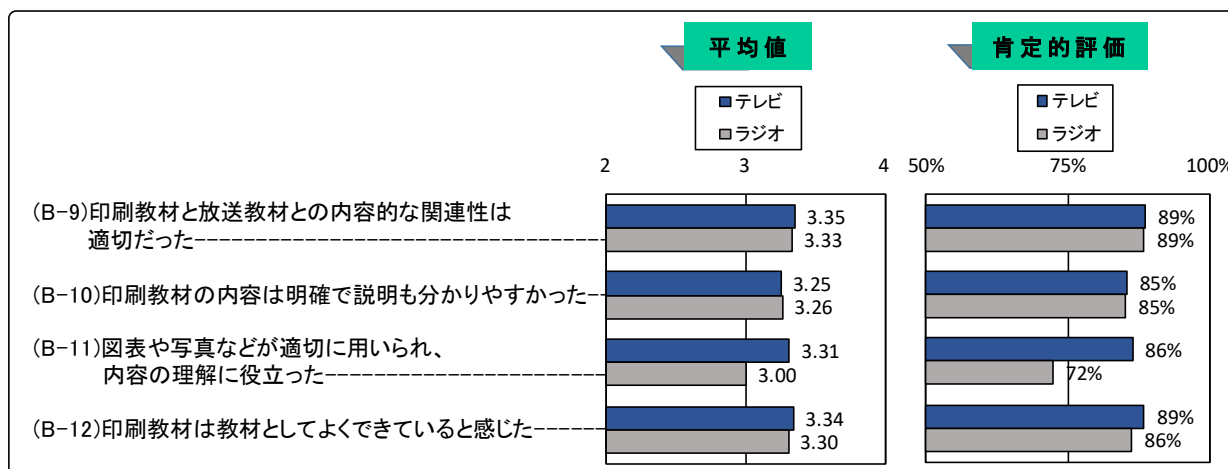
図 2 - 3 8 【学部】 回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価をみると（図 2 - 3 9）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と (B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」はメディア別に同じ評価であったが、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」はラジオ科目の特質からか、その支持率はテレビ科目を大きく下回り 72%であった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」もラジオ科目の支持率はテレビ科目よりわずかに下回っていた。

図 2 - 3 9 【学部】メディア別の印刷教材の評価

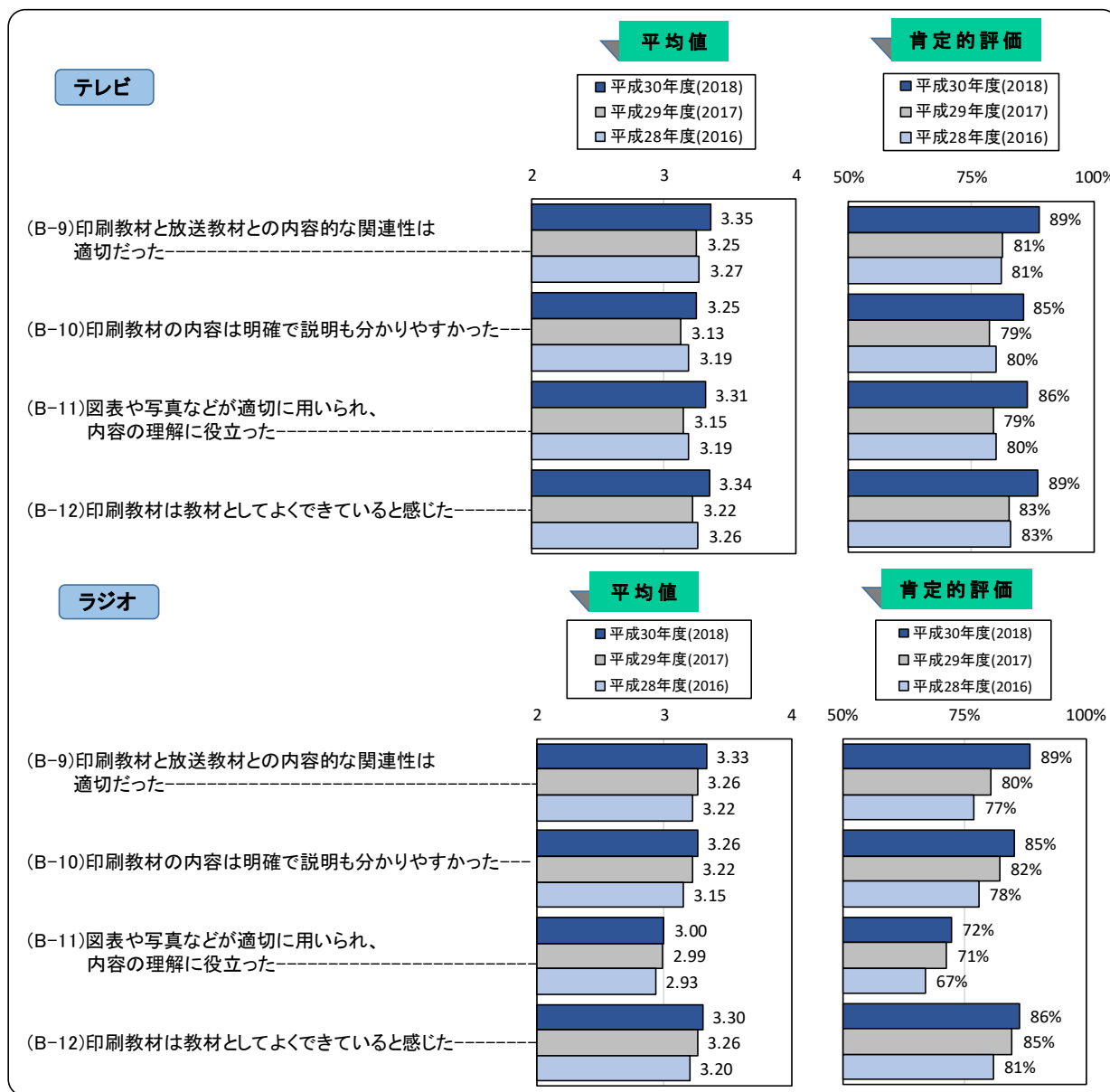


メディア別の印刷教材の結果を時系列でみると（図2-40）、本年度のテレビ科目は全ての項目を通じて5ポイント以上の上昇で、中でも(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は+8ポイントとその幅は大きかった。

ラジオ科目についても過去2年度と比べ「B-9」は、9ポイントアップと上昇幅が更に大きかった。

同様に(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は+3ポイント、(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」と(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は昨年度と同じレベルであった。

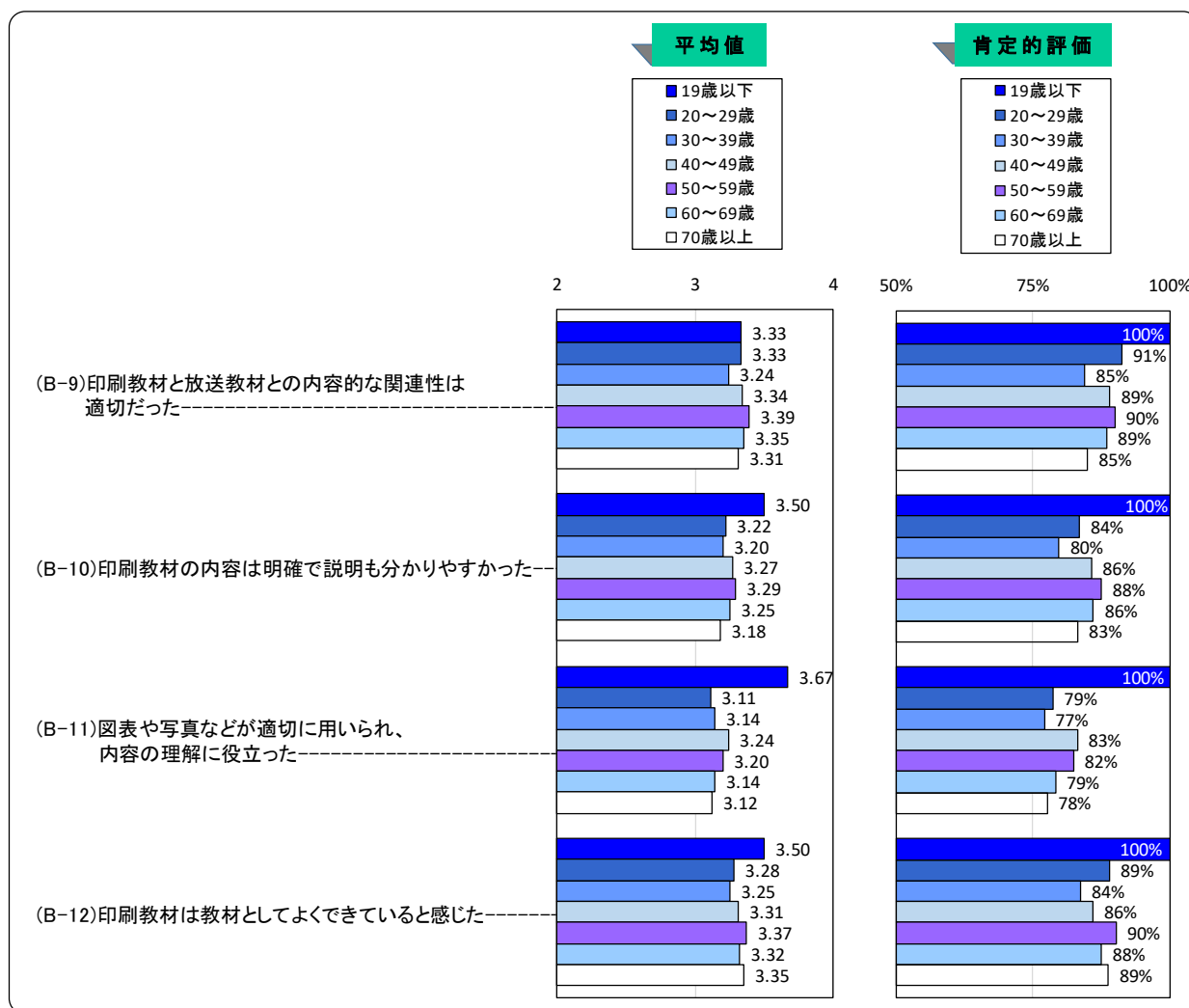
図2-40 【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価をみると（図2-41）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」と(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では20歳代、40歳代、50歳代の評価が高く、8割半ばから9割に及んでいた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では40歳代、50歳代の8割が評価、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は50歳代の評価が9割に達していた。

図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



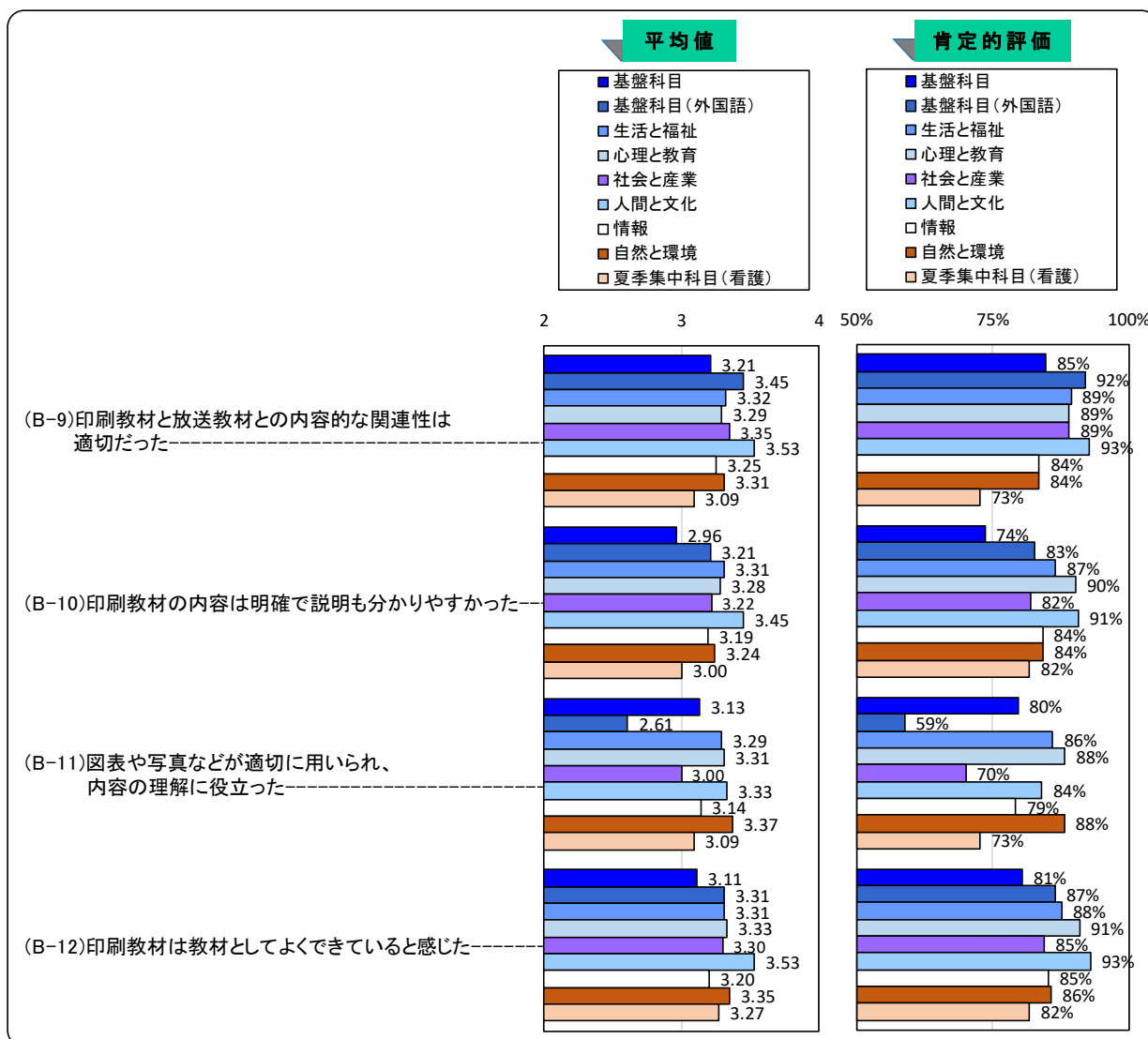
所属コース別に印刷教材の評価をみると（図2-42）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」については「基盤科目」と「情報」、「自然と環境」の評価が8割半ばで評価が低く、それ以外のコースは9割であった。

(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、「心理と教育」「人間と文化」が9割と高く、「基盤科目」で74%と低かった。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、「心理と教育」「自然と環境」が共に88%と高く、「基盤科目(外国語)」で59%と極端に低かった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は「心理と教育」、「人間と文化」が90%越えて評価が高かった。

図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価

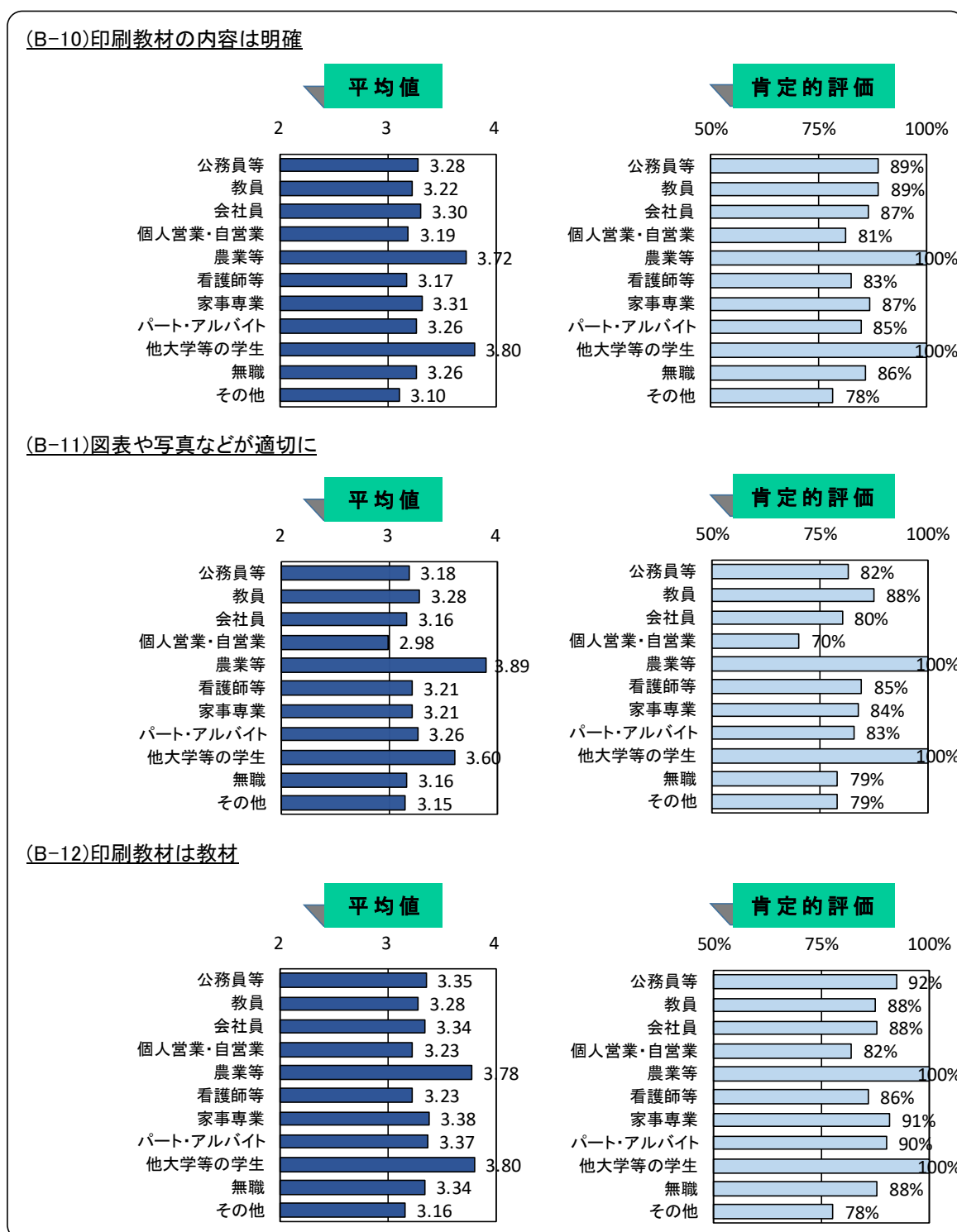


職業別の印刷教材の評価では（図 2 - 4 3）、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、「個人営業・自営業」「看護師等」「その他」は 80%前後と評価が低く、それ以外の職業は 85%～89%と高く、評価は 2 分化されていた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、「個人営業・自営業」が 70%と極端に低く、それ以外の職業は 8 割から 9 割近くの評価であった。

(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「公務員等」「家事専業」「パート・アルバイト」から 9 割の支持を得ていた。

図 2 - 4 3 【学部】職業別の印刷教材の評価



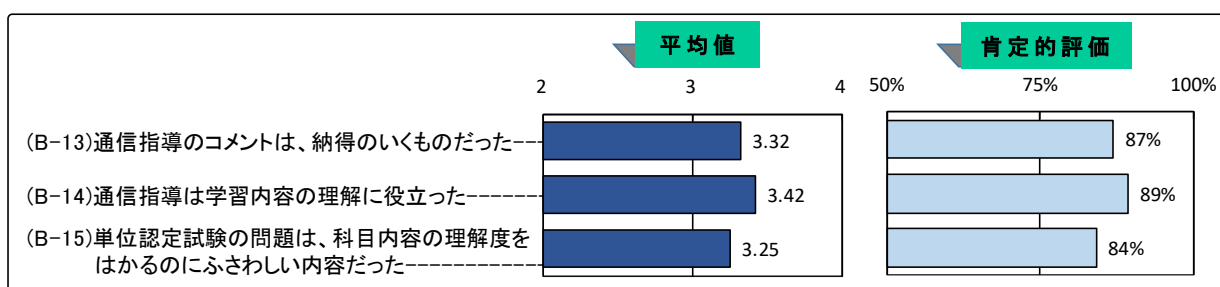
(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとにみていくことにする。

通信指導については(図2-44)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」がそれぞれ87%、89%と9割近い評価を得ていた。

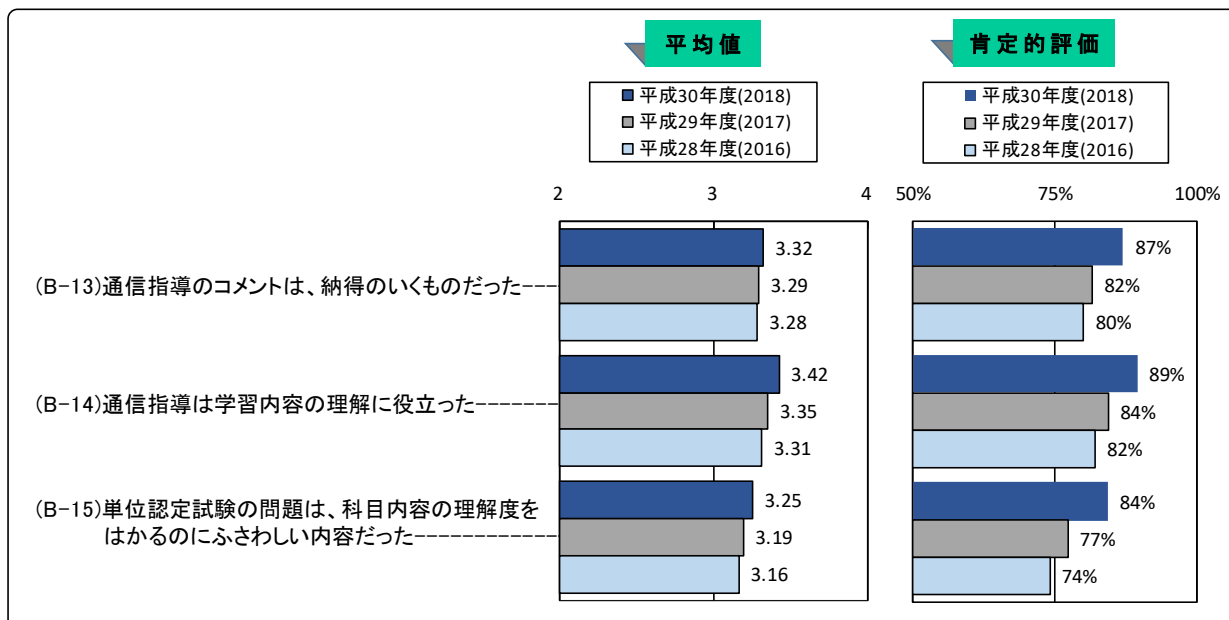
(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は84%と前掲の2項目より評価が下回っていた。

図2-44【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列でみると(図2-45)、本年度は、前年度までから5ポイント以上の大幅な上昇であった。

図2-45【学部】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)

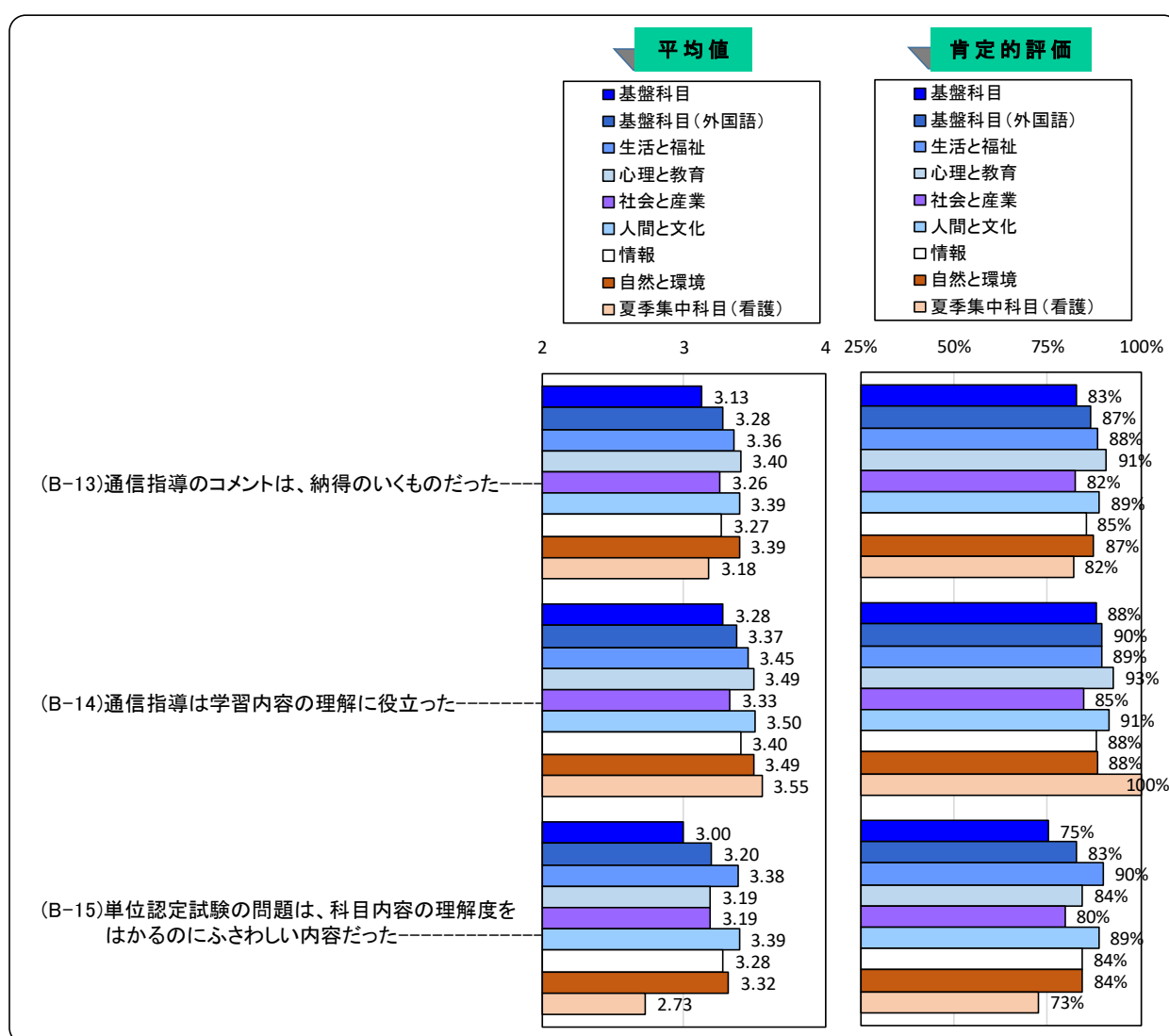


所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価をみると（図2-46）、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「心理と教育」が唯一9割で最も高く、反対に「社会と産業」が8割の前半と評価が低かった。

(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」でも「心理と教育」の評価が93%と高く、それ以外の科目からは、85%以上の評価を得ていた。

(B-15)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」では、「生活と福祉」「人間と文化」が9割と上位で、「基盤科目」が75%と最も低かった。

図2-46 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－１－４．学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回の調査では全体の満足度 B-(20)「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、それ以外の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値ポイント化することで数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知ることが目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-(20)
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 A①～③、B(1)～(19) : 全 22 問
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{22}x_{22}$ (説明変数が全 22 問の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すために適した重回帰式を得られないことが経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行うことにする。

使用するデータは質問項目 I.A と B の全設問を全て回答した 2,136 人のローデータを使用する。(本年度はオンライン利用の調査で全員が全設問を回答していた。)

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与率)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.726 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関(自己相関)を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差(誤差)に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 2.013 となった。

◆分析精度

決定係数	0.728
自由度修正済み決定係数	0.726
ダーヴィンワトソン比	2.013
残差の標準偏差	0.407

今回の重回帰分析では分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%ある事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	1290.801	2135				
回帰による変動	939.568	14	67.112	405.271	0.000	[**]
回帰からの残差変動	351.233	2121	0.1656			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合い(寄与率)がこれで分かる。

標準偏回帰係数が最も高かったのはB-17で0.270、次いでB-19の0.219、他にB-18(0.128)、B-12(0.119)、B-15(0.076)と続いた。

(表最下段の定数項とは説明しきれない残りの部分である。)

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で絶対値が最も小さいB-16(0.025)とそれ以外の標準偏回帰係数がB-16の何倍になるか算出してみた。その結果、高い順にB-17:11倍、B-19:9倍、B-18:5倍、B-12:5倍、B-15:3倍となった。

上位2項目の「B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と「B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」が突出しているため、「全体の満足度」を上げるためには、この2項目の肯定的評価を上げる事が最も効果的であると考えられる。

上位2項目の肯定的評価についてみてみるとB-17:89%、B-19:84%で、B-17は受講者の9割から支持率を得ているため、評価を高めるのは容易ではないと思われる。

(他の上位3,4位の肯定的評価B-18:92%、B-12:88%でいずれも9割前後。)

従って、B-17の評価の維持と、B-19の肯定的評価を上げるための施策に取り組むことが有効と考えられる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定
B-20.全体評価	0.270	B-17 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]
	0.219	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[**]
	0.128	B-18 新しい知識が身につく視野が広がった	[**]
	0.119	B-12 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]
	0.076	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった	[**]
	0.067	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]
	0.054	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	[**]
	0.051	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[**]
	0.042	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	[**]
	0.033	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	[]
	0.032	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[]
	0.025	B-16 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[]
	-0.026	A-2 「放送授業を十分に視聴した」	[]
	-0.029	A-3 「印刷教材を熱心に学習した」	[]
	定数項	[**]	

学部の重回帰分析の最後に施策を進めていく上で、役に立つと思われる、B-19（理解度）と相関の高い項目を上位9位までを挙げることにする。

【学部】B-19の理解度と相関の高い上位9項目

順位	項目名	B-19との 偏相関係数	判定
1	A-1.全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	0.139	[**]
2	B-15.単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	0.125	[**]
3	B-10.印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	0.115	[**]
4	B-1.放送授業の難易度は適切だった	0.089	[**]
5	B-5.講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	0.077	[**]
6	B-4.印刷教材の内容は適切な分量であった	0.059	[**]
7	B-3.印刷教材の難易度は適切だった	0.055	[*]
8	B-8.【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた ／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた	0.052	[*]
9	A-3.印刷教材を熱心に学習した	0.051	[*]
参考	B-20	0.266	[**]

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

Ⅱ－２．大学院の分析結果

Ⅱ－２－１．項目平均から見た全体的傾向

評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図 2－47）した。

学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

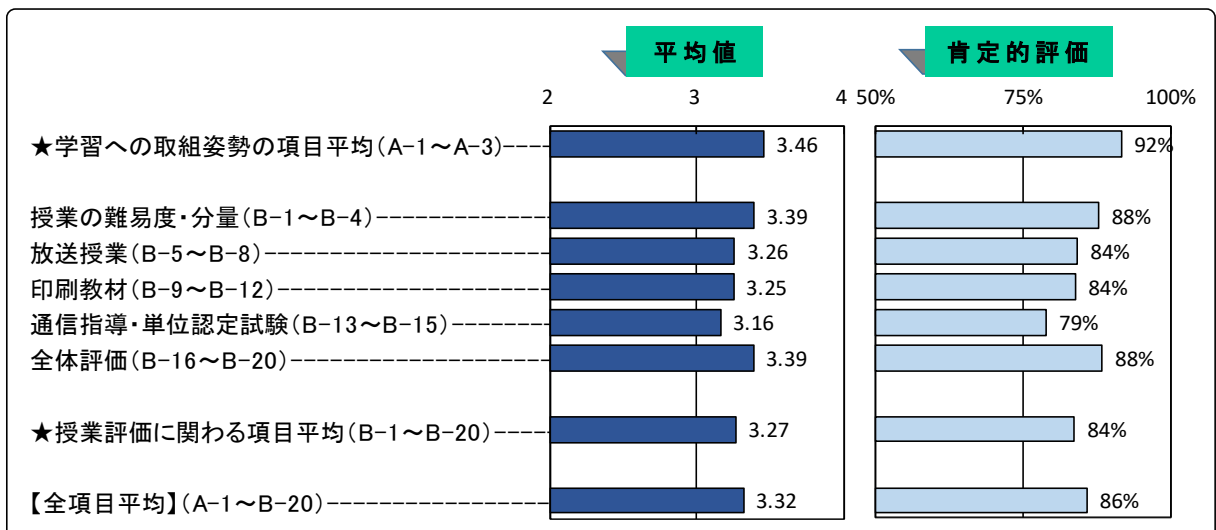
また、新規開設科目の年度比較は、比率の差の検定結果から、大学院は、学部ほど回答者数が多くないため（2018 年 76 人、2017 年度 705 人、2016 年度 453 人）、本年度と昨年度の比較では概ね 6 ポイントの差で有意となったため、6 ポイント以上で「差がある」事にする。

以下の 8 項目の中でそれぞれが重複しない、上から 1 番目～6 番目の項目で 9 割前後の高評価を得ていたのは『学習への取組み姿勢』（92%）、『授業の難易度・分量』（88%）、『全体評価』（88%）であった。

次に 8 割半ばの評価を得たのが『放送授業』『印刷教材』（各 84%）の 2 項目、最も評価が低かったのが『通信指導・単位認定試験』（79%）であった。

『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』は 84%、『全項目平均』（A-1～B-20）は 86% であった。

図 2－47 【大学院】項目平均による全体的傾向



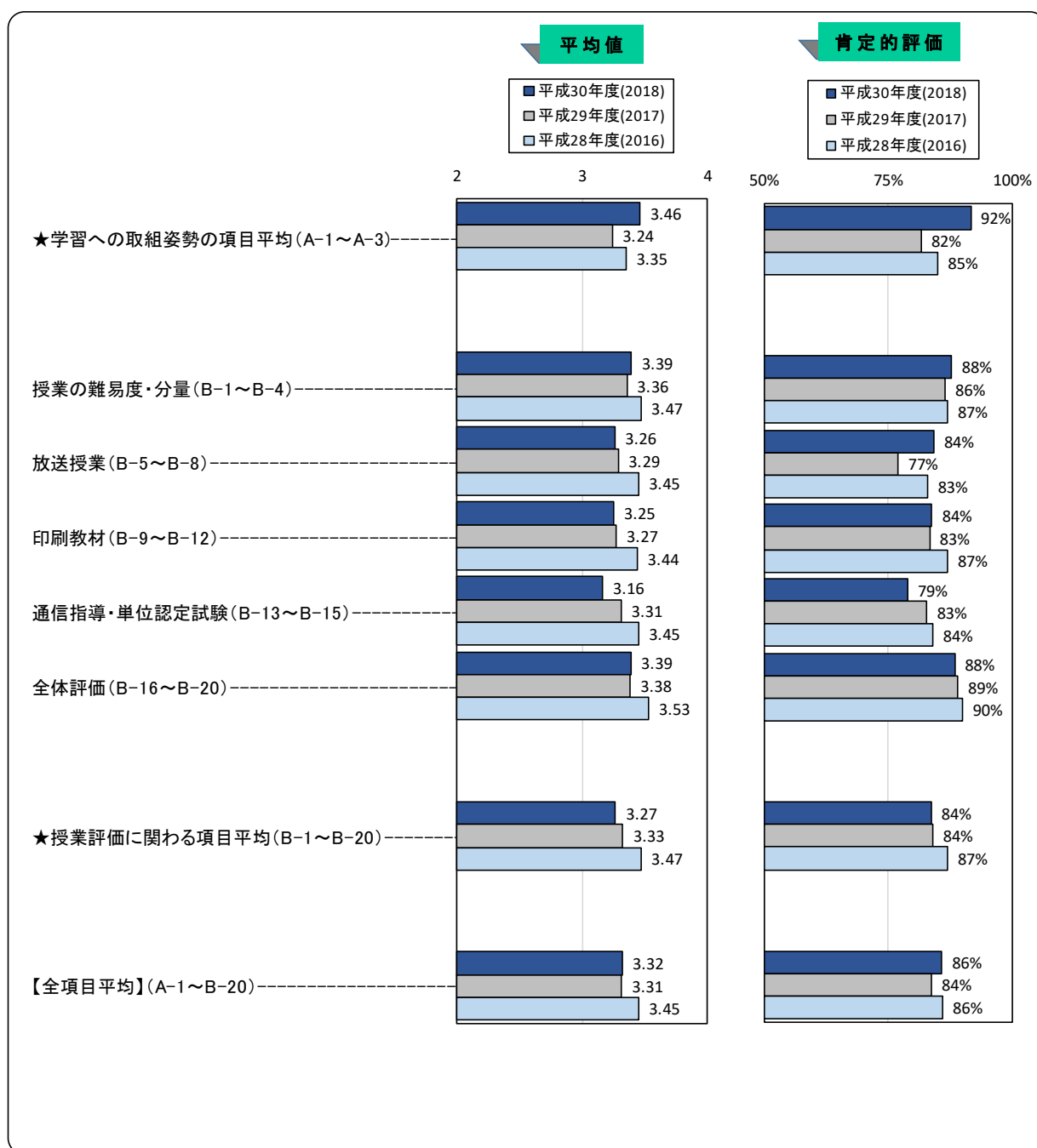
項目平均を科目の開設年度で比較してみると（図2-48）、本年度の『学習への取り組み姿勢』は過去2年度と比べ大きく上昇しており、92%に達していた。

また、『放送授業』でも昨年度から7ポイントの大幅上昇で、84%であった。

それ以外の『授業の難易度・分量』『印刷教材』『通信指導・単位認定試験』『全体評価』では大きな差はみられなかった。

『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』と『全項目平均』も過去2年度と同じ水準であった。

図2-48 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



年齢階層別では（図2-49）、20歳代（4人）、60歳代（5人）、70歳以上（5人）の回答者数が少なく、肯定的評価の値が極端な値を取り、その結果大きな誤差を含むためコメントを割愛することとする。

従って今後、年齢階層別では30歳代、40歳代、50歳代の3層を中心にみていきたい。

『学習への取組み姿勢の項目平均』は30歳代（94%）が高く40歳代が低かった。

『授業の難易度・分量』は30歳代（92%）～50歳代までは、年代の上昇と共に漸減傾向であった。

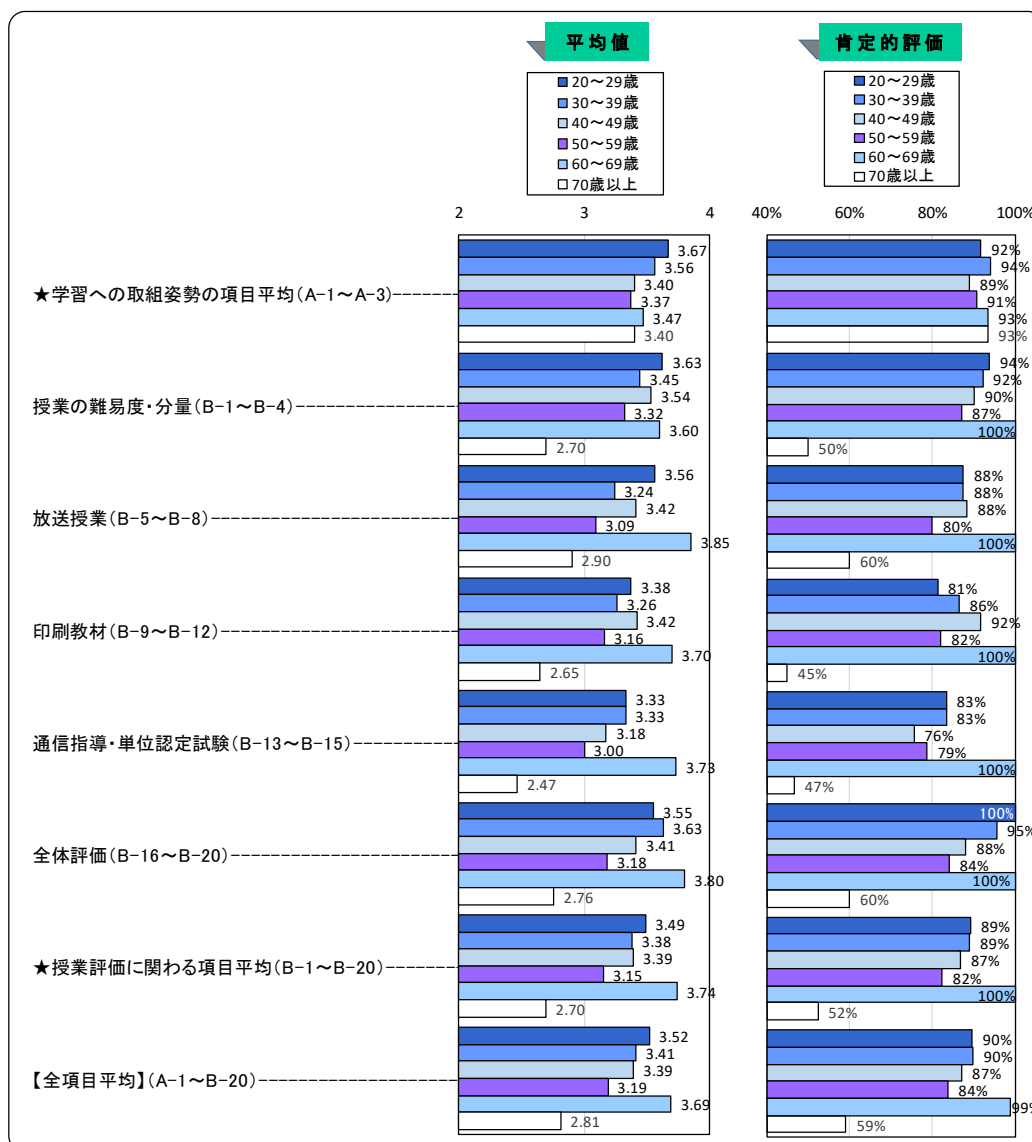
『放送授業』は50歳代で80%と他の年代より低かった。

『印刷教材』は40歳代が92%と高く、『通信指導・単位認定試験』は、30歳代が83%と高かった。

『全体評価』では30歳代（95%）が最も高く、50歳代までの年代の上昇と共に漸減傾向がみられた。

『授業評価に関わる項目平均（B-1～B-20）』と『全項目平均（A-1～B-20）』でも30歳代が最も高く、50歳代まで年代の上昇と共に評価が下がる傾向であった。

図2-49 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向

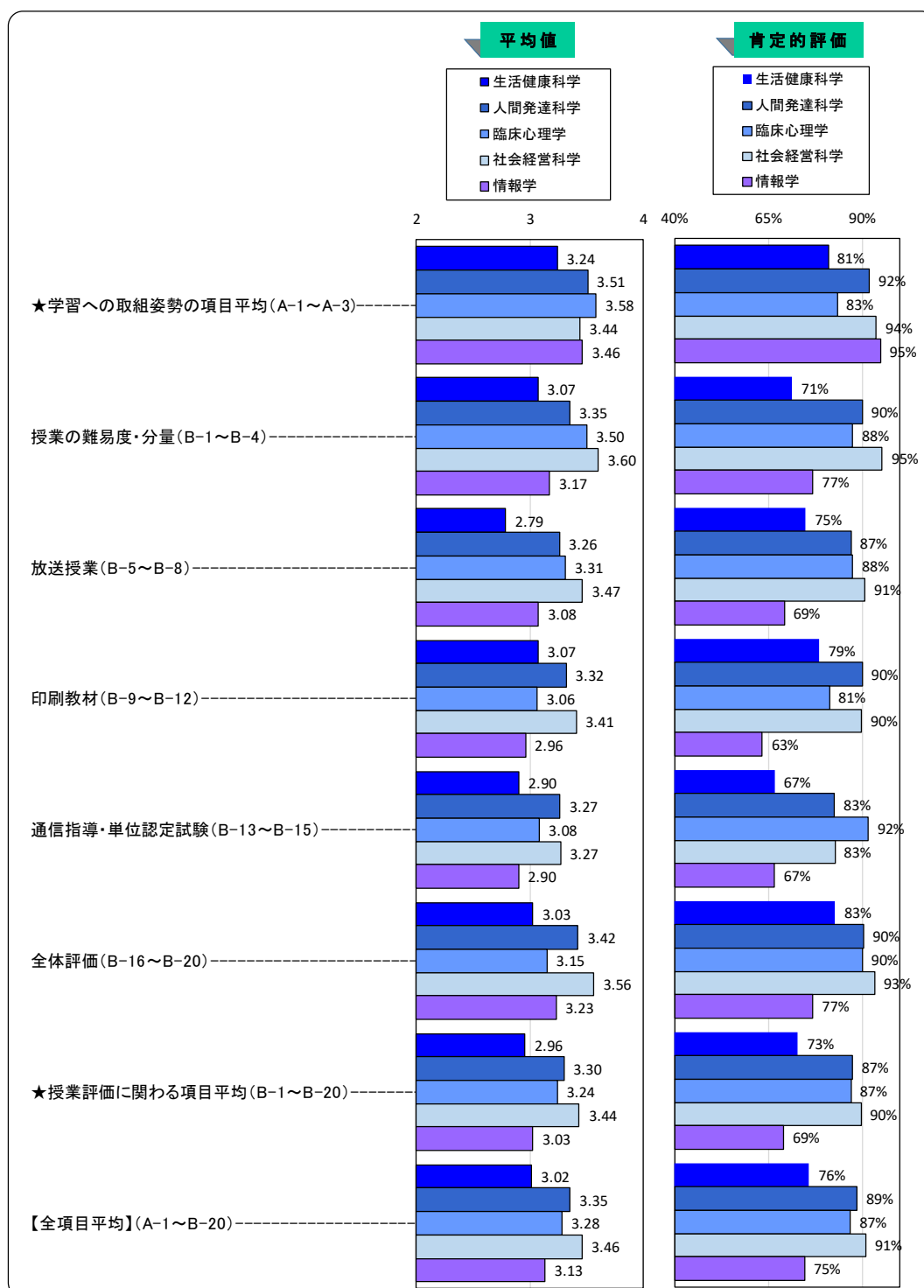


科目の所属プログラム別に項目平均をみると（図2-50）、生活健康科学（7人）、臨床心理学（4人）、情報学（13人）の回答者数が少なく、肯定的評価の値が極端な値を取り、その結果大きな誤差を含むためコメントを割愛することとする。

従って今後、所属プログラム別評価は人間発達科学と社会経営科学の2つのプログラムを中心にみていきたい。

『授業の難易度・分量』だけで、人間発達科学と社会経営科学に5ポイントの差が見られ、社会経営科学（95%）が高評価であった。

図2-50 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向



職業別では（図2-51）、その回答者数が「会社員」（28人）以外は「公務員」が多くて13名、それ以外の職業では7人以下と少なく、肯定的評価に大きな誤差を含むため、今後「会社員」以外のコメントを割愛することとする。

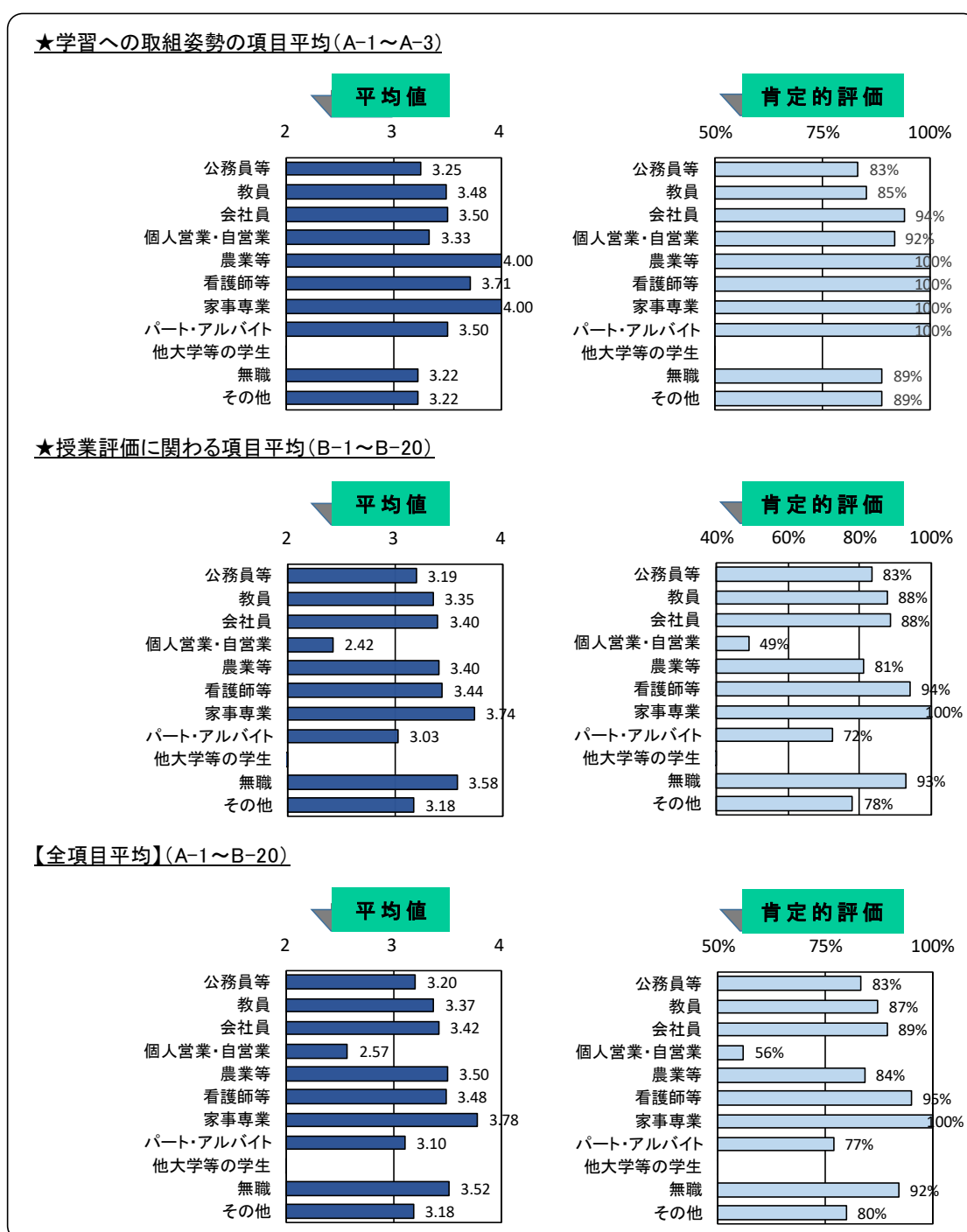
ただ、単独の数値だけを記述してもあまり意味を持たないため、全体の肯定的評価を基準にコメントしていくことにする。

『学習への取組み姿勢』は全体92%（70頁参照）、会社員が94%で同水準であった。

『授業評価に関わる項目平均』では全体（84%）と「会社員」（88%）に、それほど大きな差はなかった。

また、『全項目平均』でも、全体（86%）と「会社員」（89%）は同じ水準であった。

図2-51 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向



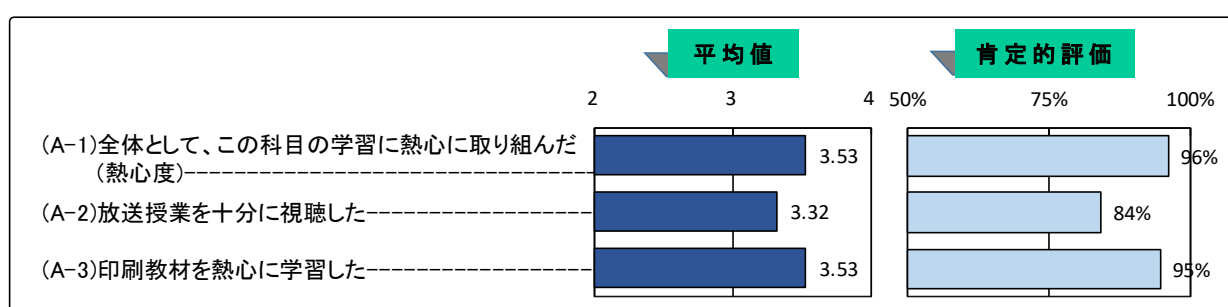
Ⅱ－２－２．学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果をみていく。

学習への取組み姿勢（図 2－5 2）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は 95%以上とそれぞれの熱心度は高かった。

一方、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は 84%で前述の 2 項目に比べると評価は低かった。

図 2－5 2 【大学院】回答者全体の取組姿勢

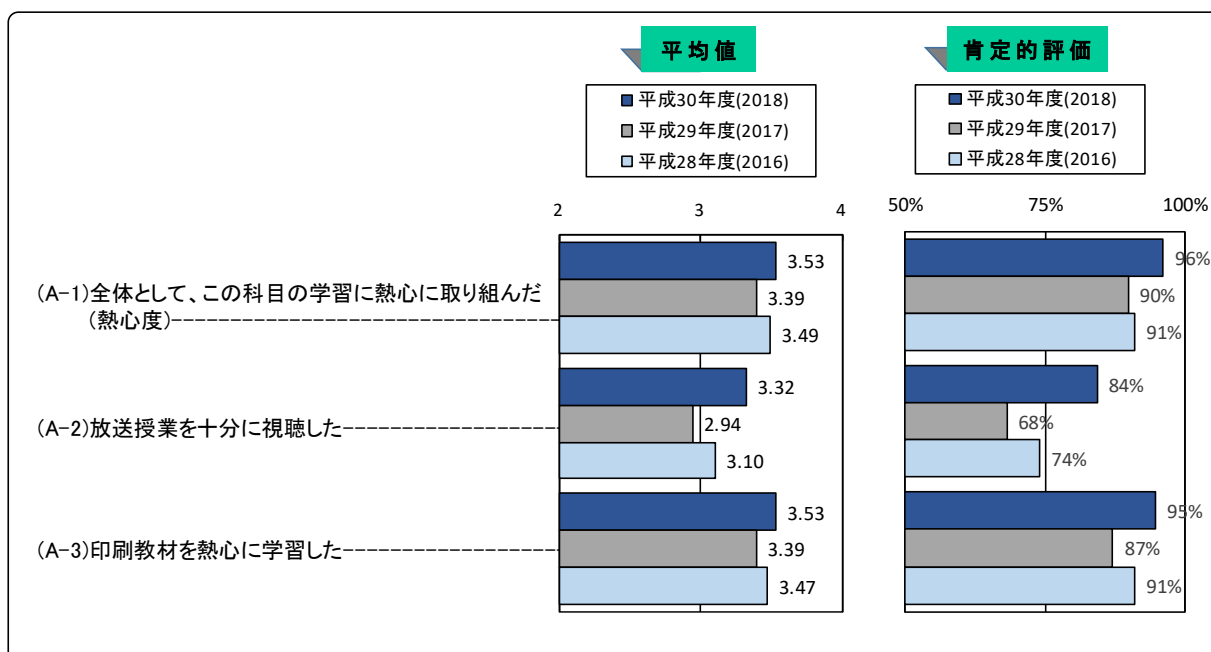


学習への取組み姿勢を時系列でみると（図2-53）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」については、昨年度から6ポイントの上昇で96%に達していた。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」についても過去2年度から10ポイントの飛躍がみられ、その評価は84%であった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」も昨年度に比べ8ポイントアップで95%の高評を得ていた。

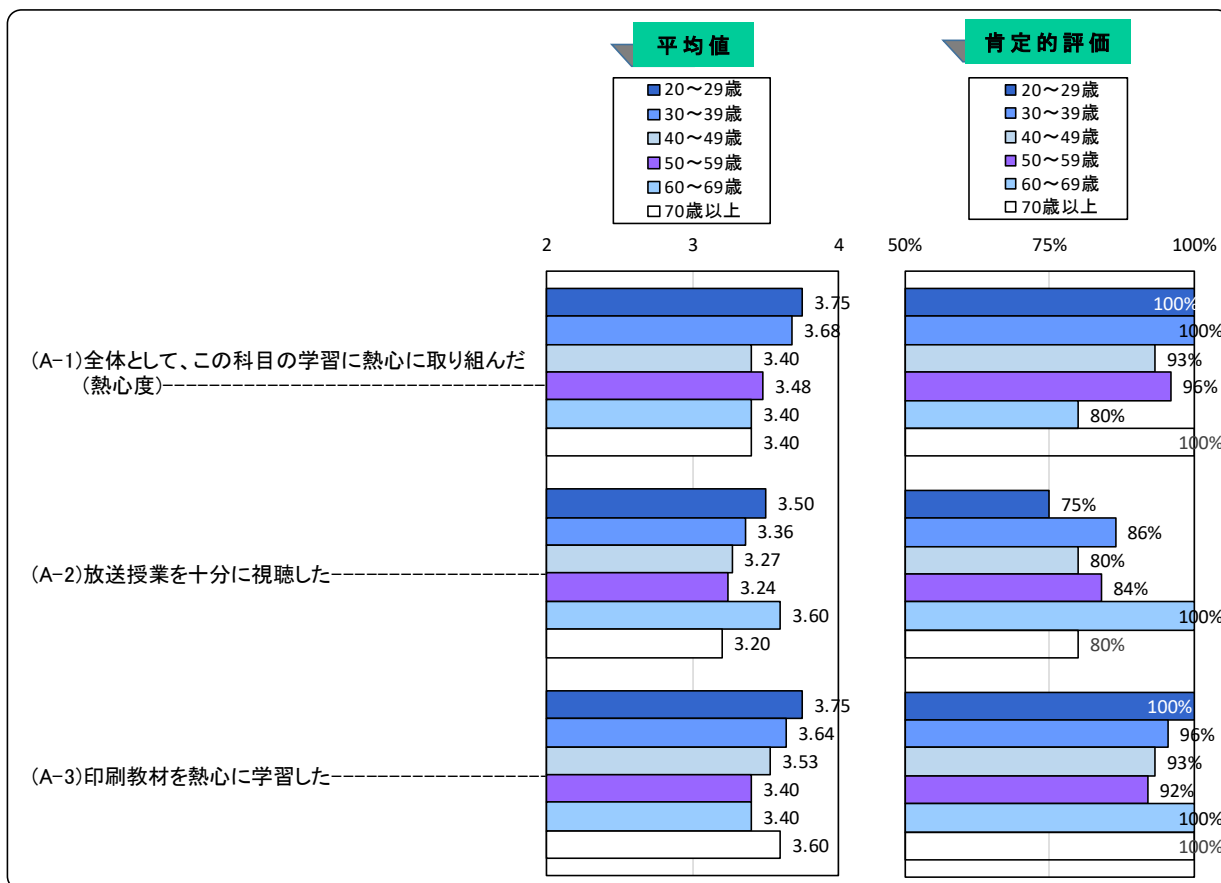
図2-53 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



年齢階層別では（図2-54）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」と(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は30歳代～50歳代までいずれも9割以上で、特に「A-1」の30歳代は100%と非常に高い熱心度であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は30歳代～50歳代から、8割から8割後半の評価を得ていた。

図2-54 【大学院】年齢階層別の取組姿勢

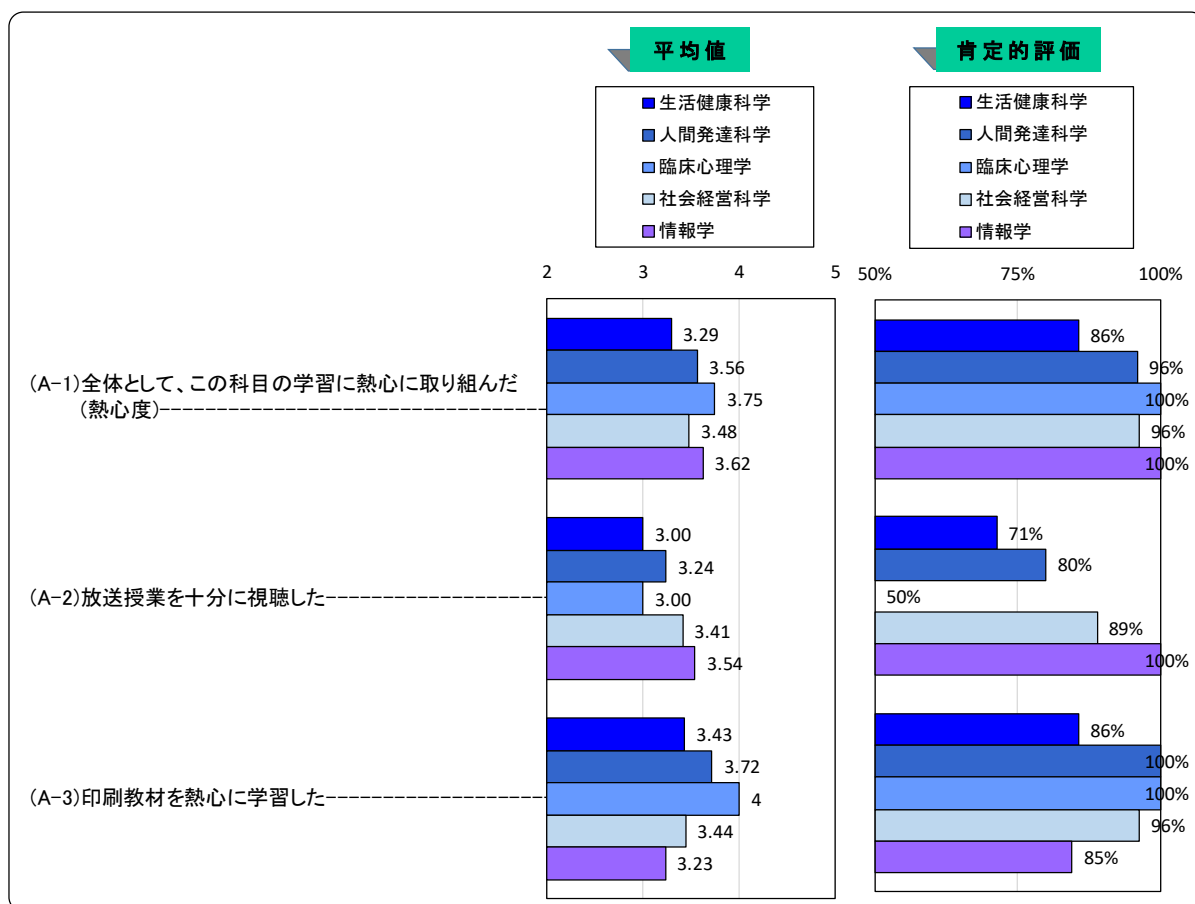


所属プログラム別では（図2-55）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、「人間発達科学」と「社会経営科学」は共に96%で高評価であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については、「人間発達科学」（80%）より「社会経営科学」（89%）の方が高い傾向であった。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は両プログラム共、非常に高い評価で、「人間発達科学」は全員からその賛同を得ていた。

図2-55 【大学院】所属プログラム別の取組姿勢



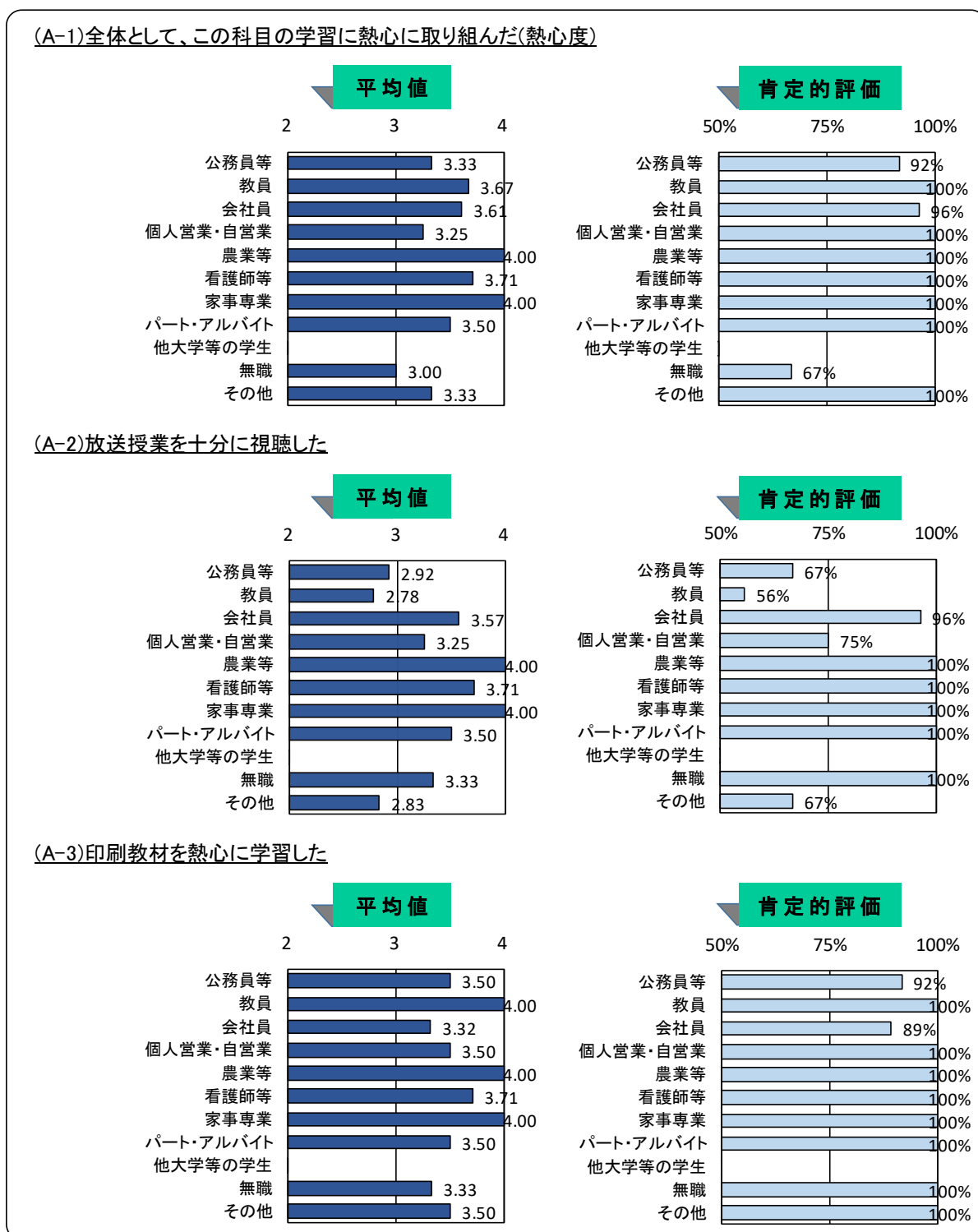
職業別では(図2-56)、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)」では、会社員(96%)は全体と同じ評価であった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、会社員(96%)の方が全体より高い傾向がみられた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、会社員が89%で、全体より低い傾向がみられた。

(※全体の肯定的評価「A-1」:96%、「A-2」:84%、「A-3」:95%)

図2-56【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図2-57）では、属性別の各層内で回答者数が15人未満と少ないもの（例えば20～29歳が4人）を除くと、【年齢階層別】では30歳代～50歳代の3階層、【所属プログラム】では「社会経営科学」と「人間発達科学」、【職業】では「会社員」となり、この6属性についてコメントすることにする。

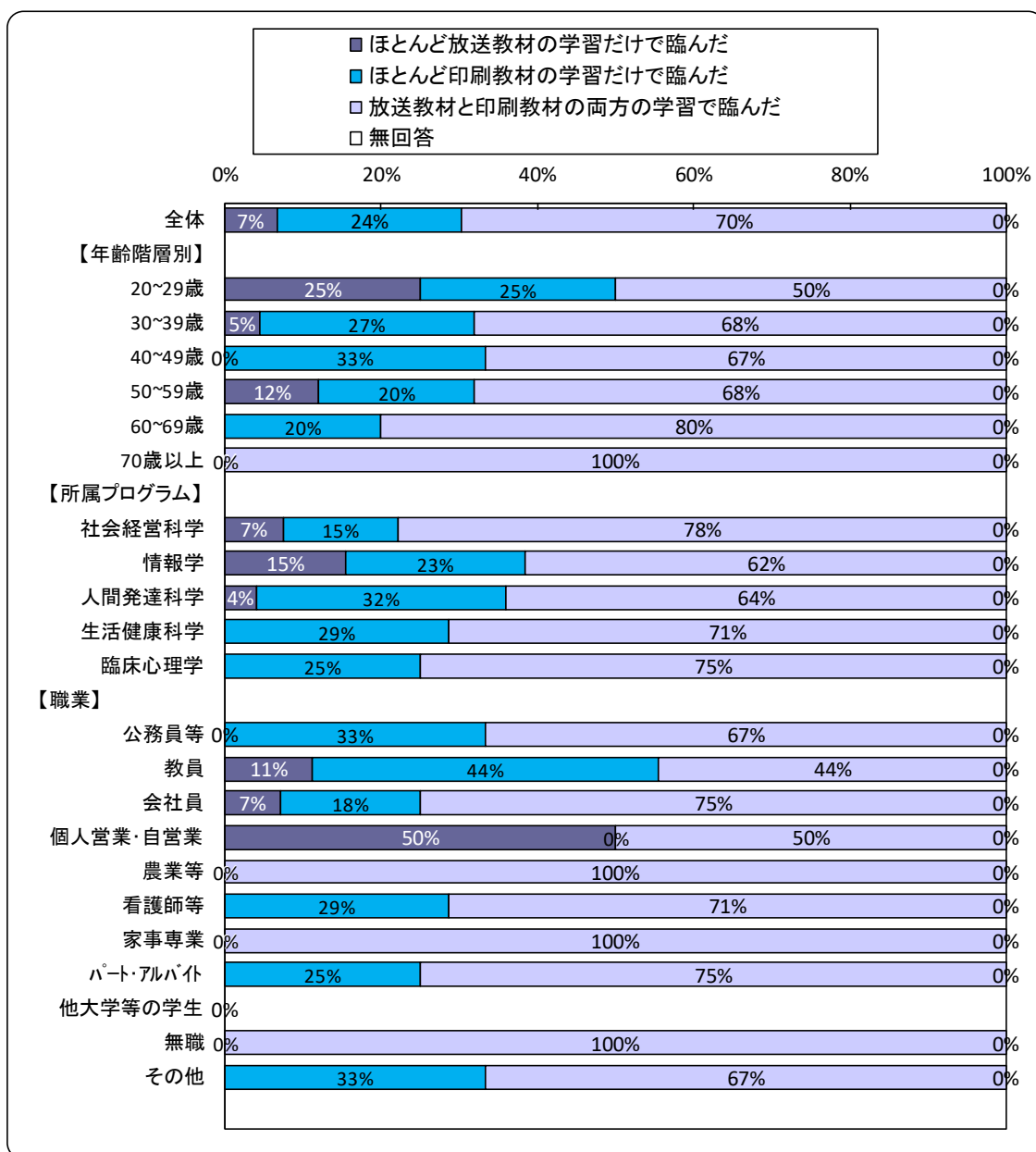
全体では、比率の高い順に「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が70%を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が24%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は7%とごく僅かであった。

年齢階層別では30歳代と50歳代は全体とほぼ同じ傾向で、40歳代は「放送教材の学習だけ」は1人もなく、「印刷教材の学習だけ」が全体に比べ33%と高かった。

また、全体に比べ「社会経営科学」は、「印刷教材の学習だけ」が低く、「両方の学習で」は高かった。反対に「人間発達科学」は、全体に比べ「印刷教材の学習だけ」が高く、「両方の学習で」は低かった。

「会社員」は全体に比べ「印刷教材の学習だけ」が低く、「両方の学習で」は高かった。

図2-57 【大学院】 単位認定のための学習方法



Ⅱ－２－３．大学院の授業評価

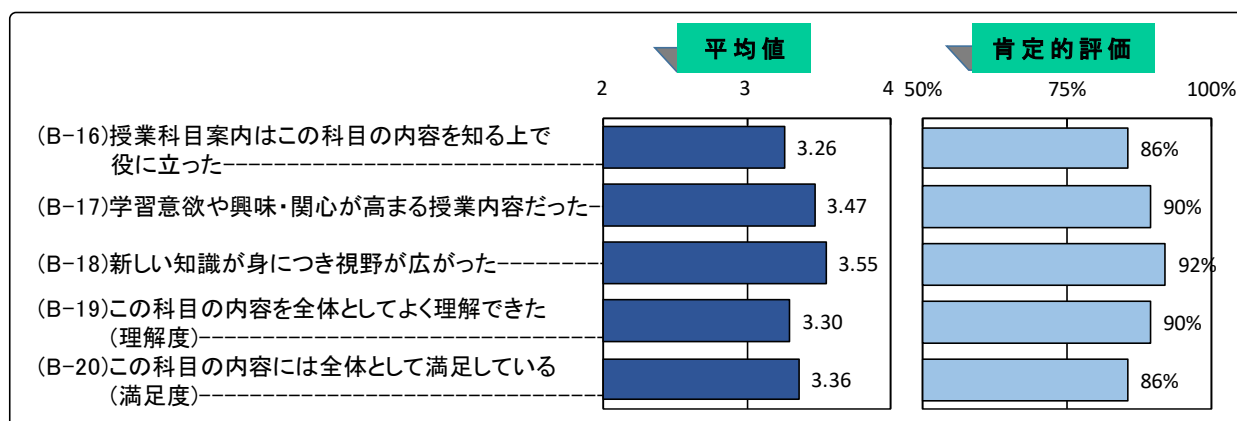
(1) 全体評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとにみていくことにする。

全体評価では(図2-58)、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」～(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は、90%に達し、高い評価を得ていた。

それ以外の(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は共に8割半ばから支持された。

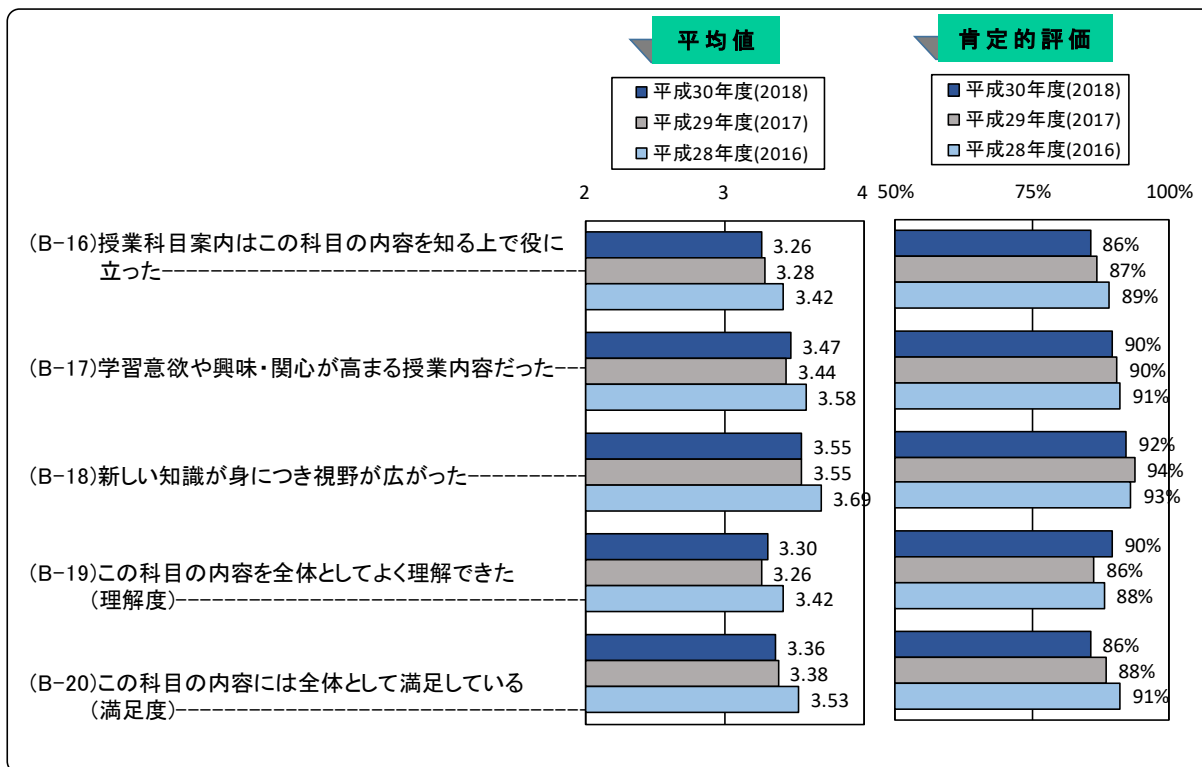
図2-58 【大学院】回答者全体の全体評価



全体評価を時系列で見ると（図2-59）、この3年間ほとんど変わりがなく同水準であった。

昨年度との比較で（B-19）「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」だけが、本年度の評価がわずかに増加であった。

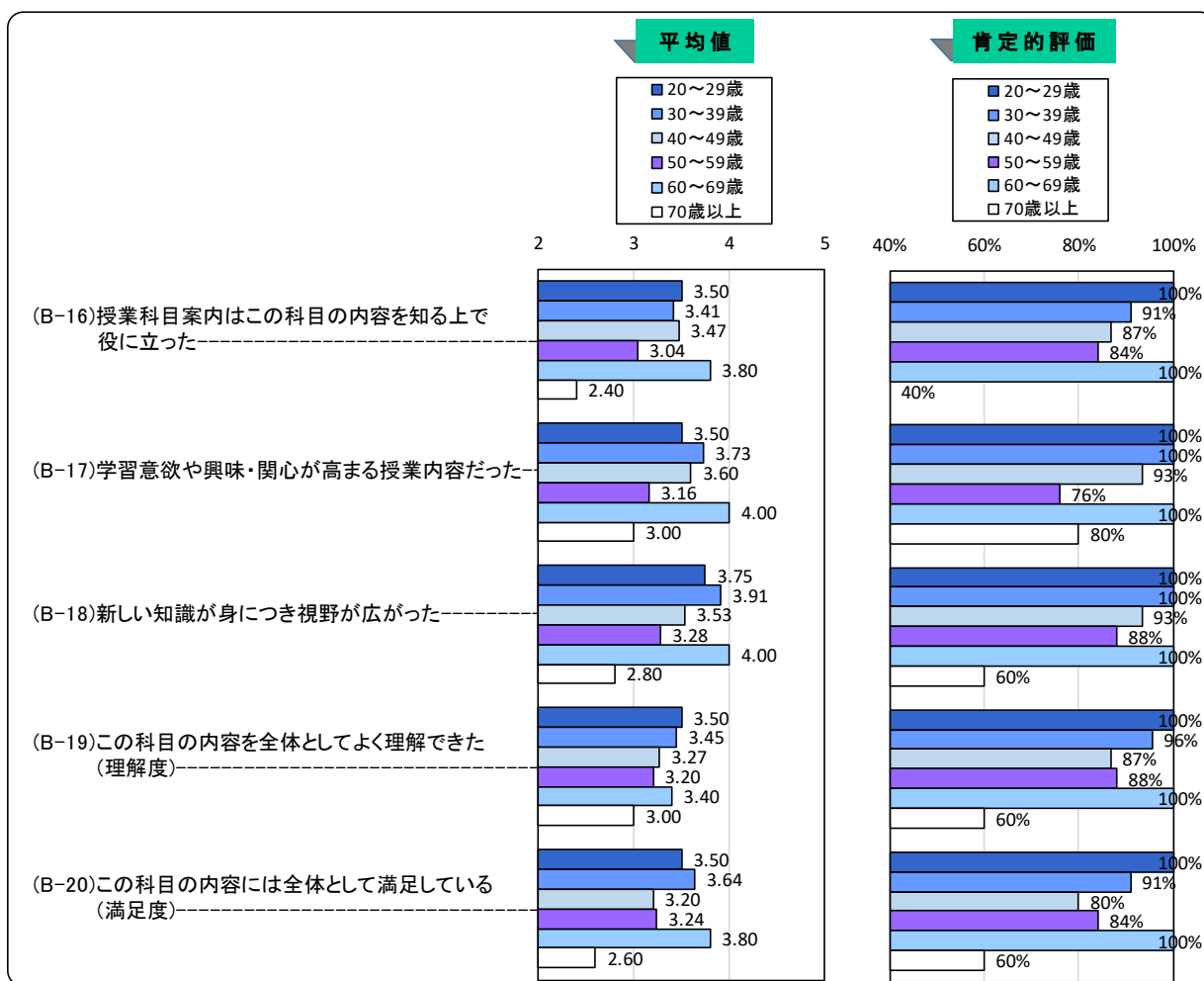
図2-59 【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



年齢階層別では（図2-60）、30歳代～50歳代では、(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」の3項目で、若い年代ほど評価が高く、「B-17」でその差は大きく、30歳代（100%）と50歳代（76%）では24ポイントの差がみられた。

(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」と(B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」でも30歳代の評価が高く、「B-19」で96%、「B-20（満足度）」で91%と高い支持を得ていた。

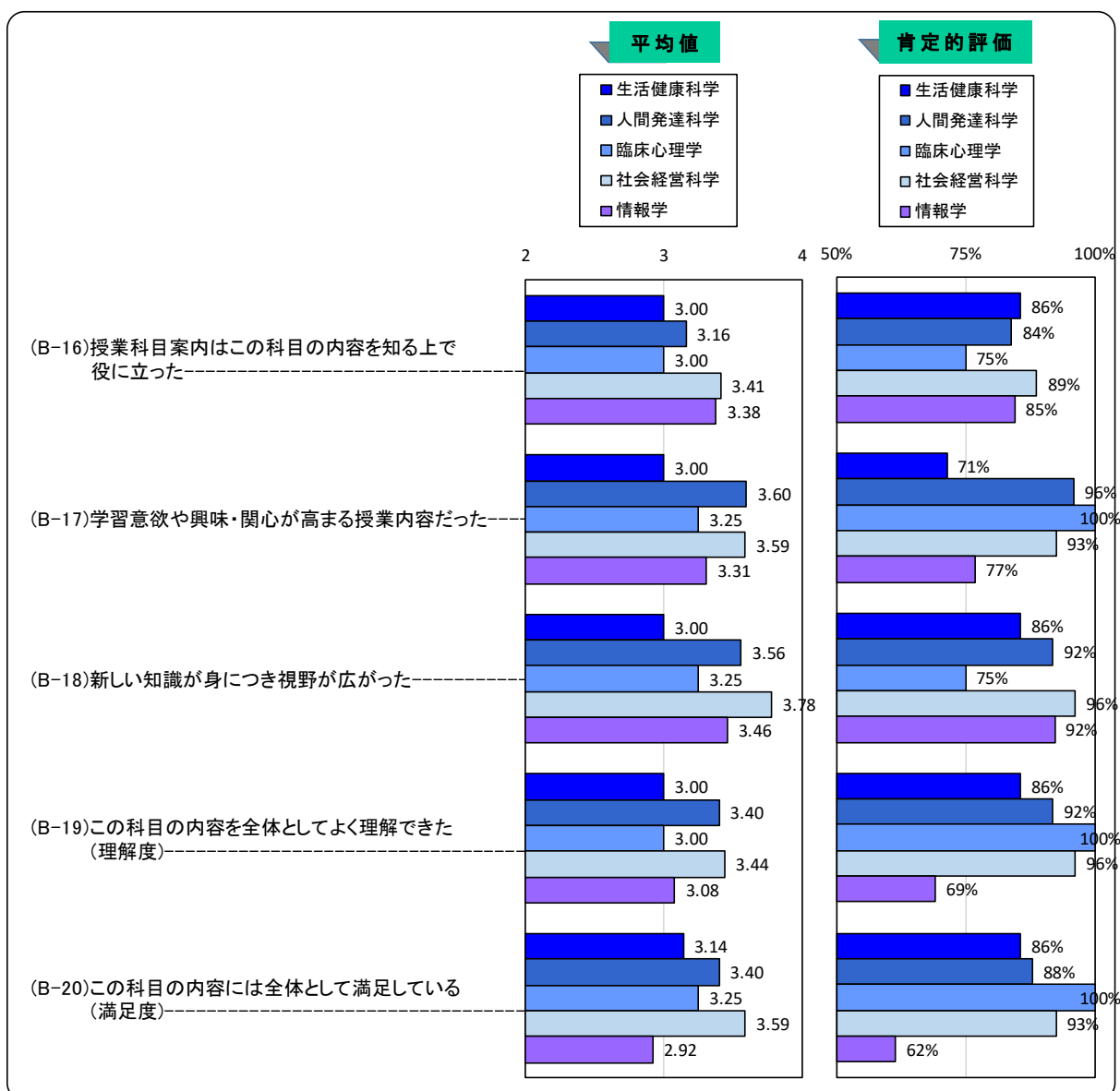
図2-60【大学院】年齢階層別の全体評価



所属プログラム別に全体評価をみると（図 2-6 1）、「人間発達科学」と「社会経営科学」の評価は、(B-17)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」～(B-19)「この科目の内容を全体としてよく理解できた（理解度）」の 3 項目で、それぞれ 9 割前半から 9 割半ばと、高評であった。

(B-16)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と (B-20)「この科目の内容には全体として満足している（満足度）」では、共に「社会経営科学」が 9 割前後と、高い支持を得ていた。

図 2-6 1 【大学院】所属プログラム別の全体評価

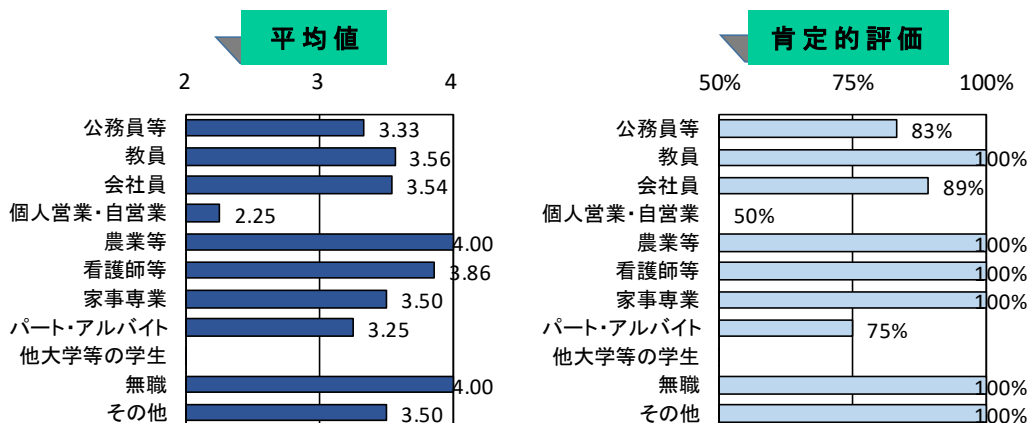


職業別では（図2-62）、下記の3項目については、「会社員」のそれぞれの評価は全体と同じ水準であった。

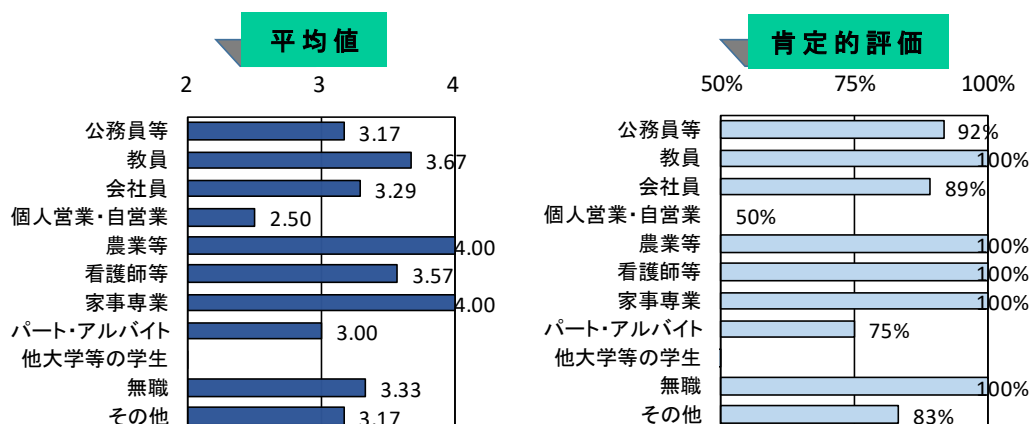
（※全体の肯定的評価「B-17」：90%、「B-19」：90%、「B-20」：86%）

図2-62【大学院】職業別の全体評価

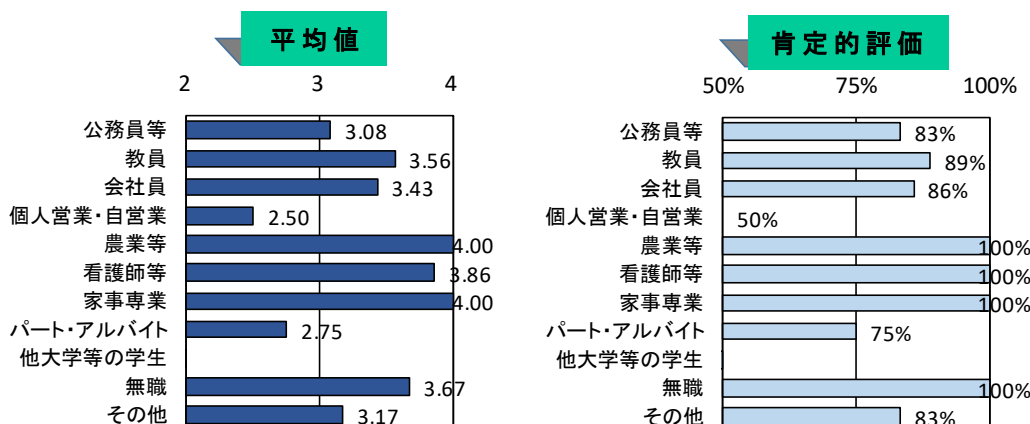
(B-17)学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



(B-19)この科目の内容を全体としてよく理解できた



(B-20)この科目の内容には全体として満足している

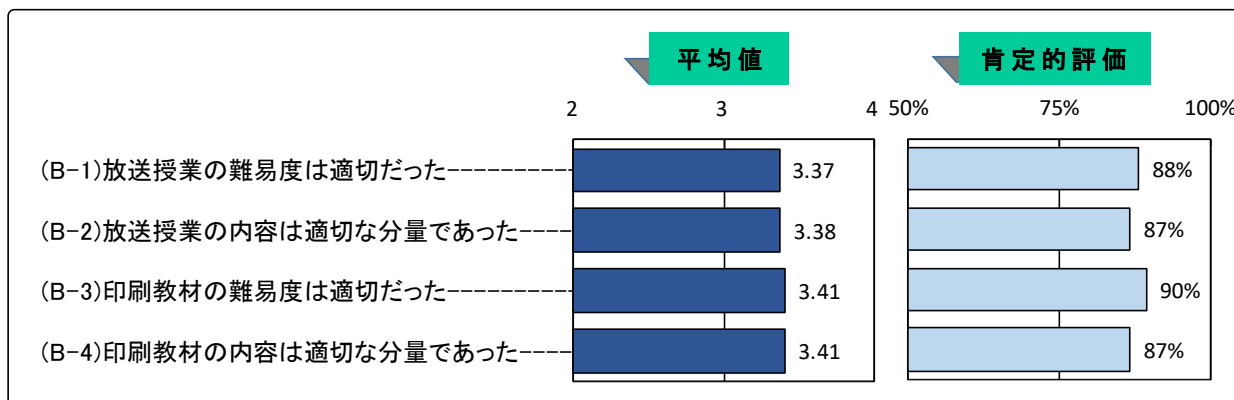


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとにみていく。

授業の難易度・分量の評価は(図2-63)、いずれも約9割と高い評価となっている。

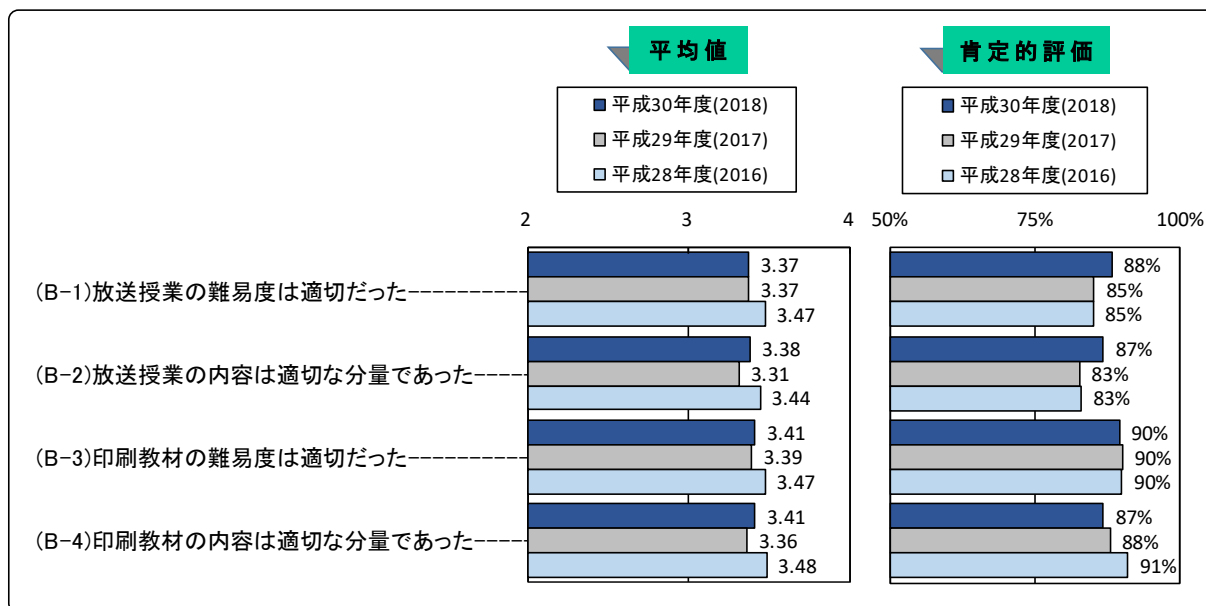
図2-63 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



開設年度で比較すると(図2-64)、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では、本年度は過去2年度と比べ3~4ポイントの上昇で、8割後半の評価を得ていた。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」では、本年度は昨年度と比べると変わらず、9割から8割後半の評価を得ていた。

図2-64 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価(開設年度比較)



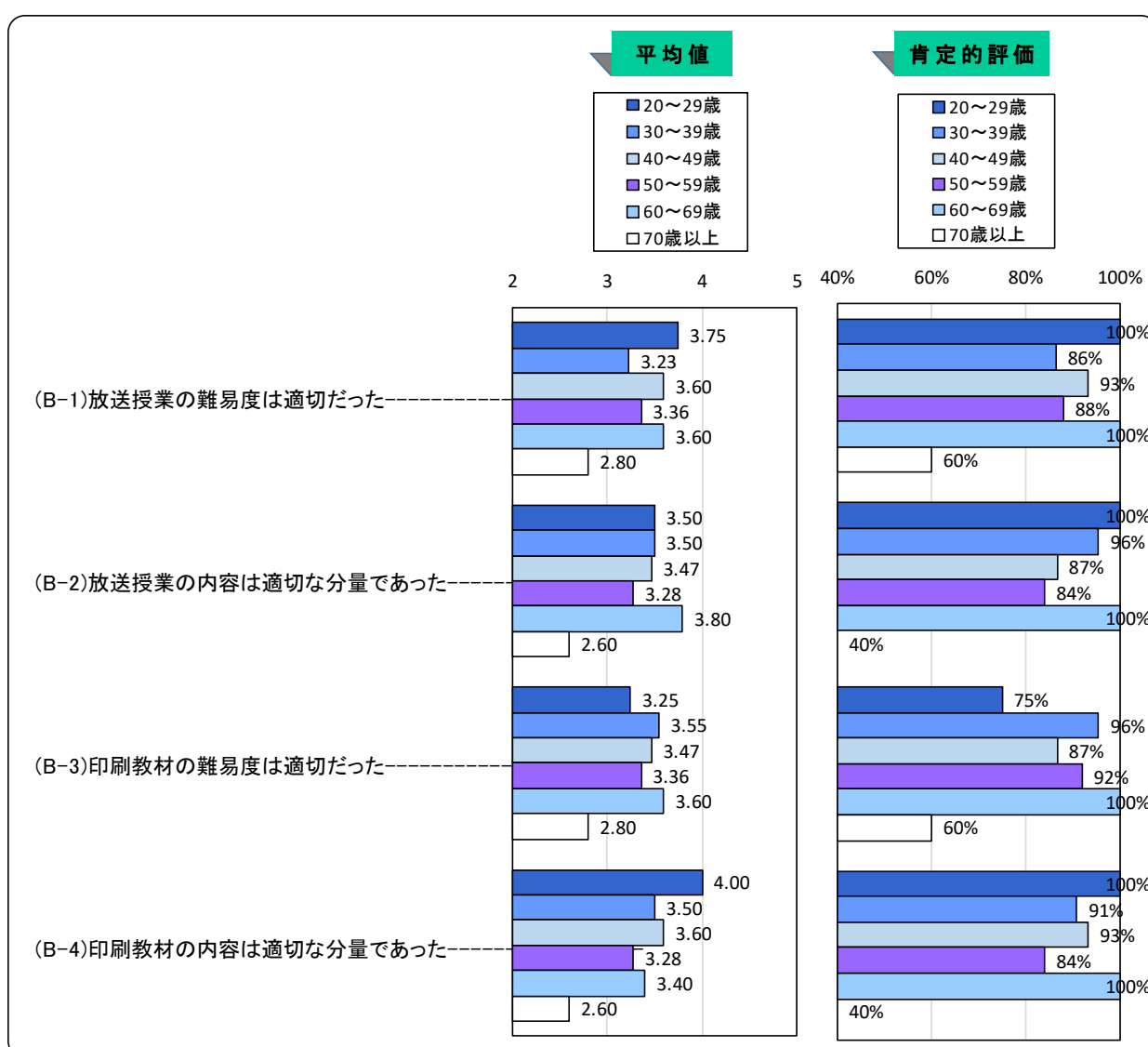
年齢階層別に授業の難易度・分量をみると（図2-65）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は40歳代の評価が93%と高かった。

同様に(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は30歳代(96%)がピークで、年代が上がるにつれ評価は下降傾向で、50歳代で84%となっていた。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、30歳代が96%と高く、40歳代で低かった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は、30歳代(91%)、40歳代(93%)は9割越えで高く、50歳代で評価が低かった。

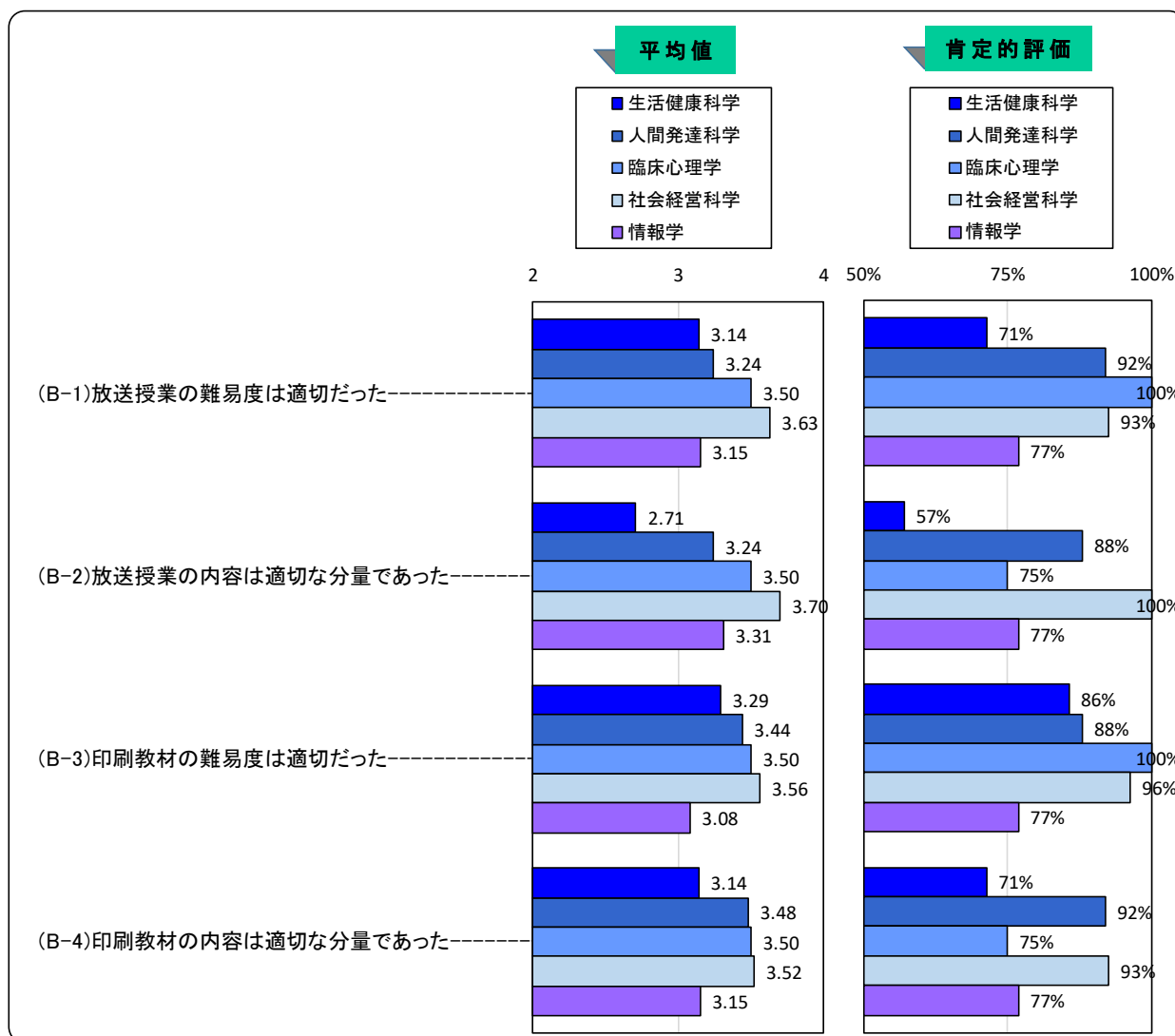
図2-65 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



所属プログラム別に授業の難易度・分量をみると（図 2-66）、（B-1）「放送授業の難易度は適切だった」と（B-4）「印刷教材の内容は適切な分量であった」では、「人間発達科学」「社会経営科学」は共に 9 割前半の高い評価であった。

（B-2）「放送授業の内容は適切な分量であった」と（B-3）「印刷教材の難易度は適切だった」は、「人間発達科学」より「社会経営科学」の評価が高く、「B-2」で 100%、「B-3」で 96%と際立っていた。

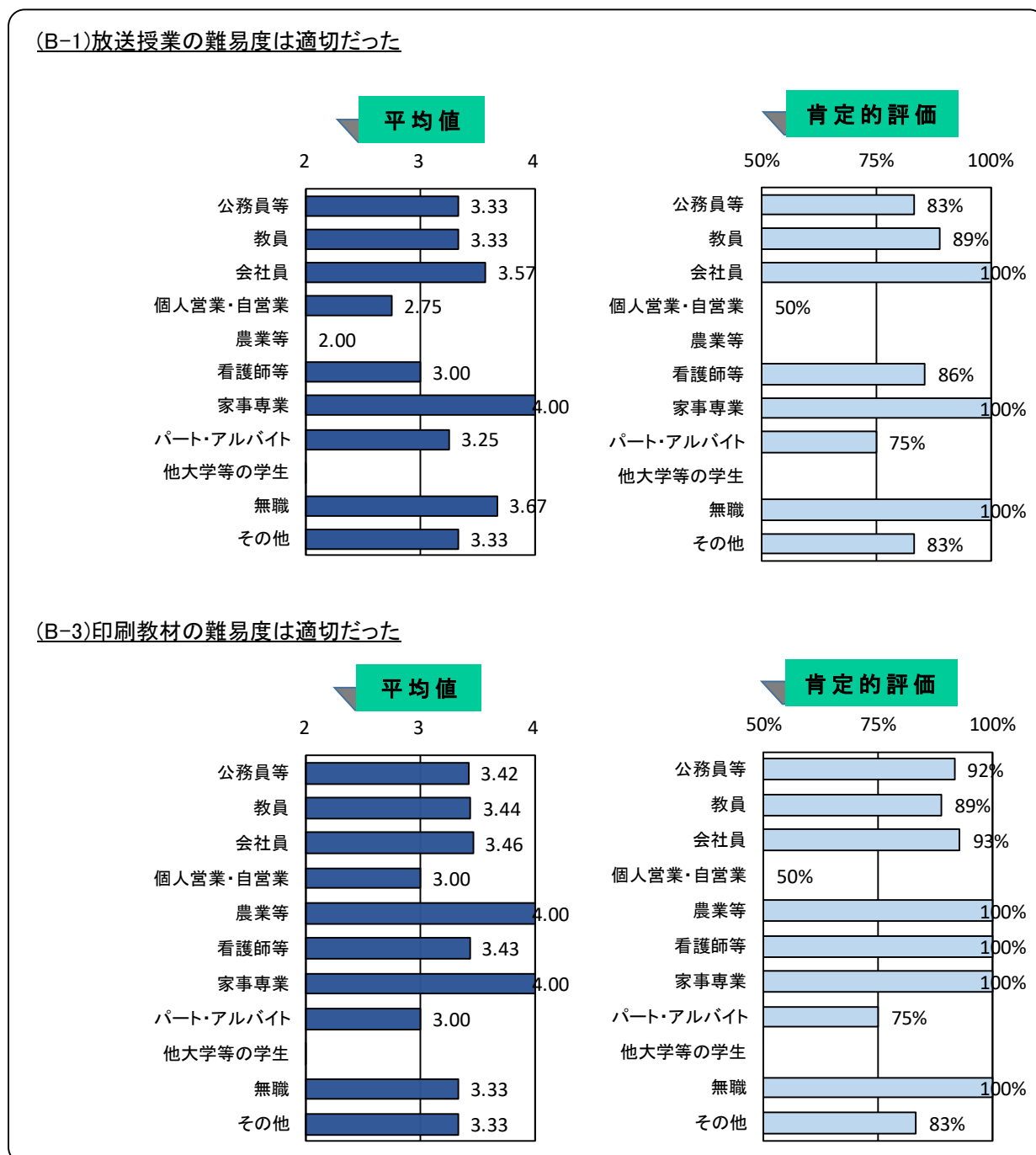
図 2-66 【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度をみると（図2-67）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は、「会社員」の肯定的評価が100%と、全員から支持を得ており、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」でも93%と9割を超える評価を得ていた。

(※全体の肯定的評価「B-1」:88%、「B-3」:90%)

図2-67【大学院】職業別の授業難易度の評価



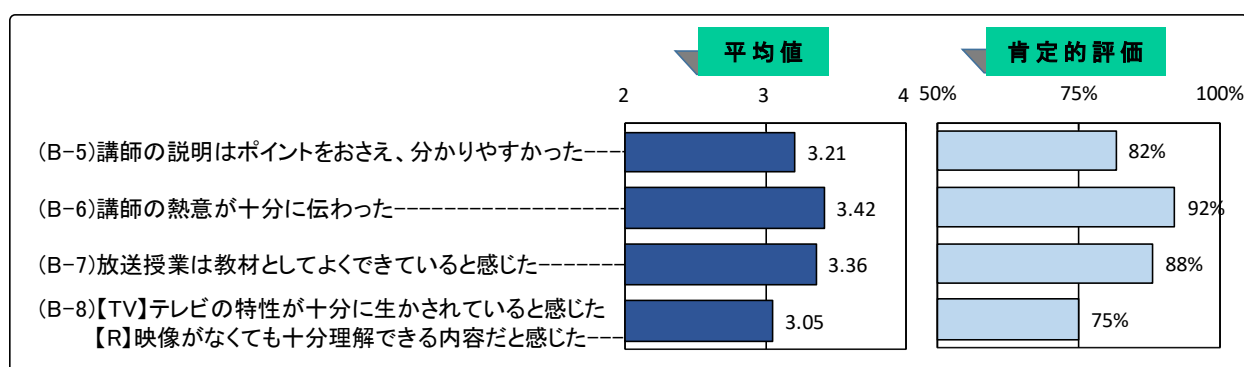
(3) 放送授業

ここからは放送授業について評価項目ごとにみていく。

放送授業に関する評価項目をみると(図2-68)、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」と(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は9割前後で、この4項目の中で高い評価となっていた。

(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は8割からの支持で、(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は7割半ばにとどまっていた。

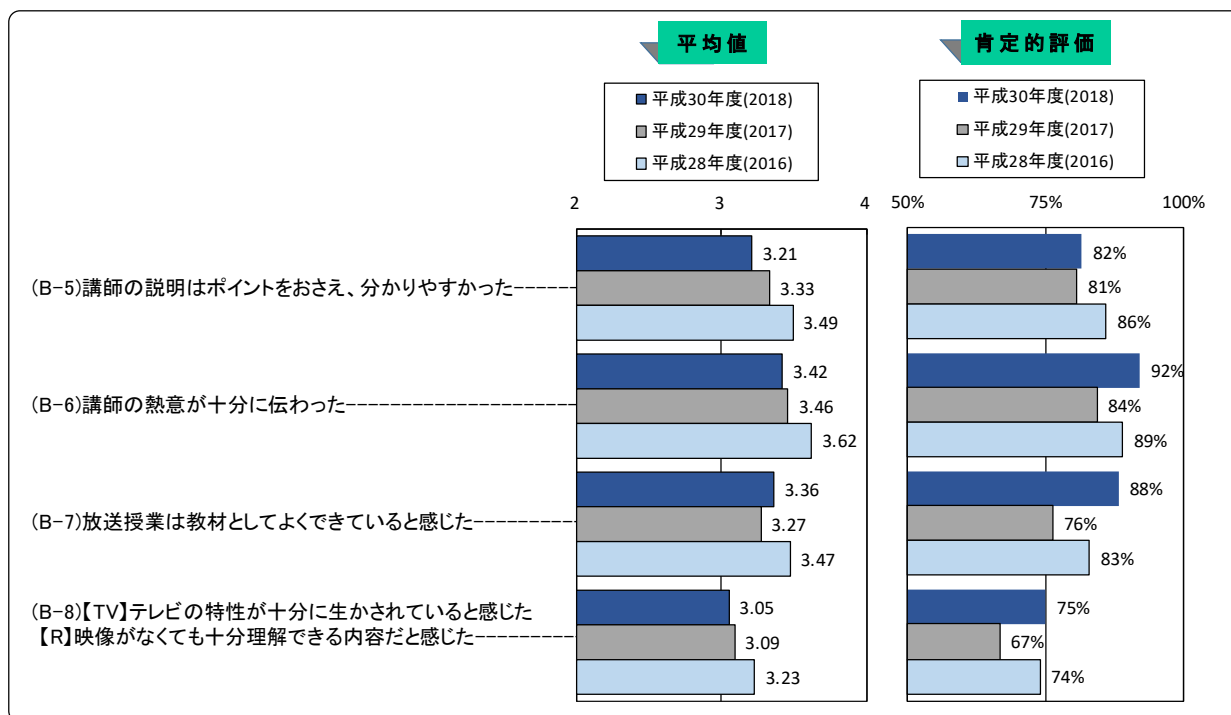
図2-68 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列でみると（図2-69）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、昨年度と同水準の82%であった。

(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」～(B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」までの3項目は、昨年度から8～12ポイントの大きな上昇がみられた。

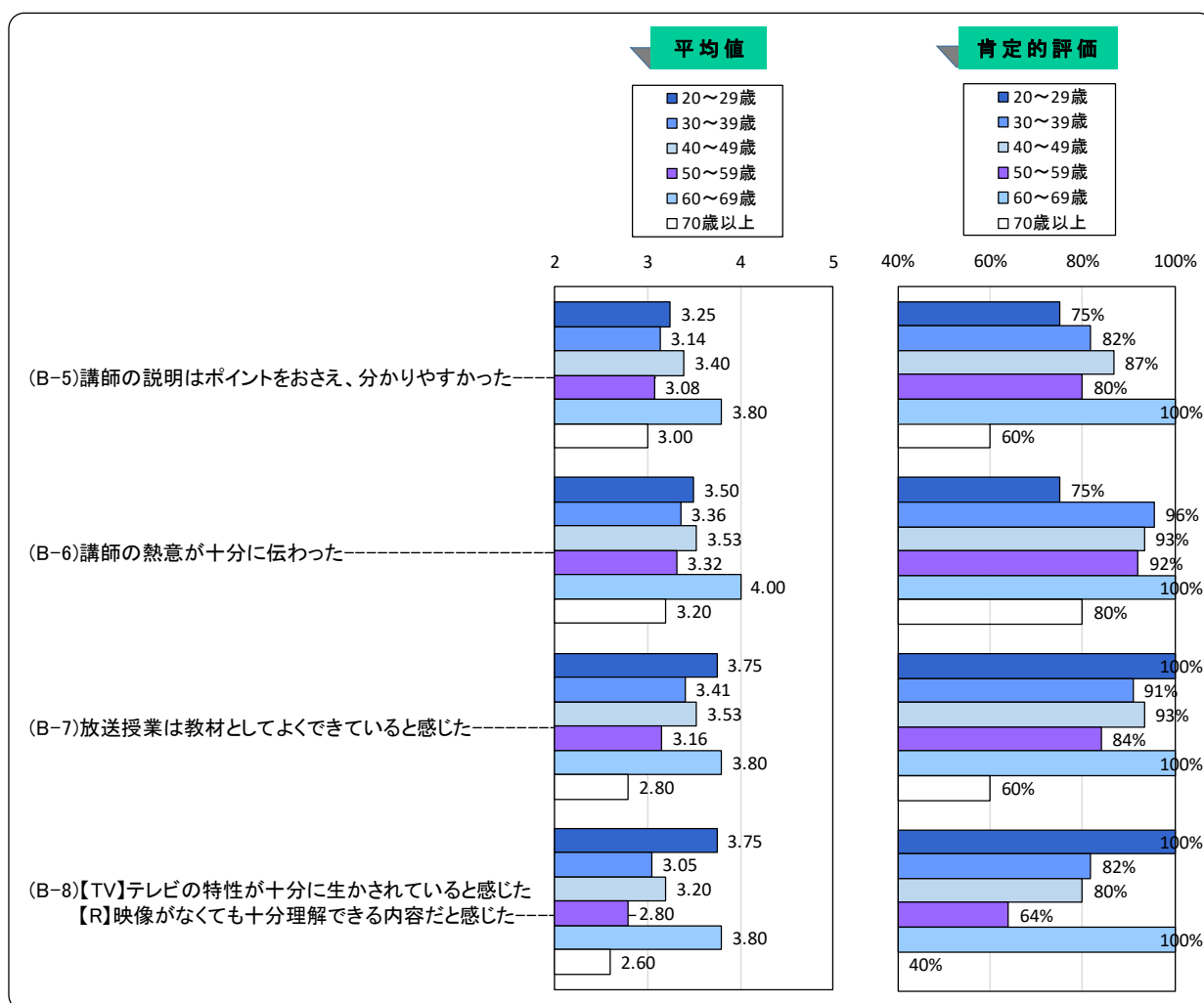
図2-69 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別では（図 2-70）、30 歳代～50 歳代までは、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は 40 歳代が 87%と高く、(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」は 30 歳代が 96%と高かった。

(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」と (B-8)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は 30～40 歳代が 8 割と高く、「B-8」については 50 歳代が 6 割半ばと極端に低かった。

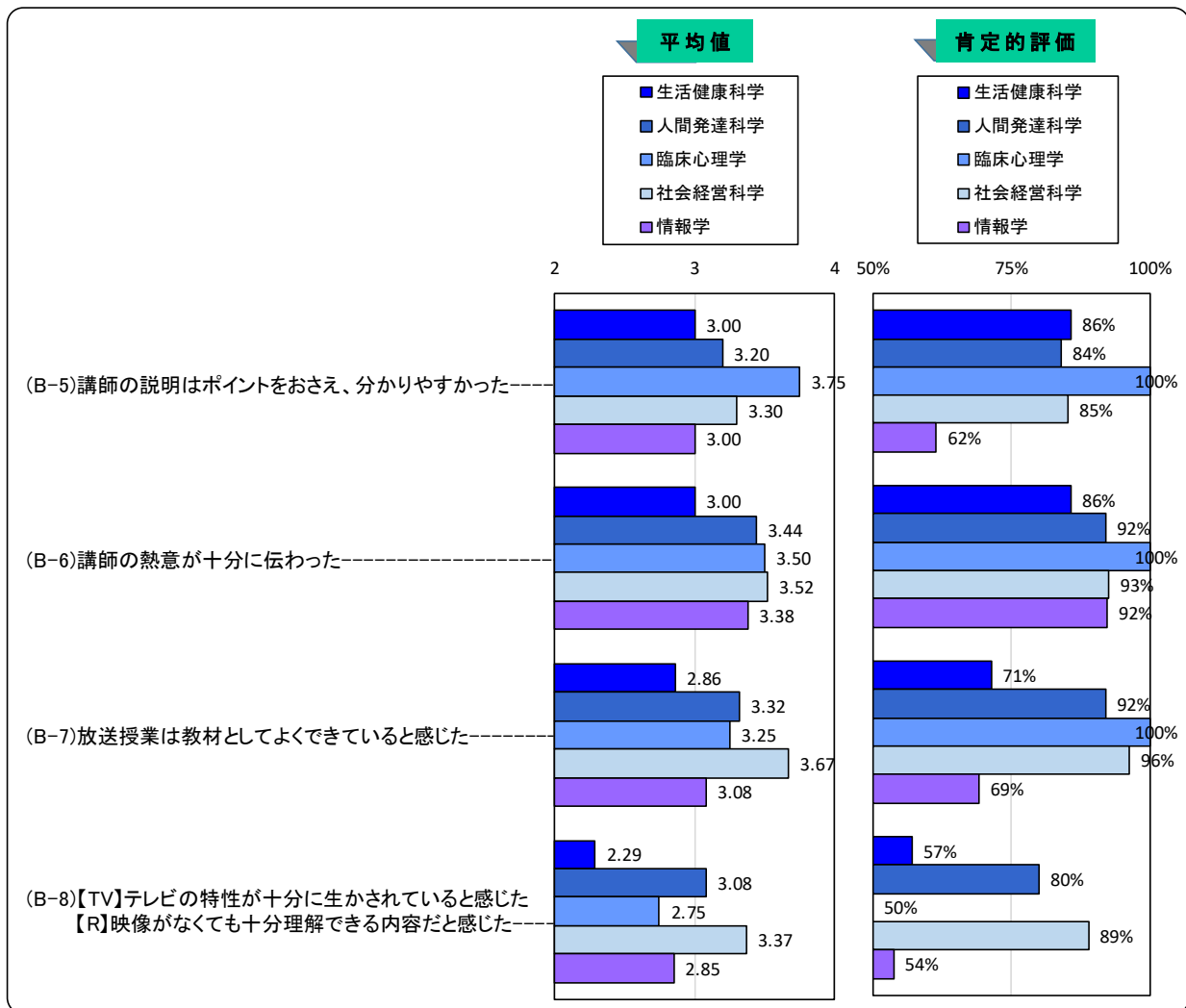
図 2-70 【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



所属プログラム別では（図 2-7 1）、「人間発達科学」と「社会経営科学」は、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「講師の熱意が十分に伝わった」では同水準で、「B-5」は共に 8 割半ば、「B-6」は共に 9 割であった。

一方、(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」と (B-8)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」については「社会経営科学」の方が、評価が高く、「B-7」で 9 割半ば、「B-8」で 9 割であった。

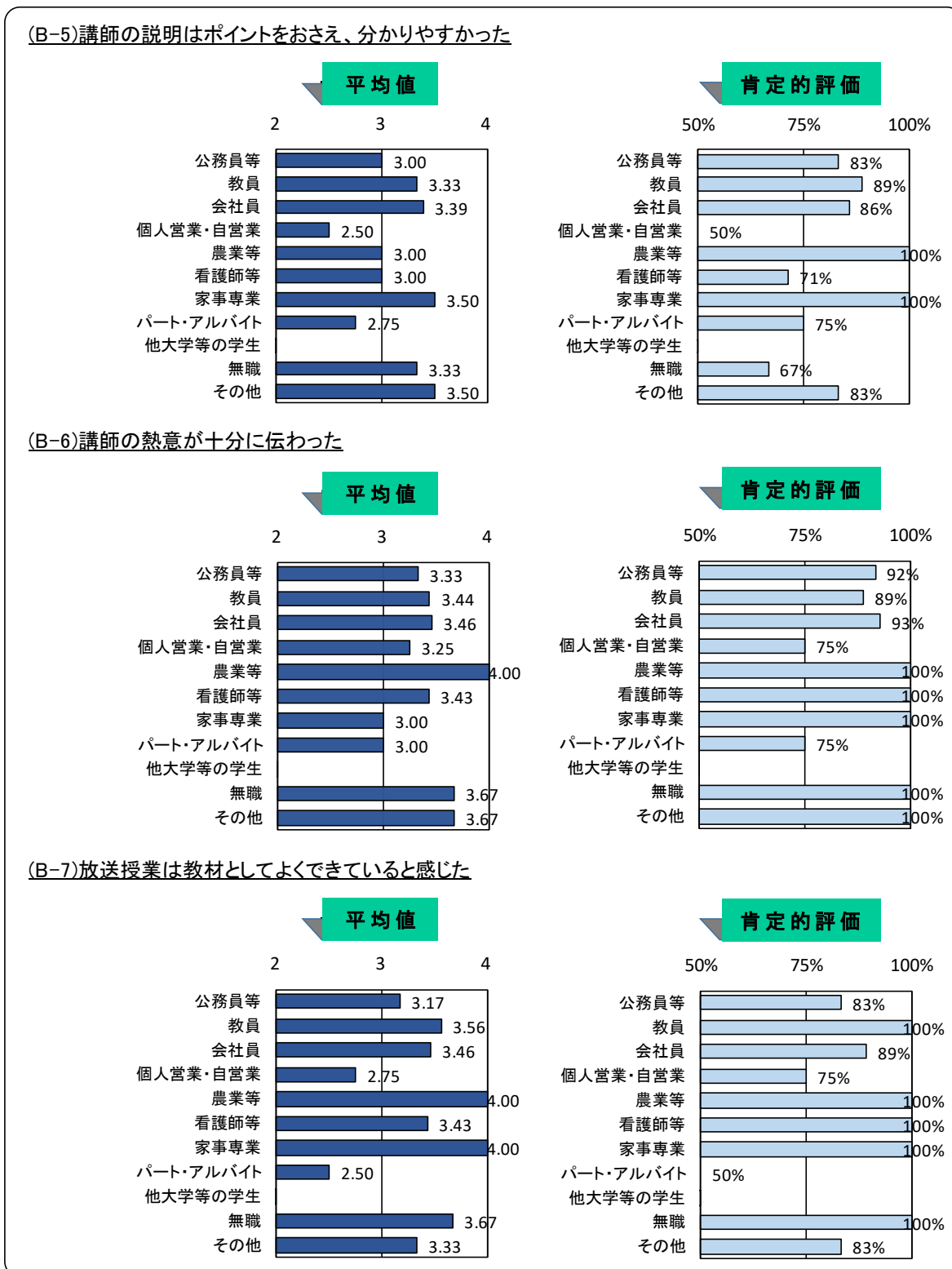
図 2-7 1 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



職業別では（図2-72）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」～(B-7)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では、会社員は全体とあまり変わらなかった。

(※全体の肯定的評価「B-5」:82%、「B-6」:92%、「B-7」:88%)

図2-72【大学院】職業別の放送授業の評価



(4) 印刷教材

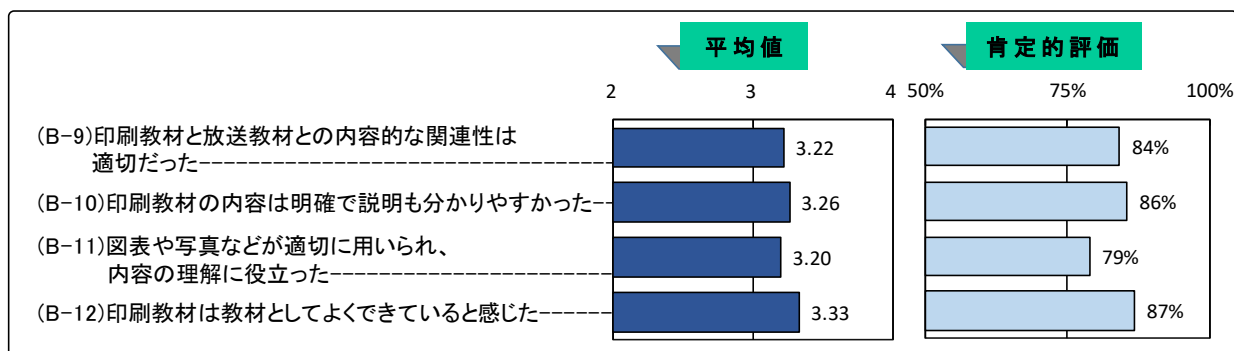
ここからは印刷教材について、評価項目ごとにみていく。

印刷教材の評価項目では（図2-73）、印刷教材に対する直接的な評価である

(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では84～87%の評価であった。

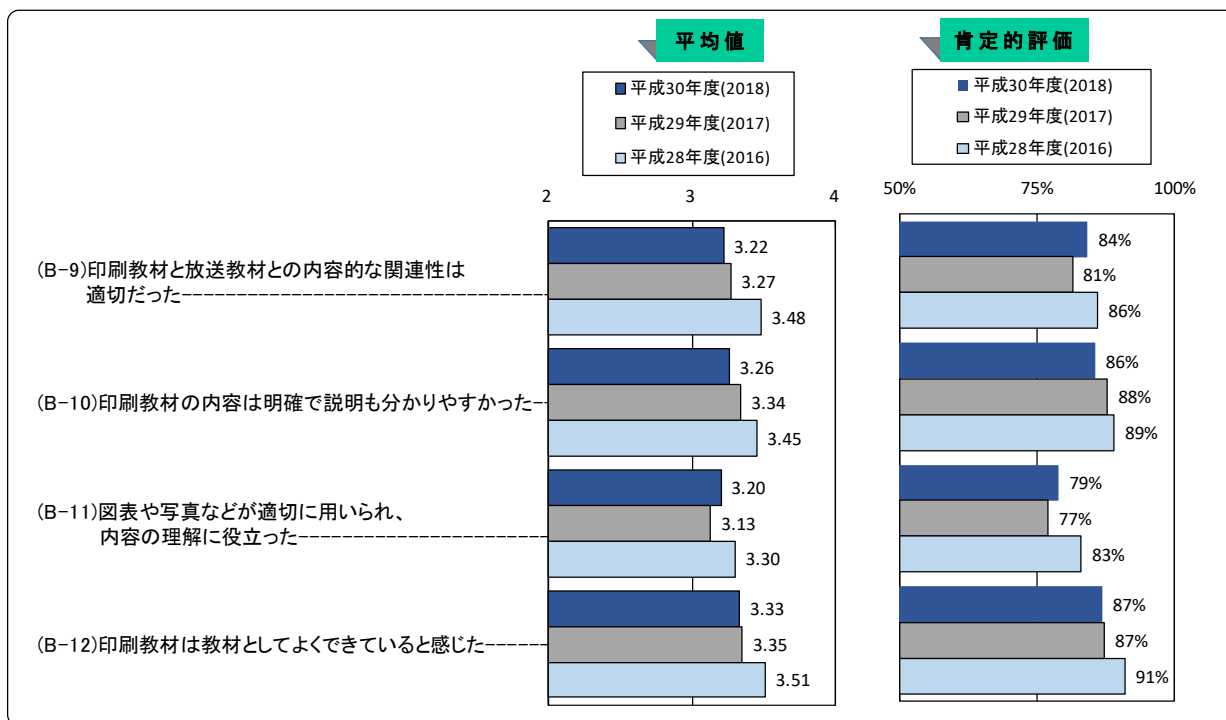
(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は79%でこの4項目の中では最も低い評価であった。

図2-73 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-74）、以下の4項目では本年度と過去2年度は同じレベルであった。

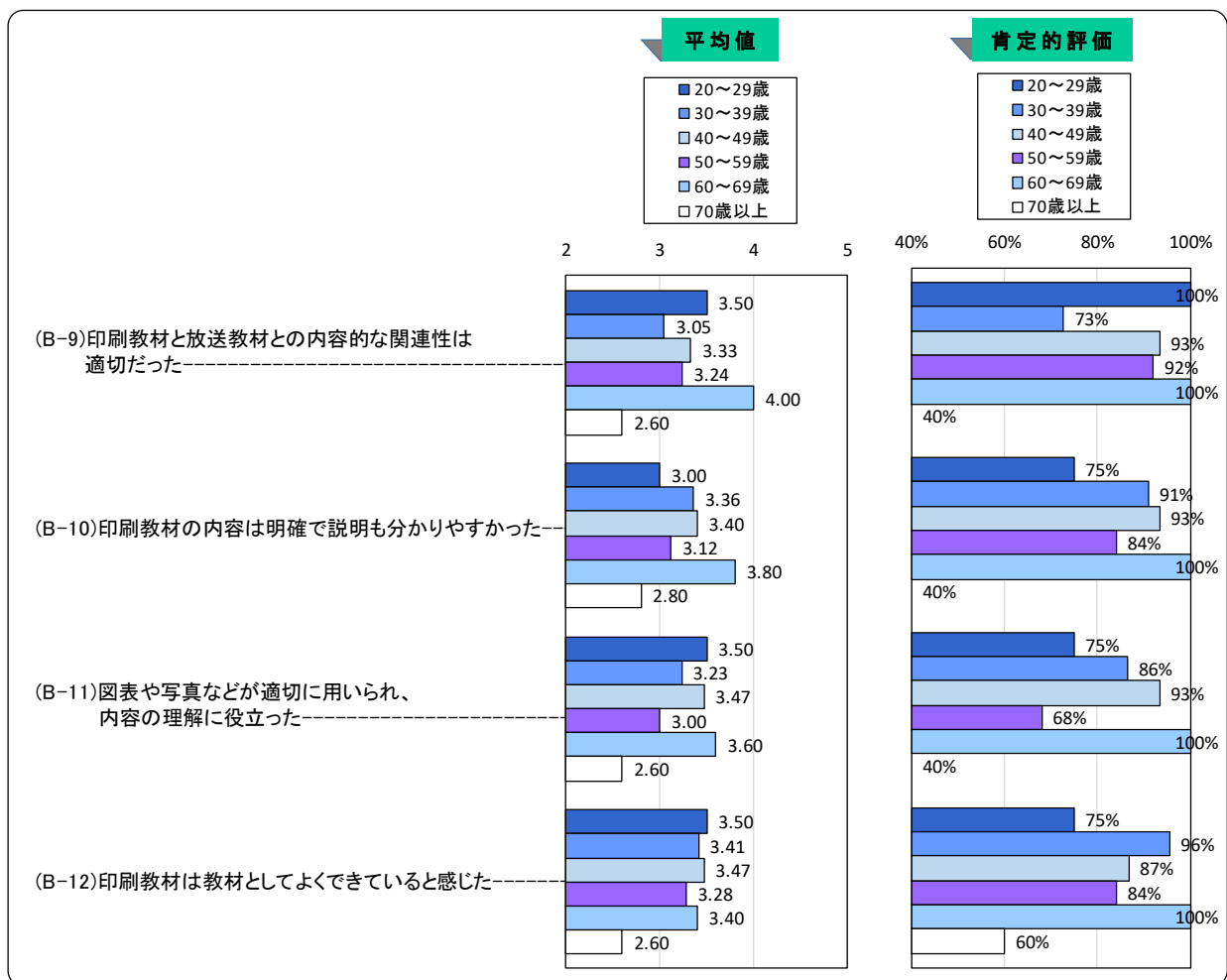
図2-74 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別の評価（図2-75）で、30歳代、40歳代、50歳代をみると、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は30歳代が7割前半と極端に低く、40歳代、50歳代は9割前半で、大きな差がみられた。

(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」～(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」の3項目ではいずれも50歳代の評価が低く、30歳代と40歳代については、「B-10」と「B-11」では40歳代（各93%）が、「B-12」では30歳代（96%）が高かった。

図2-75【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価

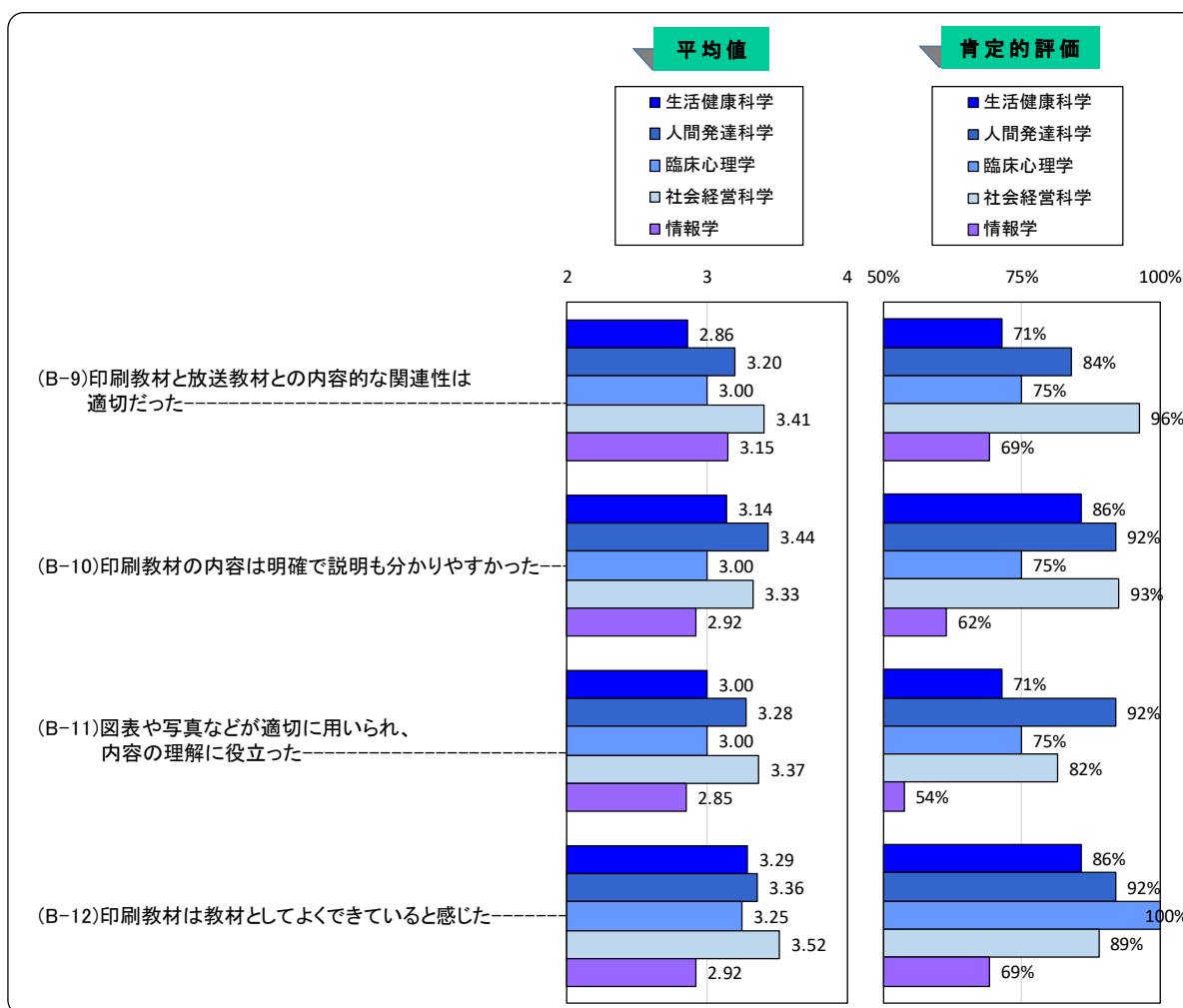


所属プログラム別の「人間発達科学」と「社会経営科学」の評価をみると（図2-76）、(B-9)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では、「社会経営科学」は「人間発達科学」を12ポイント上回り、96%に達していた。

(B-11)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役に立った」にも両者間に大きな差があり、「人間発達科学」が92%と「社会経営科学」を10ポイント上回っていた。

(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は「人間発達科学」と「社会経営科学」は同水準の9割前半で、(B-12)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」も両者共に9割前後と同じ水準であった。

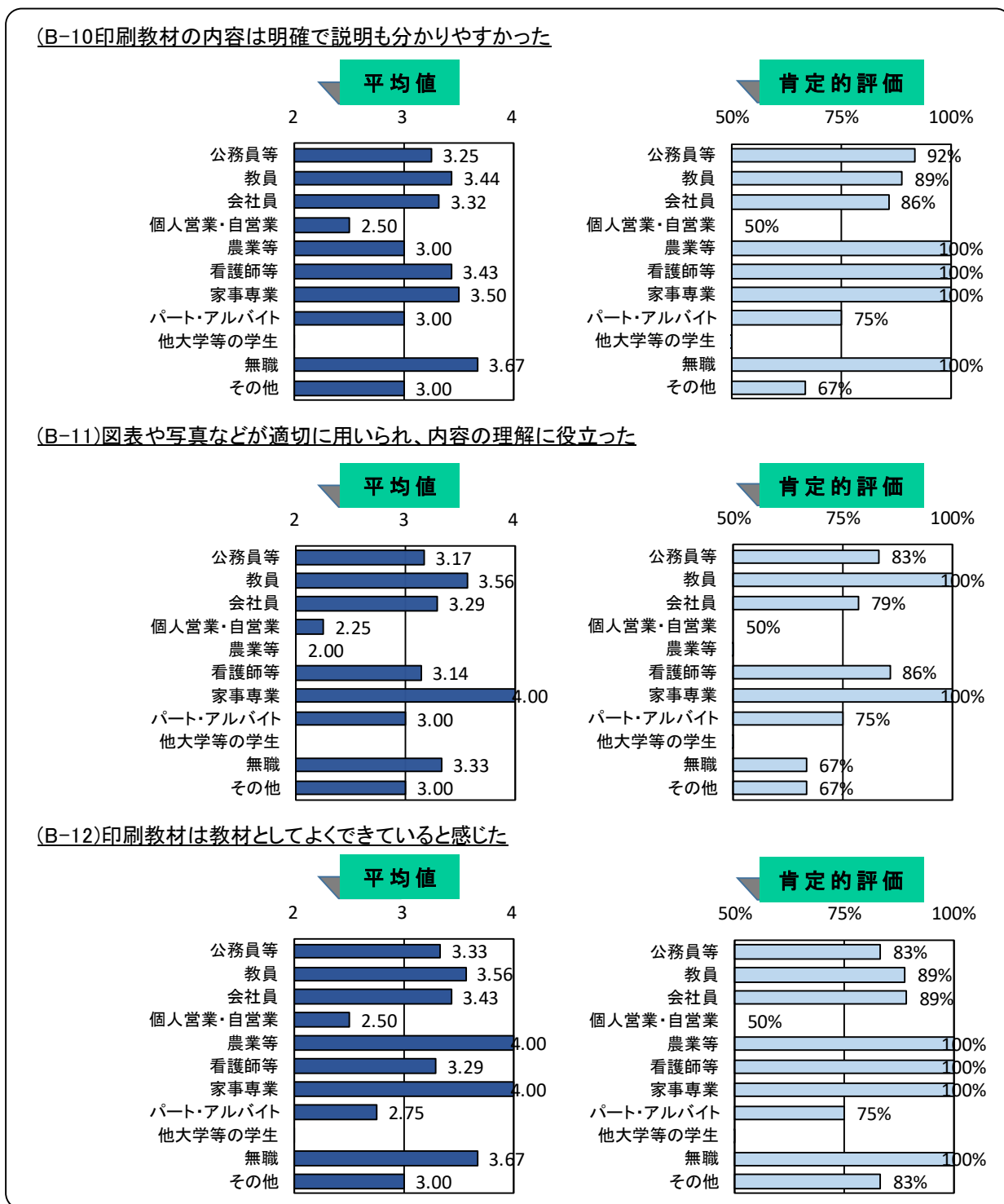
図2-76 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価



職業別（図2-77）で「会社員」についてみると、以下の全ての項目で「会社員」と「全体」にほとんど差はみられなかった。

（※全体の肯定的評価「B-10」：86%、「B-11」：79%、「B-12」：87%）

図2-77【大学院】職業別の印刷教材の評価

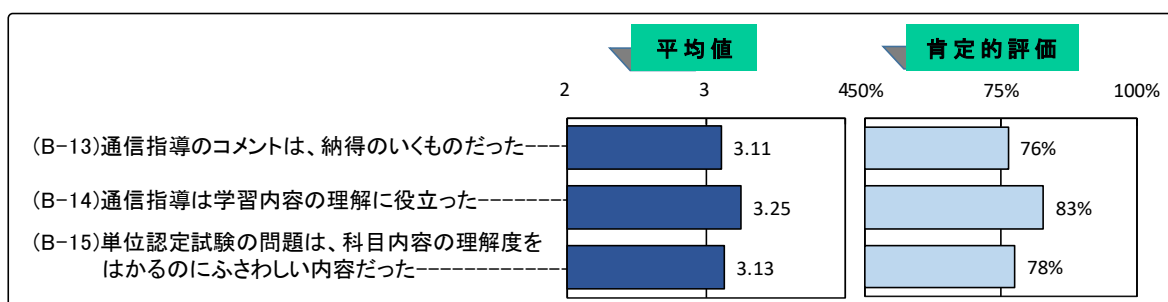


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとにみていくことにする。

通信指導については(図2-78)、(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は7割半ばから7割後半の評価、(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は8割を超え、この項目間では高評価であった。

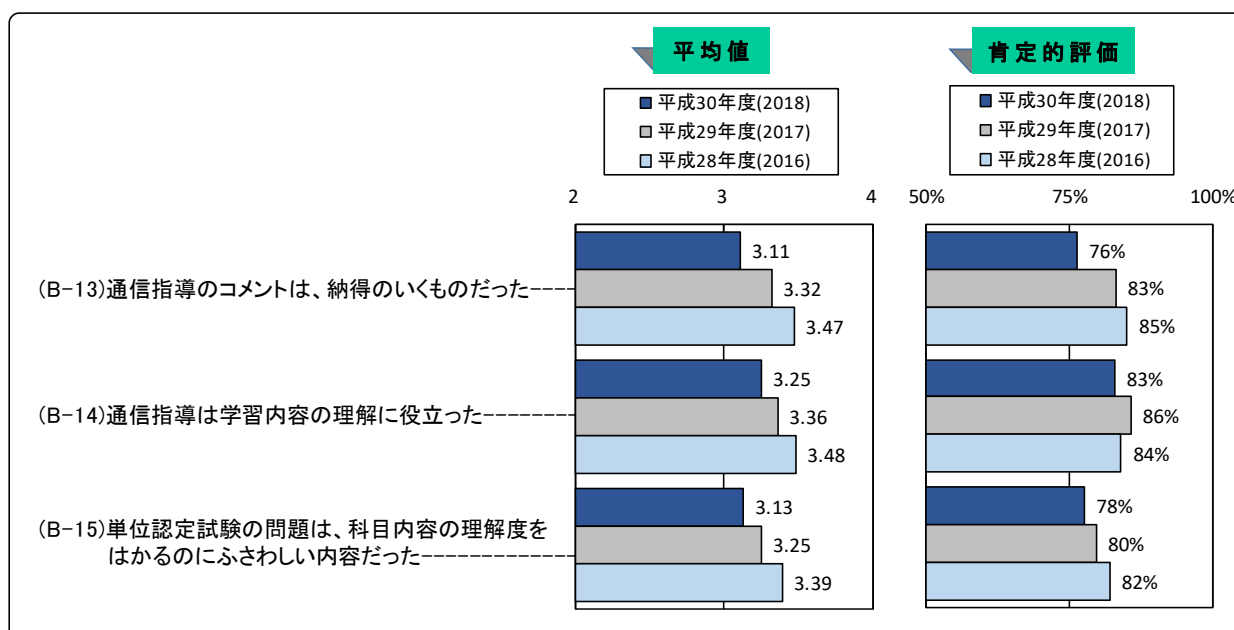
図2-78 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列でみると(図2-79)、過去2年度の比較で(B-13)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は昨年度より7ポイント減の76%で、大きく評価を下げていた。

(B-14)「通信指導は学習内容の理解に役立った」と(B-15)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」については、僅かな減少がみられるが、レベル的には同じであった。

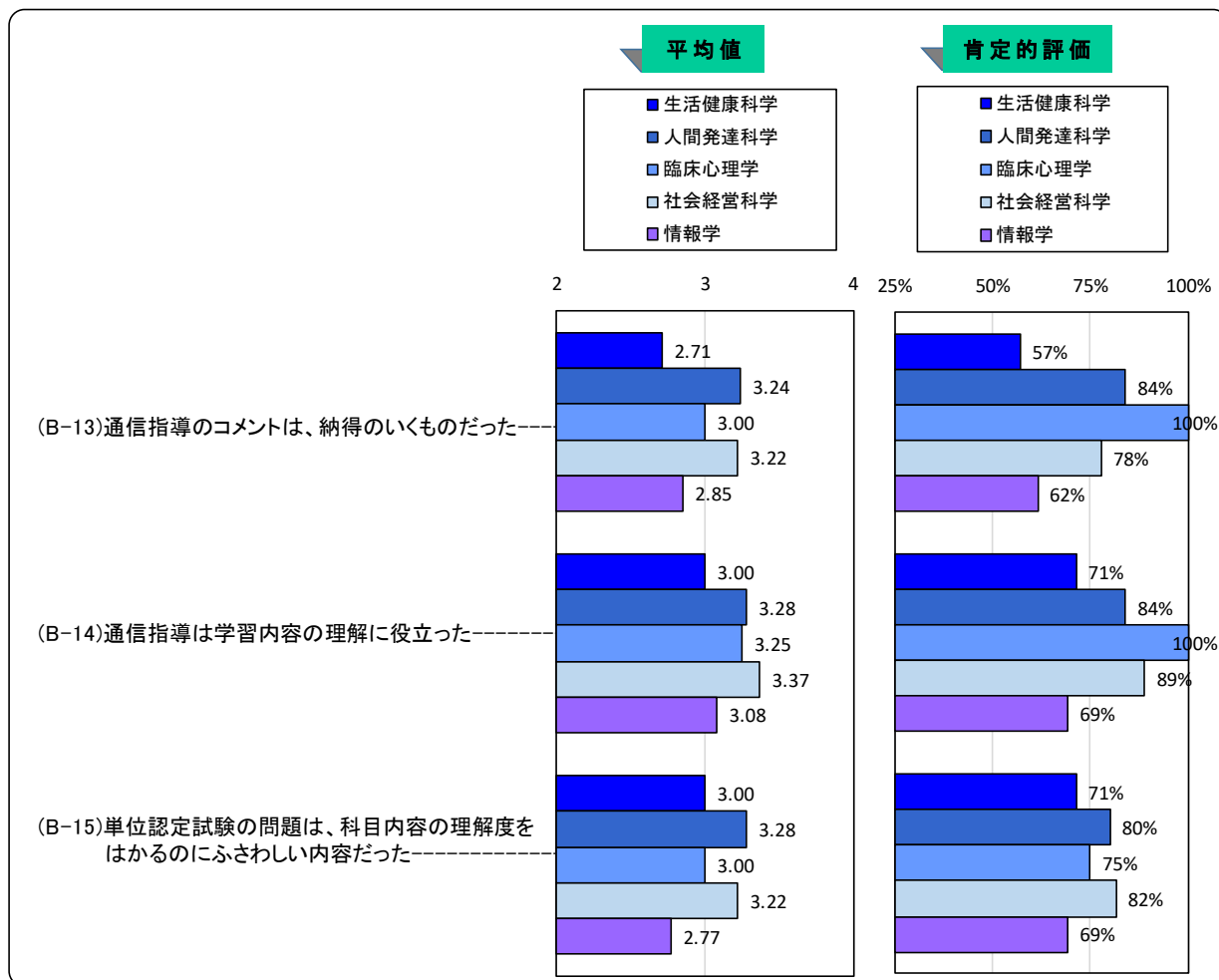
図2-79 【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



所属プログラム別で（図2-80）、「人間発達科学」と「社会経営科学」についてみると（B-13）「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」では、「人間発達科学」の方が、（B-14）「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「社会経営科学」の方が高評価で、「B-14」については「社会経営科学」が89%と9割弱に達していた。

（B-15）「単位認定試験の問題は科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」については「人間発達科学」と「社会経営科学」は8割前半で同水準であった。

図2-80 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ－２－４．大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析で全体の満足度 B-(20) を目的変数とし、それ以外の項目を説明変数として分析を試みる。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知ることを目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度 B-(20)
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 A①～③、B(1)～(19) : 全 22 問
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{22}x_{22}$ (説明変数が全 22 問の場合)

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると全体の満足度を表すために適した重回帰式を得られないことが経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行うことにする。

使用するデータは質問項目 I . A と B の全設問を全て回答した 76 人のローデータを使用する。(本年度はオンライン利用の調査で全員が全設問を回答していた。)

■大学院の重回帰分析

大学院では「変数減少法」を試みたが、全体の満足度に対する単相関と解析で得られた偏回帰係数の符号が逆転する不合理な結果が、A-2「放送授業を十分に視聴した」、B-1「放送授業の難易度は適切だった」、B-4「印刷教材の内容は適切な分量であった」の 3 項目でみられたため、それらを除外して再び解析を行った。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力(寄与率)があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.737 であった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関(自己相関)を示す指標で、0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差(誤差)に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされ、その値は 2.288 となった。

◆分析精度

決定係数	0.751
自由度修正済み決定係数	0.737
ダーヴィンワトソン比	2.288
残差の標準偏差	0.457

今回の重回帰分析では下表の分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%ある事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p 値	判定
全体変動	59.408	75				
回帰による変動	44.608	4	11.152	53.500	0.000	[**]
回帰からの残差変動	14.800	71	0.208			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合い(寄与率)がこれで分かる。

標準偏回帰係数が最も高かったのは B-10 の「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」で標準偏回帰係数が 0.284、次いで B-15 の「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」(標準偏回帰係数 0.277)、他に B-19「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」(同 0.239)、B-7「放送授業は教材としてよくできていると感じた」(0.233)で、全体の満足度に対するそれぞれの寄与率に大きな違いは無かった。

(表最下段の定数項とは説明しきれない残りの部分である。)

この結果から、「全体の満足度」(肯定的評価 86%)を上げるためには B-10、B-15、B-19、B-7 の肯定的評価の向上に努めることで「全体の満足度」が上昇するものと考えられる。

ただ、B-19 (肯定的評価 90%)、B-7 (同 88%)、B-10 (肯定的評価 86%)は受講者の 9割から 9割近くの支持率を得ているため、その評価を高めるのは容易ではないと思われる。

従って、「全体の満足度」を上げるためには、B-15「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」(同 78%)の肯定的評価を上げるための施策に取り組むことが有効と考えられる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定
B-20.全体評価	0.284	B-10 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	[**]
	0.277	B-15 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]
	0.239	B-19 この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)	[*]
	0.233	B-7 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[*]
		定数項	[]

最後に施策を進めていく上で、役に立つと思われる、B-15「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」と相関の高い項目を上位5位までを挙げる。

【大学院】B-15 の理解度と相関の高い上位12項目

順位	項目名	B-15との 偏相関係数	判定
1	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	0.373	[**]
2	B-14 通信指導は学習内容の理解に役立った	0.255	[]
3	B-1 放送授業の難易度は適切だった	0.249	[]
4	B-13 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	0.207	[]
5	A-2 放送授業を十分に視聴した	0.201	[]
参考	B-20 全体の満足度	0.446	[**]

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

Ⅲ. 自由記述のまとめ

Ⅲ－１．学部

【学部】「基盤科目（一般）」の傾向

学部の専攻科目毎に自由記述の集計結果から 2%以上の回答があった項目と、その項目の全体の比率をグラフ化した。

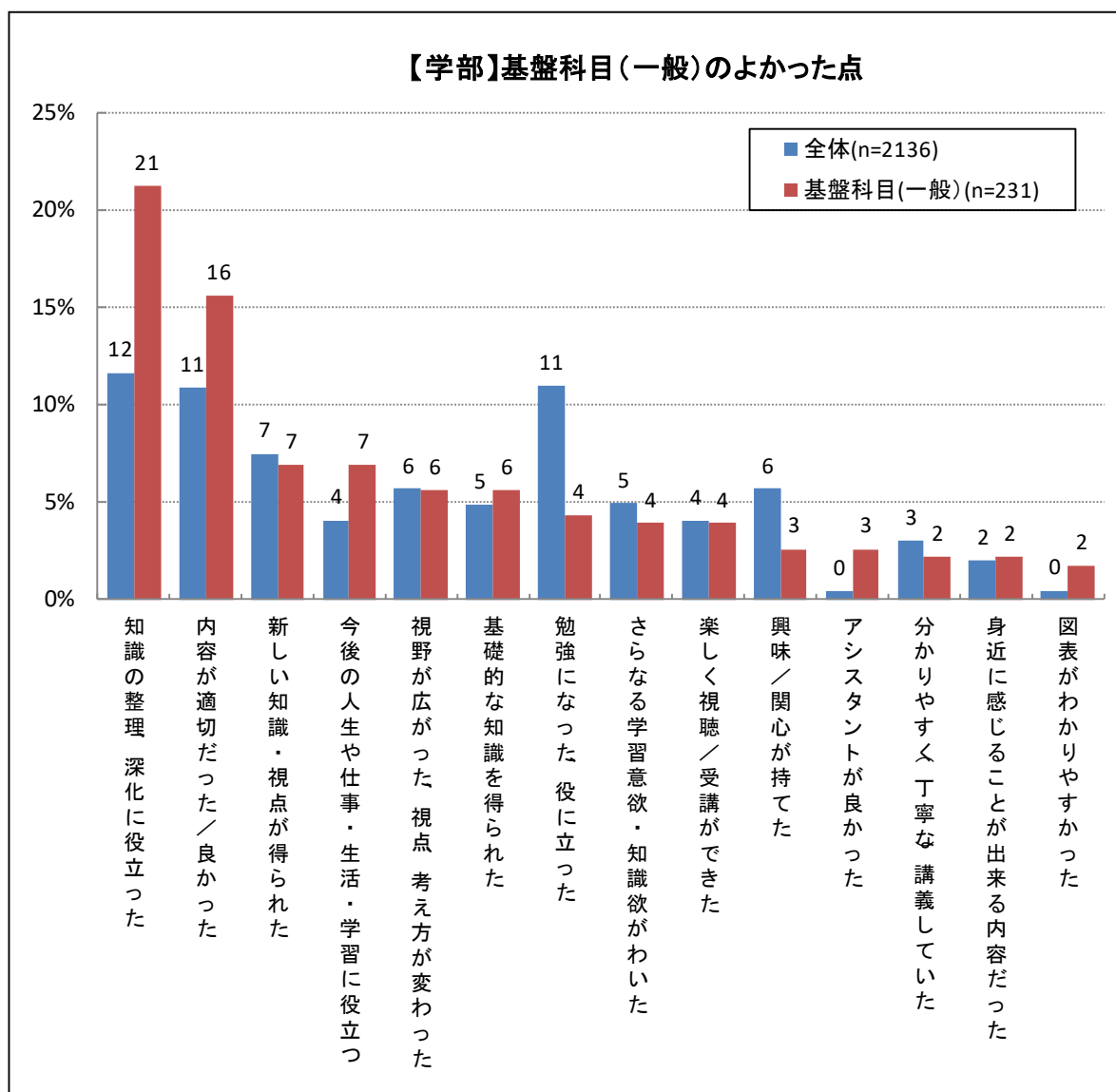
よかった点

「知識の整理、深化に役立った」が 21%と最も多く、全体を 9 ポイント上回っていた。次いで「内容が適切だった／良かった」(16%) で、この 2 項目に意見が集中していた。

全体と比べると支持率が低かったのは「勉強になった、役に立った」(4%) で大きな差がみられた。

その以外の項目は全体と同じような傾向であった。

図 2－81 【学部】よかった点



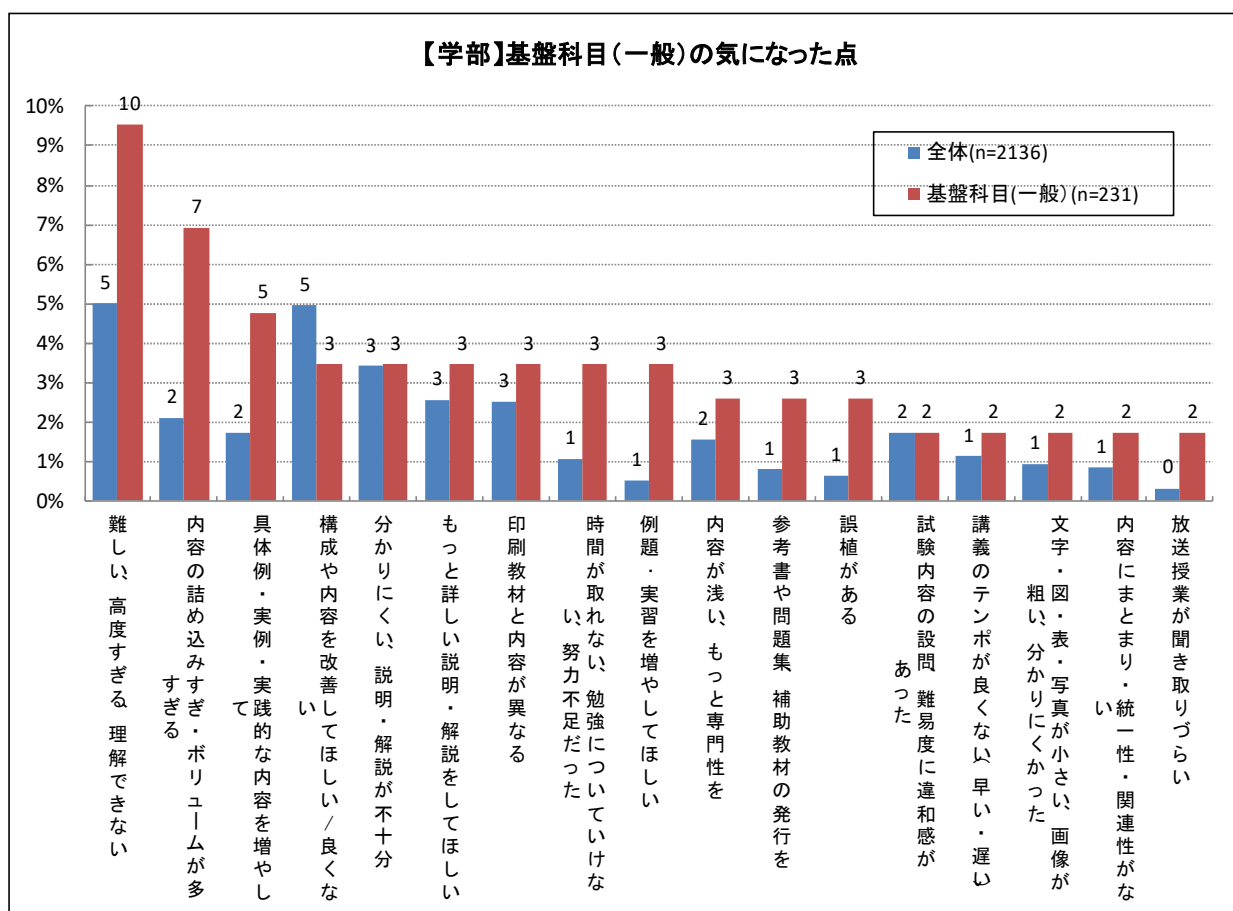
【学部】「基盤科目（一般）」科目の傾向

気になった点

「難しい、高度すぎる」(10%)と「内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる」(7%)、「具体例・実例・実践的な内容を増やして欲しい」(5%)が上位に挙げられた。

上位2位までの「難しい、高度すぎる」と「内容を詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる」は全体と比べると倍以上の値であった。

図2-82 【学部】気になった点



【学部】「基盤科目(一般)」科目 抜粋

よかった点

- 身体の機能の仕組みが良くできていることが理解できた。また、いかに身体の機能を知らなかったという事に気づかされた。
- 人体の構造や年齢別の詳細な内容を学ぶことで、あらゆる場面や人物の健康状況などに応用できるため、視野が広がった。また、自身の健康管理についても再考させられる良い機会になった。
- 運動と健康(13)を受講していましたが、授業内容が違うため選択しました。内容的には、トレーニング方法・生活習慣病と運動・運動処方等、大変学ぶことができました。
- 統計の理解を深めたいと自分で試行錯誤していたのですが、授業を受けて、なるほどと思えるようになりました。
- 放送授業のシリーズ「統計と社会との接点」では、実社会での統計の取り組み様子が分かり、学習の理解に役立ち、良い教材だと思う。
- 高校数学に対する自分の理解度を知るきっかけとなりました。高校生向けの教材で勉強しなおそうと思いました。
- 実際の生活の中で、統計が活用されていることがわかり、面白かった。DVD-ROMやパソコンを使っての教材もあって、自分で計算したりして楽しかった。
- 今まで聞きかじってバラバラになっていた知識が、小さな細胞から器官、個体へ、そして運動の方法や疾病まで、順序だてて学習することができ、とても役立ちました。
- 学生時代ほとんど学習したことのない分野だったが、生活に寄せた親しみやすいスタイルで講義を進めて下さったので、無理なく講義を聴けた。新しい知識を得ることができた。

気になった点

- 途中式でわからない箇所があり、気軽に質問しても回答が得られずに理解に時間がかかったことがあったため、もう少し説明があってもよいかと思いました。
- やや詰め込みすぎだと思います(極限から積分まで)。 いっそのこと、ベクトルや複素数の項目も増やして、初歩からの数学を2部構成にしてみたらどうでしょうか?印刷教材がとてもよいので、すごくよくなると思います。
- 私は数学から何十年も離れていた為、中学、更には小学校レベルまで学び直した為、時間が掛かった。初歩からの数学といっても難しかった。他の参考書もずいぶん見た。まだ理解足りない箇所があり、気になっている。
- 説明が聞き取りにくかった部分があったので、何回か再生して聞き直した。
- 放送授業では、印刷教材の補足という位置付けで深く解説していただけると、もっと理解しやすいかもしれないです。
- 印刷教材を読んで、そのあとポイントを放送教材で確認という方法を取りたかったが、印刷教材を読んでも書かれていることがわからなくてショックだった。放送教材を見てから、ようやく印刷教材で書かれていることがわかるレベルだった。根本は自分の現在の実力のせいかなと思うが、基盤科目という位置づけであれば、印刷教材だけでも学習が進められるようにできないかなと思った。
- 単位認定試験の問題は記憶力を問う内容になり、印刷教材持ち込み不可ならば、内容の理解を問う問題にしてほしかった。
- 印刷教材の誤植・誤字が多すぎる。印刷教材も改定前の方が、扱われるテーマも文章も分かりやすかった。通信指導問題の不適切な出題を、誤植と言い張る担当者の態度は改めて頂きたい。

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
知識の整理、深化に役立った	49		49	巻末付録の内容が良かった	3		3
内容が良かった、分かりやすかった	36		36	分かりやすく、勉強になった	2		2
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	16		16	体系的に良くまとめ、整理されていた	1		1
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	16		16	放送授業と内容が連動している	1		1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	13		13				
基礎的な知識を得られた	13		13				
楽しく受講できた、面白かった	9		9				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	9		9				
勉強になった、役に立った	8		8				
興味を持てた、関心を持てた	6		6				
身近に感じる事が出来る内容だった	5		5				
自分のペースで勉強できた	3		3				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	3		3				
他の科目と関連性が良かった	3		3				
専門的な内容だった、レベルが高かった	2		2				
現状のままでもいい、満足している	1		1				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
アシスタントが良かった	6		6
分かりやすく講義していた	5		5
図表がわかりやすかった	4		4
実例や身近な例を取り上げていた	3		3
映像や写真が多用され、分かりやすかった	3		3
講師の熱意や人柄の良さを感じた	3		3
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	2		2
対話形式の授業が良かった	2		2
新しい発見や驚きがあった	1		1
映像・テレビで良かった	1		1

【学部】「一般科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	13		13	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	11		11
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	8		8	難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	9		9
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	8		8	例題・実習を増やしてほしい	8		8
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	5		5	具体例・事例を増やしてほしい	6		6
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	4		4	印刷教材と連動していない	6		6
現実に活かせる内容にしてほしい	3		3	講義のテンポが良くない(早い・遅い)	4		4
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	3		3	放送授業が聞き取りづらい	4		4
講義内容と科目名に乖離がある	3		3	まとめや学習ポイント、総括がほしい	3		3
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	3		3	構成・内容が良くない	2		2
現状のままでいい、満足している	3		3	内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2		2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2	講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2		2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2		2	講師の独りよがりになっている	2		2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1		1	印刷教材と内容が異なる	2		2
判断・評価できるレベルに達していない	1		1	1科目の放送時間が短い	2		2
分かりにくい、説明・解説が不十分	1		1	図・表・写真を利用してほしい	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1	講師以外の人の解説がほしい	1		1
科目の分類に疑問がある	1		1	講師以外は必要ない、違和感がある	1		1
内容の重複・他科目との重複が見られる	1		1	タレントや芸能人は必要ない、違和感がある	1		1
関連する科目・基礎科目を開講してほしい	1		1	印刷教材を捧読み、または読んでいただけであった	1		1
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1	ラジオの放送を充実してほしい	1		1
質問や相談がしたい	1		1	手話通訳、または字幕がほしい	1		1
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1		1	映像についての補足資料をPDF等でほしい	1		1

通信指導				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	1		1	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	7		7
単位認定試験との難易度に差がありすぎる	1		1	誤植がある	6		6
練習問題がほしい	1		1	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	4		4
問題の解答・解答例・解説がほしい	1		1	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3		3
誤植がある	1		1	参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	3		3
				難しい、文章が回りくどい	2		2
				DVD・CDの添付を考えてほしい	2		2
				構成・内容が良くない、面白くない	1		1
				具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
				図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1		1
				資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1		1
				索引を充実させてほしい	1		1
				放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい、内容が理解しにくい
- 内容の詰め込みすぎ
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 例題・実習を増やしてほしい
- 具体例・事例を増やしてほしい
- 印刷教材と連動していない
- 講義のテンポが良くない

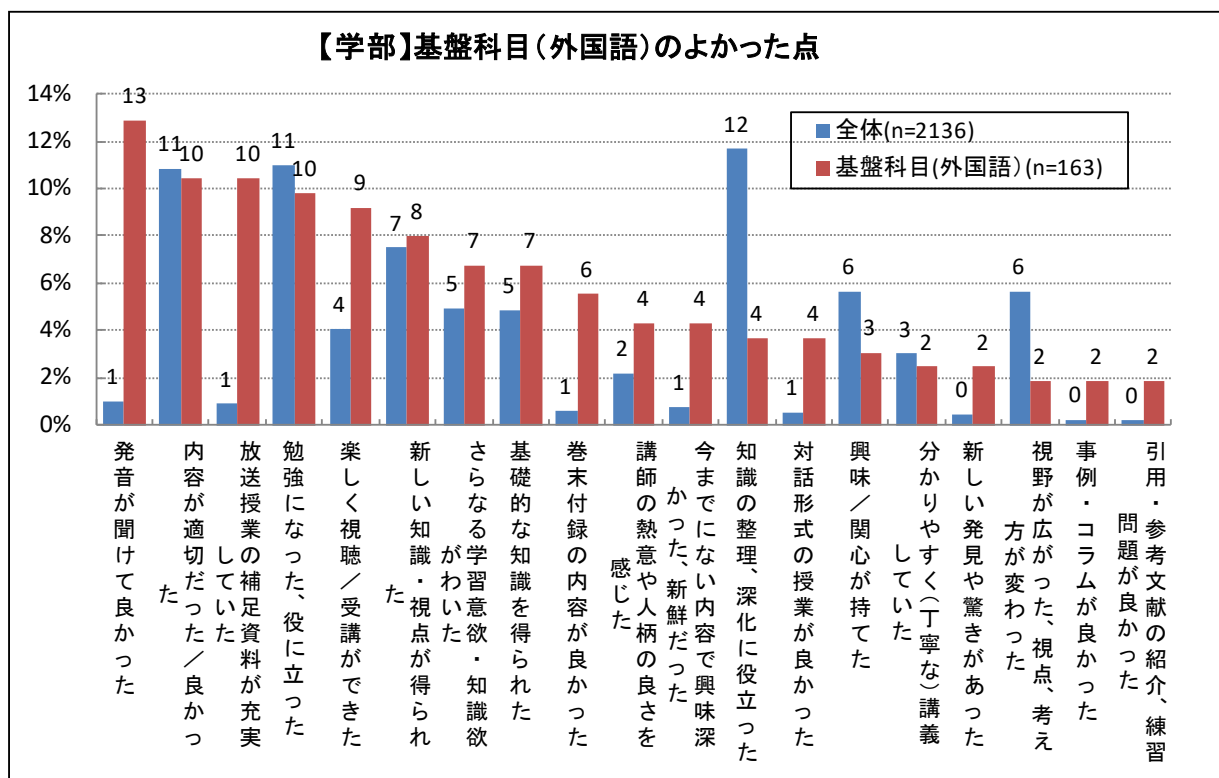
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

受講者の1割以上から上位に挙げられたのは「発音が聞けて良かった」「内容が適切だった／良かった」「放送授業の補足資料が充実していた」「勉強になった／役に立った」と多岐にわたり、他に「楽しく視聴／受講ができた」「新しい知識／視点が得られた」と続いた。

前述の「発音が聞けて良かった」と「放送授業の補足資料が充実していた」は全体ではほとんど挙げられなかった項目で、反対に「知識の整理／深化に役立った」は全体に比べ極端に少なかった。

図2-83 【学部】よかった点



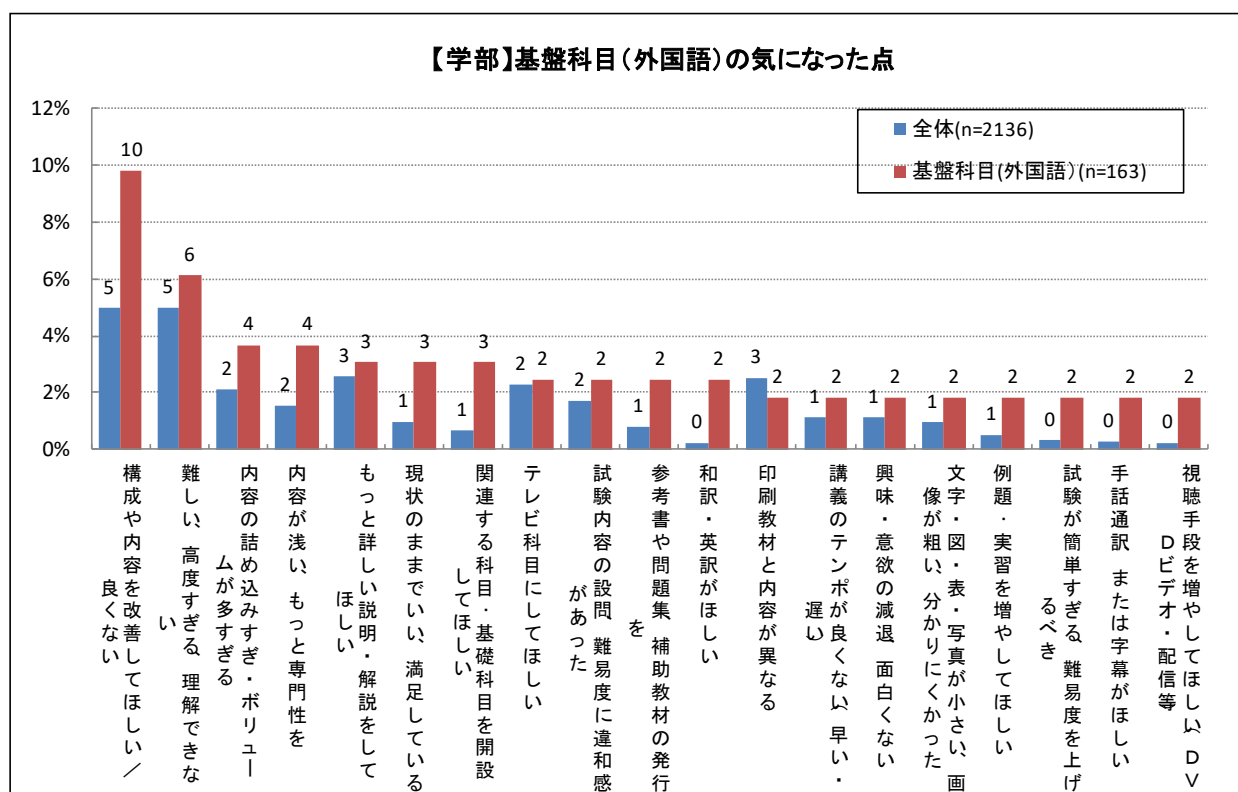
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

気になった点

「構成や内容を改善してほしい」が1割から挙げられ、全体のダブルスコアで、この科目の「気になった点」を代表していた。

他に「難しい、高度すぎる」も目立っている。

図2-84 【学部】気になった点



【学部】「基盤科目（外国語）」 科目 抜粋

よかった点

- 耳から学ぶ英会話ということで、その名の通りリスニング主体でありつつ、重要な用例等についてしっかり解説していて良かった。これまで英語学習を継続的に実施してきたが、斬新であった。
- 私の弱点であるリスニングの強化にとっても役立った。英語が聞こえてくる順番にとりあえず強引に訳していくことで英語の特徴を理解するというスタンスがとても気に入ったし、しっくりきた。
- 生の英語を理解する学びとなった。本文のあとの key phrases and grammar は、理解を助ける内容で良かった。
- フランス語の初歩的なレベルが体系的に身に付いたと思う。以前購入していた市販のフランス語の教材を改めて見てみると、書いてあることが理論的に分かり、確かに実力がついたのだと感じた。
- 純粹に勉強していて楽しかったです。日本語と同じ漢字でも意味が全く違っていたり、漢字と似ていてもよく見ると違う簡体字など、とても興味深く勉強できました。
- 新しい中国語の知識を得る機会が持てて良かったです。発音練習やスキットの会話が中国語の授業でとても勉強になりました。
- 先生方のやりとりが楽しかったです。懐かしい曲ばかりのソングオブザデイは、自分の耳に残っている曲の意味が分かって得した気分です。
- 印刷教材で使われた小説をふたつとも購入して読みました。普段手にすることがない本なので、新しい世界が広がりました。

気になった点

- 耳から学ぶ英語なのでラジオでいいのかもしれないが、コミュニケーションのためには表情があるともっとわかりやすいと思うので、テレビでの授業の方がより効果的なのではないかと思った。特に14回、15回のスティーブ・ジョブスの講演は、映像で見たかった。
- 耳から学ぶ英語のⅡ、Ⅲの科目が欲しいと感じた。
- 授業で音楽を紹介するのはいいが、この解説を間に挟む主旨がいまひとつわからない。それよりも本文の解説のところを飛ばさずに、しっかりと説明してほしい。
- 単語ごとに頭から訳す事は分かるが、結局日本語に直すとどうなるのか、あらためて訳す二通りが欲しい。
- 45分間15回の講義という制約上やむを得ないことではあるだろうが、1回の講義で扱う文法の分量が多すぎる。十分な理解を得られないうちに先に進んでしまう感があり、ついていけないところもあった。WEBなどでの予習・復習のための教材の提供があると理解の助けとなるので、そうした教材の提供があるとありがたい。
- 和訳が部分に区切られているので、全体の訳が見通せないのが難儀した。最後に全体の和訳を記載してもらえたら、もう少し理解できたのではと思った。
- 単位認定試験はリスニングから実施すべきだと思います。たった7間に、リスニング開始前の30分(35分?)もかからないです。リスニングの準備を入れても10分あれば十分です。だから、リスニングから実施してほしいと思いました。
- ネット視聴での字幕をつけてほしい。

【学部】「外国語」

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が良かった、分かりやすかった	6	11	17	巻末付録の内容が良かった	2	7	9
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	5	6	11	分かりやすく、勉強になった	1	6	7
基礎的な知識を得られた	10		10	事例・コラムが良かった	2	1	3
勉強になった、役に立った	3	6	9	引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった		3	3
楽しく受講できた、面白かった	2	6	8	新しい知識・視点を得ることができた		2	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	3	4	7	さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		2	2
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった		7	7	読み物として面白い内容だった		1	1
知識の整理、深化に役立った	4	2	6	体系的に良くまとまり、整理されていた		1	1
興味を持てた、関心を持てた	1	4	5	基本的な知識を得られた、概要が分かった		1	1
視野が広がった、視点、考え方が変わった		3	3				
学びきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1	1	2				
身近に感じる内容が出来る内容だった		2	2				
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ		2	2				
専門的な内容だった、レベルが高かった		2	2				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
発音が聞けて良かった(語学)	3	18	21
放送授業の補足資料が充実していた		17	17
楽しく視聴できた		7	7
講師の熱意や人柄の良さを感じた		7	7
対話形式の授業が良かった		6	6
新しい発見や驚きがあった		4	4
分かりやすく講義していた		4	4
受講して良かった		2	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		2	2
実例や身近な例を取り上げていた		1	1
社会的な課題や問題点を知ることができた		1	1
ドラマ形式や、アニメ・CGが良かった	1		1
インターネットで受講できた		1	1

【学部】「外国語」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	2	7	9
難しい、高度すぎる、理解できない	3	5	8
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		5	5
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	4	1	5
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	4	5
現状のままでいい、満足している	1	4	5
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった		3	3
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった		2	2
現実に活かせる内容にしてほしい	1	1	2
分かりにくい、説明・解説が不十分		2	2
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		2	2
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい		1	1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
講義内容と科目名に乖離がある		1	1
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい		1	1
放送授業と印刷教材の内容が異なる		1	1
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
和訳・英訳がほしい	2	2	4
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	3	1	4
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	2	1	3
構成・内容が良くない、面白くない		2	2
設問の解も載せてほしい		2	2
放送授業と内容が異なる		2	2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
内容が薄い、少なすぎる		1	1
放送授業の要約を載せてほしい	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験との難易度に差がありすぎる		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容が良くない	2	3	5
テレビ科目にしてほしい	1	3	4
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2	1	3
例題・実習を増やしてほしい	1	2	3
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)	1	2	3
手話通訳、または字幕がほしい		3	3
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1	1	2
娯楽要素が多い		2	2
図・表・写真を利用してほしい		2	2
具体例・事例を増やしてほしい		2	2
印刷教材と連動していない	1	1	2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
まとめや学習ポイント、総括がほしい		1	1
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	1		1
1科目の放送時間が短い		1	1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問、難易度に違和感があった		4	4
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき		3	3
試験に関する情報を早く教えてほしい		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 構成または内容を改善してほしい
- 難しい、理解できない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 内容の詰め込みすぎ
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- テレビ科目にしてほしい
- 参考書や問題集を発行してほしい

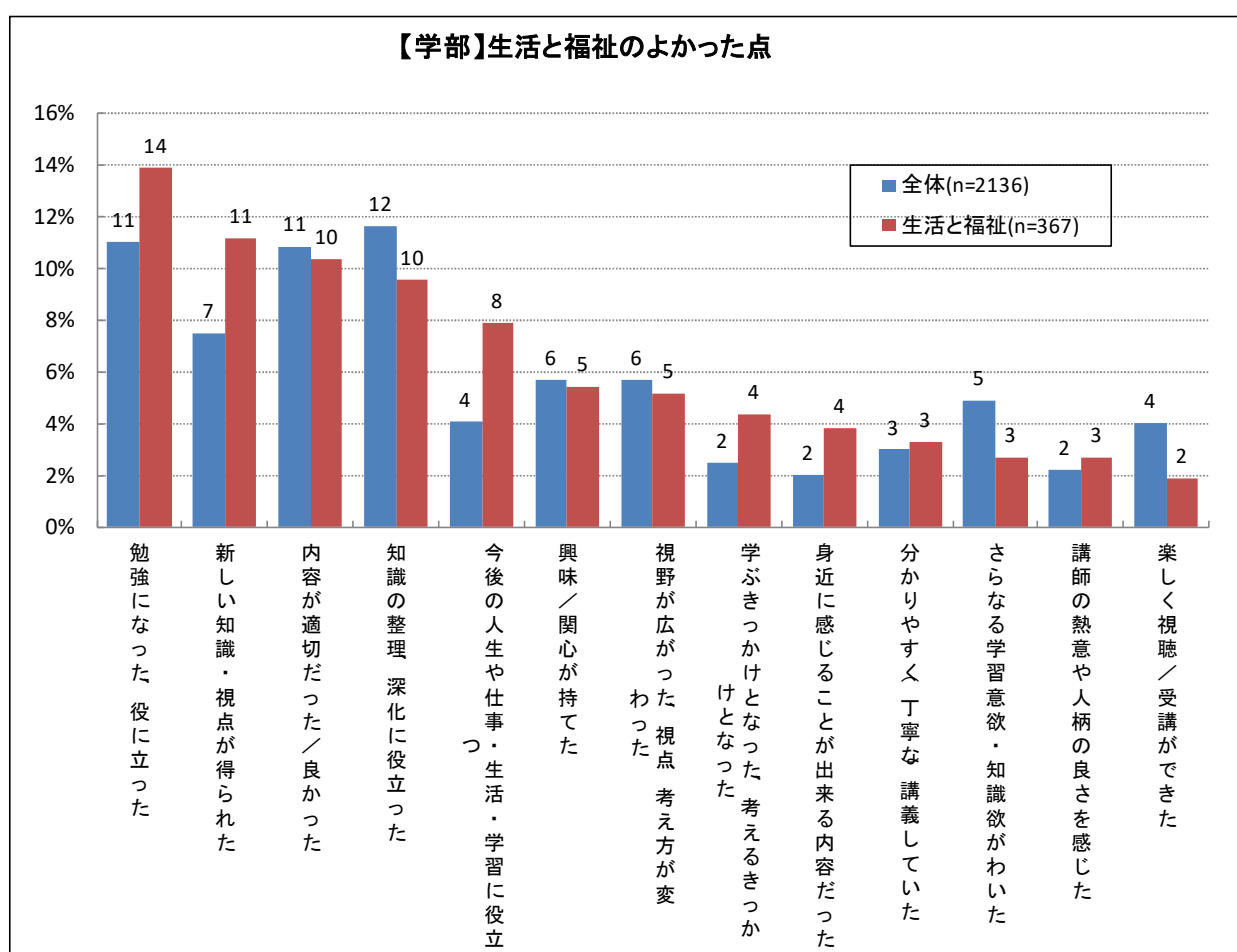
【学部】「生活と福祉」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役に立った」は14%で最も多く、次いで「新しい知識・視点が得られた」「内容が適切だった／良かった」「知識の整理、深化に役立った」が一割とこれに続いた。

「新しい知識・視点が得られた」と「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」は全体より高い支持率であった。

図 2 - 8 5 【学部】よかった点



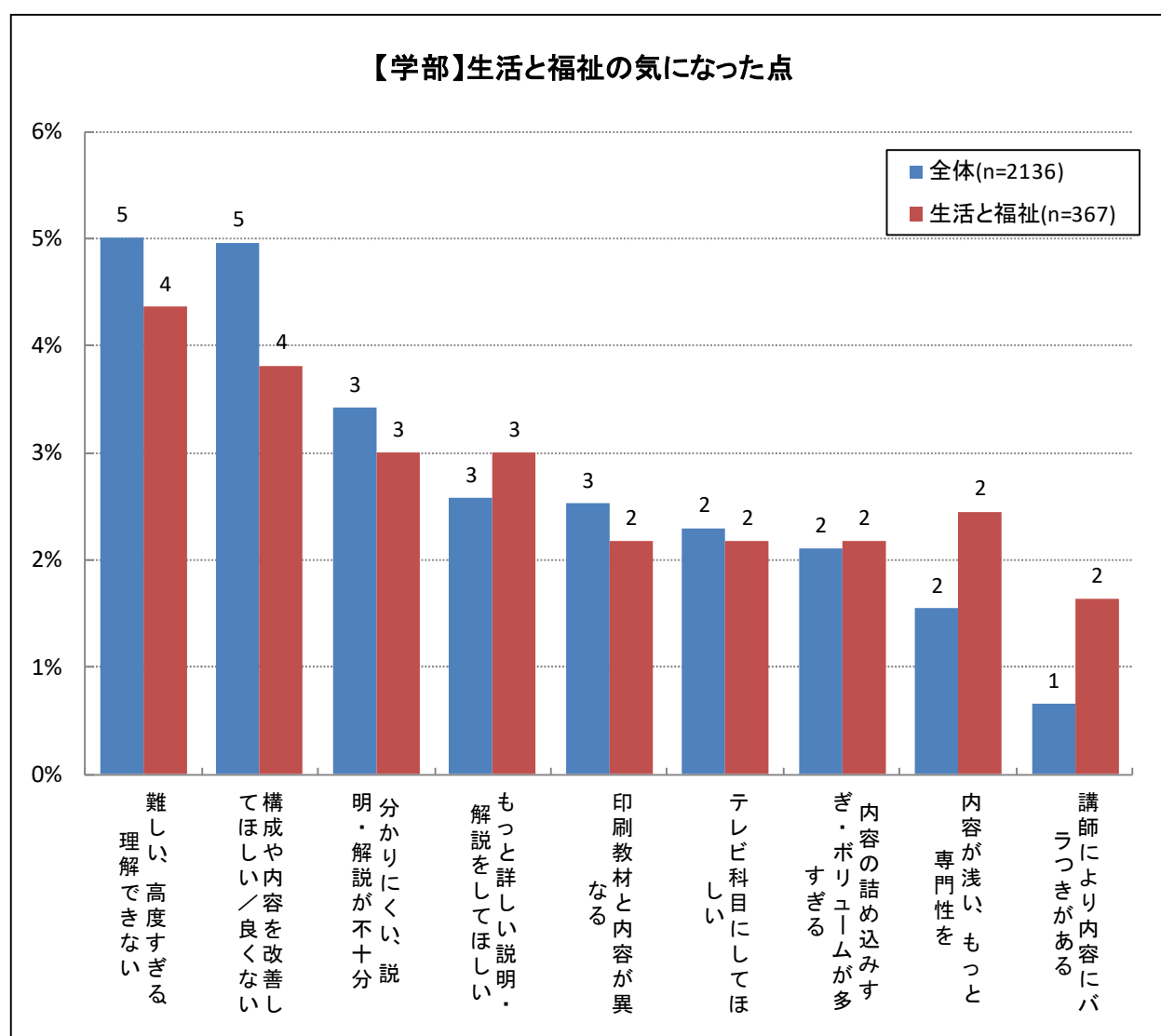
【学部】「生活と福祉」科目の傾向

気になった点

「難しい、高度すぎる、理解できない」と「構成や内容を改善してほしい」が代表的な気になった点として挙げられた。

各項目の比率は、全体の傾向とほとんど変わらなかった。

図 2 - 8 6 【学部】気になった点



【学部】「生活と福祉」科目 抜粋

よかった点

- 難解なイメージのある不動産について、やさしく噛み砕いて説明してあり分かりやすかった。身近だけれども知らなかった事がたくさんあった。これを機にもう少し勉強をしてみたいと思った。
- 今まで不動産は、広告等で個々の物件の価格や利便性しか考えていませんでしたが、今回受講して、不動産をもっと大きな枠組みで見れるようになりました。法的な知識も身に付きよかったと思っています。
- レジリエンスの本質を学べたことがとても意義があった。人間のレジリエンス（復元力）の適応力をより深く考えられたことを、今後の人生の糧にしたい。
- 現在、自分の担当している地域の自治会や校区単位の協議会の役割や背景を理解する上で、とても有益な情報が多かった。
- 資格のために専門分野ではない本科目を受講しました。専門的でとても難しかったけれど、とてもよい刺激になりました。
- 医療事務の仕事をしています。自己啓発で受講しました。専門的な内容をコンパクトにわかりやすく説明してくださり、素晴らしい講義でした。
- 超高齢社会において、今後ますます死生学を学ぶことが必要になると感じている。死のみならず生についても学ぶ点、墮胎や戦争などの思いもよらない視点から学べたことが良かった。
- 看護師としての学び場なおしの為に受講しました。新興感染症の問題や法制上の改定など、以前とは何が変わってきていて、何が問題なのかという点を、知ることができて良かったです。
- リスクコミュニケーションの実施の要領及び課題の概要を理解できた。また、日常のコミュニケーションでも授業内容を思い出して、気をつけるようになった。

気になった点

- いかんせん医療分野なので難しい。聞き慣れない見慣れない単語が並ぶので、容易に理解しにくい。苦手意識が強くなる。
- 文系でもわかりやすくしてほしい。印刷教材に書いてなさすぎです。放送教材も早口で画面がすぐに切り替わるから内容が頭に入らない。通信指導も全然書いてなさすぎです。
- 改めて勉強してみると情報が多大にあり、あまりの多さにどこが重要なのか判断できませんでした。
- 人生においては微妙な講座だと思いますが、もっと宗教観を深めに掘り下げてもよいのかもしれない。宗教観の解説程度は、多少あってもよいのではないかと思います。
- 他の科目に比べ、講師により講義や印刷資料のわかりやすさに差があった。印刷資料のレイアウトが講師によりばらつきがあり、多少わかりにくかった。
- 予習で印刷教材を読んでいたが、講義の内容が印刷教材の順番と違っていることが多く、講義を聴きながら記載されているページを探すことが多かった。そのため、講義に十分集中できないことがあった。
- 歳のせいで聞き取り損なうことがあり、テレビだったら目からも情報が入るのにと、予習不足を棚に上げて思ったりしました。
- ラジオの音声だけでも、もちろん理解する上で大きな問題はなかったが、図や表、写真など視覚や直感的にわかる印刷教材や資料も、理解を進める上で有効ではないかと思いました。
- 単位認定試験に印刷教材には記載されていない内容が問われていたので、その旨伝達されていればよかったと思います。

【学部】「生活と福祉」

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	22	27	49	分かりやすく、勉強になった	2		2
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	22	19	41				
内容が良かった、分かりやすかった	23	15	38				
知識の整理、深化に役立った	21	14	35				
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	15	14	29				
興味が持てた、関心が持てた	10	10	20				
視野が広がった、視点、考え方が変わった	13	6	19				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	7	9	16				
身近に感じる事が出来る内容だった	3	11	14				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	6	4	10				
楽しく受講できた、面白かった	2	2	4				
基礎的な知識を得られた	3	1	4				
具体的な事例・実験があった	2	2	4				
専門的な内容だった、レベルが高かった	3		3				
受験・資格取得に役立った	3		3				
最新の情報・研究が学べた	1	1	2				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1	1	2				
他の科目と関連性が良かった	1	1	2				
現状のままでもいい、満足している	1		1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく講義していた	7	5	12
講師の熱意や人柄の良さを感じた	6	4	10
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	3	2	5
事例や身近な例を取り上げていた	3	1	4
映像や写真が多用され、分かりやすかった	4		4
楽しく視聴できた	1	2	3
新しい発見や驚きがあった	1	1	2
受講して良かった		1	1
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた		1	1

【学部】「生活と福祉」

気になった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	10	5	15
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	9	3	12
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	7	11
分かりにくい、説明・解説が不十分	7	1	8
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	6	2	8
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3	1	4
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	3	1	4
内容の重複・他科目との重複が見られる		4	4
現状のままでいい、満足している	2	2	4
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	2	1	3
現実に活かせる内容にしてほしい	2	1	3
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい		3	3
内容・講師に思想的偏りがある	1	2	3
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1	1	2
講義内容と科目名に乖離がある	1	1	2
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	1	2
最新の内容の講義にしてほしい	2		2
科目の分類に疑問がある	1		1
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	1		1
放送大学の体制改善やイメージアップが必要		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	3	2	5
難しい、文章が回りくどい	1	2	3
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	2	1	3
内容が薄い、少なすぎる	1	1	2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2		2
誤植がある	1	1	2
色刷りにしてほしい	2		2
構成・内容が良くない、面白くない	1		1
講師により、内容にバラつきがある		1	1
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	1		1
資料・データが古かった、改定版を出してほしい	1		1
参考資料や付録を載せてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	1	1	2
課題の内容・量が的確ではない	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	1	7	8
印刷教材と連動していない	2	5	7
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2	3	5
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	3		3
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2		2
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	1	1	2
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	1		1
構成・内容が良くない		1	1
設問の解もほしい		1	1
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1		1
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった	1		1
印刷教材と内容が異なる	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2		2
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	1	1	2
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	2		2
教材・電卓持込み可にしてほしい	1		1
試験に関する情報を早く教えてほしい		1	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成または内容を改善してほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

- 内容の詰め込みすぎ
- テレビ科目にしてほしい
- 印刷教材と連動していない
- 講師により内容にバラつきがある

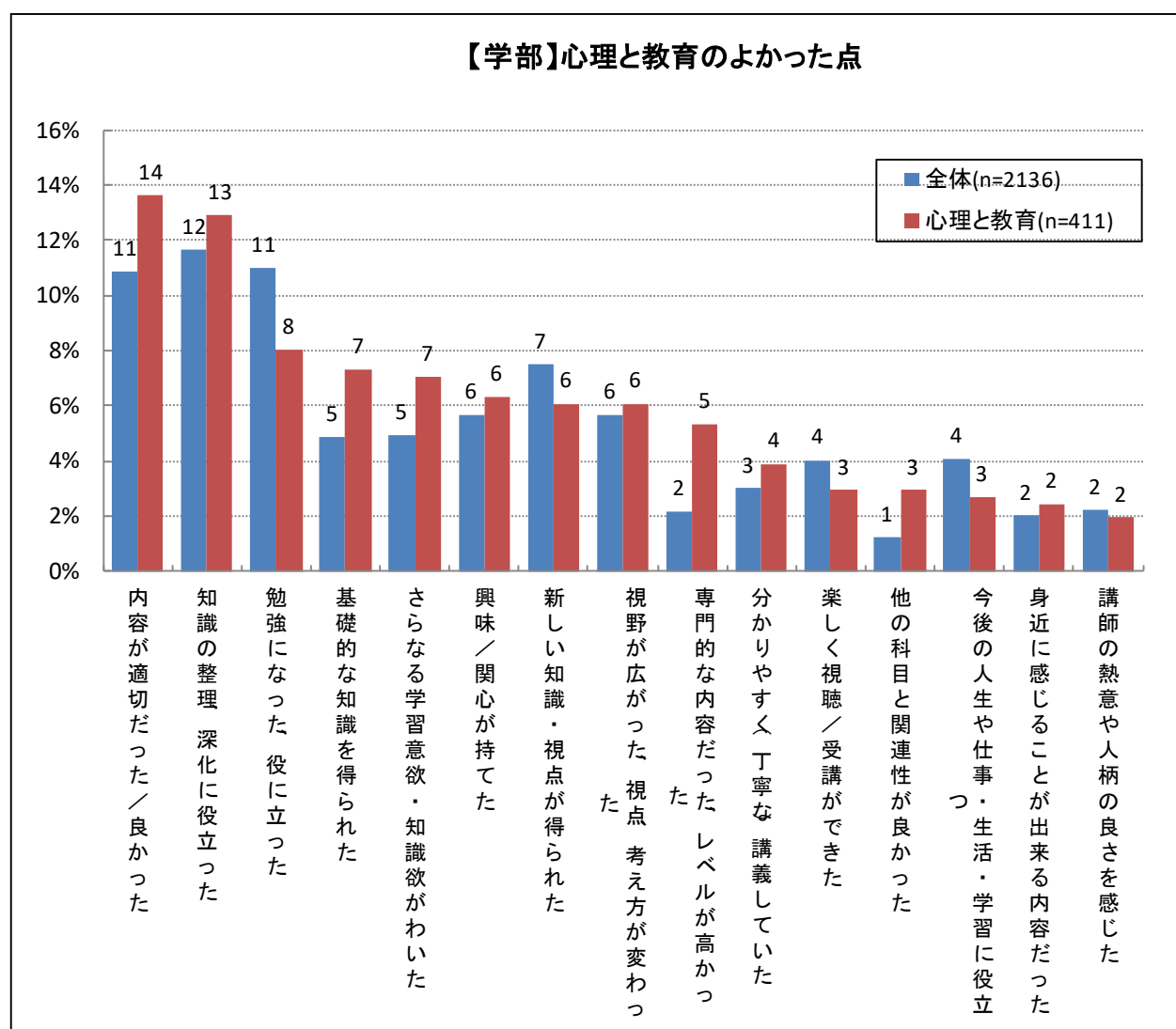
【学部】「心理と教育」科目の傾向

よかった点

「内容が適切だった／良かった」「知識の整理、深化に役立った」が1割を超え代表的な「よかった点」として挙げられた。

次いで「勉強になった、役に立った」も上位であったが、全体と比べると低い支持率であった。

図2-87 【学部】よかった点



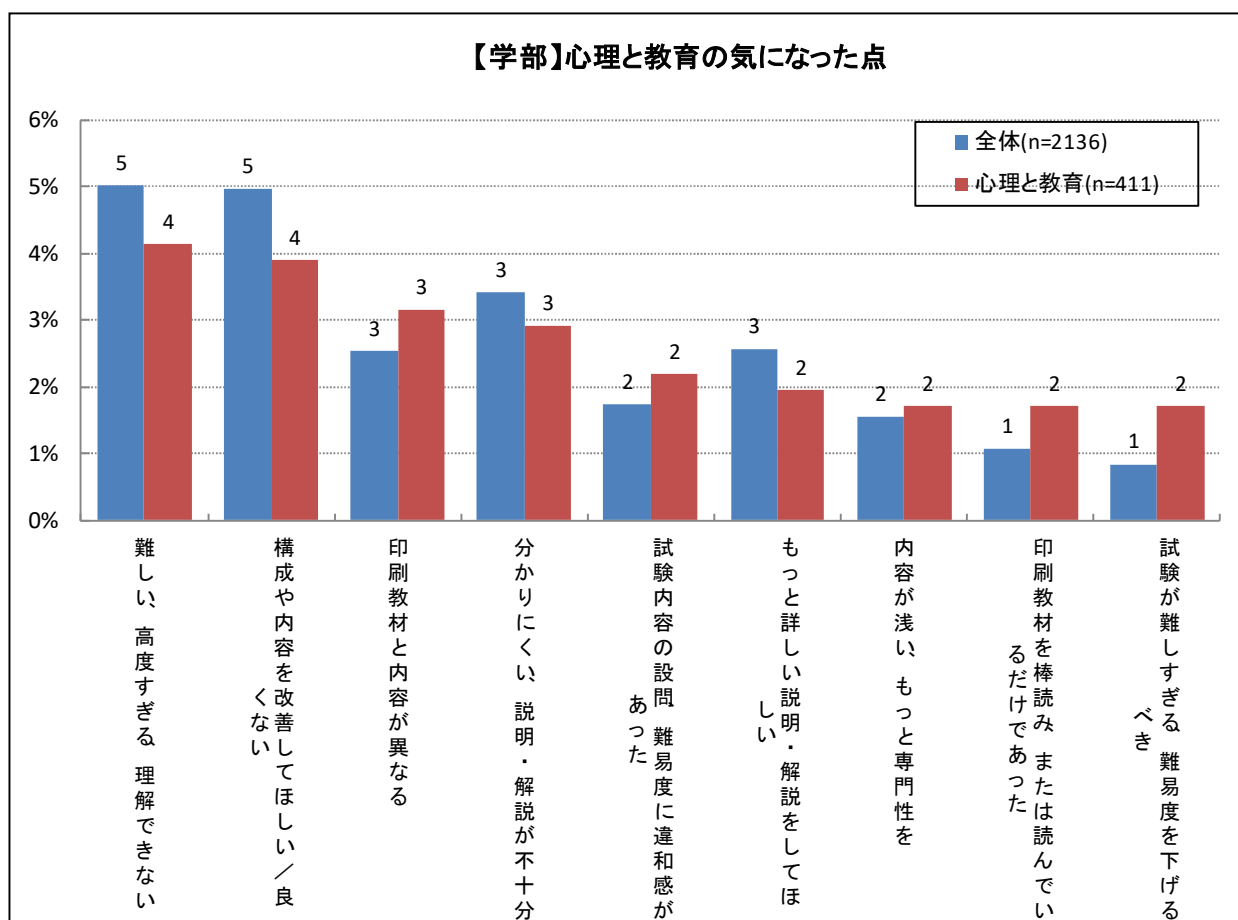
【学部】「心理と教育」科目の傾向

気になった点

「難しい、高度すぎる、理解できない」「構成や内容を改善してほしい／良くない」が上位で全体と比べほとんど差はなく、他の項目も全体と同じ傾向であった。

この「心理と教育」は他のコースと比べると、気になった点や回答数も少ない傾向であった。

図 2 - 8 8 【学部】気になった点



【学部】「心理と教育」科目 抜粋

よかった点

- 初めて心理学を学ぶ上で色々と良いきっかけになりました。教育に関しては現在思春期の子供を子育て中なので、実生活にも役立てていければと思います。
- 現代の子育て世代が抱える問題が浮き彫りになっており、受講してよかったと思いました。
- 脳と心の機能や記憶の座や神経細胞新生等に興味があり、もう少し学んでみたいと思い選択し、学んだ結果知識を深める事ができたと思います。
- 心理学＝カウンセリングというような程度の知識で学習を始めたので、心理学が関わる分野がこれほどまでに多岐にわたることを知る事ができてよかったです。
- 脳・神経・シナプス・+イオン・-イオン等という言葉には従来拒否反応がありましたが、この科目を受講し、各章ごとに理解を進めることができました。脳と各感覚器・心の関係について日常生活での行動に考慮できればと思います。
- 心理学の基礎知識が理解できて良かった。また、講義の最後にインタビューがあり、実際に心理学を学んでそれを仕事に活かしている方たちの話が聞いて参考になった。
- 取り組み事例が具体的で、すぐにでも役立つ具体的な内容で授業されていることが大変わかりやすかった。学びが教育の仕事において直結した勉強になった。
- ポイントがスライドで整理されていたので理解が深まった。毎回のインタビューは、心理学の導入科目として、今後心理学を学んでいく立場としてよい企画だと思う。
- ヒトの身体の構造のことを扱っていたので難しかったですが、印刷教材でも放送授業でも、図を用いた説明だったので分かりやすかったです。

気になった点

- 専門性が高く、基礎となる生物学や化学の知識がないと理解が難しいと感じる。それらの基礎がなくとも学びやすいように、教材の内容や使用する用語をもっと一般向けにした方がよいと思う。
- 心理学用語と思えるものの意味のわからないことがあり、それらの意味がわかるようにしていただけるとありがたい。
- 範囲がとても広く感じた。心理学の内容を学習するほど、概論だけではカバーしきれない。
- 本科目の心理の内容と心理学概論の内容との違いがよくわからなかった。どちらか一方の科目を選択すれば良いような気もするが、あくまでも心理の導入科目としたいのなら、もう少し心理の内容を簡略化し、心理学概論に繋ぐ内容にするべきではないかと思う。
- 放送授業は解りやすかったが、印刷教材は文章が多く、漢字や言葉遣いが難しく理解しづらかったので、カラー印刷で放送授業に使われていた図表やまとめた文章を掲載してもらえると、理解が深まるだろう。
- 授業で印刷教材に載っていない重要な図がたくさんあり、可能ならみな印刷教材に載せておいて欲しいと思った。PC画面から印刷してサブテキストを作った。
- 放送授業の内容と印刷教材の内容は同じだが、順番が違うことがあった。印刷教材のページ探しで多少時間を要したので、その構成は改善してもらいたいと感じた。
- 授業がラジオで音声のみ、ナレーションのように穏やかな口調だったので、自主学習するにはかなりハードルが高かったです（心地良すぎてすぐに居眠りしてしまう）。映像ありの放送であれば、学習もスムーズだったのではないかと思います。

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が良かった、分かりやすかった	25	31	56
知識の整理、深化に役立った	47	6	53
勉強になった、役に立った	14	16	30
基礎的な知識を得られた	17	13	30
興味を持てた、関心を持てた	18	8	26
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	16	10	26
視野が広がった、視点、考え方が変わった	18	7	25
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	18	7	25
専門的な内容だった、レベルが高かった	21		21
他の科目と関連性が良かった	11	1	12
楽しく受講できた、面白かった	7	4	11
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	9	2	11
身近に感じることが出来る内容だった	8	2	10
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	3	3	6
現在の課題や身近な問題を学べた	3	2	5
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	4		4
具体的な事例・実験があった	4		4
現状のままでもいい、満足している		2	2
自分の意見・考えが持てるようになった	2		2
最新の情報・研究が学べた	2		2
自分のペースで勉強できた	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		3	3
手元に置き、今後も読みたい内容だった		2	2
愛情・熱意が伝わる教材だった		1	1
体系的に良くまとまり、整理されていた		1	1
図版や表が役に立った		1	1
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく、勉強になった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
単位がとれた		2	2
簡単だった		1	1
印刷教材が持ち込めて良かった		1	1
評価が良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく講義していた	10	5	15
講師の熱意や人柄の良さを感じた	4	4	8
図表がわかりやすかった	4		4
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	3	1	4
さらなる学習意欲・知識欲がわいた		3	3
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2	1	3
受講して良かった		2	2
楽しく視聴できた		1	1
新しい発見や驚きがあった	1		1
専門的に掘り下げていた	1		1
実例や身近な例を取り上げていた		1	1
映像や写真が多用され、分かりやすかった	1		1
参考文献を紹介してくれた		1	1
印刷教材との関連が良かった	1		1
映像・テレビで良かった	1		1

【学部】「心理と教育」

気になった点

(単位:人)

科目全般 意見	印刷教材		
	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	10	2	12
分かりにくい、説明・解説が不十分	5	4	9
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	5	4	9
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	4	8
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4	2	6
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2	3	5
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	2	2	4
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	3		3
内容の重複・他科目との重複が見られる		3	3
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	1	2
科目の分類に疑問がある	1	1	2
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	2		2
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1	1	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2
現状のままでもいい、満足している	1	1	2
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
講義内容と科目名に乖離がある		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい		1	1
内容・講師に思想的偏りがある		1	1
交流の場を用意してほしい	1		1

印刷教材 意見	放送授業		
	テレビ	ラジオ	合計
文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	4	1	5
放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	5		5
難しい、文章が回りくどい	3		3
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	3		3
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1	2	3
放送授業と内容が異なる	3		3
放送授業の要約を載せてほしい	3		3
色刷りにしてほしい	2		2
構成・内容が良くない、面白くない	1		1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
内容が薄い、少なすぎる	1		1
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1		1
誤植がある	1		1

放送授業 意見	単位認定試験		
	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材と連動していない	3	5	8
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	3	4	7
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	4	2	6
構成・内容が良くない	4	2	6
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2	3	5
テレビ科目にしてほしい		5	5
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2	2	4
図・表・写真を利用してほしい	2	1	3
印刷教材と内容が異なる	3		3
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2
補助教材や参考文献の発行・紹介を	2		2
印刷教材と異なる講義が聴きたい	2		2
手話通訳、または字幕がほしい	1	1	2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1		1
具体例・事例を増やしてほしい	1		1
まとめや学習ポイント、総括がほしい		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	1		1
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	1		1
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる		1	1
講師の独りよがりになっている		1	1
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		1	1
映像についての補足資料をPDF等でほしい	1		1
ノートを取る余裕がほしい		1	1

単位認定試験 意見	放送授業		
	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問、難易度に違和感があった	7	2	9
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	6	1	7
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	2	1	3
問題数が少なかった	2	1	3
評価方法に疑問を感じる	1		1
記述式および記述に関して改善してほしい	1		1
教材・電卓持込み可にしてほしい	1		1
教材の持ち込みは不要	1		1

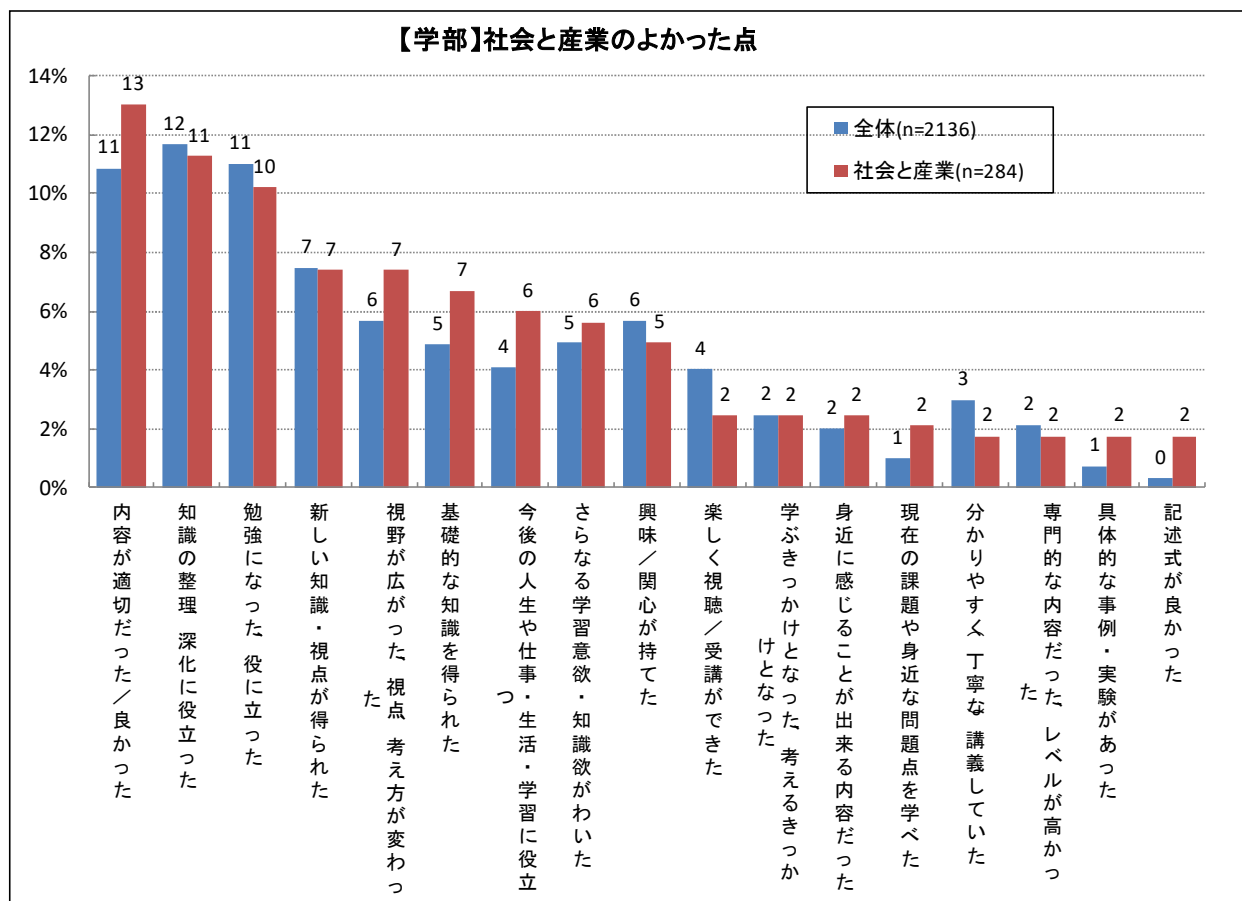
主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい、説明・解説が不十分
- 構成または内容を改善してほしい
- 試験内容の設問、難易度に違和感があった
- 印刷教材と連動していない
- 印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった
- 内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい
- 講義のテンポが良くない

【学部】「社会と産業」科目の傾向

よかった点

1割を超えた代表的な項目は「内容が適切だった／良かった」「知識の整理、深化に役立った」「勉強になった、役に立った」であった。

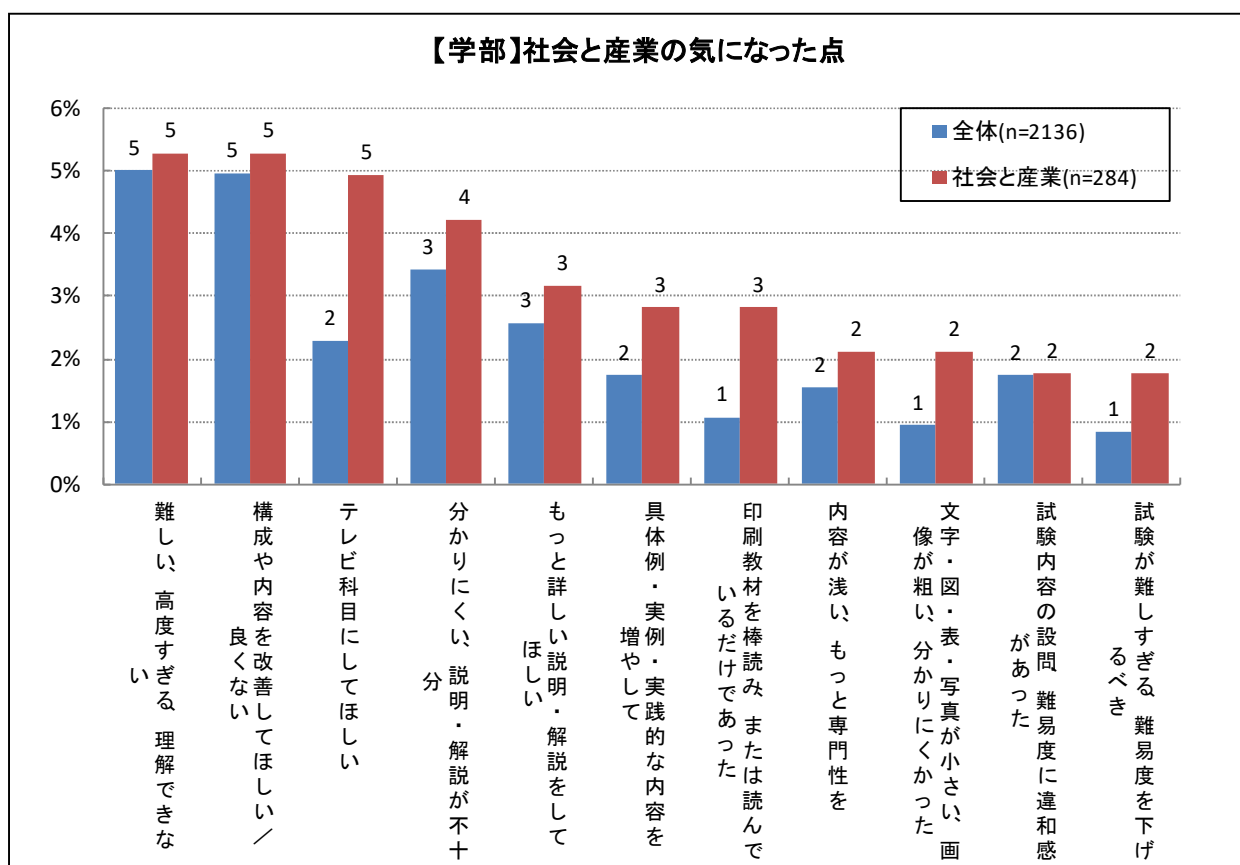


【学部】「社会と産業」科目の傾向

気になった点

「難しい、高度すぎる、理解できない」「構成や内容を改善してほしい／良くない」「テレビ科目にしてほしい」が上位意見であったが、5%に過ぎなかった。

図 2-90 【学部】気になった点



【学部】「社会と産業」科目 抜粋

よかった点

- 変化の激しい現在の国際情勢で、予備知識的な点から「今まさに起こっていること」まで不自然なく導いてくれた有意義な講義だったと思う。これからも続く国際政治への目を磨き続けなくてはならないと改めて思った。
- 地球温暖化の原因をマクロ／ミクロの両面から理解できた。農業が温暖化に与える要因について関心が持てた。
- 住まいと自然の関わりの重要性を認識させられたことと、環境と共生する建築物がエコであるとともに、私たちが生活する中での心豊かさをももたらす機能があることを気づかせてくれました。
- 日本の農業が置かれている状況と、フードシステムにおける流通の機能がよくわかった。1次産業就業者の高齢化問題について、コラム欄で言及していたのはとてもよかった。
- 昨今のSNSの普及にともない、他人の著作物を気軽に引用したりすることが日常的に行われている風潮の中で、知るべき内容のことを学ぶ機会が得られたのはよかった。
- 昨年度、旧行政法（'12）の内容と比較することで、立体的に行政法の形を理解することができました。又、法改正内容が講義内容に反映されており、現在の形を理解する上で非常に有益でした。
- 大学レベルの統計学の基礎を学べて非常に役に立ちました。大学レベルの数学の素晴らしさに気付かされました。
- 40年近く法律に関係して生きてきたが、あらためて勉強してみるとまだまだ勉強不足であると感じた。これからも継続して法に関する知識向上に努めなくてはいけないと思った。
- グローバルヒストリーという考え方の発達を知り、ポメラントの“大分岐”とフランクの“リオリエント”に触れることができた。

気になった点

- フードシステムや農業の問題点を解明しきれていないように思える。事実の理解に止まり、思考が膨らまない。消費者意識の問題を意図的に読者へ悟らせ、実行させようとしているように思える。
- ほとんど国内の諸々のデータを使って説明していますが、海外のデータを使って、比較論証して欲しい。国内のデータだけでは打開策に限られるが、海外には農林業で十分に生計を立てている事業者があるので、それと比較をした方が面白いのではないだろうか。
- 放送教材はぐいぐい引き込まれて内容もわかりやすいので、ついつい“わかった”気分になりがちです。先生がたびたび忠告されていること、「これでわかったと言われたら疑います」を肝に銘じなおすことが必要だと思います。レポートの課題に関しては、自身でも疑問に感じていたことそのものだったので、具体的なコメントがいただけるとありがたかったです（「持論を述べるのであれば具体例を挙げるとよいでしょう」とのコメントをいただきました）。
- インターネットのサーバー、プロバイダーへの一時保存といった内容について、インターネットのしくみそのものに詳しくない者にとってはちんぷんかんぷんだだったので、もう少し前段階として予備知識のような説明があれば理解しやすいかと思った。
- 放送教材が印刷教材を読んでいるだけの印象を受けた。法解釈や判例などの具体的な解説をしてほしい。印刷教材を読んだだけでは、なかなか理解しにくい内容だった。
- ラジオでは内容の理解が難しい部分があった。教科書だけでは、初めて統計学に触れる者にとっては理解できないかと思う。
- 教材内のデータ図が細かく小さくて活用しづらかった。
- 数式の解法がわかりませんでした。基本的な数学の知識が必要だと感じましたが、その解説が欲しかったです。

【学部】「社会と産業」

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
内容が良かった、分かりやすかった	10	27	37	分かりやすく、勉強になった	1	2	3
知識の整理、深化に役立った	9	23	32	事例・コラムが良かった		2	2
勉強になった、役に立った	11	15	26	読み物として面白い内容だった		1	1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	11	10	21	さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった		1	1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	8	13	21				
基礎的な知識を得られた	3	16	19				
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	5	12	17				
興味を持てた、関心を持てた	7	7	14				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	7	6	13				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	1	6	7				
身近に感じる事が出来る内容だった	4	3	7				
現在の課題や身近な問題点を学べた	2	4	6				
楽しく受講できた、面白かった	3	2	5				
専門的な内容だった、レベルが高かった	1	4	5				
具体的な事例・実験があった	3	2	5				
最新の情報・研究が学べた	1	3	4				
自分の意見・考えが持てるようになった	1	2	3				
他の科目と関連性が良かった		2	2				
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった		1	1				

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式が良かった	2		2
添削・コメントをしてもらえた	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式が良かった	2	1	3
単位がとれた	1	1	2

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく講義していた	5		5
事例や身近な例を取り上げていた	3		3
映像や写真が多用され、分かりやすかった	3		3
講師の熱意や人柄の良さを感じた	3		3
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2	1	3
楽しく視聴できた	2		2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	2		2
図表がわかりやすかった		1	1
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	1		1
放送授業の補足資料が充実していた	1		1

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させたい	6	4	10	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった	2	4	6
分かりにくい、説明・解説が不十分		9	9	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		3	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		9	9	誤植がある	2	1	3
難しい、高度すぎる、理解できない		8	8	内容が薄い、少なすぎる		2	2
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	3	3	6	具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい	2		2
現実に活かせる内容にしてほしい		2	2	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		2	2
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない		2	2	フリガナ、専門用語の説明などがほしい		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2	参考資料や付録を載せてほしい	2		2
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった			1	構成・内容が良くない、面白くない		1	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1	難しい、文章が回りくどい	1		1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい		1	1	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい		1	1	和訳・英訳がほしい	1		1
最新の内容の講義にしてほしい	1		1	設問の解も載せてほしい		1	1
参考文献を紹介してほしい		1	1	色刷りにしてほしい		1	1
学校の対応が悪かった		1	1	教材の装丁・デザインを改善してほしい	1		1
現状のままでもいい、満足している	1		1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		14	14
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	3	5	8
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	3	4	7
構成・内容が良くない	2	2	4
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	3		3
講義のテンポが良くない(早い・遅い)		3	3
補助教材や参考文献の発行・紹介を	2	1	3
まとめや学習ポイント、総括がほしい	1	1	2
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい		2	2
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい		2	2
講師の話し方や発音、講義態度が良くない		2	2
印刷教材と異なる講義が聴きたい	1	1	2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
図・表・写真を利用してほしい	1		1
設問の解もほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改定してほしい	1		1
解説中のページを画面に表示してほしい	1		1
講師の独りよがりになっている	1		1
印刷教材と内容が異なる		1	1
印刷教材と連動していない		1	1
視聴手段を増やしてほしい(DVDビデオ・配信等)		1	1
映像についての補足資料をPDF等でほしい	1		1
ノートを取る余裕がほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	2	1	3
放送授業・印刷教材・単位認定試験と内容がずれている		2	2
課題範囲が広すぎる、難しい		1	1
単位認定試験との難易度に差がありすぎる		1	1
誤植がある	1		1
記述式および記述に関して改善してほしい／記述式はやめてほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問、難易度に違和感があった	2	3	5
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	2	3	5
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1	3	4
評価方法に疑問を感じる		2	2
教材・電卓持込み可にしてほしい		2	2
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき		1	1
試験時間が短い・問題数が多かった	1		1
問題数が少なかった		1	1
教材の持ち込みは不要		1	1
試験に関する情報を早く教えてほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- テレビ科目にしてほしい
- 構成または内容を改善してほしい
- 分かりにくい、もっと詳しい説明・解説をしてほしい

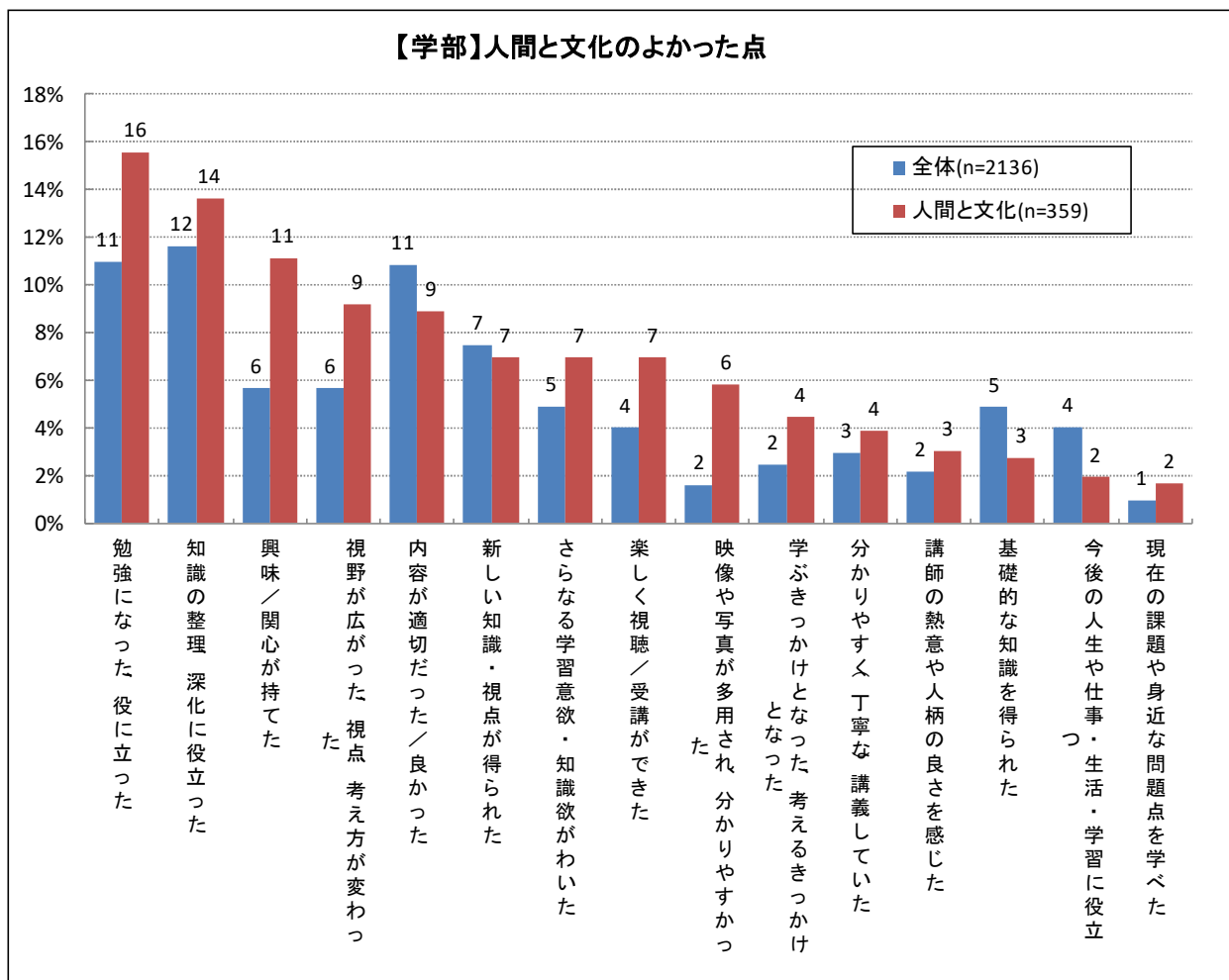
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった
- 具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい
- 文字・図・表・写真が小さい

【学部】「人間と文化」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役だった」が最も多く、16%に上っていた。
 次いで「知識の整理、深化に役立った」「興味／関心が持てた」がこれに続いた。
 「興味／関心が持てた」は全体を大きく上回っていた。

図 2 - 9 1 【学部】よかった点

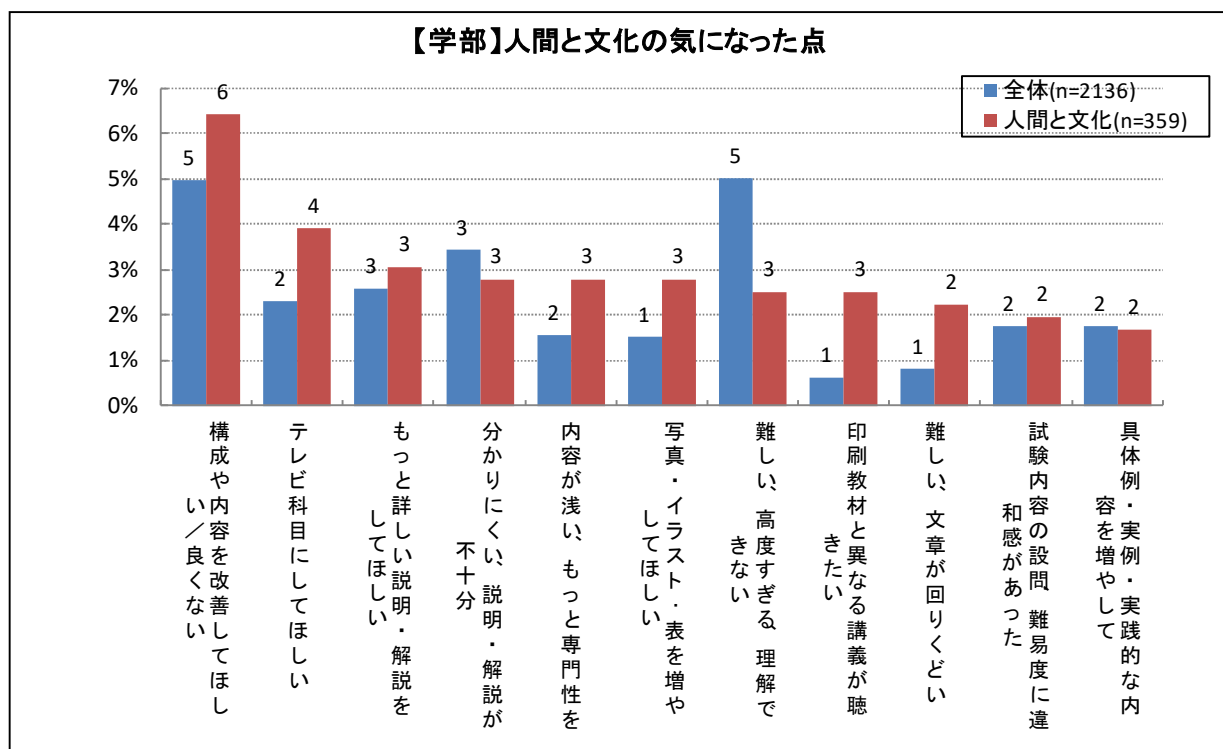


【学部】「人間と文化」科目の傾向

気になった点

「構成や内容を改善してほしい／良くない」と「テレビ科目にしてほしい」が上位の項目で、5%前後であった。

図 2-9 2 【学部】気になった点



【学部】「人間と文化」科目 抜粋

よかった点

- 日本文学の古典と近代の繋がりが理解できました。内容は難しいと思いましたが、何度も読み理解を深めました。充実した教科書と放送授業でした。
- 認知言語学についての幅広い知識が得られて大いに満足しています。2人の先生方による対話形式で放送授業が進められていたので、音声だけによる授業でも十分理解することができました。
- ニーチェ、ハイデッガー、ハンナ・アーレントというドイツ系哲学者の思想について学ぶ機会があった。ギリシャ哲学とも関連していて参考になった。
- 東南アジア諸国の成り立ちから現代に至るまで理解することができた。最近では新聞記事でも自然と東南アジア諸国の問題に目が向くようになった。日本、中国、韓国、台湾等の歴史関連を学んできたので、本講義も興味深く受講できた。
- 映像を見た結果、実際に現地を訪れてみようと思った。自分としては初めての文学散歩となる。具体的には鴨長明の方丈庵跡。今秋にも日野の外山を歩いてみる予定である。
- 以前は哲学と宗教の関係が曖昧でしたが、少し理解できたと思います。自身の残された人生をいかに生きるか、常に問うていかなければと思いました。良い契機を与えてもらったと感謝しています。
- 記述式なので、1つの事柄について文献を深く読み込み、自分で文章を纏める力がついたこと。美術に関する興味が深まったこと。
- 今まで考古学について全く知らなかったが、この講座は大変面白く興味が広がった。続編があれば良いのと思う。

気になった点

- 著作権に関する講義は、法律の知識を持たない者にとっては難しかったです。シラバスに法律に関する入門的な科目を紹介していただけるとありがたかったです。
- 個人的には哲学者の発言を細かく暗記する事より、人間の思想の歴史、思想の進歩と矮小化退化、時代背景の考察、何がわかって何が残されたのかについてもう少し切り込んで欲しいと思いました。
- 科学的方法の説明は難しいので、実際の映像をもっと増やしてほしい。発掘現場や遺跡の映像は非常に興味深かった。
- 15章で15のテーマという、範囲が広すぎてついていくのが大変であった。5テーマ位に絞って、1テーマに3章くらいで展開していただけるとやりやすいと感じた。
- ラジオ放送と教科書の中身がほぼ同じなので、教科書だけ読めばよいと考える人もいるかもしれない。
- 放送を見ても、何かのレポートのような感じで、もう少し学問としての論点等を解説いただきたいかった。全体として少し易しすぎのような気がしました。
- 印刷教材の文章が大変に難解であった。ごくごく普通な文書になることを期待します。句読点の使い方が文章を難解にしていると感じた。
- 通信指導のコメントが、全解答を総括した最大公約数的な内容で、親身に指導を得たような実感を得られなかった。単位認定試験は、出題方針が見通せなかったので受験しなかったが、後で出題内容を見てもこれで文学批評ができるようになるのか疑問に感じた。期末にこんな出題をするより、オンライン授業にして、詩、映画、文学のジャンル毎に学習の節目で小論文を書いて講評もらう方が学び甲斐があると思う。
- 単位認定試験が、ほぼ過去問題等から出ていました。もう少し自分で考える問題があれば良かったかもしれません。

【学部】「人間と文化」

よかった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	16	37	53	分かりやすく、勉強になった	3		3
知識の整理、深化に役立った	17	32	49	愛情・熱意が伝わる教材だった		3	3
興味が持てた、関心が持てた	17	23	40	読み物として面白い内容だった	1	1	2
視野が広がった、視点、考え方が変わった	16	17	33	手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1
内容が良かった、分かりやすかった	11	20	31	さらなる学習意欲・知識欲がわく内容だった	1		1
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	7	18	25	ポイントが明確に押さえられていた		1	1
楽しく受講できた、面白かった	7	14	21	図版や表が役に立った	1		1
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	9	11	20				
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	6	10	16				
基礎的な知識を得られた	2	8	10	通信指導			
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	4	3	7	意見	テレビ	ラジオ	合計
現在の課題や身近な問題点を学べた	3	3	6	内容が適切だった		1	1
専門的な内容だった、レベルが高かった	4	1	5	分かりやすく丁寧な指導だった		1	1
他の科目と関連性が良かった	3	2	5	添削・コメントをしてもらえた		1	1
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	1	3	4				
身近に感じる内容が出来る内容だった	1	2	3	単位認定試験			
最新の情報・研究が学べた	2	1	3	意見	テレビ	ラジオ	合計
自分のペースで勉強できた	1		1	やりがいのある試験だった		1	1
具体的な事例・実験があった	1		1				

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
映像や写真が多用され、分かりやすかった	21		21
分かりやすく講義していた	4	9	13
講師の熱意や人柄の良さを感じた	4	7	11
楽しく視聴できた	3	1	4
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	3	1	4
印刷教材との関連が良かった	2	2	4
対話形式の授業が良かった		3	3
講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	1	1	2
受講して良かった	1		1
新しい発見や驚きがあった	1		1
事例や身近な例を取り上げていた		1	1
図表がわかりやすかった	1		1
現場取材やインタビュー、実験があつて良かった	1		1
放送授業の補足資料が充実していた	1		1
参考文献を紹介してくれた		1	1

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	4	10	14	難しい、文章が回りくどい	2	6	8
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	5	6	11	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい		7	7
分かりにくい、説明・解説が不十分	3	4	7	フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2	3	5
難しい、高度すぎる、理解できない	2	4	6	構成・内容が良くない、面白くない		3	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	4	1	5	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分		3	3
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	2	2	4	内容が薄い、少なすぎる	1	2	3
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	1	3	4	講師により、内容にバラつきがある		2	2
現状のままでもいい、満足している	1	3	4	放送授業と内容が異なる	1	1	2
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	2	1	3	内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	1	2	3	具体例・実例・実践的な内容を載せてほしい		1	1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1	2	3	文字・図・表・写真が小さい、画像が粗い、分かりにくかった		1	1
内容・講師に思想的偏りがある	2	1	3	参考資料や付録を載せてほしい	1		1
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2	1	3	誤植がある		1	1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1	1	2	放送授業の参考資料やページデータ等も載せてほしい	1		1
科目の分類に疑問がある	1	1	2	放送授業の要約を載せてほしい	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	1	2	DVD・CDの添付を考えてほしい		1	1
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい		2	2				
放送授業と印刷教材の内容が同じである		2	2				
現実に活かせる内容にしてほしい	1		1				
参考文献を紹介してほしい	1		1				
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も			1				1
学習センターや図書館が近くにない、利用が不便	1		1				1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		14	14
印刷教材と異なる講義が聴きたい	2	7	9
構成・内容が良くない	4	2	6
講師の独りよがりになっている	1	4	5
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	3	1	4
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分		3	3
図・表・写真を利用してほしい	1	2	3
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった	1	2	3
単位認定試験と連動していない	1	2	3
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった		2	2
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1	1	2
娯楽要素が多い	1	1	2
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	1	1	2
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった		2	2
印刷教材と連動していない	1	1	2
放送授業の時間が合わない	1		1
具体例・事例を増やしてほしい		1	1
放送授業が聞き取りづらい	1		1
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる		1	1
1科目の放送時間が短い		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	1	2	3
課題の内容・量が的確ではない	3		3
問題の解答・解答例・解説がほしい		1	1
記述式および記述に関して改善してほしい/記述式はやめてほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設定、難易度に違和感があった	2	5	7
試験時間が短い・問題数が多かった	2	1	3
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1	1	2
ワープロ可にしてほしい	2		2
通信指導や前学期と内容が同じだった		1	1
通信指導と異なるものが良い		1	1
試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき		1	1
問題が多かった、範囲が広がった		1	1
試験に関する情報を早く教えてほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

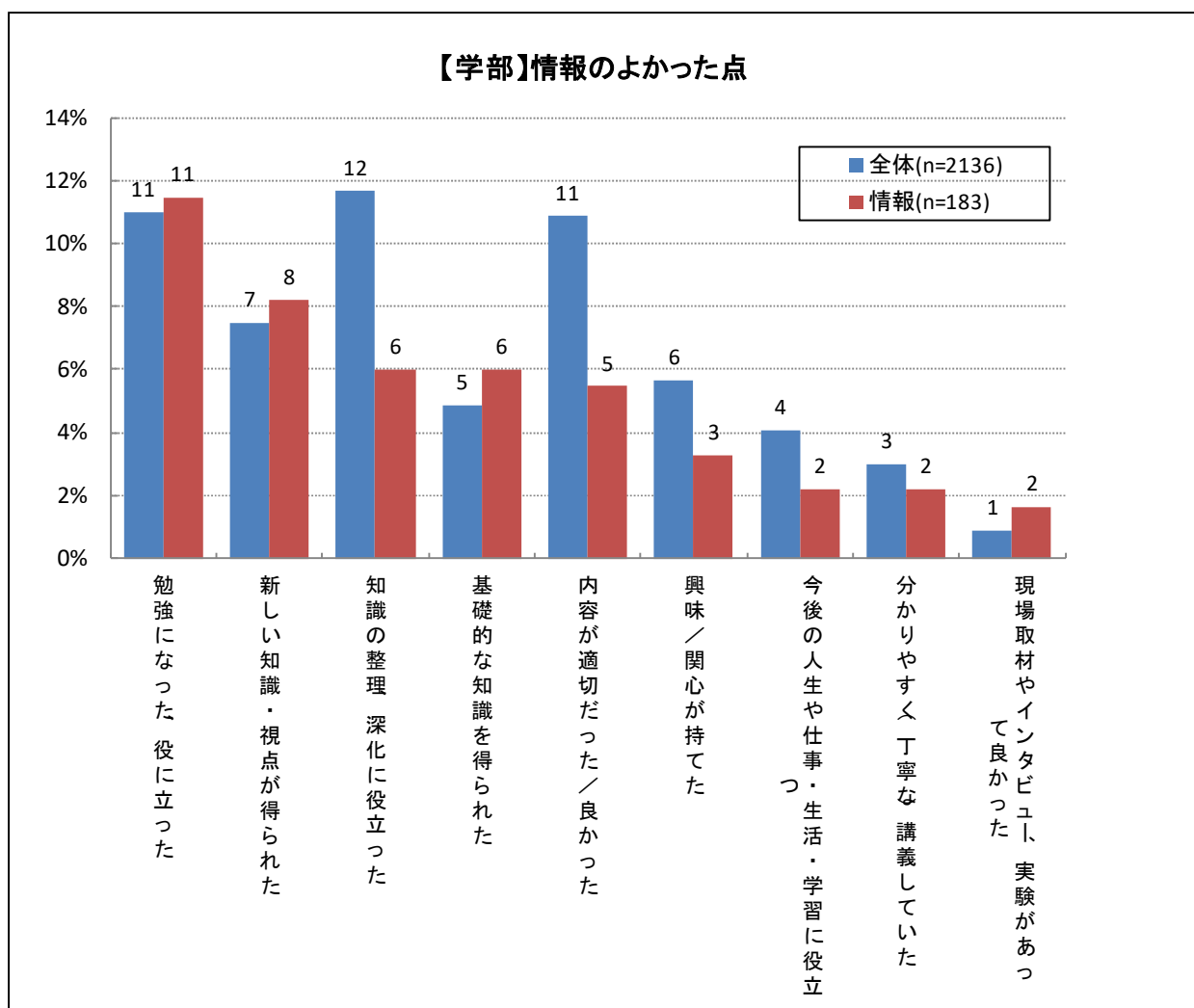
- 構成または内容を改善してほしい
- テレビ科目にしてほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 印刷教材と異なる講義が聴きたい
- 文章が回りくどい、専門用語の説明などがほしい

【学部】「情報」科目の傾向

よかった点

「勉強になった、役だった」が1割を超え、「新しい知識・視点が得られた」が1割弱。全体と比べると「知識の整理、深化に役立った」と「内容が適切だった／良かった」は大きく下回っていた。

図2-93 【学部】よかった点



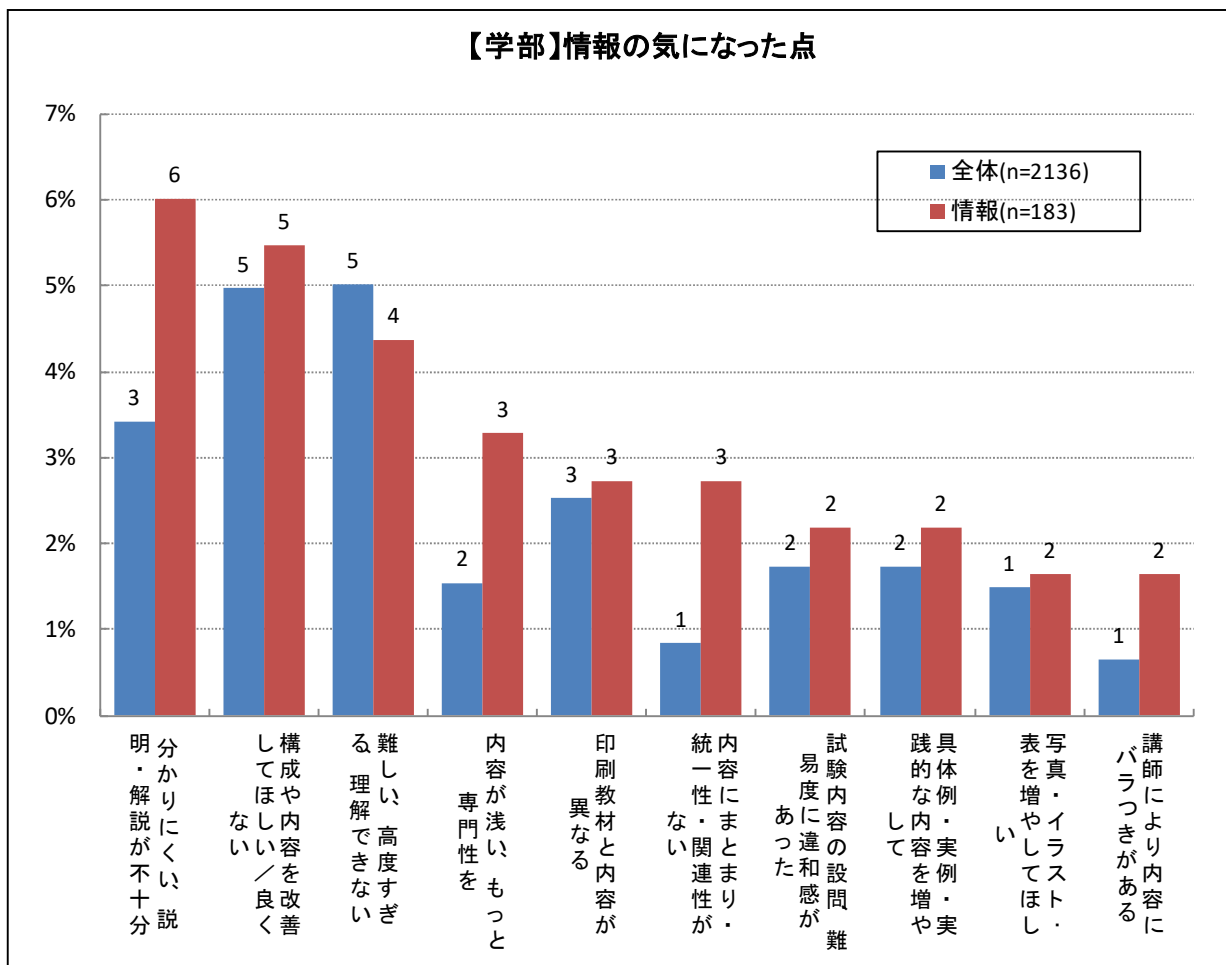
【学部】「情報」科目の傾向目

気になった点

「分かりにくい、説明・解説が不十分」「構成や内容を改善してほしい／良くない」「難しい／高度すぎる」など十分な理解につなげていない項目が上位であった。

「分かりにくい、説明・解説が不十分」については全体より多い傾向がみられた。

図 2 - 9 4 【学部】気になった点



【学部】「情報」科目 抜粋

よかった点

- 歴史的な流れと新しい技術の両方について知ることができてとてもよかった。放送授業で機器を使っている動画などが見られたのもよかった。
- メディアの歴史的・空間的な広がりの中で、情報収集やコミュニケーションの手段や影響等について知ることができた。このような考え方や知識は、メディアだけでなく人間関係や自分の生き方にも応用が可能であろう。
- 初学者にとって、データベースとはそもそも何であり、どのような仕組みで動いているのかを理解するには、良い内容であったと思う。
- データベースの概念から丁寧に解説されており、SQL など特定の分野に偏ることなくデータベースの全体像から学ぶことができたので、理解が深まったこと。
- 量子コンピュータの実現など、コンピュータの性能が上がるほど暗号化技術が危殆化することなど、新たな知見が得られたこと。
- 理論だけではなく、コンピュータの内部やプログラムをはじめ具体的な解説が分かりやすかった。また、講師とアシスタントの方との掛け合いにより、難しいテーマでも分かりやすく感じることができて良かったと思う。
- 今までこの内容について専門的なこと、法に関わることを知らなかったもので、それを知ることができてよかった。日常にも役立つことがありよかったと思う。
- 日常生活でのデジタルメディアの普及状況、活用方法を知ることができたのは、とても有意義でした。青木先生のインタビューの回は、毎回刺激のある話が聞け、充実した時間でした。

気になった点

- オンライン授業でプログラミングの教科を学んだ時に楽しかったので、一から学びたいと思って受講しました。しかし放送授業は理解できませんでした。プログラミングの基礎ができていないので、初歩的なものから実際にプログラミングしながら受講できるように改善して欲しいと思いました。
- C言語初心者にpcでの実装についてもう少し手を差し伸べてほしい。再帰関数のコードの理解に苦しんだ。
- DBの演算は抽象的内容が多く、分かり難い。既存のDB製品を使って的具体例がもっとあれば良い。例えば、楽天やアマゾンといった通販システムDB例とか、宿泊サイトのDBなど。
- 全体的に講義や文章（印刷教材）が多く、視覚的に理解を促す教材が少なかったように思います。もう少し写真や動画を取り入れて、各デジタルメディアに関するより具体的な紹介などがあってもよいのではないのでしょうか。
- 放送授業で使うスライドや写真がダウンロードできるようになっていると、予習や復習に役立ち、より理解が深くなると思う。放送授業の流れと印刷教材の流れが異なっている箇所もあるので（同じにすべきということではない）。
- 扱っているジャンルが広い分、全体的に内容がバラバラで、単位認定試験がクイズみたいな印象を受けました。
- 単位認定試験の問題は勉強した内容が無駄に思える内容であり、日本語の正しさを確認するような内容と感じました。試験問題が曖昧で自分にはとても単位がもらえと思えず、無駄に思えました。再試験はやらないかな…教科内容はとても面白いのに残念です。
- ラジオ放送だったため、印刷教材に書かれていない事柄を聞き取ることが難しいと感じた。単語だけでも記載があると調べやすい。

よかった点

(単位:人)

科目全般				放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	19	2	21	分かりやすく講義していた	4		4
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	13	2	15	現場取材やインタビュー、実験があつて良かった	3		3
知識の整理、深化に役立った	11		11	映像や写真が多用され、分かりやすかった	2		2
基礎的な知識を得られた	11		11	参考文献を紹介してくれた	2		2
内容が良かった、分かりやすかった	9	1	10	講師の熱意や人柄の良さを感じた	2		2
興味が持てた、関心が持てた	6		6	講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	2		2
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	3	1	4	新しい発見や驚きがあった	1		1
楽しく受講できた、面白かった	2		2	実例や身近な例を取り上げていた	1		1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	2		2	社会的な課題や問題点を知ることができた	1		1
身近に感じる内容だった	2		2	インターネットで受講できた	1		1
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった			1				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1		1				
自分の意見・考えが持てるようになった	1		1				
最新の情報・研究が学べた	1		1				
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1				
具体的な事例・実験があった	1		1				
受験・資格取得に役立った	1		1				
学習センターや図書館が良かった	1		1				

気になった点

(単位:人)

科目全般				印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりにくい、説明・解説が不十分	7		7	内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	3	1	4
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	6	1	7	設問の解も載せてほしい	2		2
難しい、高度すぎる、理解できない	5	1	6	放送授業と内容が異なる	2		2
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	4		4	講師により、内容にバラつきがある	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	3		3	内容が薄い、少なすぎる	1		1
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	2		2	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1		1
内容の重複・他科目との重複が見られる	2		2	参考資料や付録を載せてほしい	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2		2				
最新の内容の講義にしてほしい	2		2				
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	2		2				
放送授業と印刷教材の内容が異なる	2		2				
インターネットで視聴したい、各種通信デバイスの充実も	2		2				
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	1		1				
現実に活かせる内容にしてほしい		1	1				
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1				
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1				
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	1		1				
講義内容と科目名に乖離がある	1		1				
参考書や問題集、補助教材を紹介・発行してほしい	1		1				
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	1		1				
現状のままでいい、満足している	1		1				

放送授業				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
構成・内容が良くない	3		3	単位認定試験との難易度に差がありすぎる	1		1
興味・意欲がわかなかった、面白くなかった	1	1	2				
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2		2				
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	2		2				
図・表・写真を利用してほしい	2		2				
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	2		2				
テレビの図が見にくい、見せ方を改善してほしい	2		2				
放送授業が聞き取りづらい	1	1	2				
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	2		2				
印刷教材と連動していない	1	1	2				
テレビ科目にしてほしい	1	1	2				
映像についての補足資料をPDF等でほしい	2		2				
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1				
補助教材や参考文献の発行・紹介を	1		1				
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	1		1				
講師は一人の方がよかった、複数の講師の説明だったのでわかりにくかった	1		1				
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった		1	1				
印刷教材と内容が異なる		1	1				
1科目の放送時間が短い	1		1				

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容の設問、難易度に違和感があった	4		4
問題の解答・解説・用紙がほしい	2		2
教材・電卓持込み可にしてほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 分かりにくい、説明・解説が不十分
- 構成または内容を改善してほしい
- 試験内容の設問、難易度に違和感があった
- 内容にまとまりがない、統一性・関連性がない
- もっと専門性を持たせてほしい

【学部】「自然と環境」科目の傾向

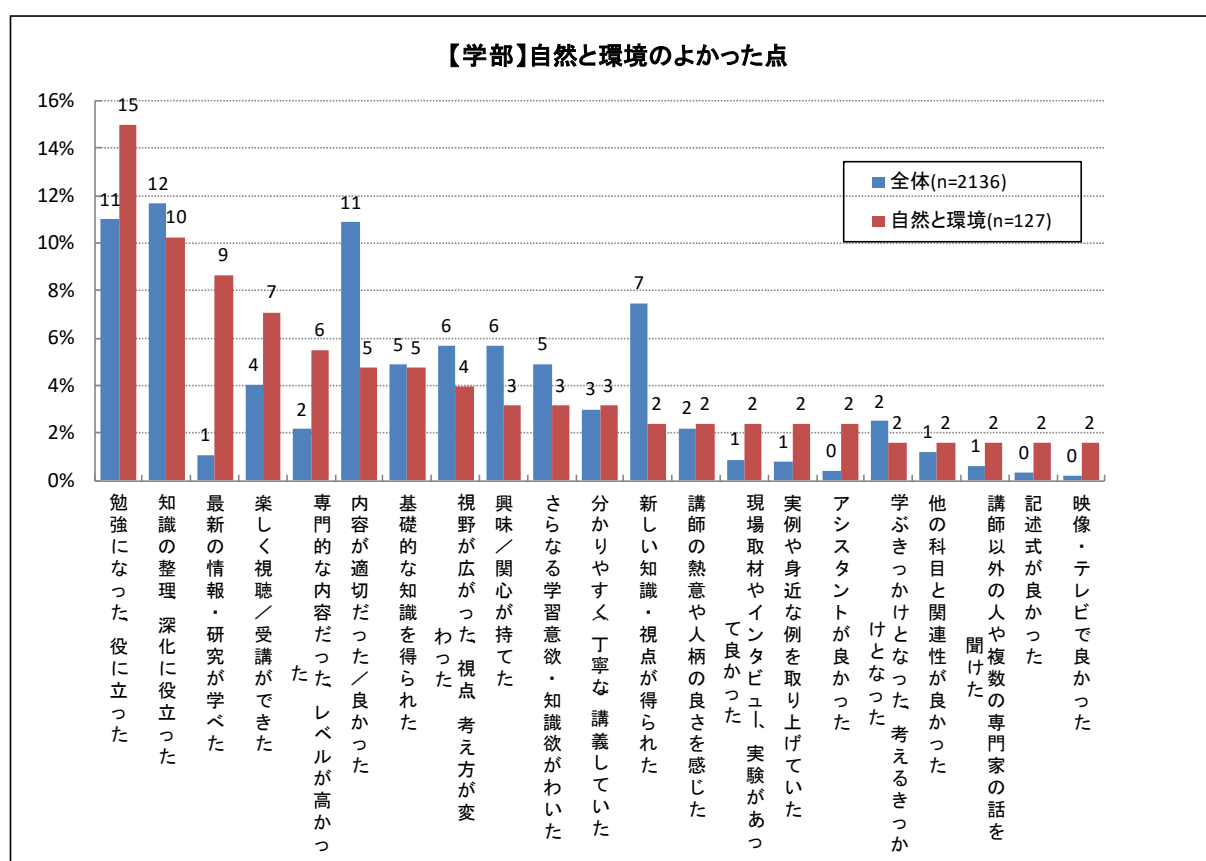
よかった点

トップ項目の「勉強になった、役立った」は15%で他の意見に比べ突出していた。他に1割程度挙げられたのは「知識の整理、深化に役立った」「最新の情報・研究が学べた」であった。

「最新の情報・研究が学べた」は全体ではごく僅かであったことから、「自然と環境」の特徴的な項目と言えよう。

反対に「内容が適切だった／良かった」は全体と比べるとかなり低い値であった。

図2-95 【学部】よかった点

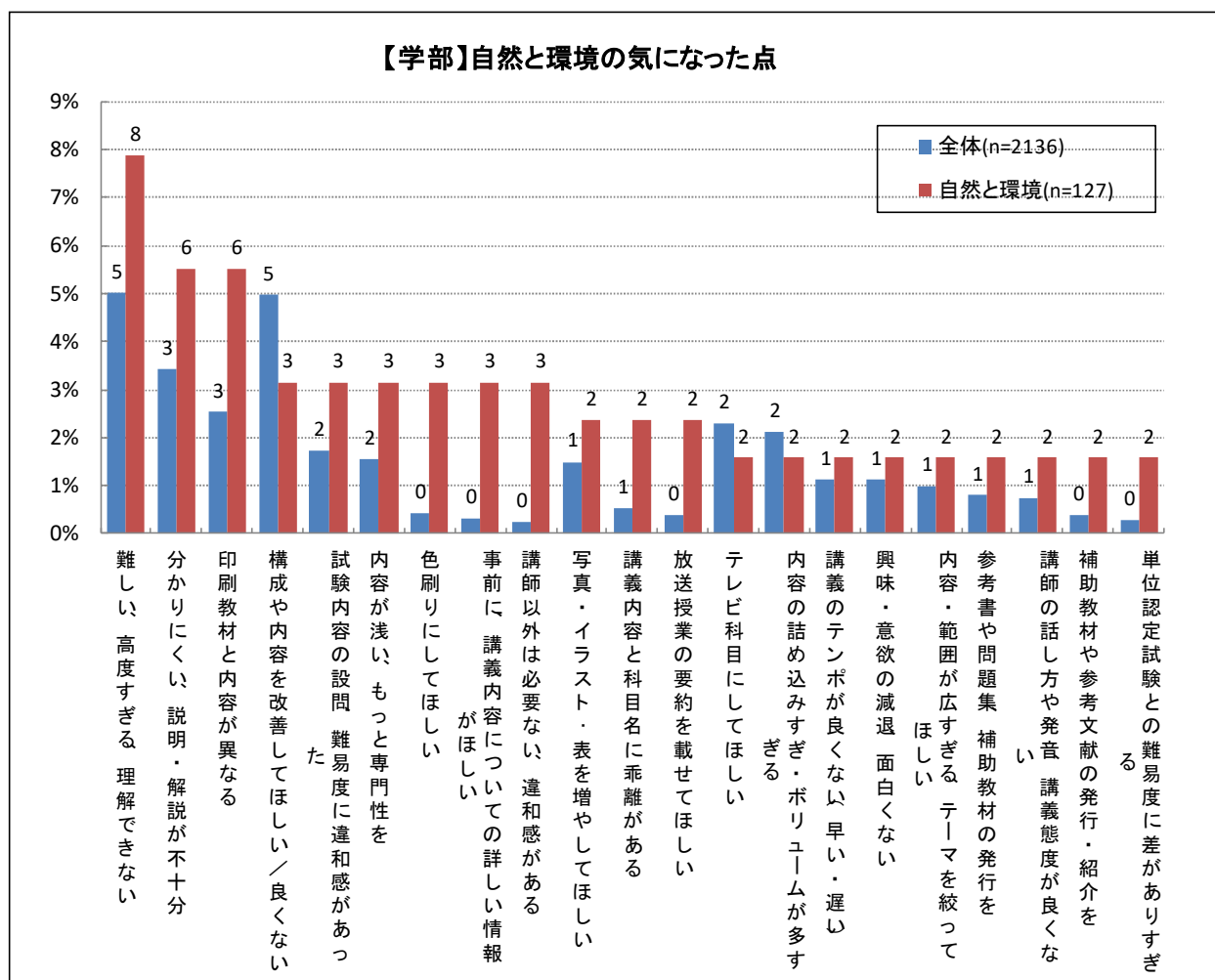


【学部】「自然と環境」科目の傾向

気になった点

「難しい、高度すぎる、理解できない」が1割弱見られた。
他に上位に挙げられたのは「分かりにくい、説明・解説が不十分」「印刷教材と内容が異なる」であった。

図2-96 【学部】気になった点



【学部】「自然と環境」科目 抜粋

よかった点

- 生物学について概要を理解することができた。これから先の勉強をする意味でも、しっかりとした土台ができたと思う。生物学と他の学問のつながりや発展についても、理解できたと思う。
- 化学という分野の全体像を概観でき、高校までに履修した雑多な知識を体系化することができて、とても有意義だった。
- 太陽系をモデルとする形で、宇宙の成り立ちを理解できた。木星や土星が誕生した頃とか位置が違う話は、とても現実感があって面白かった。
- 自分が化学の初歩も知らないということに気付き、もう少し易しい基本的なことから勉強しようと思うことができた。化学を学ぶ上で数学・物理の知識も必要であることが分かった。
- 原子と原子の結合および、分子と分子の結合について、漠然と暗記して理解していたことが合理的に理解できた。酸化・還元概念を拡張して理解することができた。身の回りで起きている現象をchemistryとして理解しようとする素地が醸成された。
- 自分の関心のあるテーマである太陽活動について、よくまとまった最新の知識が得られたこと。また、惑星探査の興味あるお話が聞けたことがよかった。
- 施設を訪問して岩石を紹介したり、宇宙のスケールが体験できる施設があったりして、楽しみながら受講できた。通信指導の講師コメントは、とても嬉しかった。
- 前に“宇宙とその進化15”を受講したが、解からないことが沢山あったので今回受講しました。理解を深めることができて良かったです。
- 複素数の微分・積分を経験でき、今後の勉強の励みになりました。

気になった点

- 当然のことと思いますが、高校レベルの化学の知識がなかったので講義や印刷教材の理解が大変でした。前提として記載しても良いのではと感じました。
- 生物学に関する書籍の紹介、高校生物とのつながり、違いなどを科目紹介の時間に講師の方からの説明を希望します。
- 特に序盤の内容については、物理の知識がない、または忘れている私のような者にとっては大変難解でした。この内容で導入科目と呼べるのだろうかと思うほどでした。
- 授業の内容はテキストの順番の通りの方が分かりやすいと思う。一部の解説がテキストの3回先の内容だったりする。
- 可能であれば、印刷教材にカラーの惑星の画像などを載せてほしいと思った。放送教材を見れば惑星の色などは細かく見ることができるが、印刷教材では全て同じ色に見えるので、1ページだけでも良いので参考にできるページがほしかった。
- アシスタントの方の声が小さくなるようなところは私も分かりにくいところだったので、印刷教材でもっと補強してほしい。同じことを表す場合でも表記が違くとわかりにくいので、放送授業と印刷教材は統一するか、印刷教材では両方併記してほしい。
- 改善すべきとまでは言えないが、一般の大学の単位認定試験と比較して、少なくとも恥ずかしくない難易度に設定して欲しい（一般の大学の試験内容を知らないなので、どの程度が望ましいかは分からない）。
- ラジオ科目からテレビ科目に変更していただきたい。ラジオ科目の場合、放送教材を理解するのが非常に難しく思います。

【学部】「自然と環境」

よかった点

(単位:人)

科目全般				通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった、役に立った	17	2	19	記述式が良かった	2		2
知識の整理、深化に役立った	13		13	添削・コメントをしてもらえた	1		1
最新の情報・研究が学べた	11		11	興味関心が深まった	1		1
楽しく受講できた、面白かった	7		7				
専門的な内容だった、レベルが高かった	6	1	7				
内容が良かった、分かりやすかった	5	1	6				
基礎的な知識を得られた	5	1	6				
視野が広がった、視点、考え方が変わった	4	1	5				
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	2	2	4				
興味が持てた、関心が持てた	2	1	3				
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	3		3				
学びきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2		2				
他の科目と関連性が良かった	1	1	2				
具体的な事例・実験があった			1				1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
分かりやすく講義していた	4		4
実例や身近な例を取り上げていた	3		3
現場取材やインタビュー、実験があって良かった	3		3
講師の熱意や人柄の良さを感じた	3		3
アシスタントが良かった	3		3
楽しく視聴できた	2		2
講師以外の人や複数の専門家話を聞いた	2		2
映像・テレビで良かった	2		2
映像や写真が多用され、分かりやすかった	1		1

【学部】「自然と環境」

気になった点

(単位:人)

科目全般	テレビ	ラジオ	合計
意見			
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	1	5
難しい、高度すぎる、理解できない	3	1	4
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	3	1	4
講義内容と科目名に乖離がある	2	1	3
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	2		2
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	2		2
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2		2
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2		2
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	1		1
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		1
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	1		1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
最新の内容の講義にしてほしい	1		1
現状のままでもいい、満足している	1		1

印刷教材	テレビ	ラジオ	合計
意見			
色刷りにしてほしい	4		4
放送授業の要約を載せてほしい	3		3
内容が理解しにくい、難しい、解説が不十分	2		2
参考書や問題集を発行してほしい、練習問題を増やしてほしい	2		2
内容が薄い、少なすぎる	1		1
図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	1		1
設問の解も載せてほしい	1		1
参考資料や付録を載せてほしい	1		1
誤植がある		1	1
教材の装丁・デザインを改善してほしい	1		1
放送授業と内容が異なる	1		1

放送授業	テレビ	ラジオ	合計
意見			
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	5	1	6
講師以外は必要ない、違和感がある	4		4
印刷教材と連動していない	3	1	4
印刷教材と内容が異なる	2	1	3
講義のテンポが良くない(早い・遅い)	2		2
構成・内容が良くない	1	1	2
図・表・写真を利用してほしい	1	1	2
補助教材や参考文献の発行・紹介を	2		2
講師の話し方や発音、講義態度が良くない	2		2
テレビ科目にしてほしい		2	2
娯楽要素が多い	1		1
テレビの特性を活かし、映像を多く取り入れてほしい	1		1
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1		1
講師の独りよがりになっている	1		1
印刷教材を棒読み、または読んでいただけであった		1	1
1科目の放送時間が短い	1		1

通信指導	テレビ	ラジオ	合計
意見			
単位認定試験との難易度に差がありすぎる	2		2
記述式および記述に関して改善してほしい／記述式はやめてほしい	1		1

単位認定試験	テレビ	ラジオ	合計
意見			
試験内容の設問、難易度に違和感があった	4		4
試験に関する情報を早く教えてほしい	1		1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分
- 事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい
- 講師以外は必要ない、違和感がある
- 印刷教材と連動していない
- 試験内容の設問、難易度に違和感があった

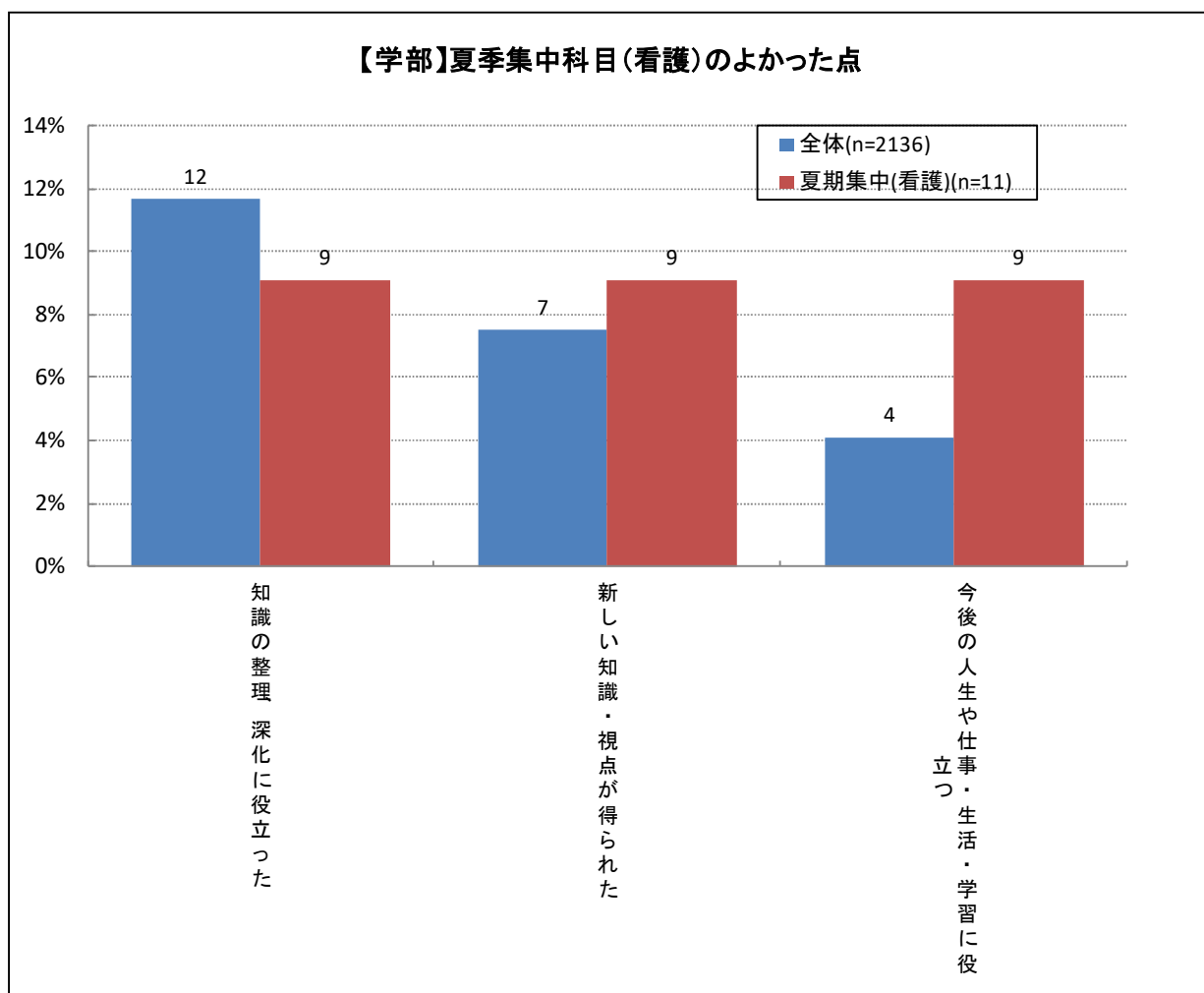
【学部】「夏季集中科目（看護）」科目の傾向

よかった点

「知識の整理、深化に役立った」「新しい知識・視点が得られた」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」（各 1 名）が同率で挙げられていた。

（「夏季集中科目（看護）」の回答者は全体で 11 人であったことに留意が必要。）

図 2 - 9 7 【学部】よかった点

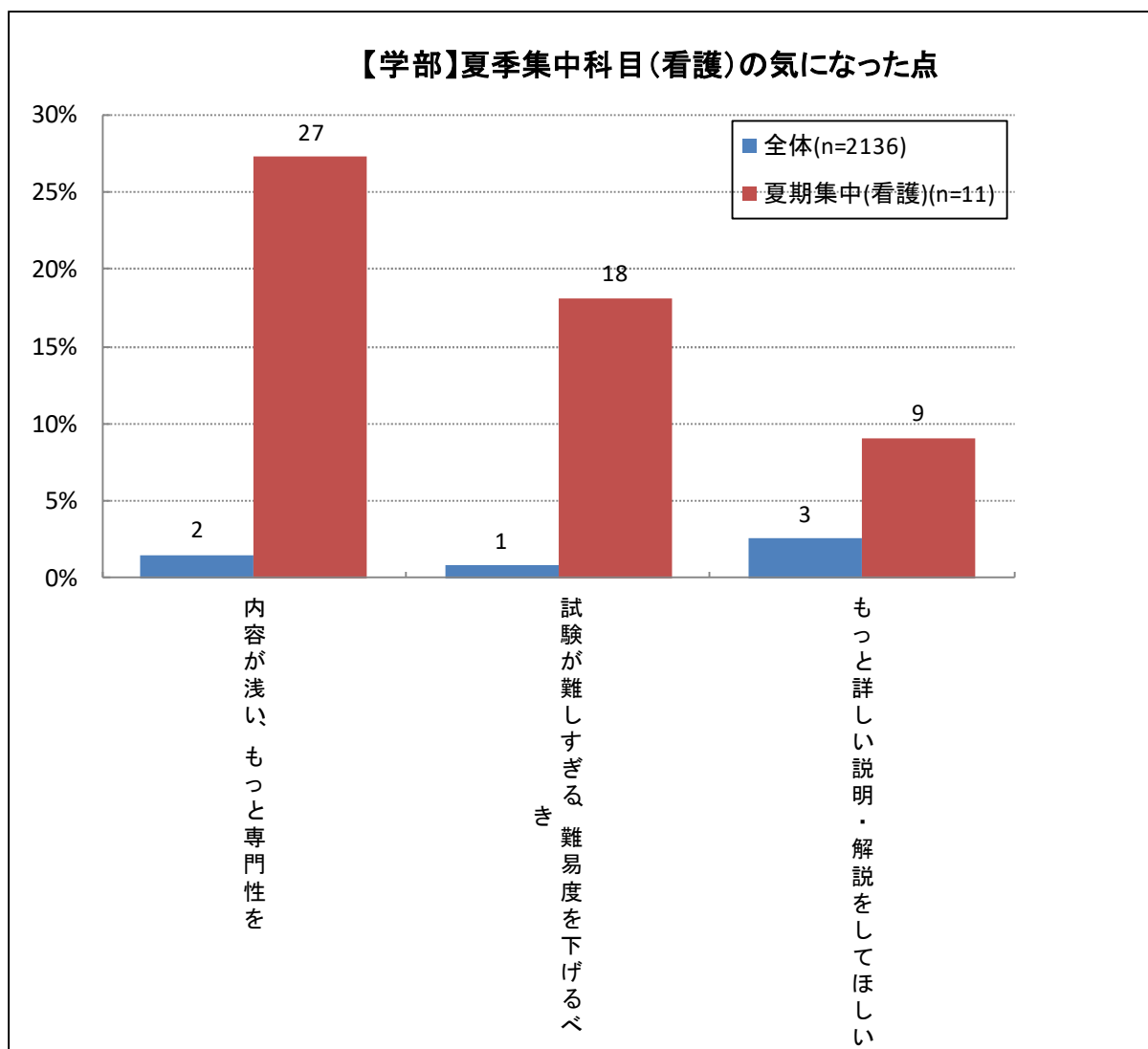


【学部】「夏季集中科目（看護）」科目の傾向

気になった点

「内容が浅い、もっと専門的に」（3人）、「試験が難しすぎる、難易度を下げるべき」（2人）「もっと難しい説明をしてほしい」（1人）が上位の意見として挙げられていた。

図2-98 【学部】気になった点



【学部】「夏季集中科目（成人看護学）」科目 抜粋

よかった点

- 新たな知識が身に付いた。
- 成人看護の復習を目的としての受講だったが、成人看護の全体像がつかめ、再復習でき、実践に役立った。今まできちんと理解していなかった知識を学ぶことができ、自分の自信にもつながった。

気になった点

- 範囲が広いので仕方がないとは思いますが、取り上げる代表疾患の種類が増えるとありがたいなと思いました。
- 印刷教材とラジオ内容が一致しない章があった。
- 単位認定試験の問題が難しかった。あれでは合格率も心配です。再試人数も多そうです。
- 単位認定試験の難易度が高かった。

【学部】「夏季集中科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた			1	1
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ			1	1
知識の整理、深化に役立った			1	1

【学部】「夏季集中科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般				単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計	
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			1	1	試験が難しすぎる、難易度を下げるべき		2	2
放送授業と印刷教材の内容が異なる			1	1				

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 試験が難しすぎる、難易度を下げるべき
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 放送授業と印刷教材の内容が異なる

【学部】「オンライン」科目の傾向

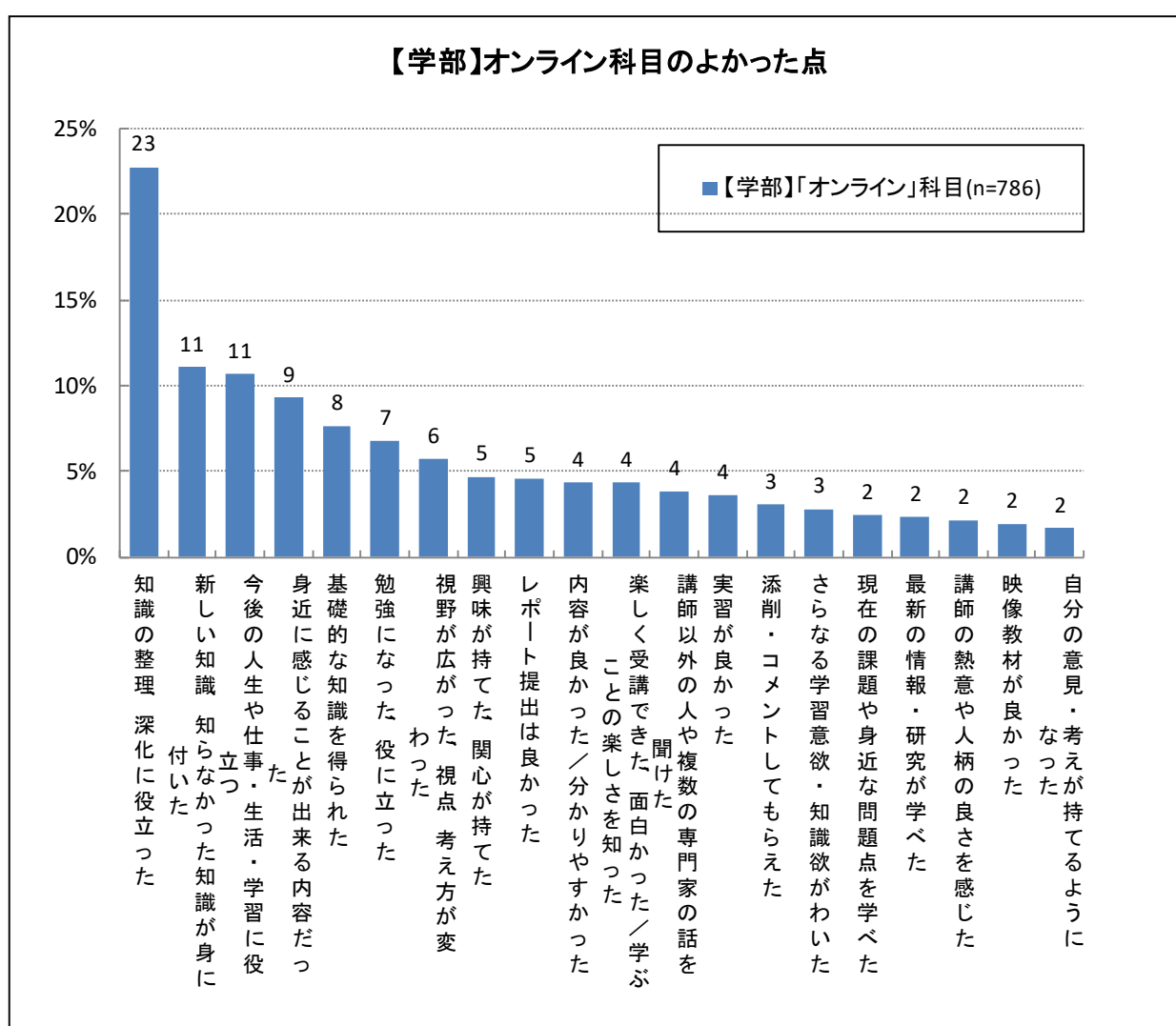
下図は学部のオンライン科目全体のよかった点で、2%以上挙げられた項目を載せたグラフである。

よかった点

「知識の整理、深化に役立った」が23%で断然のトップ項目。

他では「新しい知識、知らなかった知識が身に付いた」「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」「身近に感じることが出来る内容だった」が1割前後で上位に挙げられた。

図2-99 【学部】「オンライン」のよかった点

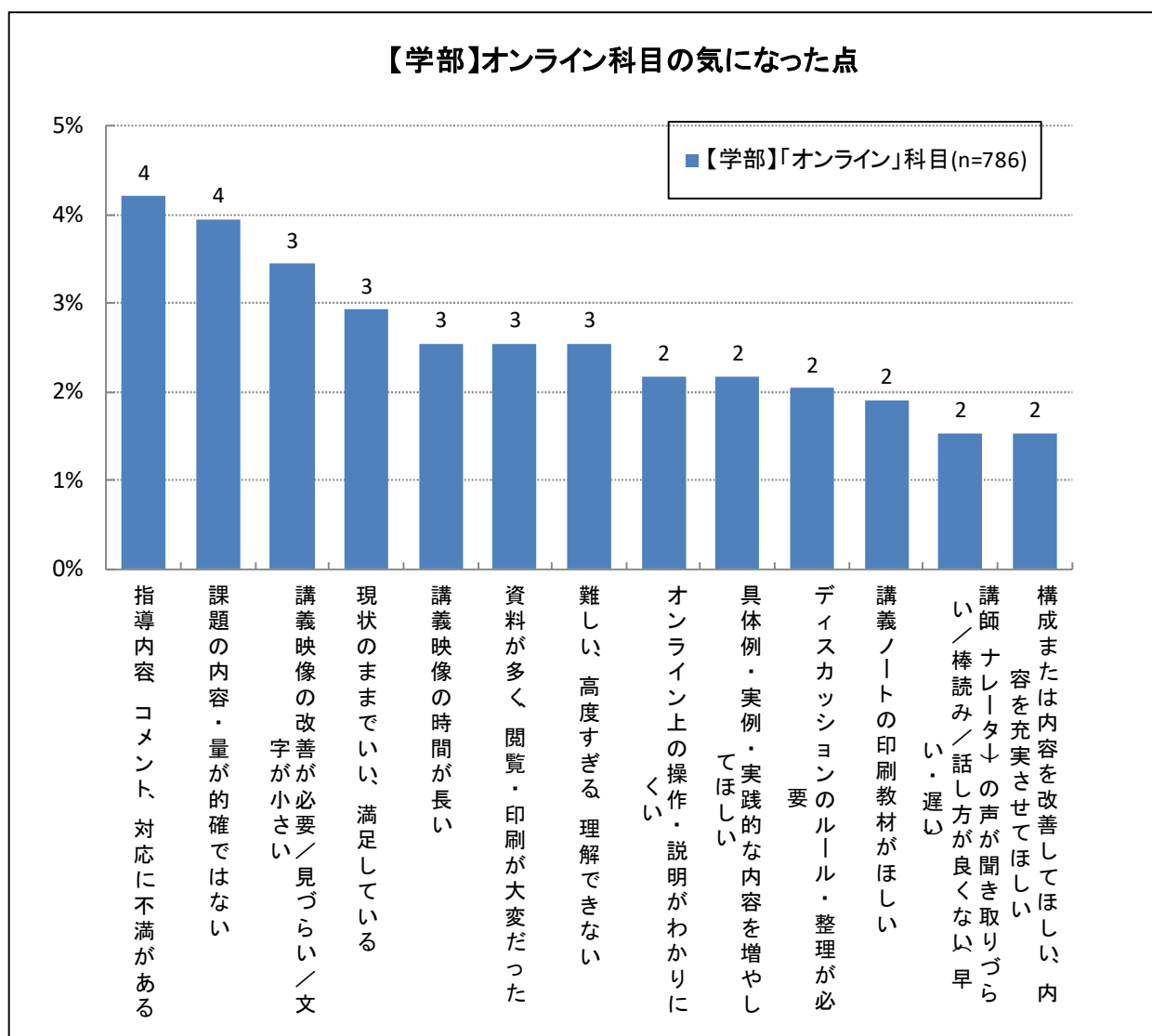


【学部】「オンライン」科目の傾向

気になった点

「指導内容、コメント、対応に不満がある」「課題の内容・量が的確ではない」「講義映像の改善が必要／見づらい／文字が小さい」が上位に挙げられたが比率は5%未満で、気になった点の項目数も少なく、逆説的に言えば全体の満足度の高さが伺えた。

図 2-100 【学部】気になった点



【学部】「オンライン」科目 抜粋

よかった点

- オンライン授業なので、自宅で自分の手が空いた時間にいつでも勉強できる点がとても良かった。授業の内容も実際に役立つものが多く、受講して良かったと思えるものだった。
- 学術的な文章は通学制大学時代の卒業論文以来書いてないので、どのようなものが学術的というのか分かって良かった。書くことは、考えていることの曖昧さを教えてくれるものだということが改めて分かった。
- 先進的な自治体の取り組みを知ることができて、これから何が必要なのか、考えるきっかけになりました。
- がんという誰もがなる可能性のある疾病について、いたずらに怖がるでもなく、正しい知識を持って対応することの意味を学ぶことができたと思う。
- 博物館が好きであったから、博物館の展示品の保護や展示法を学べてよかった。今度博物館を訪れるときは、新しい見方で展示品を見ることができる。
- 博物館で通見ることができない裏方の業務、資料の保管方法、レプリカの作成方法等を知ることができた。今後、展示会等へ行ったときに、資料の配置、照明の明るさ、解説内容等々を注意して見てみたいと思います。
- 初心者向けに解説されていたので、とてもわかりやすい説明だったと思います。
- 情報ネットワークは、私たちの暮らしになくてはならないものなので、その知識を一通り学ぶには、非常に良い科目だったと思う。

気になった点

- 講義が短い時間で画面を変える必要が出てくるのですが、それをワンタップやクリックなどのできるようにしてもらえると、集中力が続いてよいと思いました。
- レポートの分量が多く、仕事をしながら受講している方には負担が大きいのではと気になった。その他にもいろいろ改善すべき点はあるが、今回が本講座を開設して初の学期であったことに加えて、主任講師も発生した様々な課題をきちんと把握しているようなので、今後は徐々に改善をされていくものと感じている。
- 大人のがんに対する取り組みとは違って、小児がんは様々な問題提起があるのではないかと思います。そのことだけの講義内容があっても良いのではないかと思います。
- 地域包括ケアシステムを造るために、多くの人達の関わりが必要になる。それをどう作り出していくべきか、オープンされた進行をどう維持したらよいか。そこが知りたい。
- キーワードの選定が回によって散漫であるように感じた。各館の具体的な取り組みにかかわる語彙を取り上げるのはよいが、その内容が博物館資料一般の状況とどうかかわるのか、講義から読み取れないものがあつた。
- 視聴方法が違うタイプのもので、最初視聴方法が理解できず、全部見終わらないまま小テストを受けてしまったものがありました。もちろん説明を理解できなかった自分のせいなのですが、下に表示される映像ばかりに気を取られてしまうので、映像一覧から選ぶ方法のほうが目立っていると助かります。
- 映像の解説をする際、難しい内容の説明をする時には何か身近なことなどで例を出して話してもらえると、理解が深まるのではないかと感じた。
- 印刷教材がないため、かなりの枚数をコピーする事になるので、出来る事なら縮小版でも良いので印刷教材的なものがほしい。

【学部】「オンライン科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
知識の整理、深化に役立った	179	講師以外の人や複数の専門家の話を聞いた	30
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	87	実習が良かった	28
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	84	添削・コメントしてもらえた	24
身近に感じる事が出来る内容だった	73	講師の熱意や人柄の良さを感じた	17
基礎的な知識を得られた	60	映像教材が良かった	15
勉強になった、役に立った	53	講師と迅速にやりとりができて良かった	10
視野が広がった、視点、考え方が変わった	45	講師の解説が良かった	8
興味が持てた、関心が持てた	37	学習のポイントが分かりやすく説明されていた	7
楽しく受講できた、面白かった／学ぶことの楽しさを知った	34	講義ノートが理解に役立った	7
内容が良かった、分かりやすかった／良い教養科目だった	30	小テストを繰り返し学習できる	6
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	22	手元に置き、今後も読みたい内容だった	5
現在の課題や身近な問題点を学べた	19	内容が良かった、分かりやすかった	4
最新の情報・研究が学べた	18	確認テストが理解に役立った	4
自分の意見・考えが持てるようになった	13	講師の指導が良かった	3
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	11	1回の講義が分割されていて短時間でも取り組めた	2
具体的な事例・実験があった	11		
自分のペースで勉強できた	10		
今までにない内容で興味深かった、新鮮だった	7		
他の科目と関連性が良かった	7		
専門的な内容だった、レベルが高かった	4		
ディスカッションが良かった	4		
受講しやすい環境だった、システム面が良かった	2		
受験・資格取得に役立った	1		
面接授業や実習が良かった	1		

設問解答	
意見	合計
レポート提出は良かった	36

気になった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
現状のままでいい、満足している	23	指導内容、コメント、対応に不満がある	33
難しい、高度すぎる、理解できない	20	課題の内容・量が的確ではない	31
具体例・実例・実践的な内容を増やしてほしい	17	講義映像の時間が長い	20
オンライン上の操作・説明がわかりにくい	17	資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	20
ディスカッションのルール・整理が必要	16	講義ノートの印刷教材がほしい	15
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	12	講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい/棒読み/話し方が良くない	12
分かりにくい、説明・解説が不十分	8	確認テストの内容が適切ではなかった	11
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	8	講師により内容にバラつきがある/一人の方が良かった	7
インターネットでの利用がわかりにくい、使いづらい	7	講義ノートではなく、テキストがほしい	6
アンケートの必要性や実施時期に疑問	7	講義が分割されすぎている	5
双方向性がなかった	7	レポートの提出期限を事前に知りたい	4
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	6	図・写真・イラスト・表を増やしてほしい	3
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	6	確認テストの回数を増やしてほしい	3
ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	6	小テストに時間制限があることを表示してほしい	1
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	5		
学習の進捗状況がわかる画面がほしかった	5		
興味・意欲がわかかった、面白くなかった	4		
		設問解答	
		意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	4	講義映像の改善が必要/見づらい/文字が小さい	27
内容にまとまりがない、統一性・関連性がない	4	試験が簡単すぎる、難易度を上げるべき	10
現実に活かせる内容にしてほしい	3	レポート/小テスト/試験が難しい	8
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	3	問題数が多かった	8
内容・講師に思想的偏りがある	3	評価方法に疑問を感じる	5
面接授業を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3	問題の解答・解説・用紙がほしい	5
質問や相談がしたい	3	講義ノート等、印刷したPDF資料が見づらい/文字が潰れる	3
交流の場を用意してほしい	3	問題数が少なかった	3
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	2	回答の送信方法がわかりにくい	2
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	2		
最新の内容の講義にしてほしい	2		
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	2		
参考文献を紹介してほしい	2		
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1		
オンライン教材と講義ノートの内容が異なる	1		
資格取得できるようにしてほしい	1		
費用が高い、過去の受講生などには優遇制度がほしい	1		
		主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約 ●指導内容、コメント、対応に不満がある ●課題の内容・量が的確ではない ●講義映像の改善が必要 ●難しい、高度すぎる、理解できない ●講義映像の時間が長い ●資料が多く、閲覧・印刷が大変だった	

Ⅲ－２．大学院

【大学院】全体の傾向

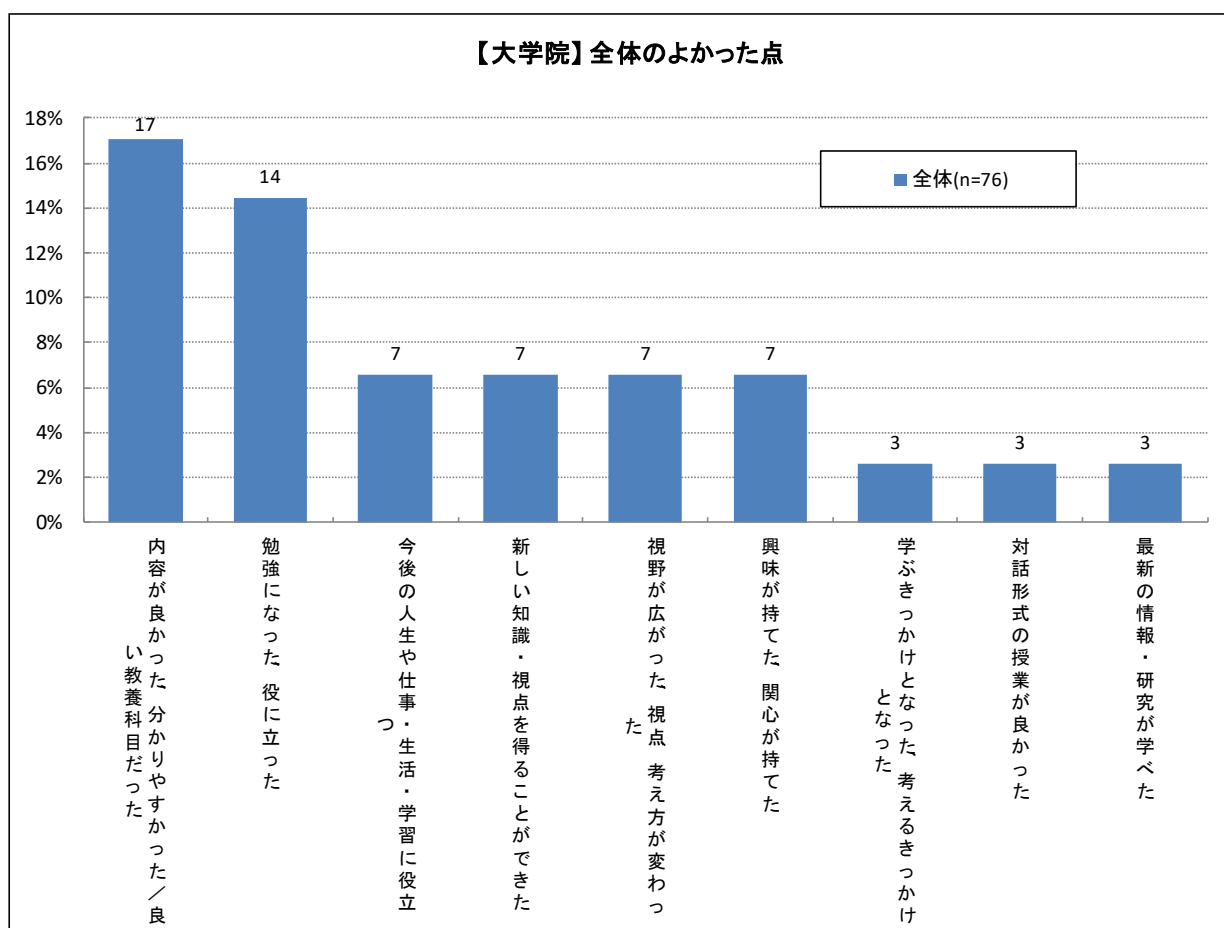
自由記述の集計結果から大学院全体で3%以上の回答があった項目をグラフ化した。
(大学院は全体の回答者数が学部のコース別科目ほど多くないため3%以上とした。)

よかった点

「内容が良かった、分かりやすかった／良い教養科目であった」(17%)、「勉強になった、役に立った」(14%)の2項目がそれぞれ1割の後半から中盤で、この2項目に集中していた。

他では「今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ」などが7%でこれに続いた。

図 2－101 【大学院】よかった点



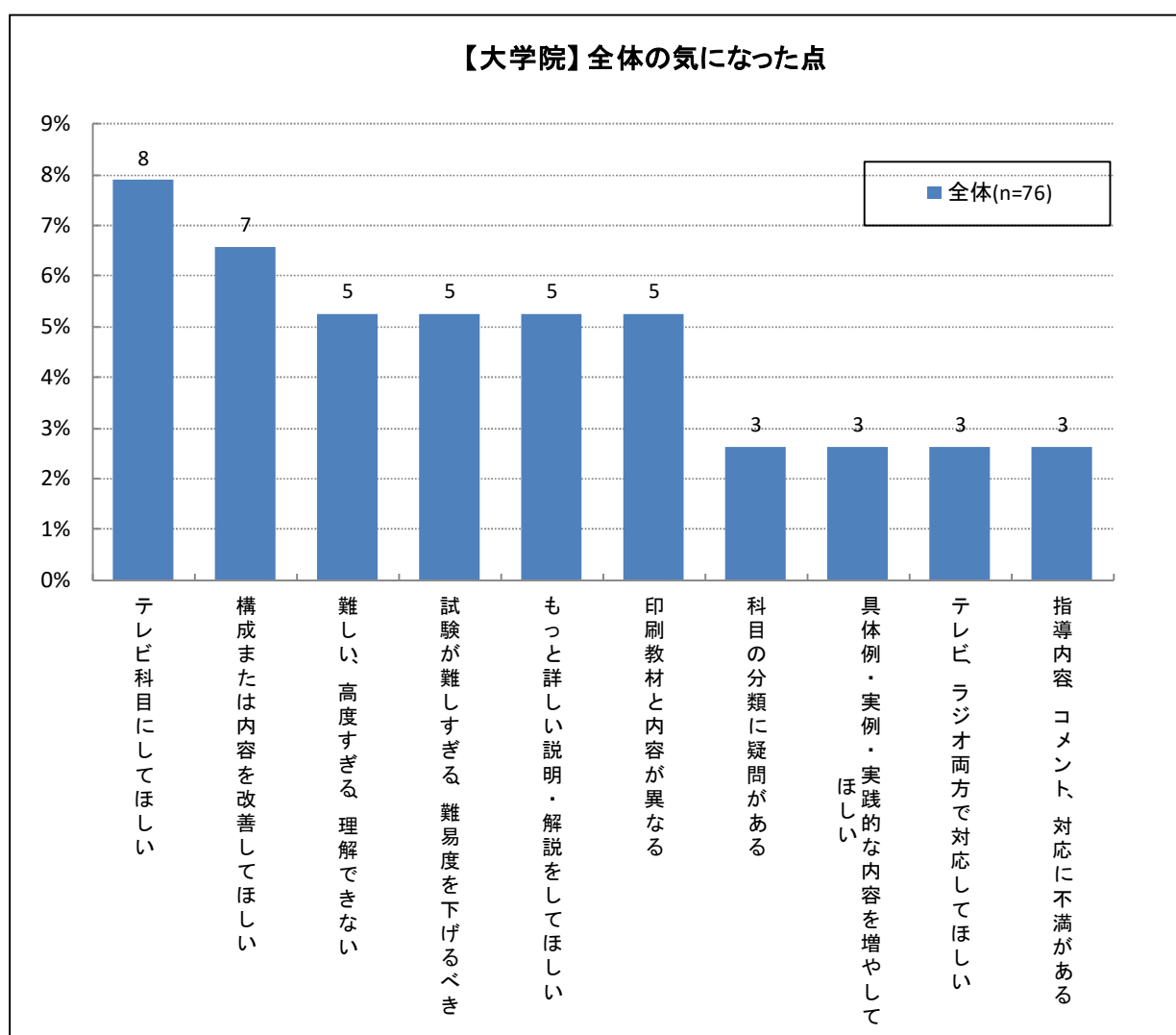
【大学院】全体の傾向

気になった点

「テレビ科目にしてほしい」「構成または内容を改善してほしい」が上位に挙げられた。

その他では「難しい、高度すぎる、理解できない」など授業や試験の難易度を下げる要望や詳しい解説や説明に対する要望も散見された。

図 2-102 【大学院】気になった点



【大学院】 抜粋

よかった点

- 福祉領域の中で、子供、障害者（発達障害）などの現在ホットな話題を受講できたことは良いと感じた。
- 印刷教材は福祉関係の項目が、多岐に渡りながらも非常に要領よくまとめられていて、とても素晴らしい教科書だと感じた。他の福祉系の科目も受講したが、秀逸な内容と感じた。法律的なアプローチで福祉部面を紹介している教科書が少ない中、とても良い本だと感じます。
- 学習科学の基本となる事柄、協調学習の授業法や授業づくりの際に配慮すべきこと等を理解することができた。
- 修士論文につながる科目だったので、とても勉強になった。協調学習を引き起こすための条件や、21世紀型スキルを身につけるための新しい学びの姿が示されており、教育実践の証拠に基づいた研究が進められていると感じた。
- 講師のユネスコ教育研究所での経験を基に、世界的多角的視野で捉えられた内容と、実際に活動されている組織の方々の実践例をうかがえた事は、今後の自身の活動の上で大変参考になり、有意義なものでした。
- 今後修士論文を執筆する上で、各研究法を概ね理解することができ、研究方法の選択肢が広がった。
- 実際に働いている状況とも関連付けて学ぶことができ、とても興味深かったです。実際企業で行われている人的資源管理についての事例も学ぶことができ、視野が広がりました。
- 世界と日本の都市社会学の様々な研究を学ぶことができ、とても興味深かったです。統計データの活用方法なども盛り込まれており、研究方法の視野も広がりました。

気になった点

- 内容がかなり高度なので、「一般に開かれている」という感じはしません。さらに試験問題が難しすぎました。かなり熱心に勉強をしたのですが、それでも不合格でした。
- 第1回の「知識」に関する講義が大変内容が豊富で、かなり敷居が高く感じ、何回か振り返る必要があった。重要な内容だと思うので、もう少し時間をかけてもよいのではないかと思った。例えば後半の内容は印刷教材を放送教材が補完する形にして、その分、理論的な部分を前半で丁寧に解説するなどの方法はどうかと思う。
- 放送教材の内容が、講師により印刷教材を読み上げるだけのものから、外部講師を招くもの、印刷教材とは異なる内容を盛り込んだものなど、ばらつきがあった。統一性を持たせてほしい。
- 学説のなかに、説明が十分でないために表面的な理解にとどまってしまうものがあった。HRMは実務的な科目なので、難解な学説は無理に入れなくてもよいと思う。単位認定試験については、各受講者が科目を通じての学びを自らの経験と結びつけて論じる論述式の方が適していると感じた。実務的な科目であるのに、択一式で知識を問うのは少々違和感を覚えた。
- リスケーリング論については、放送教材だけでなく、印刷教材でも触れてほしい。できれば、1章を起こすくらい詳しく解説してほしい。
- 7章と8章のシナリオ記述言語 SCEL と制限要求言語の X-JRDL については、別科目とするべきかと思います。SCEL も X-JRDL も独自性が強く、一般的なものではないと思います。情報学の一般論の中に組み込むのは無理があると思います。
- 高度な内容も含んでいたのも、具体例などをもっと交えると改善できると思う（ただ、放送時間の枠に収まるか不安）。
- 通信指導の回答文章の上限が少なすぎて論旨が尽くせなかったもので、合計で 2000 字くらいは許容しても良いと考えます。講師からの指導文章が極めて短いので、何が良かったのか悪かったのか、曖昧なため、指導としてのフィードバックにならないようです。もっと厳しいコメントを返していただくと助かります。

【大学院】

よかった点

(単位:人)

科目全般		放送授業	
意見	合計	意見	合計
内容が良かった、分かりやすかった／良い教養科目だった	13	対話形式の授業が良かった	2
勉強になった、役に立った	9	分かりやすく講義していた	1
興味が持てた、関心が持てた	5	実例や身近な例を取り上げていた	1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	5	現場取材やインタビュー、実験があって良かった	1
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	5	講師の熱意や人柄の良さを感じた	1
学びきっかけとなった、考えるきっかけとなった	2		
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	2		
知識の整理、深化に役立った	2		
最新の情報・研究が学べた	2		
現状のままでもいい、満足している	1		
自分のペースで勉強できた	1		
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	1		
具体的な事例・実験があった	1		
他の科目と関連性が良かった	1		
受講して良かった	1		

印刷教材	
意見	合計
分かりやすく、勉強になった	1
新しい知識・視点を得ることができた	1
体系的に良くまとまり、整理されていた	1
引用・参考文献の紹介、練習問題が良かった	1

【大学院】

気になった点

(単位:人)

科目全般		印刷教材	
意見	合計	意見	合計
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	4	内容が薄い、少なすぎる	1
分かりにくい、説明・解説が不十分	3		
難しい、高度すぎる、理解できない	2		
科目の分類に疑問がある	2		
具体例・事例・実践的な内容を増やしてほしい	2		
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	1		
現実に活かせる内容にしてほしい	1		
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1		
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	1		
内容の重複・他科目との重複が見られる	1		
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	1		

通信指導	
意見	合計
指導内容、コメント、対応に不満がある	2

単位認定試験	
意見	合計
試験が難しすぎる、難易度を下げるべき	4
評価方法に疑問を感じる	1
試験内容の設問、難易度に違和感があった	1
試験内容が授業・教材・通信指導の内容と異なった	1

放送授業	
意見	合計
テレビ科目にしてほしい	6
難しい、高度すぎる、理解できない、説明が不十分	2
印刷教材と内容が異なる	2
印刷教材と連動していない	2
テレビ、ラジオ両方で対応してほしい	2
構成・内容が良くない	1
講師により内容にバラつきがある、解説が異なる	1
印刷教材を棒読み、または読んでいるだけであった	1
ノートを取る余裕がほしい	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約
●テレビ科目にしてほしい
●構成または内容を改善してほしい
●試験が難しすぎる、難易度を下げるべき
●難しい、説明・解説が不十分
●科目の分類に疑問がある

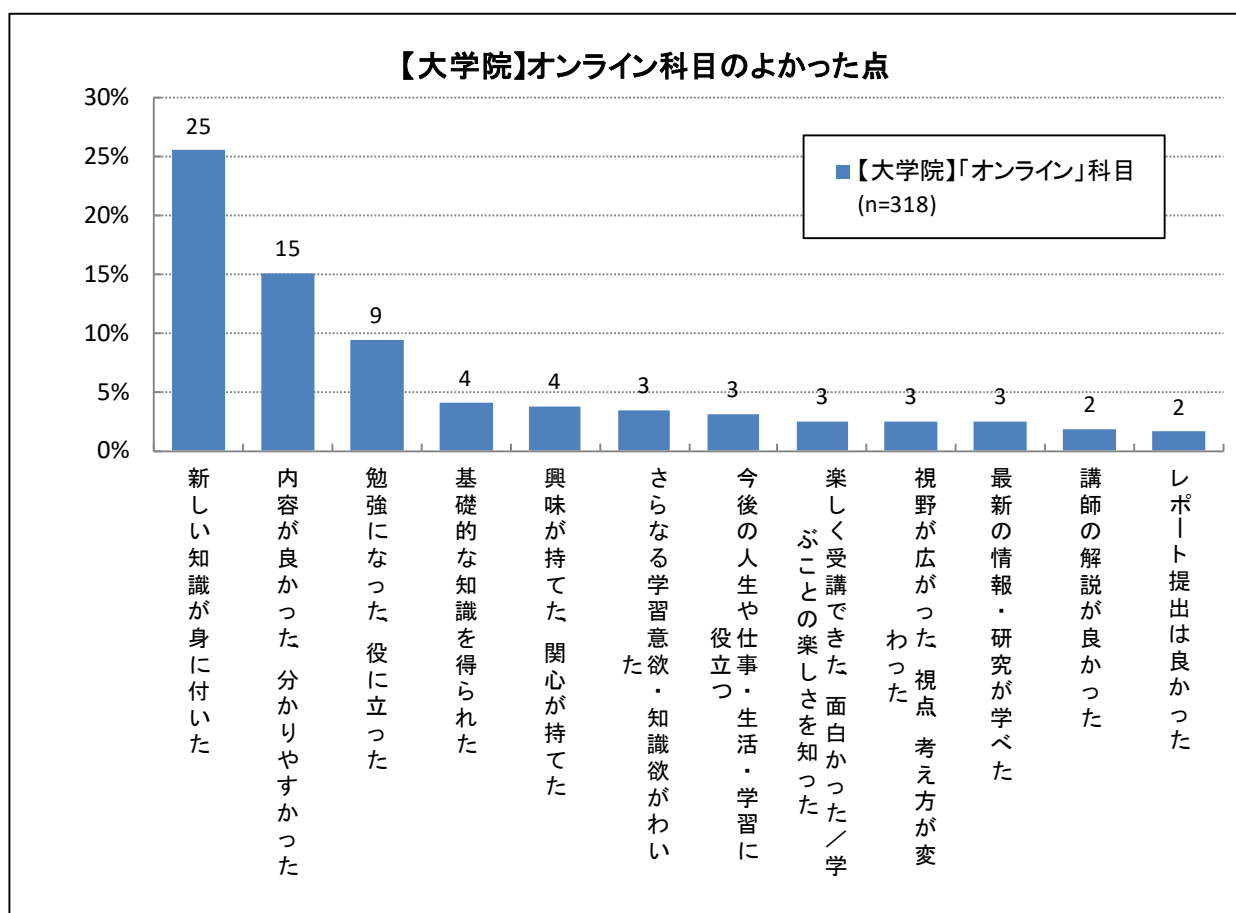
【大学院】「オンライン」科目の傾向

自由記述の集計結果から大学院のオンライン全体で 2%以上の回答があった項目をグラフ化した。

よかった点

「新しい知識が身に付いた」が 25%で意見の集中がみられ、他に「内容が良かった、分かりやすい」「勉強になった、役に立った」が 1 割前後でこれに続いた。

図 2 - 1 1 3 【大学院】よかった点

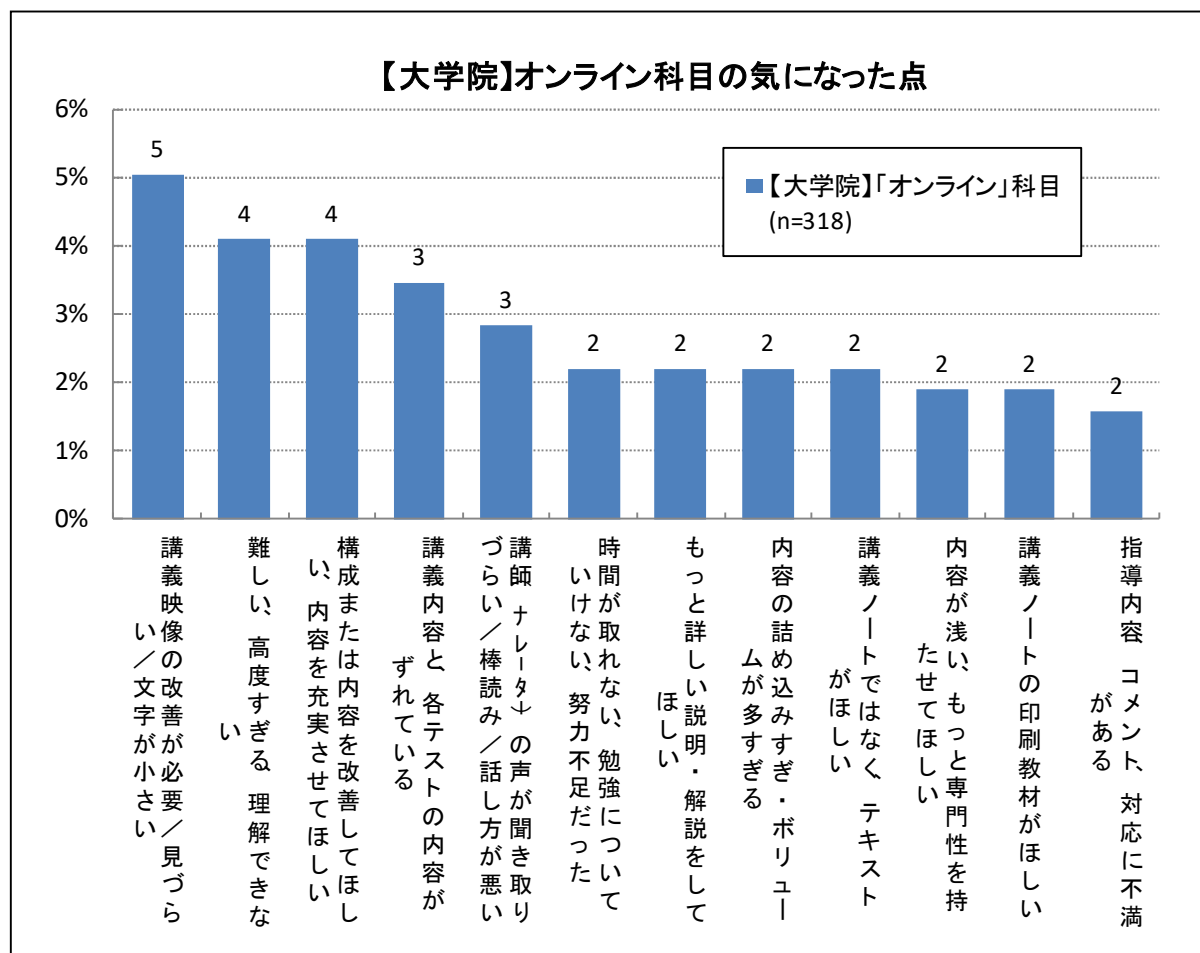


【大学院】「オンライン」科目の傾向

気になった点

最も多くても「講義映像の改善が必要／見づらい／字が小さい」の5%で、それ以外は「難しい、高度すぎる、理解できない」などが4%以下で続いた。

図2-114 【大学院】気になった点



【大学院】「オンライン」科目 抜粋

よかった点

- 医師の視点から薬について学ぶことができた。看護師用の薬の本はいろいろあるが、医師の視点からどういう場面で気をつけてほしいと思っているのかが、よくわかった。
- コミュニケーションの特徴やエラーを分かりやすく画像で表現しており、共通理解がしやすかった。安全性を考えるための講義としてとてもよいと思う。
- イランの歴史と国民の自負、文化が他に与えた影響、アメリカとの間の確執とそれによる相互の不信感の醸成、そしてそれを取り除こうとする努力を知ることができてよかった。
- 回毎に3点のテーマを設けていて、最低限抑えるべき事柄がよくわかった。現代の国際政治を考える上では、過去の歴史国内の主要民族同士の関係性など、広い視点が必要である事が理解できた。
- 宇宙の誕生からその進化、生命の誕生まで包括的に説明されていて、大変興味深く勉強できました。また、系外惑星での生命の可能性など、今後の研究成果が期待されます。
- 生物については25年ぶりに学習したが、非常に楽しかった。昔習ったことの復習のほかに、新しく進展している内容もあり、非常に興味深く学習した。
- 知能システムに関して横断的に知識を習得でき、非常に有益だった。具体的な知能システムの構築・適用方法に関しては、今後、他の資料も参考に研究していきたいと考える。
- 現在、IoTおよびAIに関して色々な情報が色々なメディアで取り上げられているが、全体像をとらえた内容のものがなく、何かしらの一方的な見方になってしまう状況であると思います。これに対して、この科目「知能システム」で全体像を俯瞰する考え方を学べたのは良かったです。

気になった点

- 配信機関・マニュアル他のところに、ディスカッション、レポート、テストの期限を明示していただけるとありがたいです。
- 講義内容とテストの内容が一致しない。講義にないところがテストに多数出しており、参考書やネットで調べるものが多く、映像を見ても見なくても、個人学習の時間が多い。講義としてはあまり役立ったとは思えない。
- 中間レポートで別の書籍を読むことがわかり、提出に間に合わず、提出を諦めたことがあったので、最初にそのことを（よく読むとそれらしい記述はあったが）わかりやすく記載してほしい。
- 映像内のボードの図表で一部細かすぎて見づらいものがあった。字幕の文章を追うのに手いっぱい、通常映像を一度の視聴では十分に確認できなかった。ほんの一言二言のみの字幕と、読むのが間に合わないほど長い文章が一度に一画面に表示される字幕とがあり、字幕表示のバランスが少々悪いのと、「てにをは」や漢字の誤りがところどころ見られるので修正してほしい。
- スライド教材の説明が短すぎて、何を説明したいのか分かりにくい。小テストの設問が、揚げ足取りのように感じるくらい、重要性に疑問を感じた。
- 掲示板（ディスカッション）の機能が使いにくい。モバイル端末での使い勝手があまり考えられていない。
- オンライン授業は、科目の開講期間しか閲覧することができないとしたら、不足を感じる。教科書がないことが、後々参照して再び理解を深めなければならない時期が訪れた際に、障壁とならないようにしてほしい。一度受講した学生に対しては、恒久的な参照権限を与えてもらえることを切に希望する。

【大学院】「オンライン科目」

よかった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材	
意見	合計	意見	合計
知識の整理、深化に役立った	58	内容が良かった、分かりやすかった	10
内容が良かった、分かりやすかった／良い教養科目だった	38	講師の解説が良かった	6
勉強になった、役に立った	30	実習が良かった	4
新しい知識、知らなかった知識が身に付いた	23	映像教材が良かった	4
基礎的な知識を得られた	13	確認テストが理解に役立った	3
興味が持てた、関心が持てた	12	学習のポイントが分かりやすく説明されていた	2
さらなる学習意欲・知識欲がわいた	11	講師の指導が良かった	2
今後の人生や仕事・生活・学習に役立つ	10	講義ノートが理解に役立った	1
楽しく受講できた、面白かった／学ぶことの楽しさを知った	8	講師の熱意や人柄の良さを感じた	1
視野が広がった、視点、考え方が変わった	8	講師と迅速にやりとりができて良かった	1
最新の情報・研究が学べた	8		
自分のペースで勉強できた	4		
学ぶきっかけとなった、考えるきっかけとなった	3		
専門的な内容だった、レベルが高かった	3		
受講しやすい環境だった、システム面が良かった	3		
ディスカッションが良かった	3		
身近に感じる事が出来る内容だった	2		
自分の意見・考えが持てるようになった	1		
他の科目と関連性が良かった	1		

設問解答	
意見	合計
レポート提出は良かった	5

【大学院】「オンライン科目」

気になった点

(単位:人)

科目全般		オンライン教材			
意見	合計	意見	テレビ	ラジオ	合計
難しい、高度すぎる、理解できない	13	講師(ナレーター)の声が聞き取りづらい／棒読み／話し方が良くない			9
構成または内容を改善してほしい、内容を充実させてほしい	13	講義ノートではなく、テキストがほしい			7
時間が取れない、勉強についていけない、努力不足だった	7	講義ノートの印刷教材がほしい			6
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	7	指導内容、コメント、対応に不満がある			5
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	7	課題の内容・量が的確ではない			3
内容が浅い、もっと専門性を持たせてほしい	6	フリガナ、専門用語の説明などがほしい			2
分かりにくい、説明・解説が不十分	4	講師により内容にバラつきがある／一人の方が良かった			2
インターネットでの利用が分かりにくい、使いづらい	4	確認テストの内容が適切ではなかった			1
ディスカッションのルール・整理が必要	4	レポートの提出期限を事前に知りたい			1
現状のままでいい、満足している	4	小テストに時間制限があることを表示してほしい			1
内容・範囲が広すぎる、テーマを絞ってほしい	3				
事前に、講義内容についての詳しい情報がほしい	3				
ディスカッションの人数・発言・回数が少ない	3				
興味・意欲がわかかなかった、面白くなかった	2				
オンライン上の操作・説明がわかりにくい	2				
働く人間や主婦のために時間的な配慮がほしい	1				
現実に活かせる内容にしてほしい	1				
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1				
最新の内容の講義にしてほしい	1				
各章ごとにまとめ・要点の課題がほしい	1				
参考書や問題集、補助教材を紹介・発刊してほしい	1				
オンライン教材と講義ノートの内容が異なる	1				
質問や相談がしたい	1				
交流の場を用意してほしい	1				
双方向性がなかった	1				

設問解答	
意見	合計
講義映像の改善が必要／見づらい／文字が小さい／回線が切れる	16
講義内容と、各テストの内容がずれている	11
レポート／小テスト／試験が難しい	4
評価方法に疑問を感じる	2
講義ノート等、印刷したPDF資料が見づらい／文字が潰れる	1
問題数が少なかった	1

主な改善点の提案:「気になった点」から抽出・集約

- 講義映像の改善が必要
- 難しい、高度すぎる、理解できない
- 構成または内容を改善してほしい
- 講義内容と、各テストの内容がずれている
- 講師の声が聞き取りづらい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい

2018年度学生による授業評価集計結果概要について

1. 調査の概要

(1) 調査目的 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること

(2) 調査方法 システムWAKABAを用いたオンライン調査

(3) 調査対象

① 対象科目

【学部】

	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
H30(2018)	3	5	10	6	14	13	9	5
	夏季集中科目(司書)	夏季集中科目(看護)	計					
	0	1	66					

【大学院】

	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	情報学	計
H30(2018)	2	2	1	2	1	8

① 対象者 2018年度第1学期履修登録者

(4) 調査時期 調査期間:8月6日 ~ 9月30日
調査結果の集計: 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数(人)			有効回答数(人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
H30(2018)	39,416	38,586	830	2,212	2,136	76	5.6%	5.5%	9.2%

付録) 2018 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

年次	新コース所属全科履修生						全科履修生 (計)	選科履修生	科目履修生
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
2016	7.4%	14.4%	13.2%	13.9%	5.7%	6.2%	66.3%	21.0%	8.4%
	旧専攻所属全科履修生								
2017	12.6%	21.5%	11.0%	11.1%	4.1%	10.3%	75.3%	17.7%	6.1%
	旧専攻所属全科履修生								
2018	新コース所属全科履修生						75.3%	17.7%	6.1%
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境			
	13.3%	25.3%	10.3%	15.1%	9.7%	8.6%			
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生					
	0.7%	83.0%	13.2%	3.8%					

年次	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2016	47.4%	51.2%	0.2%	7.3%	13.7%	20.7%	18.5%	26.1%	13.0%
2017	48.2%	50.2%	0.4%	6.8%	11.1%	20.5%	19.1%	27.0%	14.7%
2018	51.3%	48.7%	0.3%	5.9%	12.1%	25.8%	27.6%	23.3%	5.0%

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

回答者の属性

【大学院】

年次	新プログラム所属修士全科生								修士全科生 (計)	修士選科生	修士科目生	
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営学科	文化情報学	人文学	情報学	自然環境科学				
2016	1.5%	3.3%	1.8%	2.4%	-	7.7%	1.8%	4.6%	23.4%	63.1%	10.4%	
	旧プログラム所属修士全科生											
2017	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	28.6%	28.6%	62.6%	7.7%	
	新プログラム所属修士全科生											
2018	7.9%	15.8%	2.6%	13.2%	-	1.3%	11.8%	1.3%	53.9%	42.1%	3.9%	
	旧プログラム所属修士全科生											
2016	性別		年齢別							53.9%	42.1%	3.9%
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上				
2016	65.1%	33.1%	1.8%	7.5%	18.5%	27.4%	30.7%	13.5%	53.9%	42.1%	3.9%	
2017	51.1%	46.4%	1.6%	9.2%	17.2%	30.1%	30.8%	10.6%				
2018	73.7%	26.3%	5.3%	28.9%	19.7%	32.9%	6.6%	6.6%				

※無記入のものがあるため内訳の合計は100%にならない

付録) 2018 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【学部】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2016	3.14	3.18	3.09	3.21	3.26	3.16	3.20	3.24	3.16	3.23	3.34	3.08	3.18	3.23	3.13	3.25	3.25	3.24	3.27	3.30	3.22
2017	3.14	3.14	3.13	3.23	3.23	3.23	3.20	3.18	3.23	3.21	3.27	3.16	3.18	3.19	3.18	3.28	3.28	3.27	3.28	3.26	3.30
2018	3.36	3.39	3.31	3.32	3.33	3.31	3.28	3.26	3.31	3.35	3.40	3.27	3.27	3.31	3.22	3.33	3.32	3.35	3.38	3.37	3.38

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2016	3.27(3.75~2.65)	3.29	3.19	3.31	3.07	3.25	3.22	3.33	3.26	3.20
2017	3.26(3.50~3.02)	3.24	3.29	3.44	3.02	3.36	3.23	3.25	3.31	3.13
2018	3.39(3.86~2.00)	3.40	3.38	3.11	3.35	3.46	3.44	3.36	3.59	3.22

※()内の値は「最高値～最低値」

コース・科目区別		
自然と環境	夏季集中科目(司書)	夏季集中科目(看護)
3.10	3.25	3.21
3.25	3.50	-
3.37	-	3.09

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2016	3.25	3.24	3.38	3.20	3.16	3.21	3.29	3.30	3.22
2017	3.23	3.29	2.82	3.24	3.24	3.31	3.21	3.26	3.30
2018	3.36	3.42	3.50	3.35	3.38	3.37	3.44	3.38	3.36

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別の状況

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2016	3.35	3.43	3.32	3.45	3.47	3.45	3.47	3.47	3.46	3.45	3.52	3.42	3.44	3.42	3.44	3.45	3.37	3.48	3.53	3.54	3.52
2017	3.24	-	3.24	3.33	-	3.33	3.36	-	3.36	3.29	-	3.29	3.27	-	3.27	3.31	-	3.31	3.38	-	3.38
2018	3.46	-	3.46	3.27	-	3.27	3.39	-	3.39	3.26	-	3.26	3.25	-	3.25	3.163	-	3.16	3.39	-	3.39

②【B-20】満足度の専攻別等の状況

	全体	メディア別		コース・科目区別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	人文学	情報学	臨床心理学	自然環境科学	社会経営科学
2016	3.53(3.73~3.06)	3.58	3.50	3.73	3.38	3.46	3.07	-	3.61	-
2017	3.38(3.30~3.48)	-	3.38	3.43	3.34	3.33	3.48	3.47	-	3.30
2018	3.36(3.82~2.75)	-	3.36	3.14	3.40	-	2.92	3.25	-	3.59

※()内の値は「最高値～最低値」

	性別		年齢別						
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
2016	3.49	3.62	3.50	3.59	3.45	3.46	3.65	3.48	
2017	3.37	3.39	3.00	3.37	3.47	3.43	3.29	3.36	
2018	3.43	3.15	3.50	3.64	3.20	3.24	3.80	2.60	

(参考)集計方法について

各質問項目について、「あてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「あてはまらない」の回答をそれぞれ4、3、2、1の4段階の数値をあて、平均値を出し集計している。

2018年度学生による授業評価の調査結果一覧表 【2018年度新規開設科目】 (単純集計1 平均評点) コース・科目区分別、プログラム別

	回収状況			取組み姿勢				難易度・分量					放送授業					印刷教材					通信指導・単位認定試験					全体評価					授業にかか る評価 (B1- B20) の平均	全体 (A1-B20) の平均		
	調査 対象者数	回答者数	回収率	A-1	A-2	A-3	項目 平均	B-1	B-2	B-3	B-4	項目 平均	B-5	B-6	B-7	B-8	項目 平均	B-9	B-10	B-11	B-12	項目 平均	B-13	B-14	B-15	項目 平均	B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	項目 平均				
学部	全科目平均	38,586	2,136	5.5%	3.44	3.25	3.39	3.36	3.25	3.31	3.25	3.32	3.28	3.31	3.50	3.34	3.23	3.35	3.34	3.25	3.18	3.32	3.27	3.32	3.42	3.25	3.33	3.34	3.42	3.52	3.21	3.39	3.38	3.32	3.33	
	科目最高値				4.00	3.81	4.00	3.94	3.75	3.77	3.73	3.83	3.77	3.85	3.94	3.88	4.00	3.92	3.82	3.80	3.88	3.81	3.83	3.69	3.79	3.73	3.74	3.72	3.92	3.88	4.00	3.86	3.88	3.83	3.84	
	科目最低値				3.11	1.00	2.83	2.31	2.00	2.00	2.00	2.40	2.10	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.83	2.00	2.00	2.28	2.00	1.00	1.00	2.50	2.00	1.70	2.02	2.07	
	テレビ科目 (TV) 平均	22,069	1,269	5.7%	3.46	3.32	3.39	3.39	3.23	3.29	3.23	3.30	3.26	3.35	3.54	3.37	3.32	3.40	3.35	3.25	3.31	3.34	3.31	3.32	3.42	3.22	3.32	3.34	3.42	3.51	3.20	3.40	3.37	3.33	3.34	
	ラジオ (R) 平均	16,517	867	5.2%	3.41	3.13	3.40	3.31	3.27	3.33	3.28	3.34	3.31	3.25	3.45	3.29	3.10	3.27	3.33	3.26	3.00	3.30	3.22	3.32	3.43	3.29	3.35	3.35	3.43	3.53	3.23	3.38	3.38	3.31	3.31	
	「基盤科目」項目平均	3,498	231	6.6%	3.29	3.23	3.10	3.21	2.96	3.01	2.88	2.96	2.95	3.08	3.39	3.12	3.19	3.20	3.21	2.96	3.13	3.11	3.10	3.13	3.28	3.00	3.14	3.12	3.14	3.30	2.85	3.11	3.10	3.10	3.10	3.12
	「基盤科目(外国語)」項目平均	2,478	163	6.6%	3.26	3.26	3.20	3.24	3.28	3.31	3.23	3.24	3.27	3.39	3.60	3.41	3.32	3.43	3.45	3.21	2.61	3.31	3.15	3.28	3.37	3.20	3.28	3.21	3.40	3.38	3.12	3.35	3.29	3.28	3.28	
	「生活と福祉」項目平均	10,272	367	3.6%	3.49	3.14	3.49	3.37	3.27	3.34	3.29	3.35	3.31	3.35	3.46	3.39	3.22	3.36	3.32	3.31	3.29	3.31	3.31	3.36	3.45	3.38	3.40	3.40	3.45	3.56	3.31	3.46	3.44	3.36	3.36	
	「心理と教育」項目平均	6,373	411	6.4%	3.48	3.30	3.45	3.41	3.28	3.29	3.30	3.35	3.31	3.32	3.51	3.37	3.26	3.37	3.29	3.28	3.31	3.33	3.30	3.40	3.49	3.19	3.36	3.43	3.46	3.59	3.25	3.44	3.43	3.35	3.36	
	「社会と産業」項目平均	4,327	284	6.6%	3.42	3.12	3.40	3.31	3.20	3.27	3.25	3.30	3.26	3.26	3.44	3.26	3.01	3.24	3.35	3.22	3.00	3.30	3.22	3.26	3.33	3.19	3.26	3.30	3.39	3.53	3.19	3.36	3.35	3.27	3.27	
	「人間と文化」項目平均	5,843	359	6.1%	3.58	3.41	3.53	3.51	3.46	3.53	3.46	3.54	3.50	3.52	3.67	3.54	3.43	3.54	3.53	3.45	3.33	3.53	3.46	3.39	3.50	3.39	3.43	3.47	3.65	3.68	3.38	3.59	3.55	3.50	3.50	
	「情報」項目平均	2,361	183	7.7%	3.35	3.18	3.35	3.29	3.19	3.27	3.23	3.35	3.26	3.17	3.40	3.17	3.09	3.21	3.25	3.19	3.14	3.20	3.20	3.27	3.40	3.28	3.32	3.26	3.27	3.32	3.17	3.22	3.25	3.25	3.25	
	「自然と環境」項目平均	1,841	127	6.9%	3.47	3.34	3.38	3.40	3.19	3.33	3.17	3.28	3.24	3.28	3.58	3.35	3.27	3.37	3.31	3.24	3.37	3.35	3.32	3.39	3.49	3.32	3.40	3.36	3.41	3.50	3.22	3.37	3.37	3.34	3.35	
「夏季集中科目」項目平均	1,593	11	0.7%	3.27	2.64	3.27	3.06	2.82	2.64	2.82	2.82	2.78	2.91	3.00	2.91	2.91	2.93	3.09	3.00	3.09	3.27	3.11	3.18	3.55	2.73	3.15	3.27	3.45	3.55	3.27	3.09	3.33	3.06	3.06		
大学院	全科目平均	830	76	9.2%	3.53	3.32	3.53	3.46	3.37	3.38	3.41	3.41	3.39	3.21	3.42	3.36	3.05	3.26	3.22	3.26	3.20	3.33	3.25	3.11	3.25	3.13	3.16	3.26	3.47	3.55	3.30	3.36	3.39	3.27	3.32	
	科目最高値				3.75	3.54	4.00	3.58	3.67	3.76	3.71	3.67	3.63	3.75	3.57	3.76	3.50	3.50	3.41	3.67	3.67	3.67	3.50	3.67	3.67	3.67	3.67	3.47	3.67	3.82	3.50	3.82	3.63	3.46	3.59	
	科目最低値				3.00	3.00	3.23	3.08	2.75	2.50	3.00	2.75	2.75	2.75	3.00	2.50	2.25	2.63	2.75	2.75	2.50	2.92	2.75	2.00	2.50	2.50	2.33	2.75	2.50	2.75	2.75	2.75	2.70	2.61	2.71	
	「生活健康科学」項目平均	110	7	6.4%	3.29	3.00	3.43	3.24	3.14	2.71	3.29	3.14	3.07	3.00	3.00	2.86	2.29	2.79	2.86	3.14	3.00	3.29	3.07	2.71	3.00	3.00	2.90	3.00	3.00	3.00	3.00	3.14	3.03	2.96	3.02	
	「人間発達科学」項目平均	294	25	8.5%	3.56	3.24	3.72	3.51	3.24	3.24	3.44	3.48	3.35	3.20	3.44	3.32	3.08	3.26	3.20	3.44	3.28	3.36	3.32	3.24	3.28	3.28	3.27	3.16	3.60	3.56	3.40	3.40	3.42	3.30	3.35	
	「臨床心理学」項目平均	154	4	2.6%	3.75	3.00	4.00	3.58	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.75	3.50	3.25	2.75	3.31	3.00	3.00	3.00	3.25	3.06	3.00	3.25	3.00	3.00	3.25	3.25	3.00	3.25	3.15	3.24	3.28		
	「社会経営科学」項目平均	218	27	12.4%	3.48	3.41	3.44	3.44	3.63	3.70	3.56	3.52	3.60	3.30	3.52	3.67	3.37	3.47	3.41	3.33	3.37	3.52	3.41	3.22	3.37	3.22	3.27	3.41	3.59	3.78	3.44	3.59	3.56	3.44	3.46	
	「情報学」項目平均	54	13	24.1%	3.62	3.54	3.23	3.46	3.15	3.31	3.08	3.15	3.17	3.00	3.38	3.08	2.85	3.08	3.15	2.92	2.85	2.92	2.96	2.85	3.08	2.77	2.90	3.38	3.31	3.46	3.08	2.92	3.23	3.03	3.13	

(注) 平均評点は、調査票の選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2018年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(20)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

＜授業の難易度・分量＞					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
＜放送授業＞					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	講師の熱意が十分に伝わった。	4	3	2	1
(7)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
＜印刷教材＞					
(9)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(10)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(11)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(12)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
＜通信指導・単位認定試験＞					
(13)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(14)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(15)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
＜全体評価＞					
(16)	授業科立案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(17)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(18)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(19)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

(学部)

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して改善すべきだと感じた点をお書きください。

(3) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。(あてはまる番号に○を付けてください。)

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	[全科履修生 新コース所属の方] 1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境 [全科履修生 旧専攻所属の方] 7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解 [選科履修生・科目履修生] 13. 選科履修生 14. 科目履修生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

授業評価の組織的な活用

